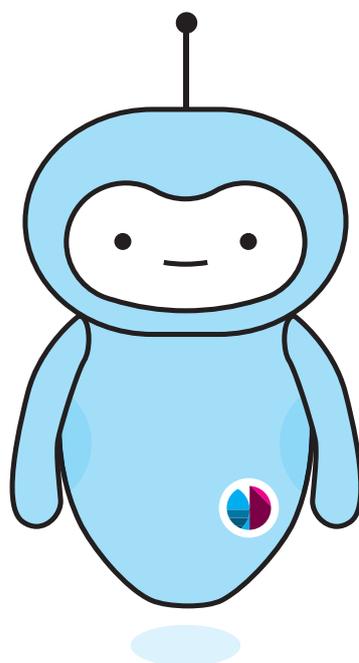




# CAD ロボ Tutorial



# WE WILL CHANGE THE WORLD

The World Best Engineering Solution  
Provider & Service Partner

建設業界 **No.1**

---

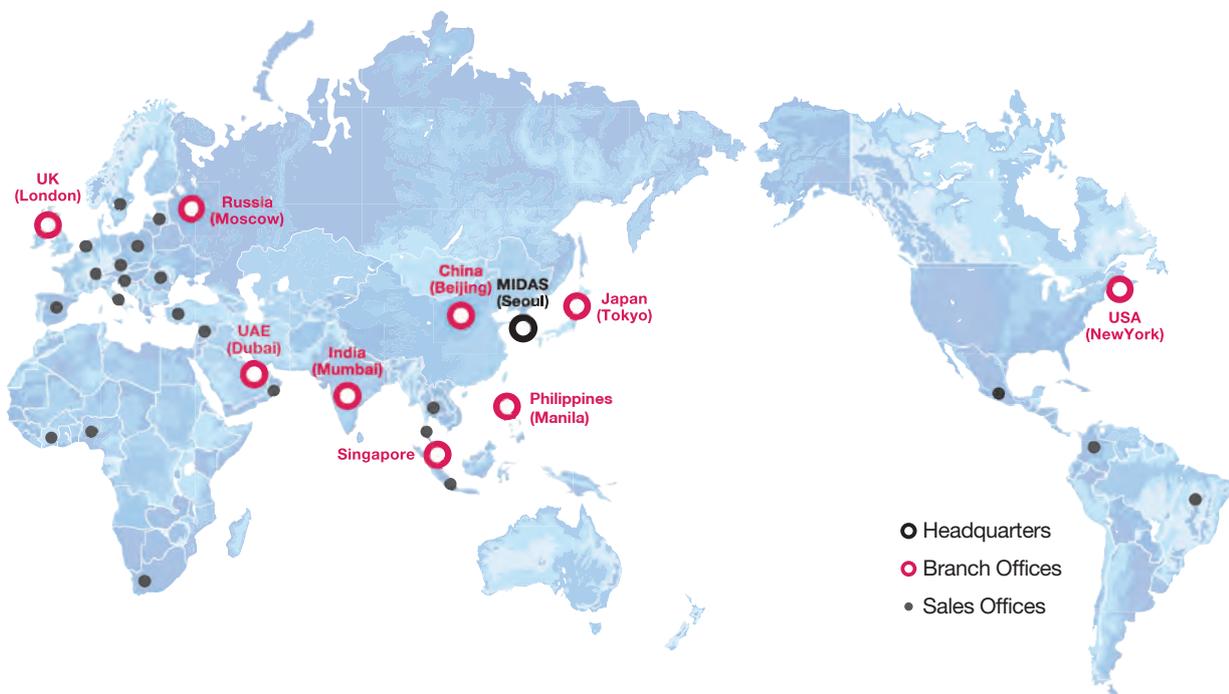
現地法人 **9**

---

海外代理店 **35**

---

輸出国家 **150**



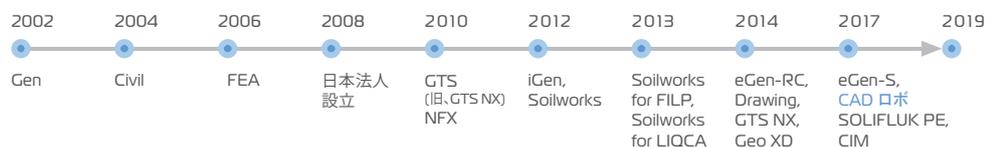
## 会社紹介

マイダスイティ(MIDAS Information Technology Co., Ltd.)は、韓国に本社を置き、工学技術用ソフトウェアの開発及び普及、そして構造分野のエンジニアリングサービスとWebビジネス統合ソリューションサービスを提供する会社です。2000年9月に設立し、現在、約600名の専門技術を持つ人材が在籍し、アメリカ、日本、中国、インド、イギリス、ロシア、シンガポール、ドバイ、フィリピンの9か国の現地法人、またその他の35か国のネットワークを通じて150か国に工学技術用ソフトウェアを提供するグローバル企業として成長してきました。

## MIDAS IT JAPAN

マイダスイティジャパンは、マイダスイティの日本法人です。マイダスイティジャパンは、2008年に建築工学技術用ソフトウェアの普及からスタートし、現在は土木/地盤/機械の分野まで事業を拡大しています。日本国内では1,854社/13,183ライセンスが、全世界では約100,000ライセンスが使われており、建築分野から土木/地盤分野(橋梁、トンネル、地下構造物、土構造物等)、機械分野(自動車、精密機器、医療等)にかけて、多分野で活用されるようにまで成長してきました。

## PRODUCT HISTORY



# 目次

---

- CAD ロボとは** **3**  
CAD ロボの構成、基本操作方法などを説明します。
  
- 伏図を自動生成する** **19**  
伏図の簡単な生成方法から精度を高める方法を説明します。
  
- 軸組図を自動生成する** **57**  
軸組図の簡単な生成方法から精度を高める方法を説明します。
  
- 部材リストを自動生成する** **91**  
部材リストの簡単な生成方法から精度を高める方法を説明します。
  
- 図面リストを自動作成する** **145**  
図面リストを作成する方法を説明します。



# CAD ロボとは

---

## I CAD ロボ

- ・ CAD ロボとは 5

## II midas eGen

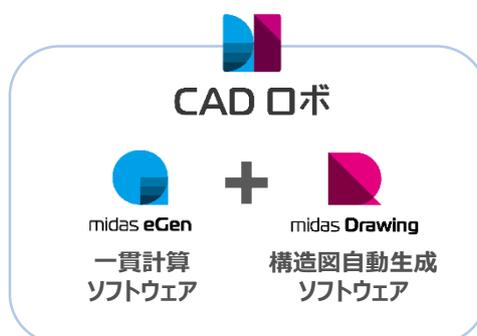
- ・ midas eGenの画面構成 7
- ・ midas eGenの基本操作方法 8

## III midas Drawing

- ・ midas Drawingの画面構成 11
- ・ midas Drawingの基本操作方法 12
- ・ midas Drawingのモードとは 14
- ・ midas Drawingのブロックスタイル一覧 15
- ・ midas Drawingの基本的な操作コマンド&ショートカットキー 17



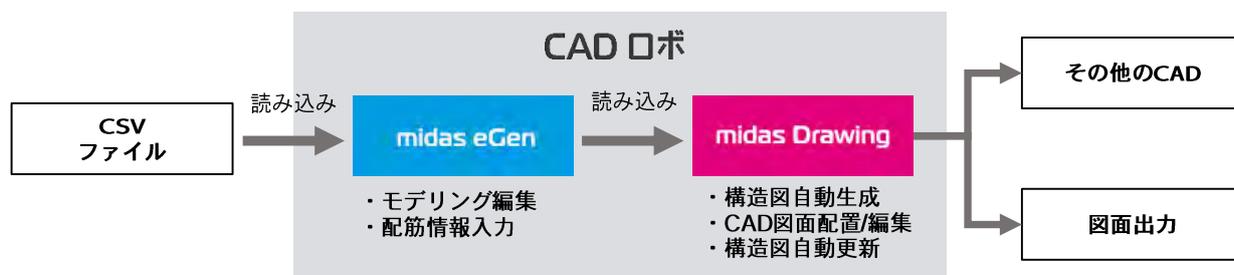
# CAD ロボとは



CAD ロボはマイダスの一貫計算ソフトウェア [midas eGen]と構造図自動生成ソフトウェア [midas Drawing]で構成されたフリーウェアです。

## ご使用の流れ

### ◆ SS3のCSVファイルを読み込む方



### ◆ midas eGenでモデリング作成

CAD ロボのmidas eGenでは3Dウィザードを使用した簡単モデリングやCAD図面を読み込んでモデリングすることが可能です。

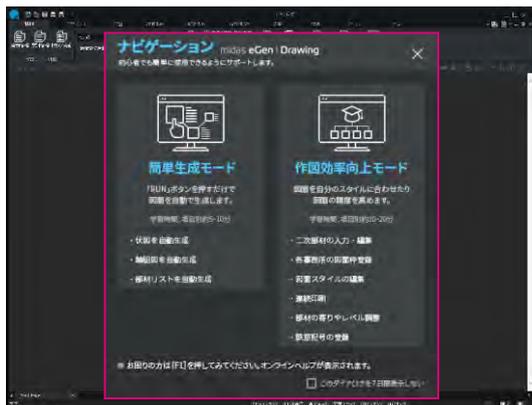


# ご使用方法

## STEP 1. CSV読み込み eGen 実行



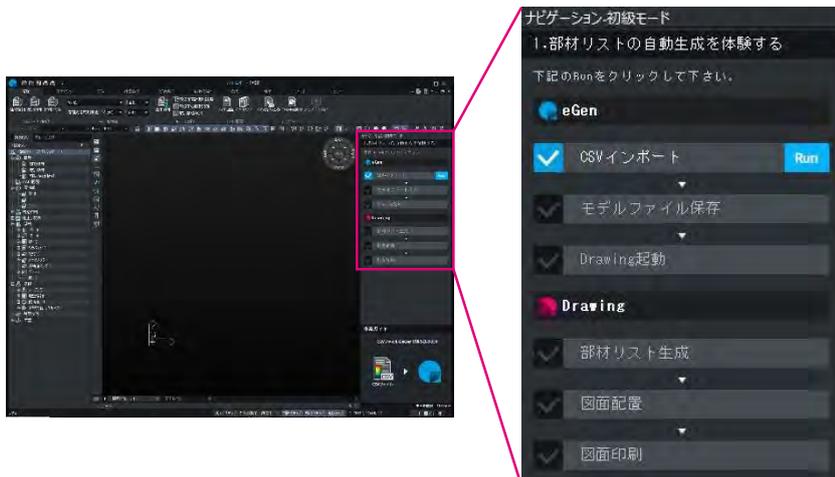
## STEP 2. ナビゲーションモード選択



	簡単生成モード	作図効率向上モード
説明	「Run」ボタンを押すだけで図面が生成できます。初めてお使いの方にお勧めします。	図面を事務所のスタイルに合わせて図面の精度を高めます。
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 伏図を自動生成</li> <li>2. 軸組図を自動生成</li> <li>3. 部材リストを自動生成</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>4. 二次部材の入力・編集</li> <li>5. 各事務所の図面枠登録</li> <li>6. 図面スタイルの編集</li> <li>7. 連続印刷</li> <li>8. 部材の寄りやレベル調整</li> <li>9. 鉄筋記号の登録</li> </ol>
学習時間	項目別5分以内	項目別約10分以内

- \* ナビゲーションは  から起動します。
- \* CADロボで何が出来るか知りたい方は、【図面作成ガイド】をご参考ください。

## STEP 3. ナビゲーションに従い、構造図生成



## 1 メインメニュー

作業全般を選択できます。

## 2 アイコンメニュー

編集などで便利なツールを用意しています。

## 3 ツリーメニュー

モデル情報を確認できます。

## 4 作業ウィンドウ

1画面で3D/2Dでモデルを確認でき、  
2画面でも同時に確認できます。

## 5 ビューナビゲーション

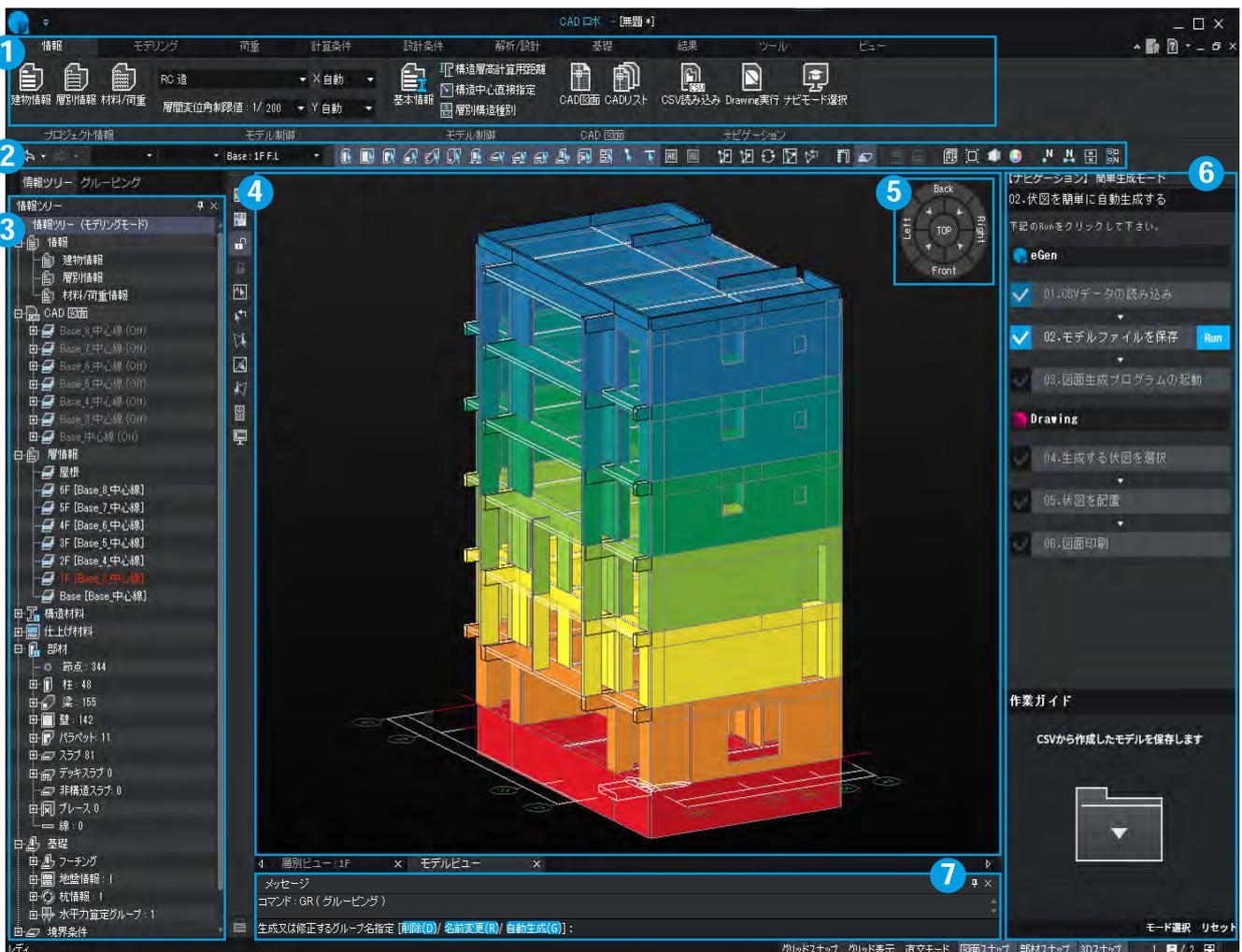
様々な角度からモデルを確認できます。

## 6 ナビゲーション

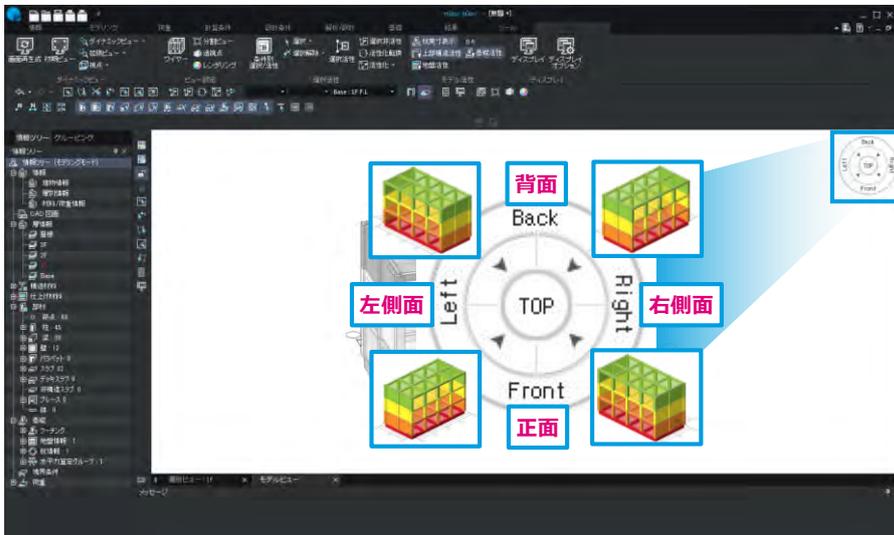
目的に応じて機能の説明と操作手順を  
案内します。

## 7 メッセージウィンドウ

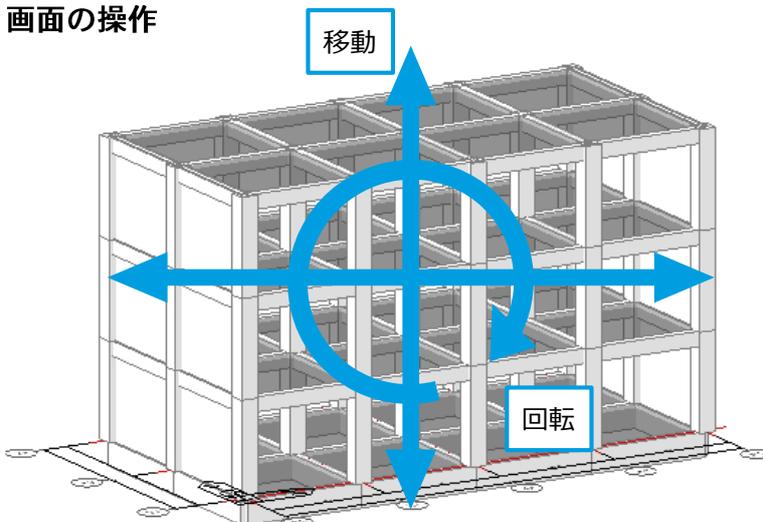
キー入力でコマンド操作が出来ます。



◆ ビューナビゲーションによる視点の切替え



◆ 画面の操作



◆ 動的ビュー活用

**拡大(zoom in)**  
⇒マウスホイール上回し

**縮小(zoom out)**  
⇒マウスホイール下回し

**移動(pan)**  
⇒マウスホイール押す

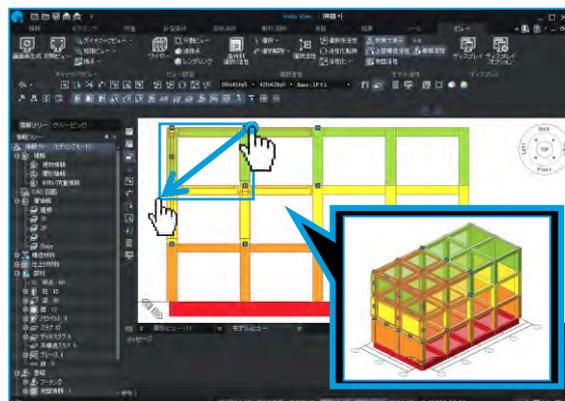
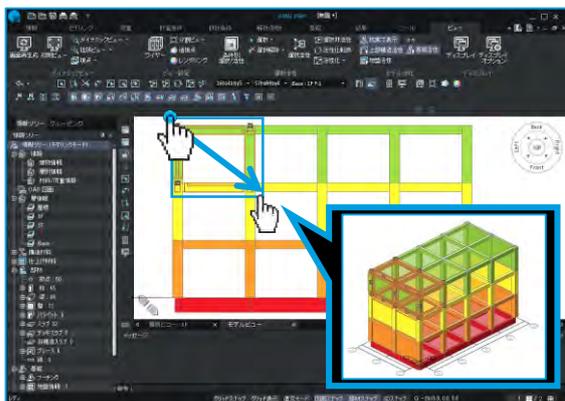
ESC	!	@	#	\$	%	^	&	*	(	)	+	=	←	Backspace		
Tab	←	→	Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	{	}		
Caps Lock	A	S	D	F	G	H	J	K	L	:	;	'	"	Enter		
Shift	↑	Z	X	C	V	B	N	M	<	>	?	/	Shift	↓		
Ctrl	Win Key	Alt											Alt	Win Key	Menu	Ctrl

**回転ビュー**

## ◆ 選択

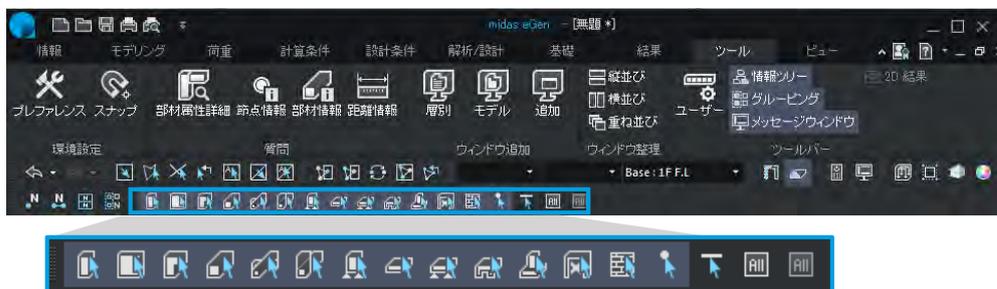
左→右：枠内に納まっている部材が選択されます。

右→左：枠線にかかっている部材が選択されます。



## ◆ 部材別選択

柱、壁、大梁、小梁、床、ブレースなど選択する部材を指定できます。



## ◆ 部材活性化

選択した部材のみ活性化・非活性化することができます。





# midas Drawing 画面構成

## 1 メインメニュー

カテゴリー別にコマンドが格納されています。

## 2 ツールバー

アイコン表示されたコマンドが集まっています。

## 3 ツリーメニュー

ウィンドウ、プロパティ、図面要素、情報タグ  
部材グループに切り替えられます。

## 4 コマンドウィンドウ

コマンド入力ができます。

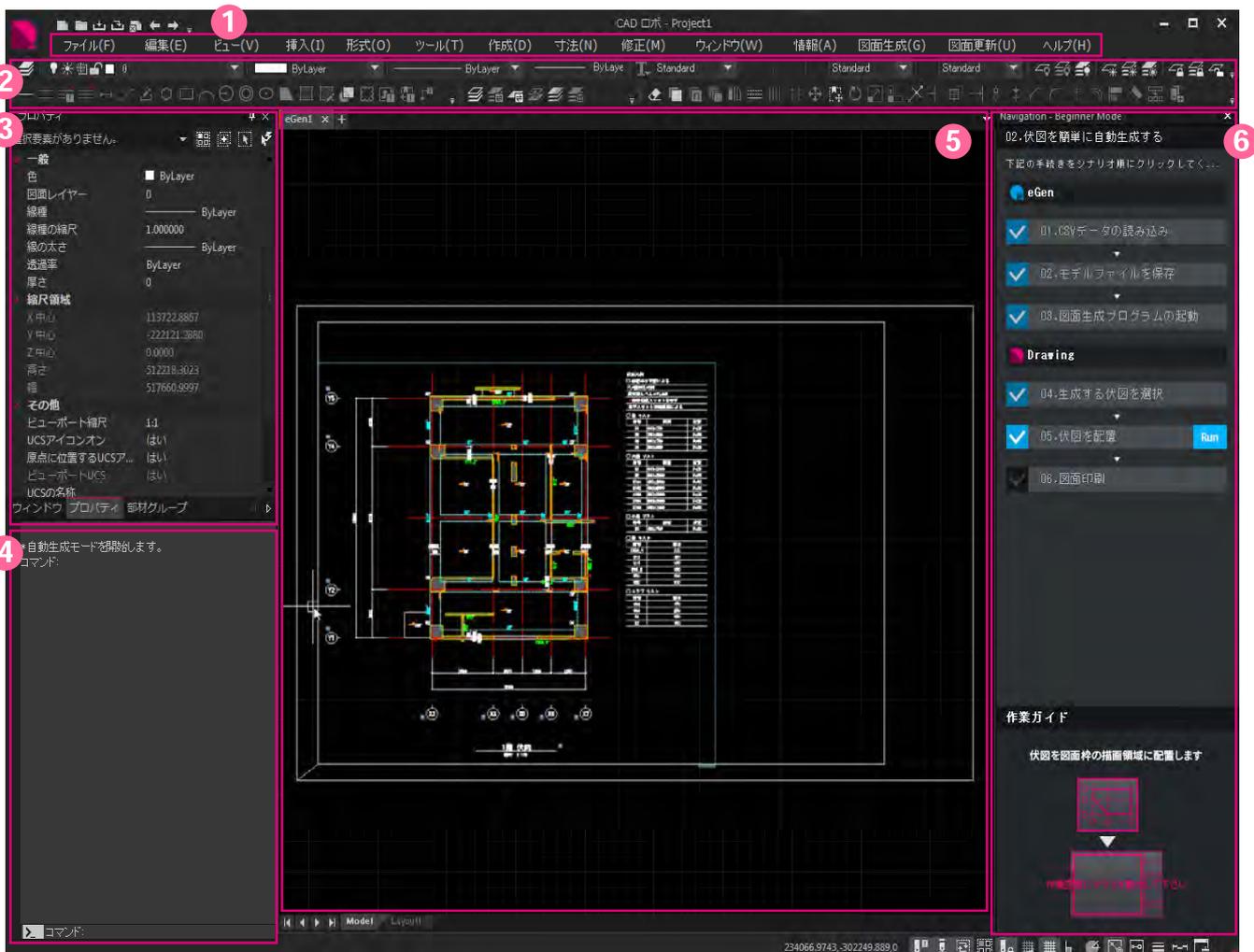
## 5 作業空間

作図作業を行う空間です。

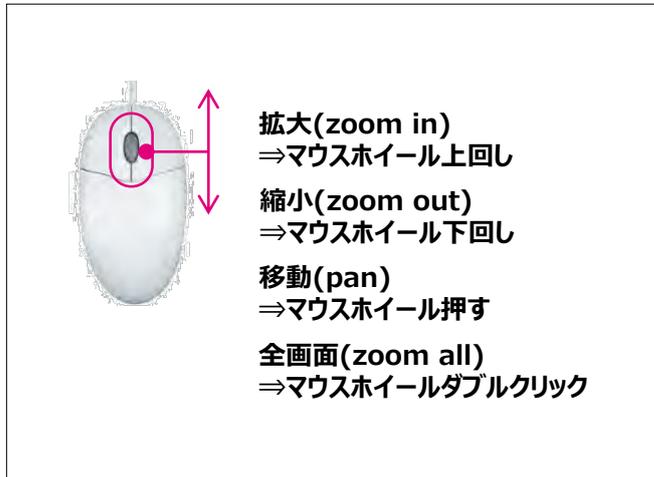
## 6 ナビゲーション

目的に応じて機能の説明と操作手順を案内します。

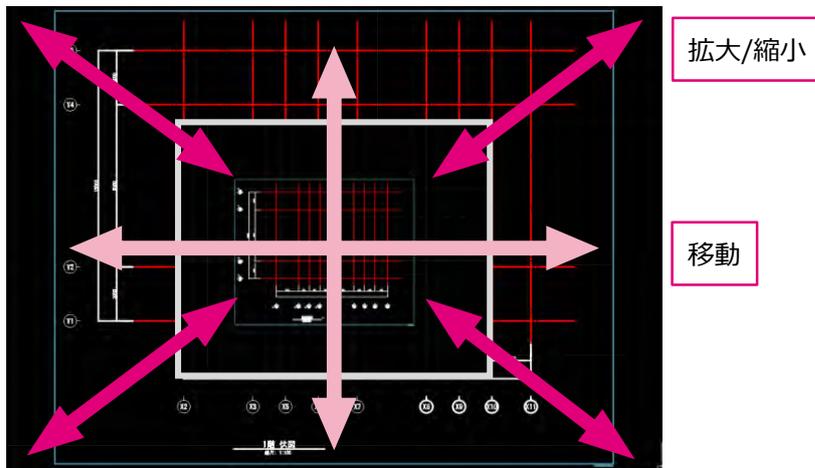
eGenからDrawingを起動した時に表示されます。



◆ マウスの操作



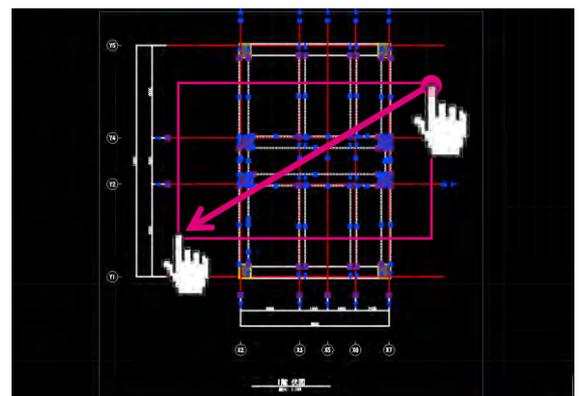
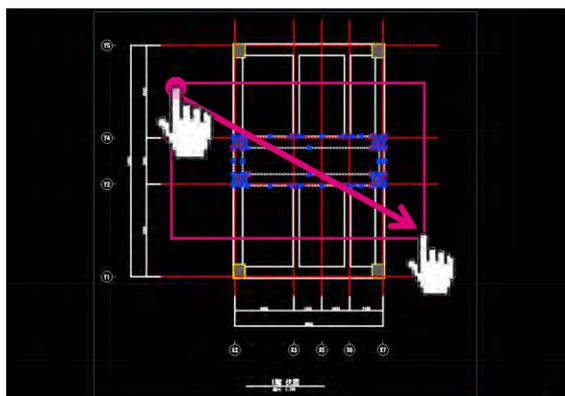
◆ 画面の操作



◆ 選択

左→右：枠内に納まっている部材が選択されます。

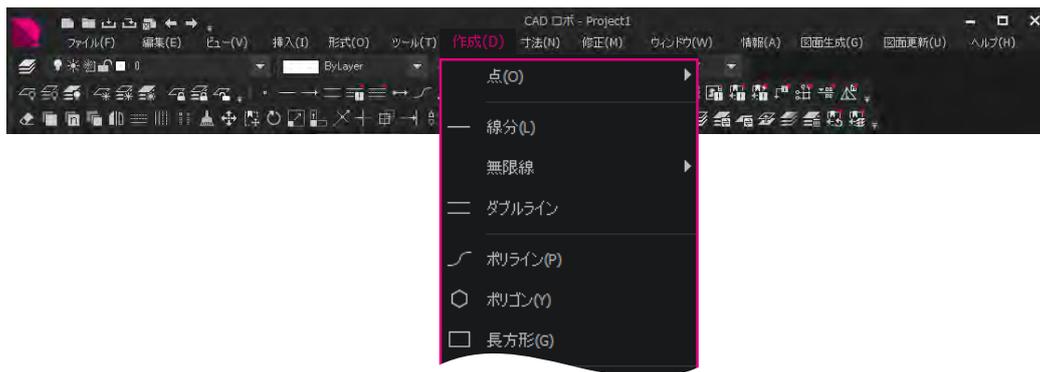
右→左：枠線にかかっている部材が選択されます。



## ◆ 作図・編集

作図と編集はメインメニュー、アイコンメニュー、コマンドを直接入力の方法があります。

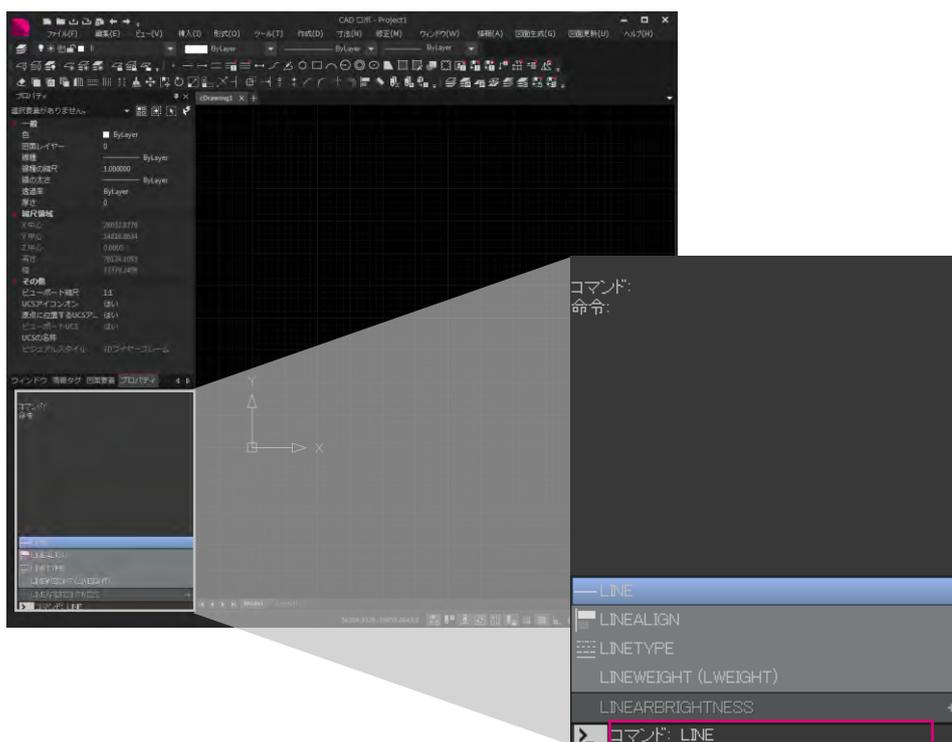
メインメニューからプルダウンして選択



ツールバーからアイコンを選択

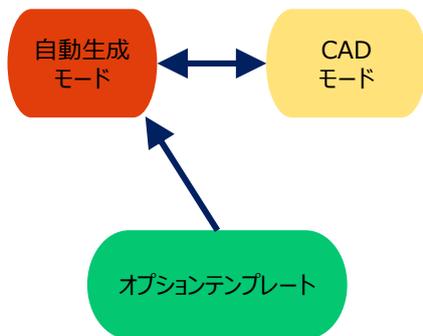


コマンドウィンドウにコマンドを入力

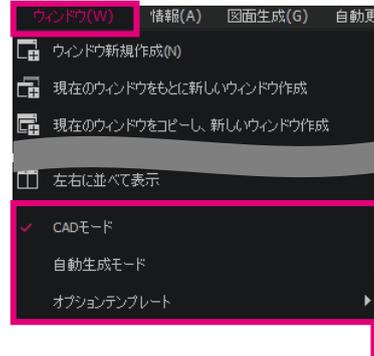


# midas Drawing のモードとは？

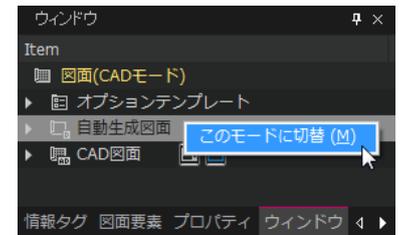
CAD ロボのDrawingには2つのモードとテンプレートがあり、メインメニューの[ウィンドウ]またはツリーメニューから切り替えることができます。



## メインメニュー[ウィンドウ]

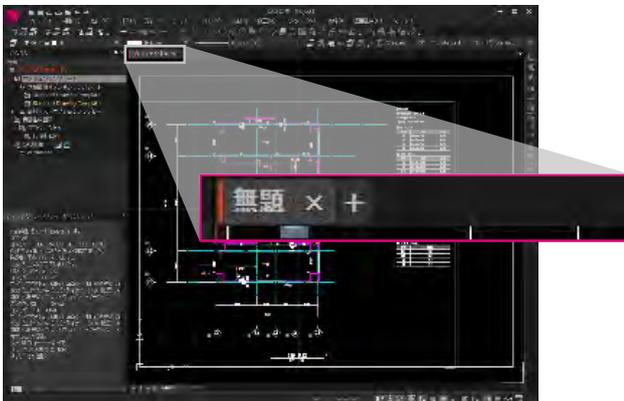


## ツリーメニュー



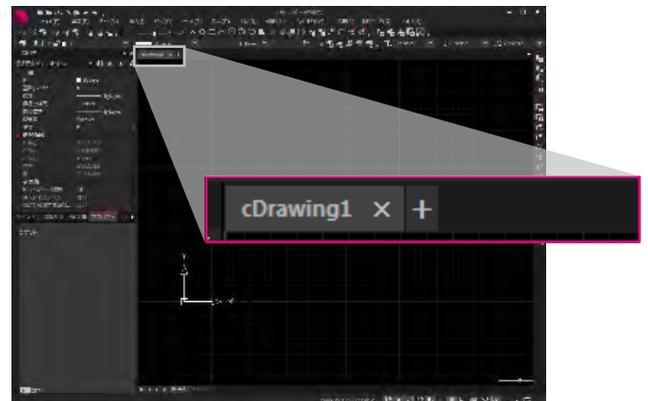
## 図面(自動生成モード)

eGenファイルから図面を自動生成するモードです。  
(タブ色：赤)



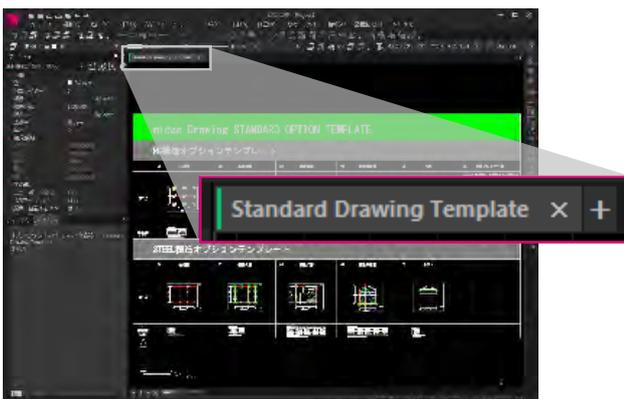
## 図面(CADモード)

一般的なCAD作業をするモードです。  
自動生成モードで生成した図面を完成させます。  
(タブ色：グレー)



## 図面(オプションテンプレート)

自動生成する図面のスタイルを設定するテンプレートです。  
(タブ色：緑)



# ブロックスタイル一覧

伏軸図面オプションテンプレートに設定してあるオブジェクトを下記のブロックに変更することにより、ご自身や会社のスタイルに近づけて自動生成することが可能です。  
このブロックスタイル一覧は、伏軸オプションテンプレートに保存してあります。

## ■ ブロック名称例

<b>G-AXIS BUBBLE-SYM 01</b> 
---------------------------------

※印は初期設定されているブロックです

## ■ 通り芯名

No.	G-AXIS BUBBLE-SYM	
※01		例 
02		
03		
04		
05		

## ■ 図面/リストタイトル

No.	G-VIEW TITLE-SYM	
※01		例 <b>11階 伏図</b> 縮尺: 1:100
02		<b>11階 伏図</b> 縮尺: 1:100
03		<b>11階 伏図</b> 縮尺: 1:100
04		地中梁リスト
05		■ 地中梁リスト
06		11階 伏図 1:100
11		<b>1</b> 11階 伏図 縮尺: 1:100
12		<b>1</b> 11階 伏図 縮尺: 1:100
13		<b>1</b> 11階 伏図 縮尺: 1:100

## ■ 軸組図レベル

No.	G-LEVEL BUBBLE-SYM			
01a		例 ▼設計GL	※00a	▲地中梁下端 
※01b		▲設計GL	※00b	▲梁天端 
01c		▽設計GL	00c	△地中梁下端 
01d		△設計GL	00d	△梁天端 
※02a		▼3FL		
02b		▼3FL 設計GL+10000		
02c		▼50FL 設計GL+10000		
02d		▽3FL		
02e		▽3FL 設計GL+10000		
02f		▽50FL 設計GL+10000		

## ■ 断面切断記号

No.	G-VIEW GUIDE-SYM	
※01		例 
01a		
※02		
03		
03a		
04		

## ■部材符号

初期設定では、部材種類ごとに部材符号の設定を変えています。それぞれ個々にノーマルタイプ、囲みタイプ1、囲みタイプ2に変更出来ます。

### ・初期設定

ブロック名称	ブロック	使用箇所
※S-COLM-SYM	□	RC柱
※S-WALL-SYM	□	RC壁
※S-BEAM-SYM	□	RC梁
※S-SLAB-SYM	□	RC床
※S-BRACE-SYM	□	RC ブレース
※S-SCOLM-SYM	□	S柱
※S-SBEAM-SYM	□	S梁
※S-DECKSLAB-SYM	□	S床
※S-SBRACE-SYM	□	S ブレース
※S-FOOT-SYM	□	基礎
※S-PILE-SYM	□	杭

### ・ノーマルタイプ

No.	S-MEMBER GROUP-SYM
01	□

※全ての部材符号を同じレイヤーにする場合に使用

### ・囲みタイプ1

No.	S-MEMBER GUIDE-SYM
01	□
02	◻
03	◻
04	◻
05	◻
06	◻

※囲み内に入ったオブジェクトを非表示にしたい場合に使用

### ・囲みタイプ2

No.	S-MEMBER GUIDE-SYM
07	◻
08	◻
09	◻
10	◻
11	◻

※囲み内に入ったオブジェクトを表示する場合に使用

## ■鉄骨継手記号

No.	S-MEMBER JOIN-SYM	
※01	+	例 
02	↑	
03	↑	

## ■デッキスラブ敷込み方向記号

No.	S-DECKSLAB1-SYM	
※01	←	例 DS1 ←

## ■壁スリット記号

No.	S-WALL SLIT-SYM
※01	◀

## ■寸法スタイル

### ・通り寸法

※G-AXIS-DIM	
	寸法補助線起点からのオフセット: 1 矢印サイズ: 0.85 文字高さ: 2

### ・部材寸法

※S-MEMB-DIM	
	寸法補助線起点からのオフセット: 1 矢印サイズ: 0.5 文字高さ: 1.5

注) 寸法スタイルはブロックではありません [寸法スタイル管理] でカスタマイズ可能です



# 基本的な操作コマンド&ショートカットキー

## ◆ コマンド

アイコン	メニュー	コマンド	説明	メニューバー
	線	LINE	線を引く	[作成]
	円	CIRCLE	円を描く	[作成]
	四角	RECTANG	長方形ポリラインを描く	[作成]
	文字	TEXT	文字を書く	[作成]
	削除	ERASE	オブジェクトを削除する	[修正]
	コピー	COPY	オブジェクトをコピーする	[修正] → 「単独編集」
	オフセット	OFFSET	平行コピー	[修正] → 「単独編集」
	移動	MOVE	オブジェクトを移動する	[修正] → 「単独編集」
	ストレッチ	STRETCH	オブジェクトをストレッチする	[修正] → 「単独編集」
	トリム	TRIM	線を切断する	[修正] → 「相互編集」
	延長	EXTEND	線を延長する	[修正] → 「相互編集」

## ◆ ショートカットキー

アイコン	ショート カットキー	説明	メニューバー	アイコン	ショート カットキー	説明	メニューバー
	Ctrl + Z	元に戻す	[編集]		Ctrl + C	クリップボードに コピー	[編集]
	Ctrl + Y	やり直し	[編集]		Ctrl + V	貼り付け	[編集]
	Ctrl + X	切り取り	[編集]		ESC	現在のコマンドを キャンセル	[編集]



# 伏図を自動生成する

## I 伏図、まだ手で描いていませんか？

### <自動生成>

- ・ CSVデータで簡単に伏図を自動生成する方法 21

## II 自分の事務所のスタイルで図面を自動生成しませんか？

### <図面枠登録>

- ・ 図面を描くたびに図面枠情報を入力する手間を減らす方法 24

### <図面スタイル>

- ・ 線やハッチングなどを自分の事務所のスタイルで伏図を自動生成する方法 31

### <連続印刷>

- ・ 数十枚、数百枚の図面を1階のクリックで一度に印刷する方法 38

### <書き出し>

- ・ 普段お使いのCADで編集する方法 42

### <偏心/レベル移動>

- ・ 部材の偏心やレベルを移動させてより正確な伏図を自動生成する方法 47



# <自動生成>

## CSVデータで簡単に 伏図を自動生成する方法 -ナビ活用-

準備物：SS3のCSVデータ

※CADロボでは、midas eGenでSS3のCSVを読み込み、midas Drawingで構造図を生成します。



### 全6ステップ

STEP 1. ナビゲーション起動

STEP 2. CSVデータの読み込み

STEP 3. モデルファイルを保存

STEP 4. 図面生成プログラム(midas Drawing)の起動

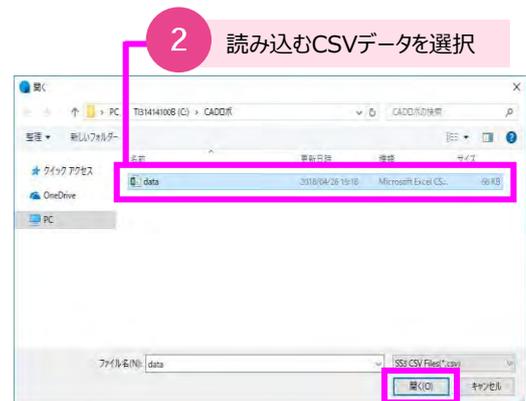
STEP 5. 生成する伏図を選択

STEP 6. 伏図を配置

### STEP 1. ナビゲーション起動

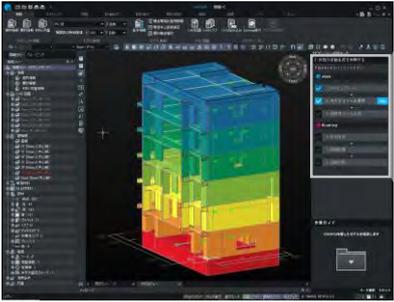


### STEP 2. CSVデータの読み込み



\* CSVのサンプルデータは「C:\Program Files\MIDAS\CAD Robo\midas eGen\FreeNavi\Scenario1」にあります。

### STEP 3. モデルファイルを保存



1 「Run」ボタンをクリック

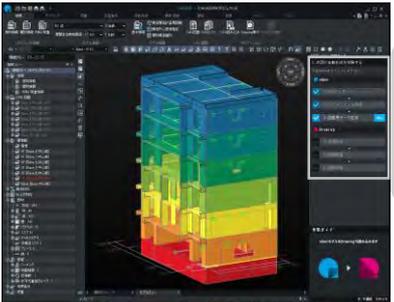


2 ファイル名入力

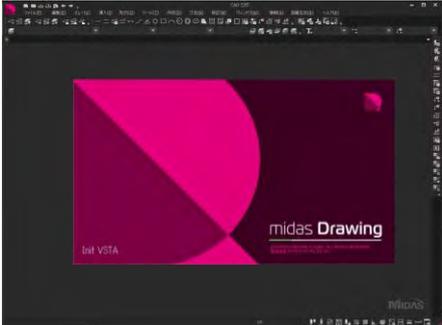
3 「保存」クリック

\* 構造図を生成するためには、midas eGenの拡張子(\*.jmeb)にデータを保存する必要があります。

### STEP 4. 図面生成プログラム(midas Drawing)の起動



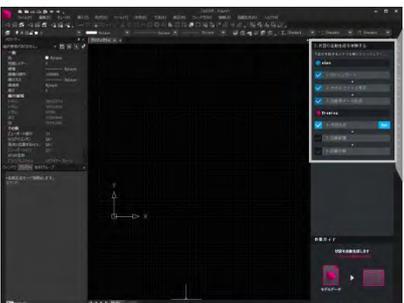
1 「Run」ボタンをクリック



2 「Run」ボタンをクリック

図面自動生成プログラム(midas Drawing)は自動に立ち上がります。

### STEP 5. 生成する伏図を選択



1 「Run」ボタンをクリック

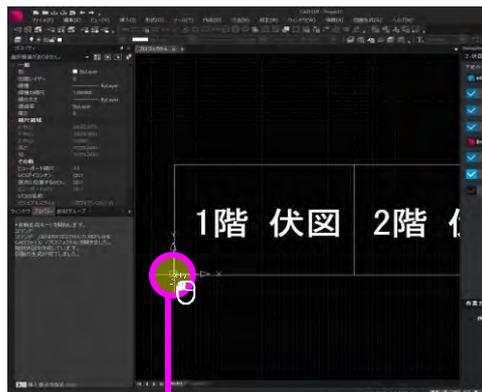


2 生成する伏図の種類、縮尺、図面枠を選択

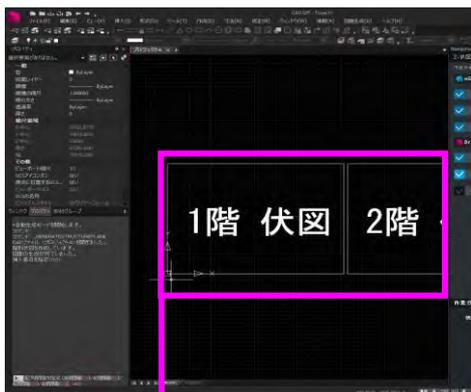
図面名	基準	縮尺	切替位置	可視深さ	縮尺	図面枠
1F 伏図	1F	1:5	0	1:100		midas SHEET A1
2F 伏図	2F	1:5	0	1:100		midas SHEET A2
3F 伏図	3F	1:5	0	1:100		midas SHEET A3
4F 伏図	4F	1:5	0	1:100		midas SHEET A4
5F 伏図	5F	1:5	0	1:100		midas SHEET A5
6F 伏図	6F	1:5	0	1:100		midas SHEET A6
7階 伏図	7階	1:5	0	1:100		midas SHEET A7

3 「OK」クリック

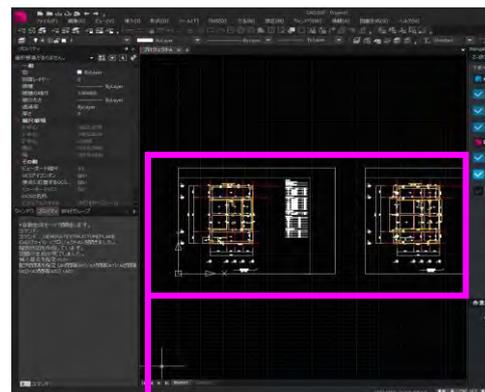
## STEP 6. 伏図を配置



1 生成図を任意の位置に配置  
(画面上でクリック)



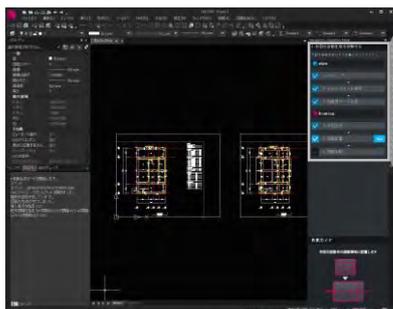
2 図面の配列間隔を指定  
(画面上でクリック)



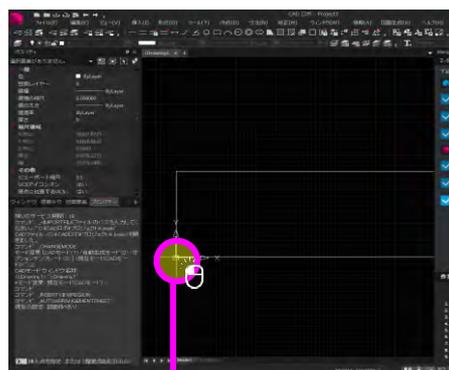
3 図面確認(図面枠なし)

+) 配列間隔調整方法: ① マウスを左右に動かす  
② メッセージウィンドウから図面枠の用紙サイズを選ぶ

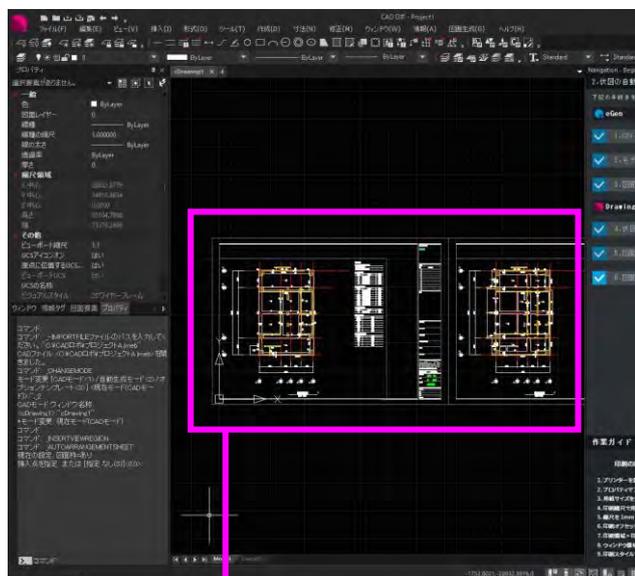
+) 外側の線: 指定した図面枠の用紙サイズ  
内側の線: 作図領域



4 「Run」ボタンをクリック



5 図面枠付きの図面を任意の位置に配置  
(画面上でクリック)



6 図面枠付きの図面確認

# ＜図面枠登録＞

## 図面を描くたびに図面枠情報を入力する手間を減らす方法 -ナビ活用-

準備物：登録する図面枠のCADデータ

事務所の図面枠を一度登録しておけば、1つ1つ入力していたプロジェクト名や図面名、縮尺なども自動で図面枠に反映されます。また、連続印刷や図面リスト作成が簡単・便利にできます。軸組図や部材リストも登録した図面枠で自動生成できます。

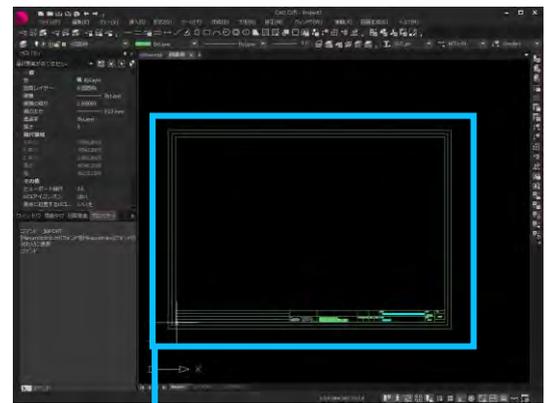
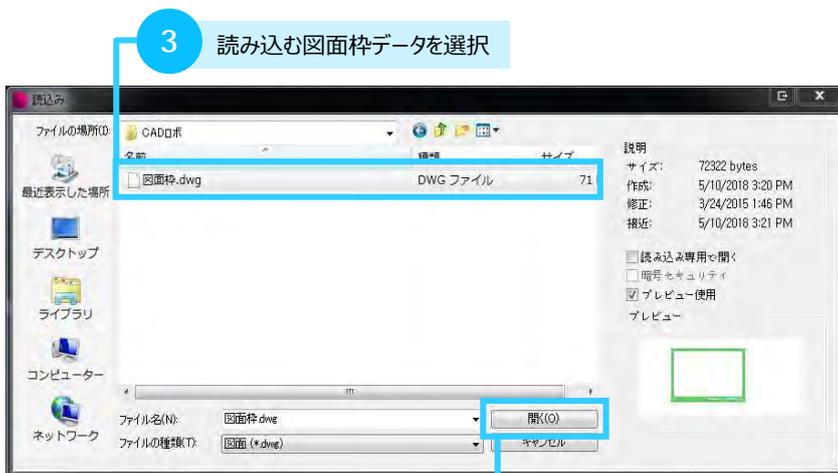
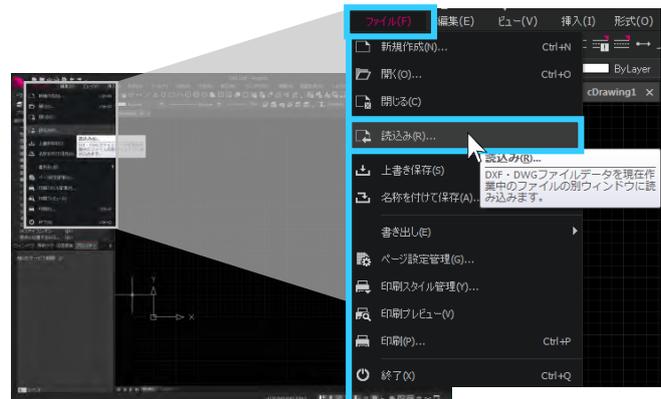
※CADロボでは、midas eGenでSS3のCSVを読み込み、midas Drawingで構造図を生成します。



### 全5ステップ

- STEP 1. 図面枠データ(DWG・DXFファイル)の読み込み
- STEP 2. 情報タグの割り当て
- STEP 3. 図面枠形式の登録
- STEP 4. 図面枠をDrawingに登録
- STEP 5. 登録した図面枠で伏図自動生成

## STEP 1. 図面枠データ(DWG・DXFファイル)の読み込み



\* 図面枠のサンプルデータは<http://cadrobo-online-help.midasit.co.jp/navigation-04>からダウンロードできます。

\* 読み込んだ図面枠がブロックの場合、分解をします。

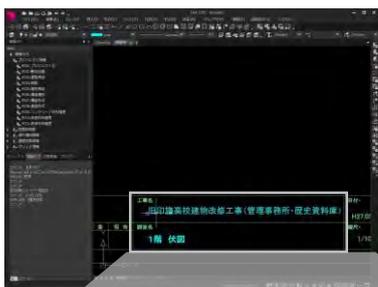


1 [修正]→「分解」選択

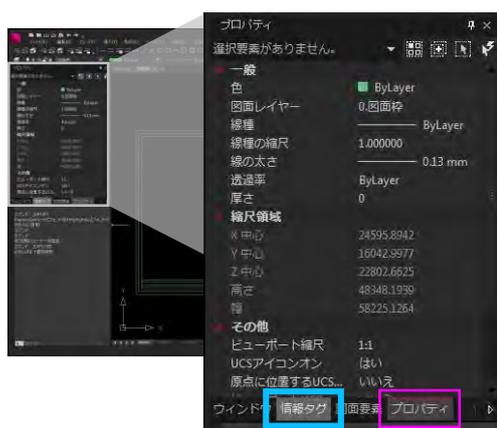
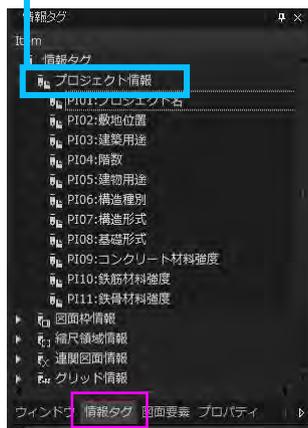
2 図面枠全体を選択後、「Enter」またはマウス右クリック

## STEP 2. 情報タグの割り当て

2 [情報タグ]を確認→「プロジェクト情報」展開

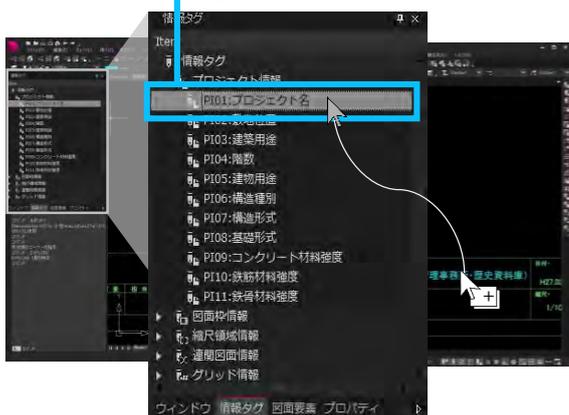


1 プロジェクト名をクリックして選択

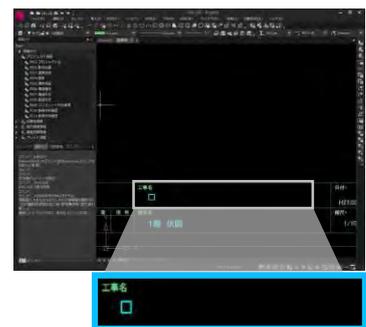


3 ツリーメニューを[プロパティ]から [情報タグ]表示に変更

4 「PI01:プロジェクト名」をドラッグ・アンド・ドロップ



5 [後で入力(N)]クリック または「N」を入力



6 割り当て(「□」表示)を確認

\* 情報タグが正常に割り当てされた場合、□表示になります。

8 「図面枠情報」→「SI01:図面枠 番号」をドラッグ・アンド・ドロップ

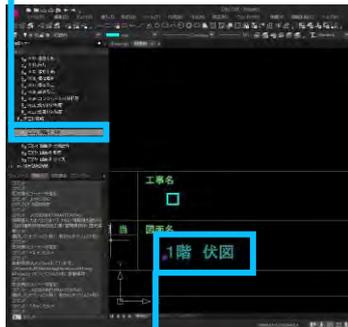


7 図面枠番号選択



9 「□」表示を確認

11 「SI02:図面枠 名称」をドラッグ・アンド・ドロップ

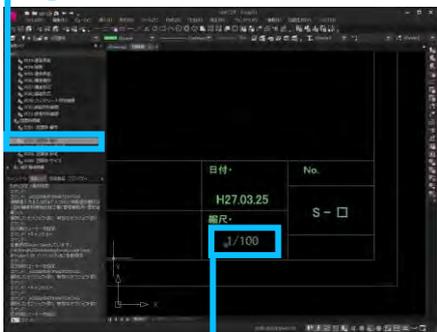


10 図面名選択



12 「□」表示を確認

14 「SI03:図面枠 縮尺」をドラッグ・アンド・ドロップ



13 縮尺選択



15 「□」表示を確認

### STEP 3. 図面枠形式の登録

1 [作成]→「図面枠形式定義」選択

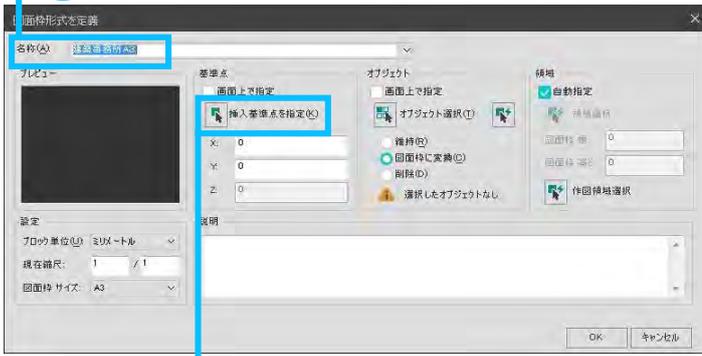


2 「図面枠形式を定義」ダイアログ確認

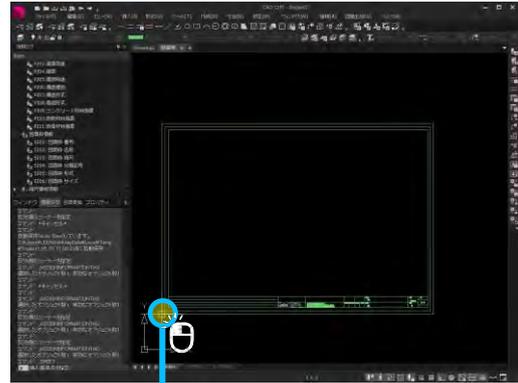


図面枠形式定義  
新しい図面枠ブロックを定義して保存します。

### 3 登録する図面枠の名前を入力

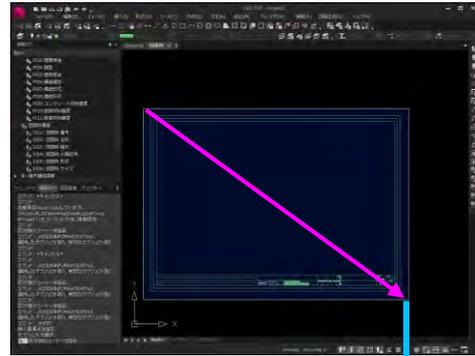
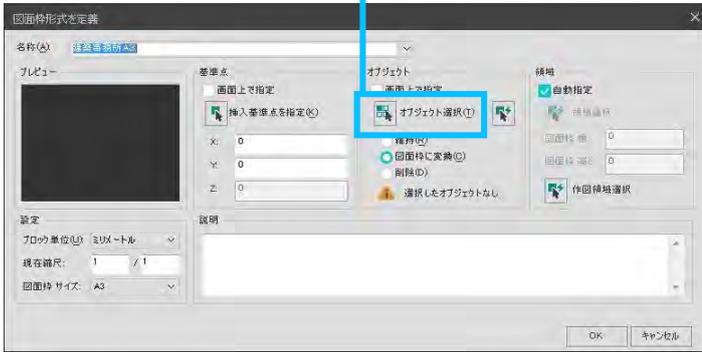


### 4 「挿入基準点を指定」をクリック

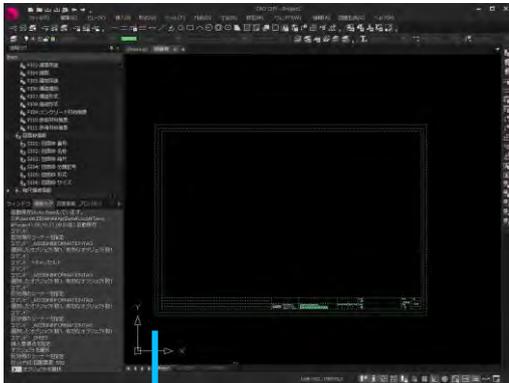


### 5 挿入基準点でマウスクリック

### 6 「オブジェクト選択」をクリック



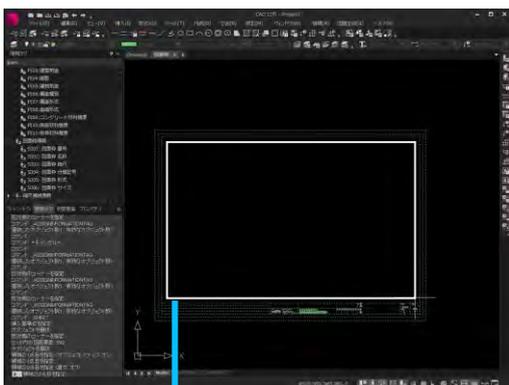
### 7 図面枠全体を選択



### 8 選択後、「Enter」またはマウス右クリック



### 9 「作図領域選択」をクリック



### 10 作図領域を選択して指定

### 12 プレビューで確認

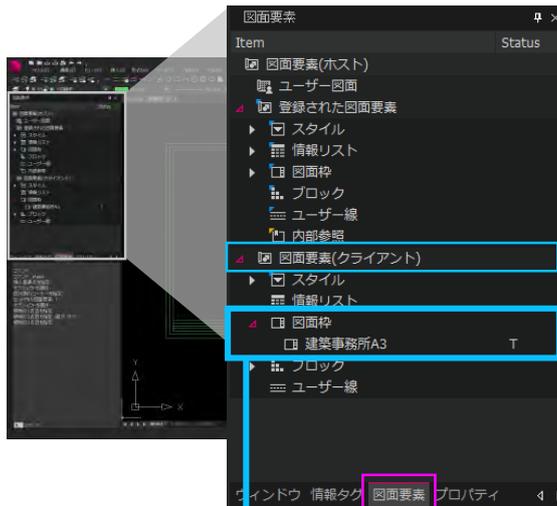


### 11 読み込んだ図面枠の縮尺と図面枠サイズを設定

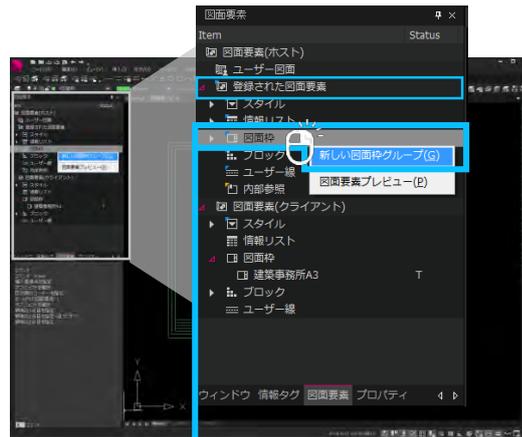
### 13 「OK」をクリック

\* サンプルの図面枠は1/1の縮尺です。

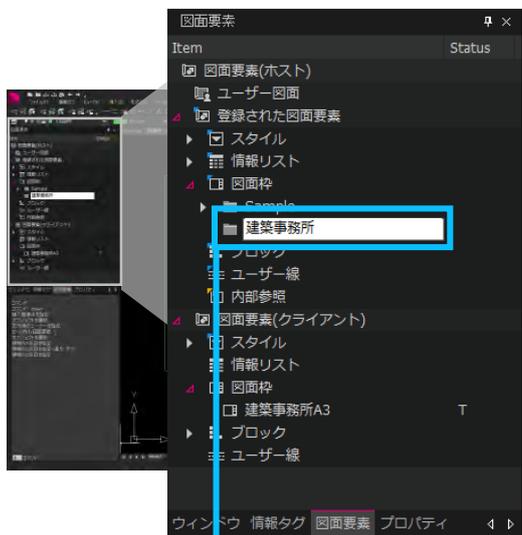
## STEP 4. 図面枠をDrawingに登録



1 ツリーメニュー[図面要素]→「図面要素(クライアント)」  
→「図面枠」に登録されていることを確認



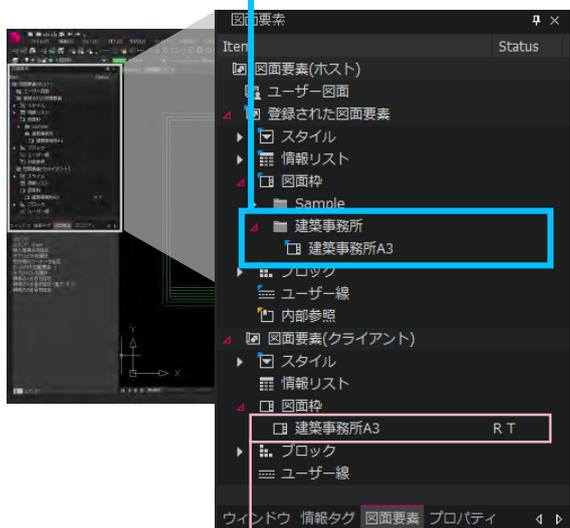
2 「登録された図面要素」→  
「図面枠」を右クリックして  
「新しい図面枠グループ」を選択



3 グループ名入力後、「Enter」



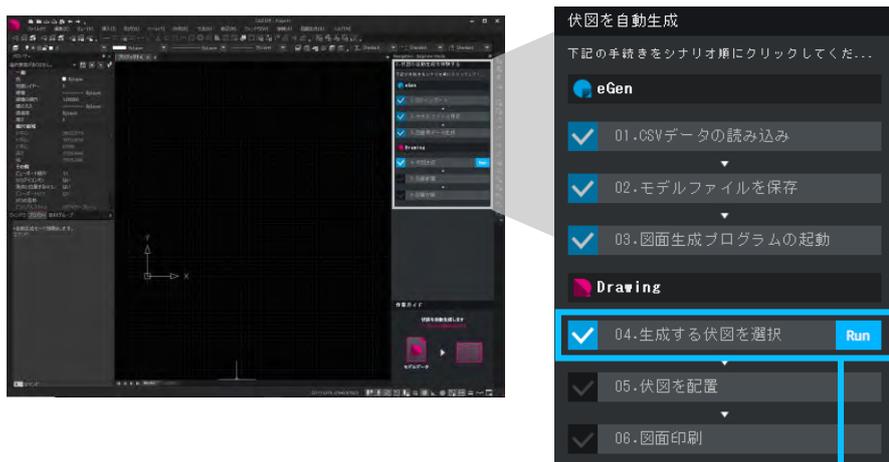
4 新規図面枠を新規図面枠グループに  
ドラッグ・アンド・ドロップ

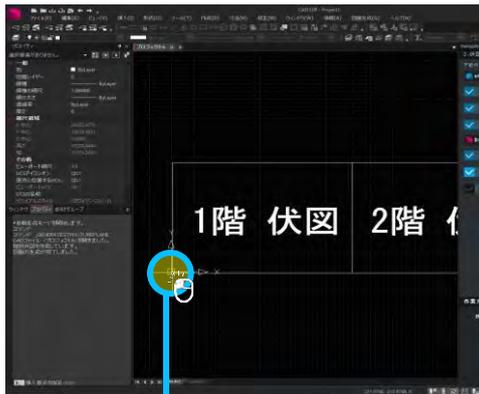


5 図面枠が登録されたことを確認

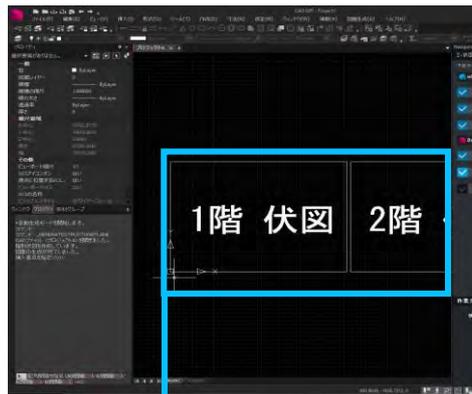
5-1 図面枠が正常にCADロボに登録されると「T」→「RT」に変わります。

## STEP 5. 登録した図面枠で伏図自動生成 – ナビ活用 –

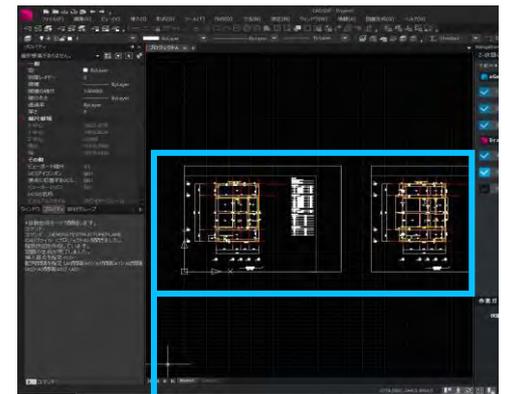




7 生成図を任意の位置に配置  
(画面上でクリック)



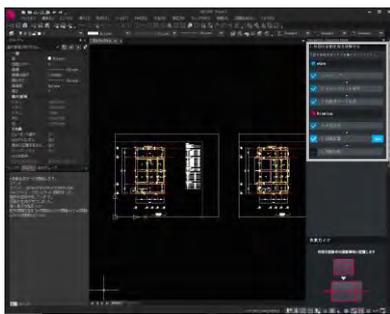
8 図面の配列間隔指定



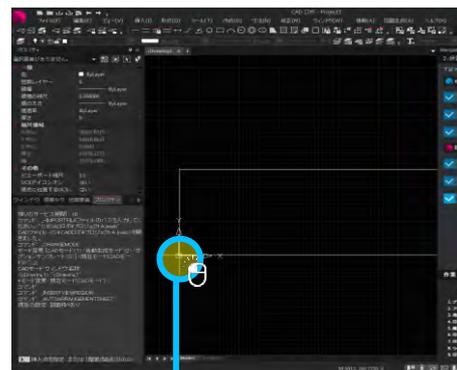
9 図面確認(図面枠なし)

+ 配列間隔調整方法: ① マウスを左右に動かす  
② メッセージウィンドウから図面枠の用紙サイズを選ぶ

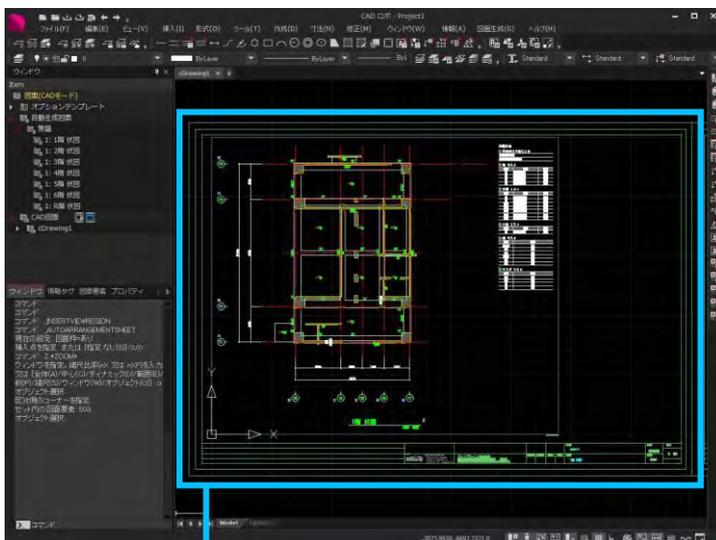
+ 外側の線: 指定した図面枠の用紙サイズ  
内側の線: 作図領域



10 「Run」ボタンをクリック



11 図面枠付きの図面を任意の位置に配置  
(画面上でクリック)



12 登録した図面枠で図面が  
自動生成されたことを確認

# <図面スタイル>

## 線やハッチングなどを事務所のスタイルで 伏図を自動生成する方法

線種/ハッチング/寸法スタイルなどをオブジェクトごとに変更していた面倒くさがが一回のテンプレートの設定でなくなります。  
設計事務所のスタイルで伏図を自動生成し、楽になってください。

※CADロボでは、midas eGenでSS3のCSVを読み込み、midas Drawingで構造図を生成します。



全 4 ステップ

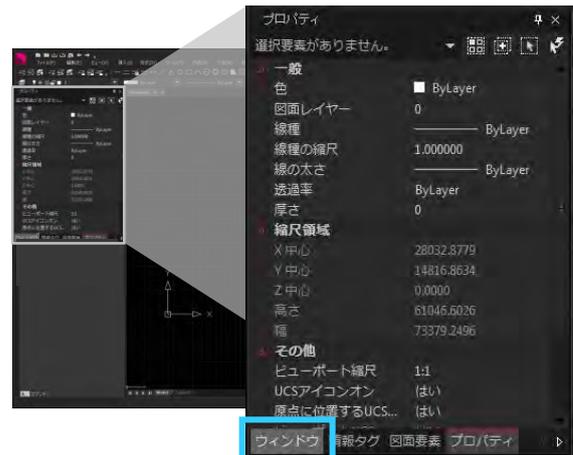
STEP 1. オプションテンプレートを開く

STEP 2. オプションテンプレート編集

STEP 3. オプションテンプレート保存

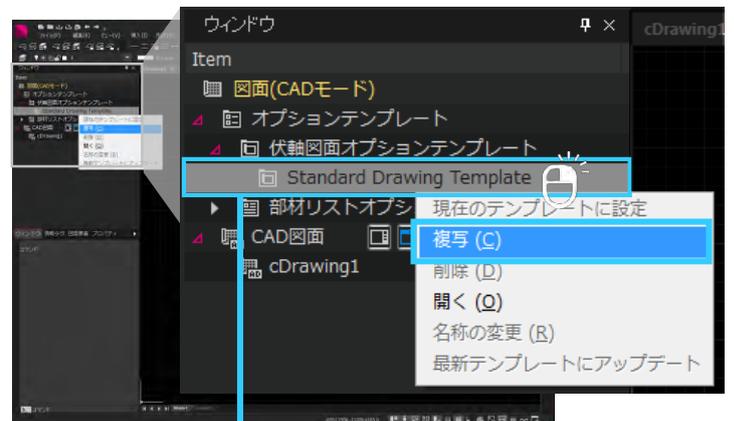
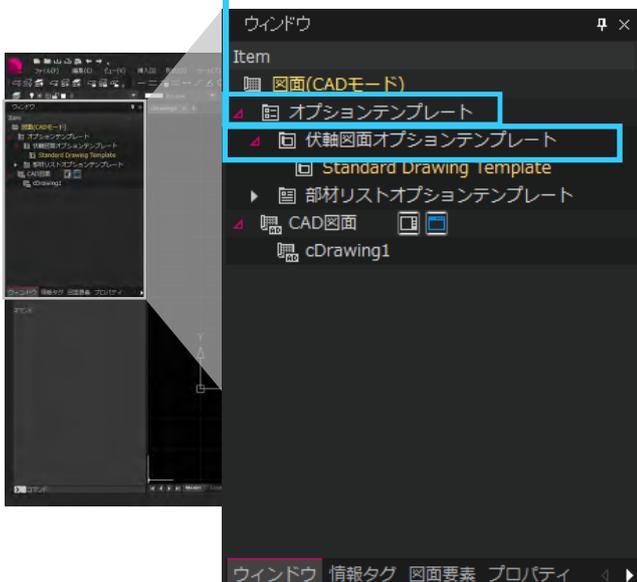
STEP 4. 伏図を生成し、スタイルを確認

### STEP 1. オプションテンプレートを開く



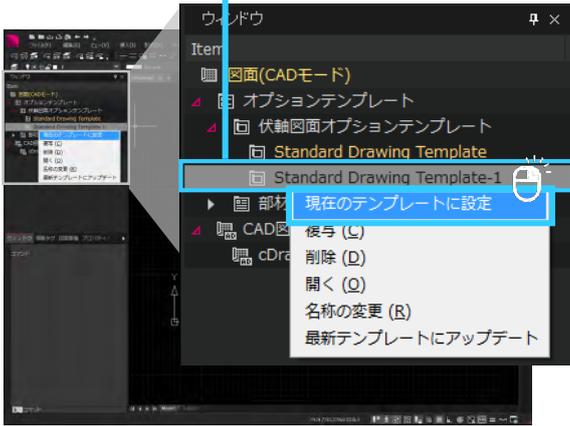
2 ツリーメニューから[ウィンドウ]選択

3 「オプションテンプレート」→  
「伏軸図面オプションテンプレート」の順で展開

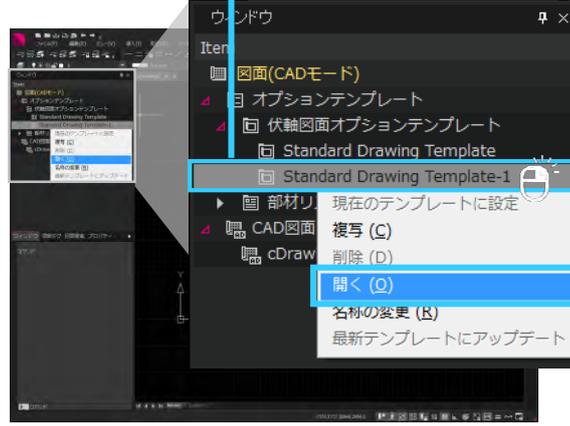


4 「Standard Drawing Template」で  
右クリック→「複製」クリック

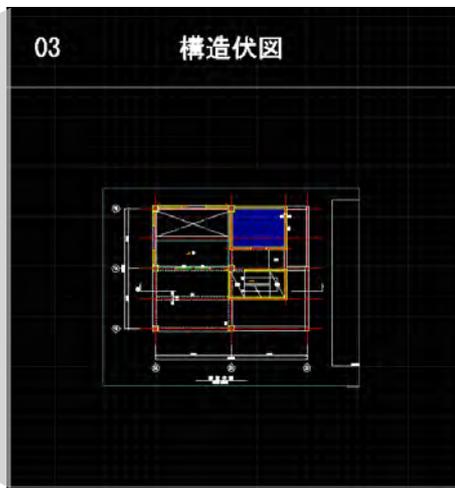
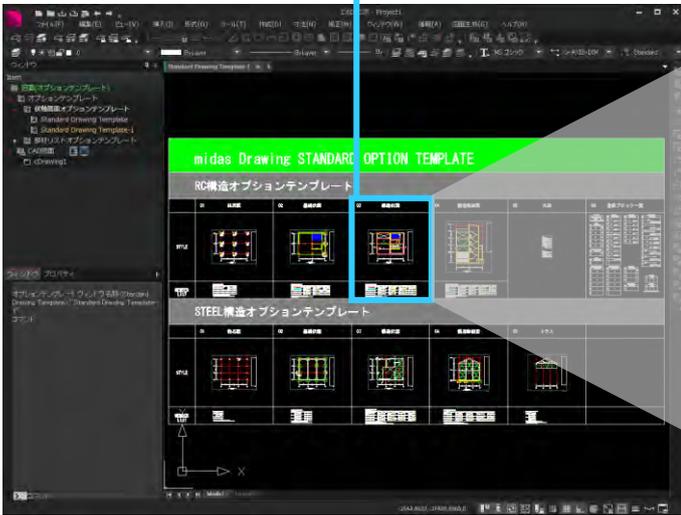
5 「Standard Drawing Template-1」右クリック  
→「現在のテンプレートに設定」クリック



6 「Standard Drawing Template-1」右クリック  
→「開く」クリック



7 「midas Drawing STANDARD OPTION TEMPLATE」  
→「03 構造伏図」を確認

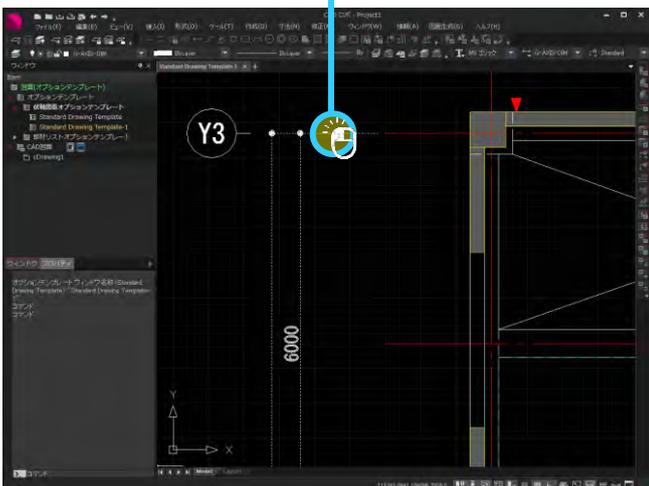


\* 図面構成要素やバブル、寸法、タイトルなどは鉄筋コンクリート、鉄骨、複合材料図面に共通で適用されます。

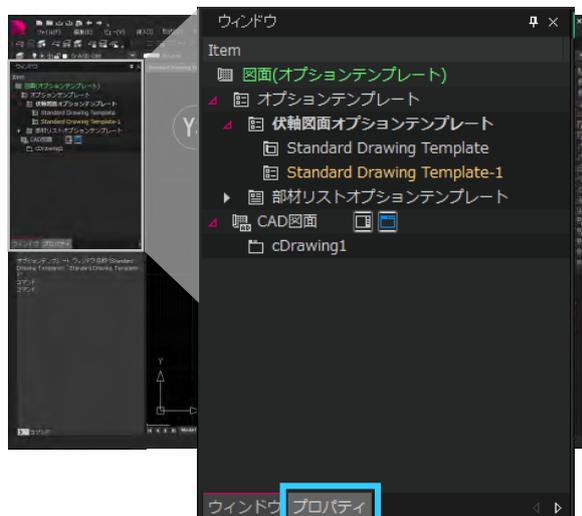
## STEP 2. オプションテンプレート編集

### 2-1. 寸法

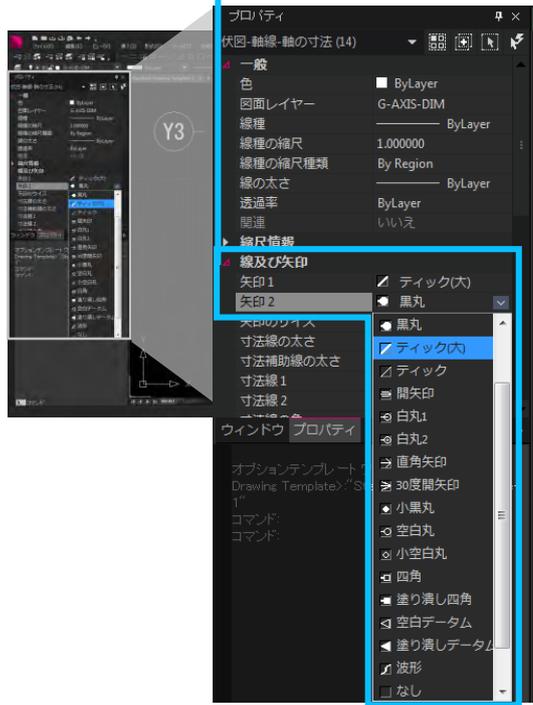
1 寸法線をクリックして選択



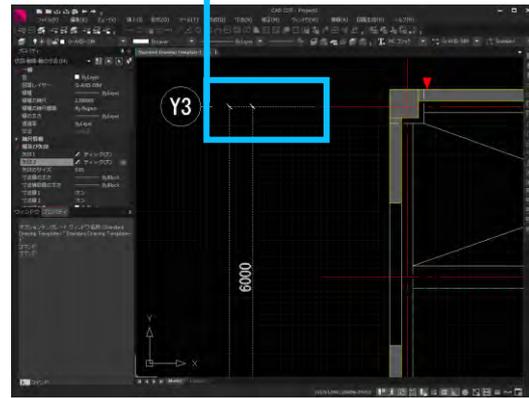
2 ツリーメニューから[プロパティ]選択



2 「線及び矢印」展開→「矢印1、矢印2」から形状を変更



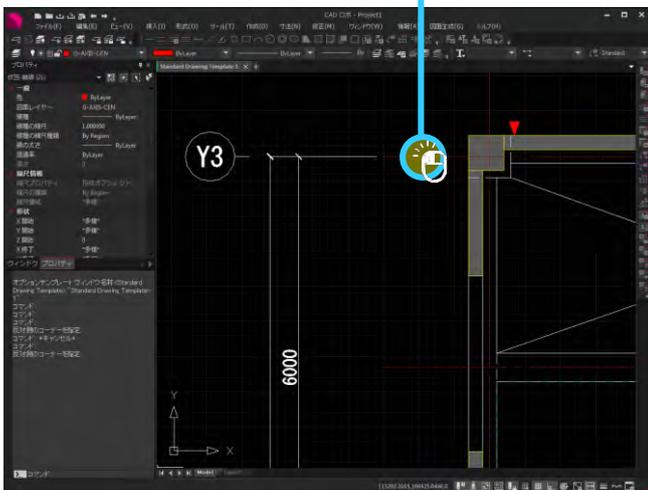
3 反映されたことを確認



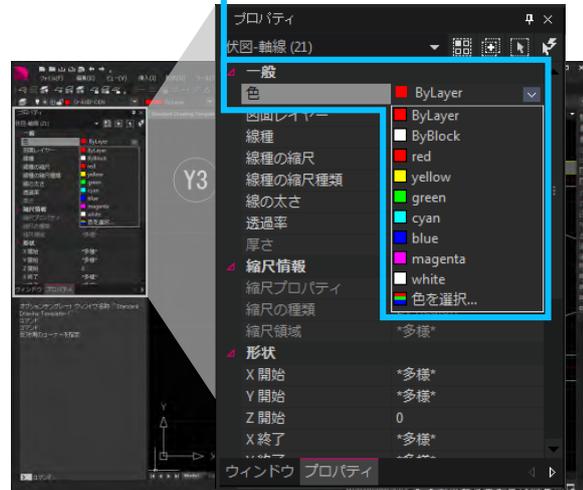
- \* 編集内容はRC造、S造の図面に共通で適用されます。
- \* ESCキーを押すと選択を解除することができます。

2-2. 中心線

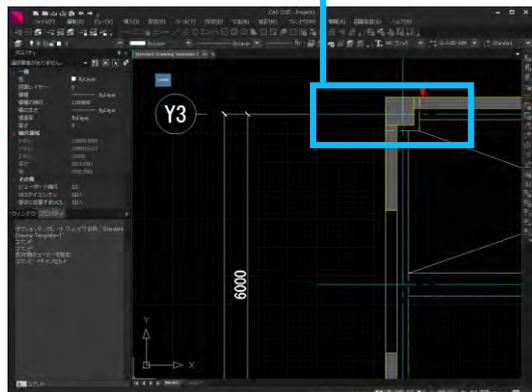
1 中心線をクリックして選択



2 「一般」→「色」から色を変更



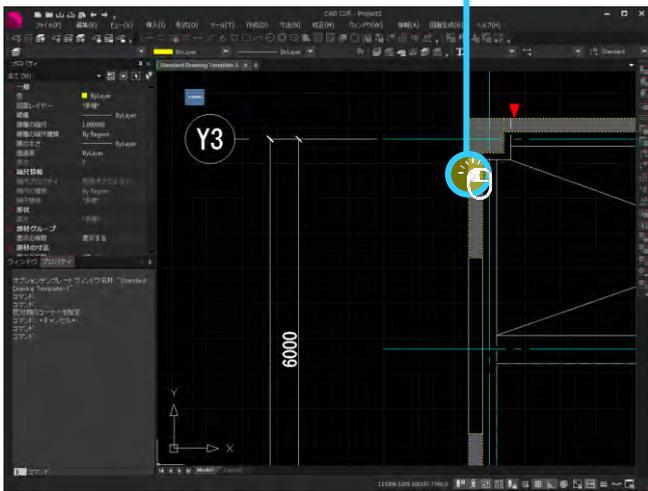
3 反映されたことを確認



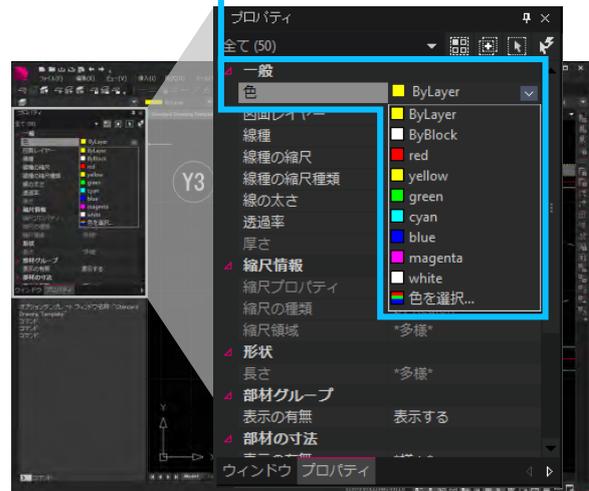
- \* 編集内容はRC造、S造の図面に共通で適用されます。
- \* ESCキーを押すと選択を解除することができます。

## 2-3. 断面線

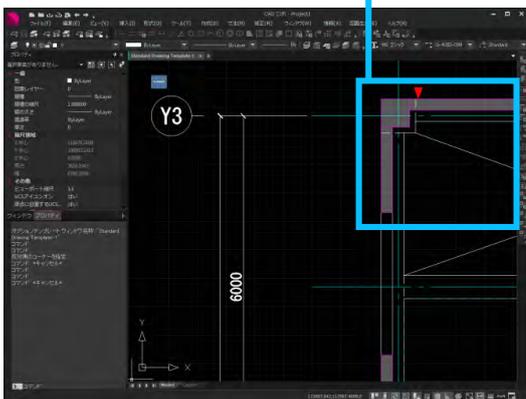
1 柱/壁の断面線をクリックして選択



2 「一般」→「色」から色を変更



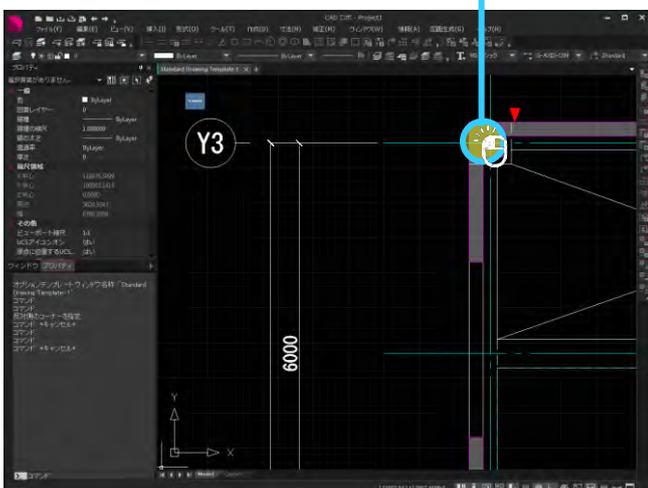
3 反映されたことを確認



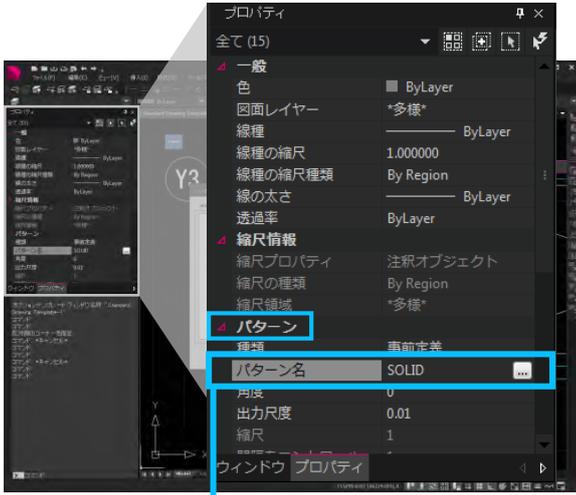
\* ESCキーを押すと選択を解除することができます。

## 2-4. ハッチング

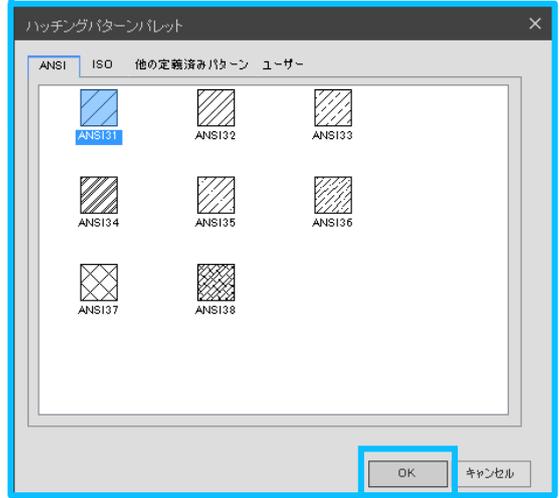
1 柱/壁のハッチングをクリックして選択



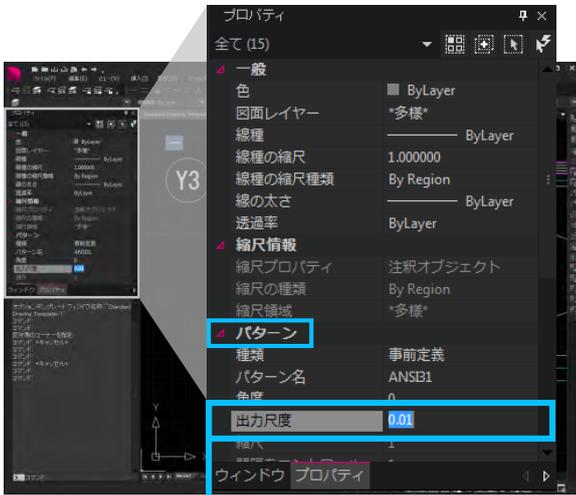
3 「ハッチングパターンパレット」からハッチング選択



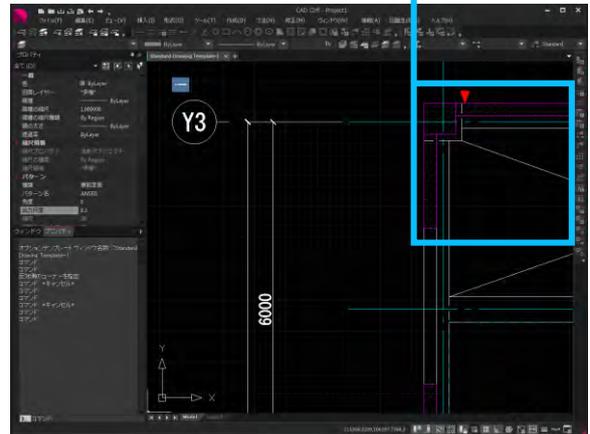
2 「パターン」→「パターン名」の クリック



4 選択後、「OK」をクリック



5 「パターン」→「出力尺度」を入力後、「Enter」

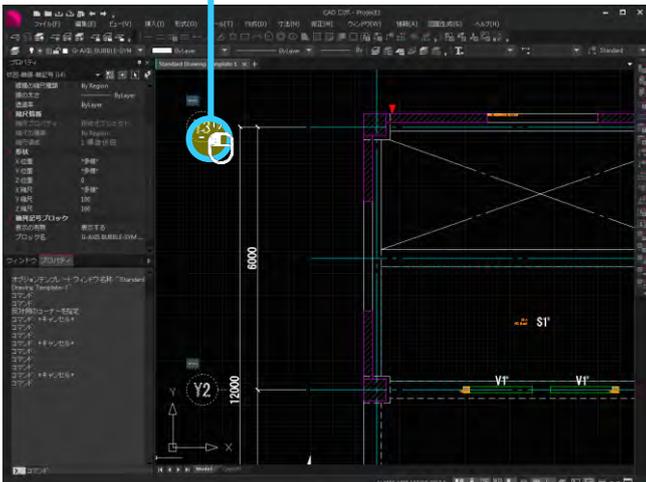


6 反映されたことを確認

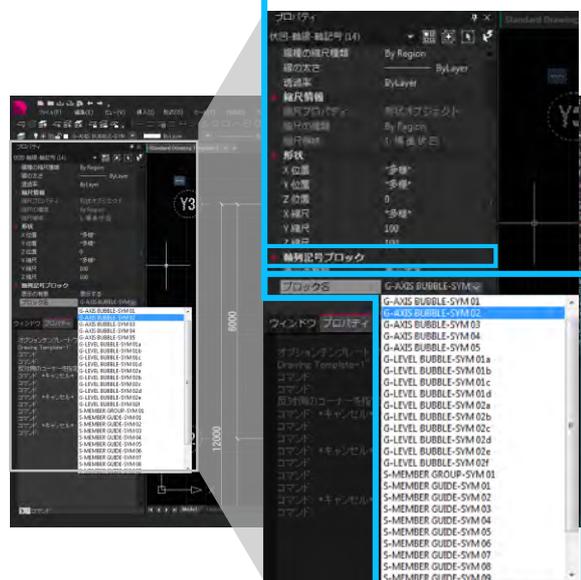
\* ESCキーを押すと選択を解除することができます。

2-5. バブル

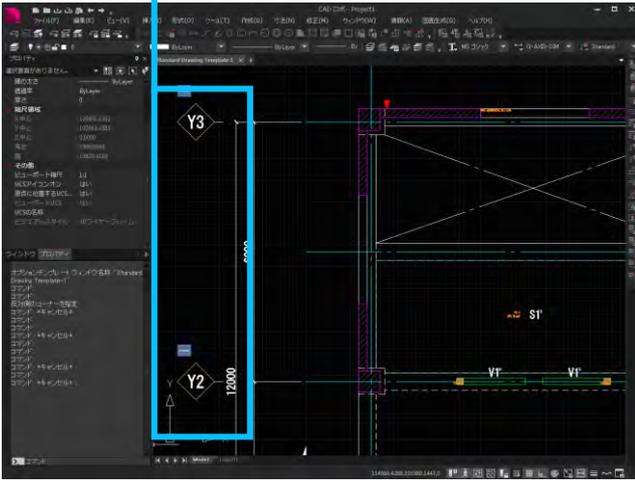
1 バブルをクリックして選択



2 「軸列記号ブロック」→「ブロック名」から選択



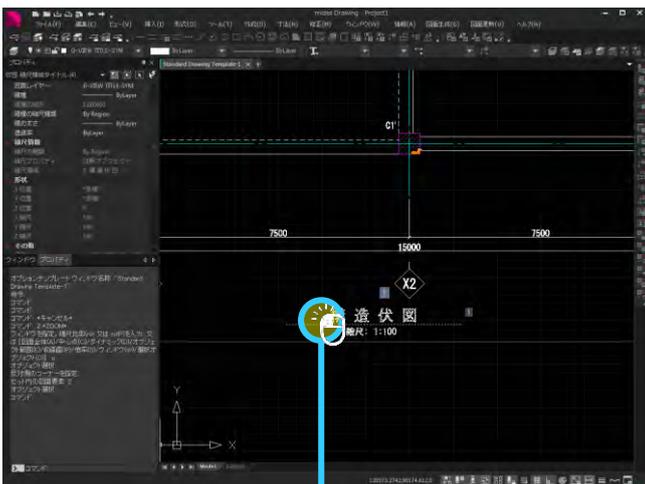
3 反映されたことを確認



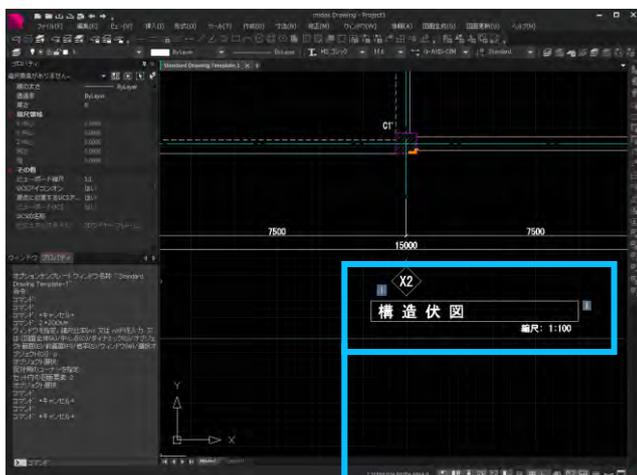
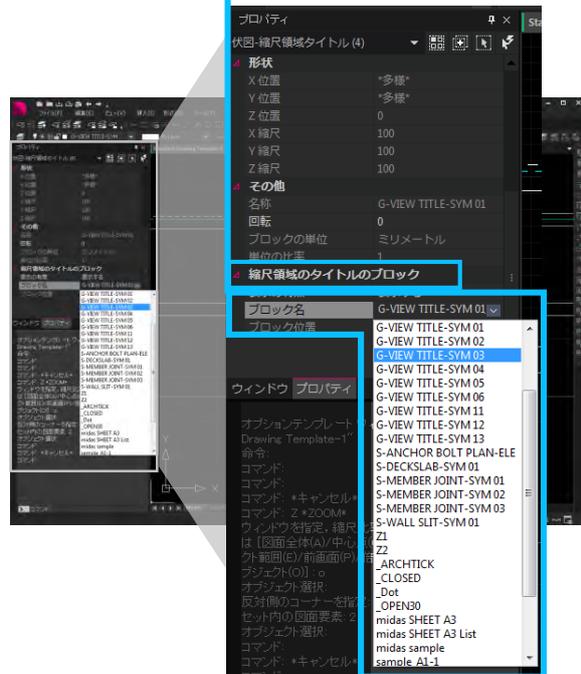
- \* 編集内容はRC造、S造の図面に共通で適用されます。
- \* ESCキーを押すと選択を解除することができます。

2-6. タイトル

2 「縮尺領域のタイトルのブロック」→「ブロック名」から選択



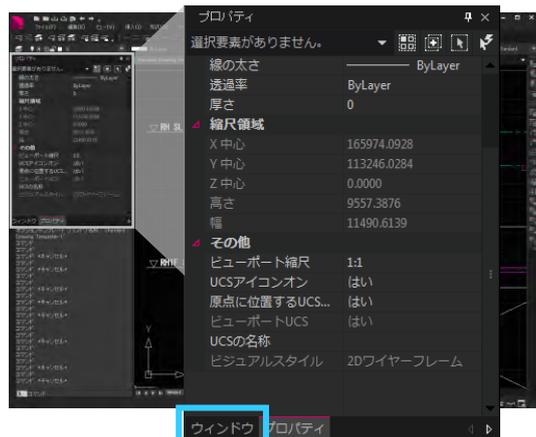
1 タイトルをクリックして選択



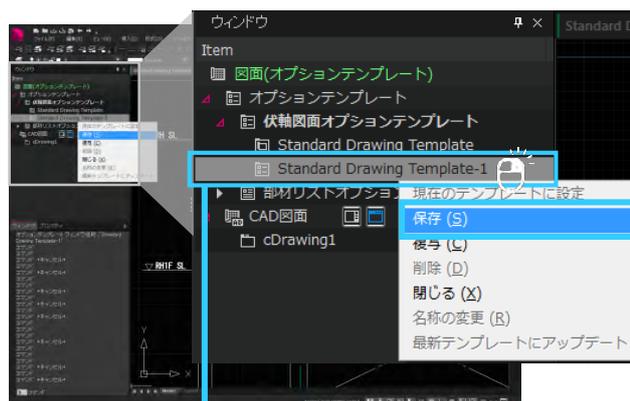
3 反映されたことを確認

- \* 編集内容はRC造、S造の図面に共通で適用されます。
- \* ESCキーを押すと選択を解除することができます。

### STEP 3. オプションテンプレート保存



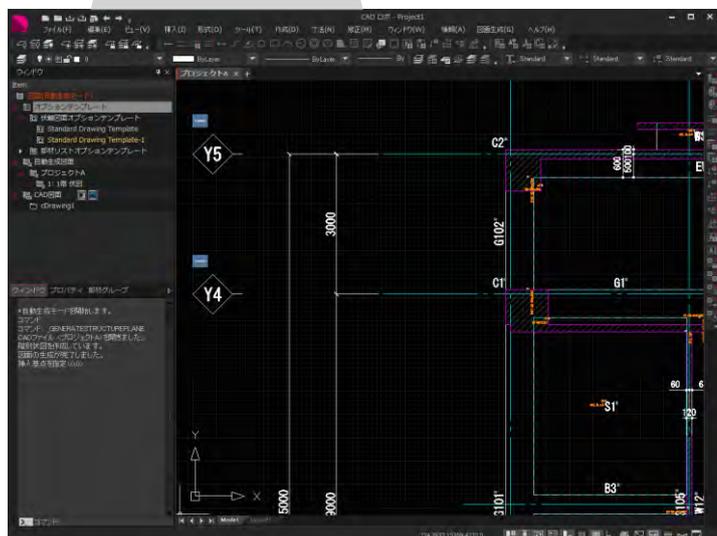
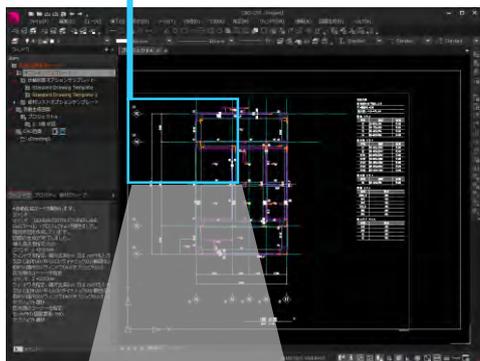
1 ツリーメニューから[ウィンドウ]選択



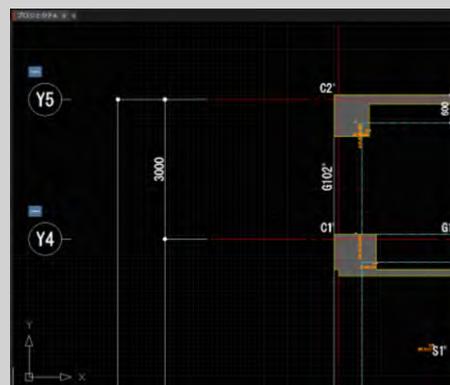
2 「Standard Drawing Template-1」右クリック  
→「保存」クリック

### STEP 4. 伏図を生成し、スタイルを確認

1 保存したテンプレートで生成されたことを確認



図面スタイル変更前



# <連続印刷>

## 数十枚、数百枚の図面を1回のクリックで一度に印刷する方法 -ナビ活用-

準備物：SS3のCSVデータ

図面を一枚ずつファイルに保存しなくても、ペーパー空間でレイアウト設定をしなくても、複数の図面を一度に印刷できます。縮尺が異なる図面を問題ありません。

※CADロボでは、midas eGenでSS3のCSVを読み込み、midas Drawingで構造図を生成します。



### 全7ステップ

STEP 1. ナビゲーション起動

STEP 2. CSVデータの読み込み

STEP 3. モデルファイルを保存

STEP 4. 図面生成プログラム(midas Drawing)の起動

STEP 5. 生成する伏図を選択

STEP 6. 伏図を配置

STEP 7. 伏図を印刷

## STEP 1. ナビゲーション起動



## STEP 2. CSVデータの読み込み



\* CSVのサンプルデータは「C:\Program Files\MIDAS\CAD Robo\midas eGen\FreeNavi\Scenario1」にあります。

3 「開く」をクリック

### STEP 3. モデルファイルを保存



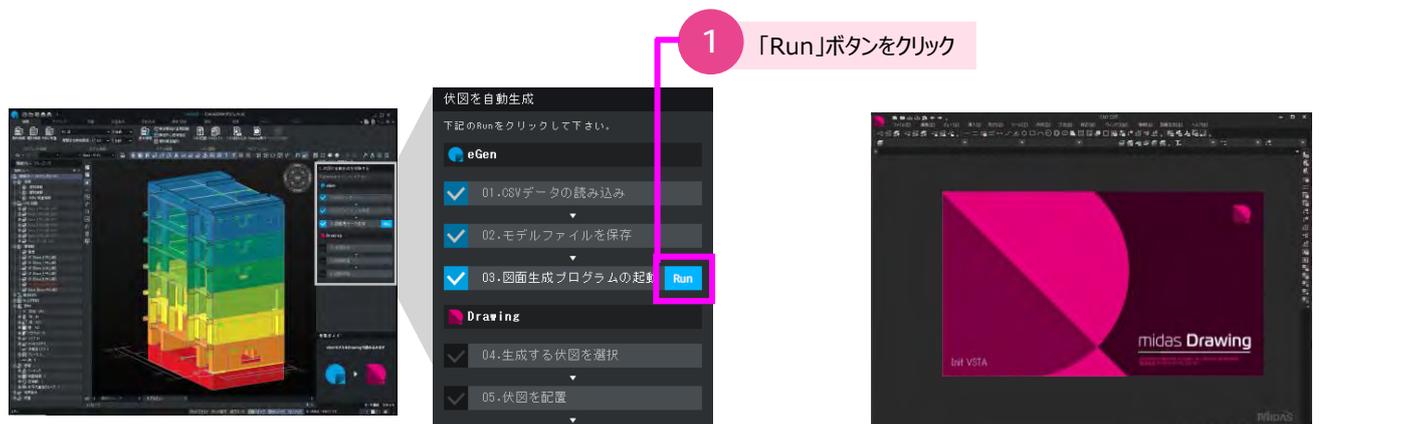
1 「Run」ボタンをクリック

2 ファイル名入力

3 「保存」クリック

\* 構造図を生成するためには、midas eGenの拡張子(\*.jmeh)にデータを保存する必要があります。

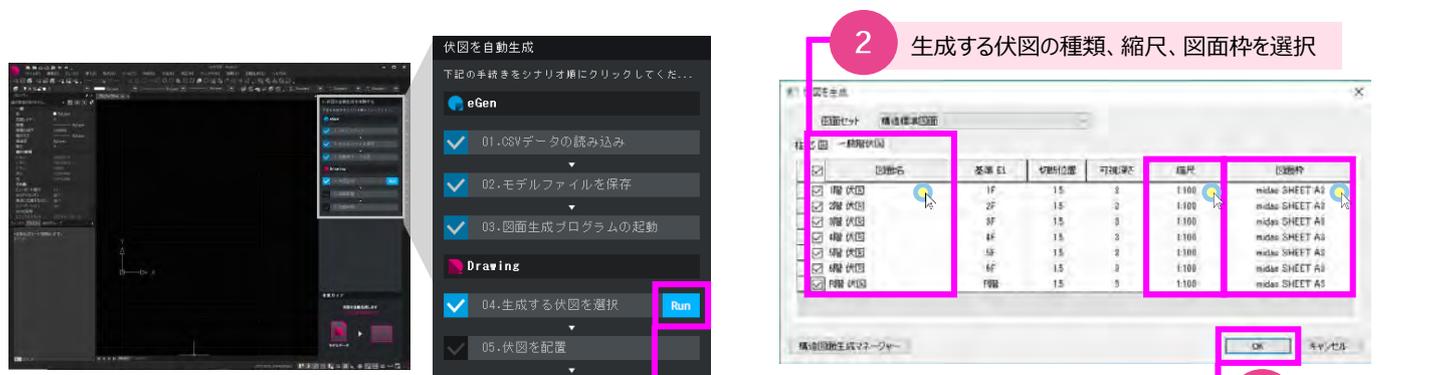
### STEP 4. 図面生成プログラム(midas Drawing)の起動



1 「Run」ボタンをクリック

図面自動生成プログラム(midas Drawing)は自動に立ち上がります。

### STEP 5. 生成する伏図を選択



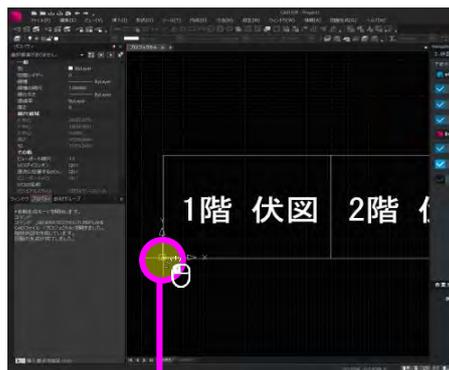
1 「Run」ボタンをクリック

2 生成する伏図の種類、縮尺、図面枠を選択

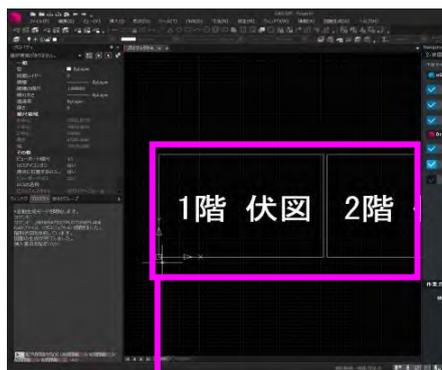
3 「OK」クリック

図面名	基準	尺	切替り位置	可視深さ	縮尺	図面枠
1階 伏図	1F	1.5	0	1:100	midas SHEET A3	
2階 伏図	2F	1.5	0	1:100	midas SHEET A3	
3階 伏図	3F	1.5	0	1:100	midas SHEET A3	
4階 伏図	4F	1.5	0	1:100	midas SHEET A3	
5階 伏図	5F	1.5	0	1:100	midas SHEET A3	
6階 伏図	6F	1.5	0	1:100	midas SHEET A3	
7階 伏図	7階	1.5	0	1:100	midas SHEET A3	

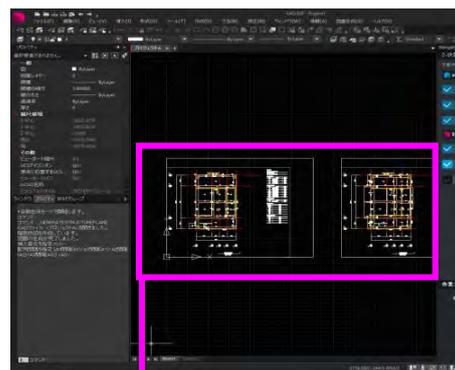
## STEP 6. 伏図を配置



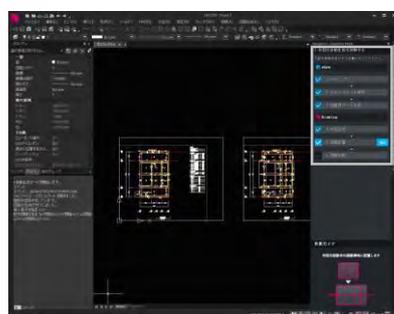
1 生成図を任意の位置に配置  
(画面上でクリック)



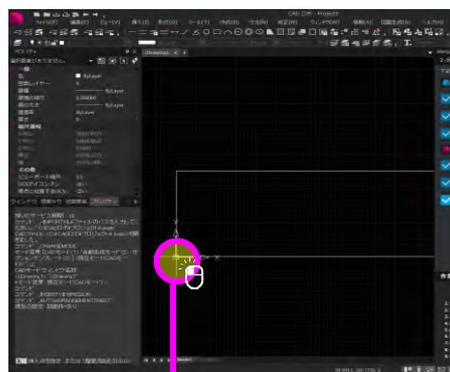
2 図面間間隔指定



3 図面確認(図面枠なし)

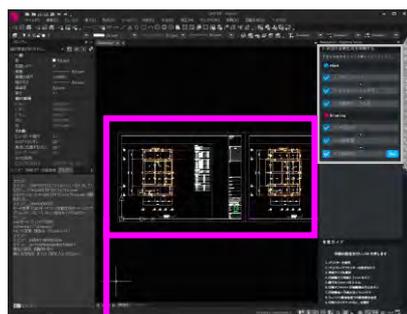


4 「Run」ボタンをクリック



5 図面枠付きの図面を任意の位置に配置  
(画面上でクリック)

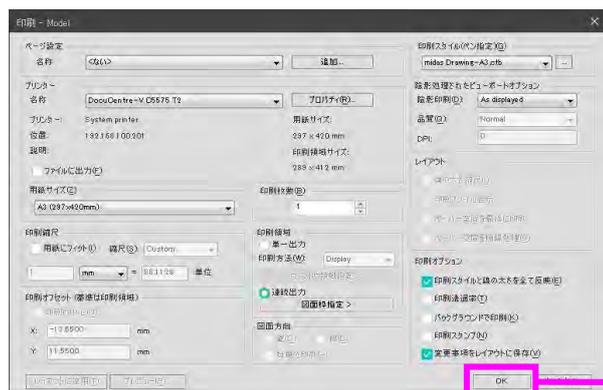
## STEP 7. 印刷



1 図面枠付きの図面確認



2 「Run」ボタンをクリック



3 「OK」クリック

印刷ダイアログ設定は次のページをご参考ください》

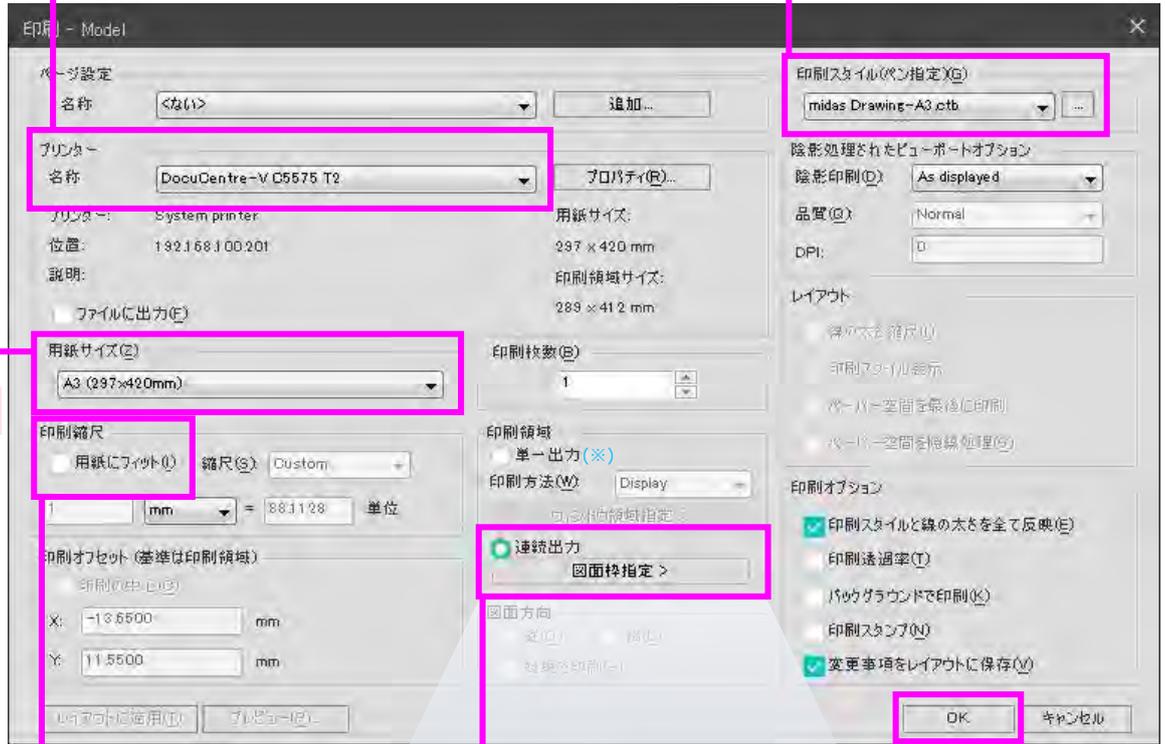
## 《 印刷設定方法 》

### 2 図面を出力するプリンター選択

\* ②複数の図面を1つのPDFファイルに保存する場合は、midas File Printerを選択してください。

### 1 印刷スタイル選択

\* ①AutoCADの印刷スタイルテーブルも使用できます。(色従属印刷スタイル テーブルCTB ファイルのみ)



### 3 用紙サイズ選択

### 4 チェックを外す

\* ④チェックを外さないと用紙の線が印刷され、図面が少し小さくなります。

### 5 [印刷領域]から 連続出力【図面枠指定>】選択

\* ⑤連続出力を選択すれば、複数の図面を一度に印刷できます。連続印刷では縮尺の異なる図面も一度に印刷できます。

### 8 すべての設定後、 「OK」クリック

このダイアログボックスは【図面枠指定>】クリックで開けます。



### 6 印刷する図面を選択

### 6-1 こちらのボタンからも 印刷図面選択可能

\* 作業空間にある図面枠が選択できます。

### 7 「OK」クリック

#### ※ 単一出力 印刷方法

- Display : Model空間やLayout空間の画面で表示されている範囲を出力します。
- Extents : 現在の空間内のすべてのオブジェクトが印刷されます。
- Limits : グリッドの限界で定義されるすべての作図領域を印刷します。
- Window : 指定した図面の任意の部分を選択して印刷します。

【ウィンドウ領域指定>】ボタンをクリックすると一時的にダイアログボックスが閉じられ、印刷領域を指定できます。

# <書き出し>

## 普段お使いのCADで編集する方法

準備物：SS3のCSVデータ

自動生成した伏図をDXF, DWGデータに書き出し、使い慣れたCADで作業することが簡単にできます。

※CADロボでは、midas eGenでSS3のCSVを読み込み、midas Drawingで構造図を生成します。



### 全7ステップ

STEP 1. ナビゲーション起動

STEP 2. CSVデータの読み込み

STEP 3. モデルファイルを保存

STEP 4. 図面生成プログラム(midas Drawing)の起動

STEP 5. 生成する伏図を選択

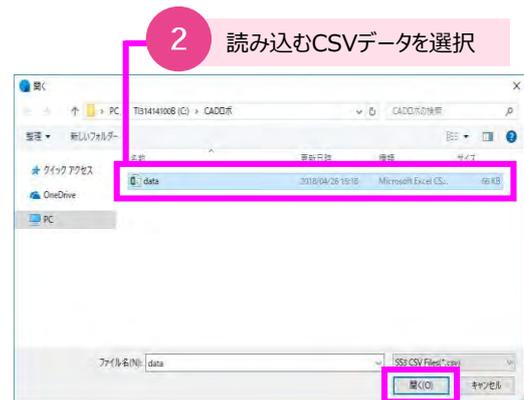
STEP 6. 伏図を配置

STEP 7. CADデータに書き出し

### STEP 1. ナビゲーション起動



### STEP 2. CSVデータの読み込み



\* CSVのサンプルデータは「C:\%Program Files%\MIDAS\CAD Robo\midas eGen\FreeNavi\Scenario1」にあります。

### STEP 3. モデルファイルを保存



1 「Run」ボタンをクリック

2 ファイル名入力

3 「保存」クリック

\* 構造図を生成するためには、midas eGenの拡張子(\*.jmeh)にデータを保存する必要があります。

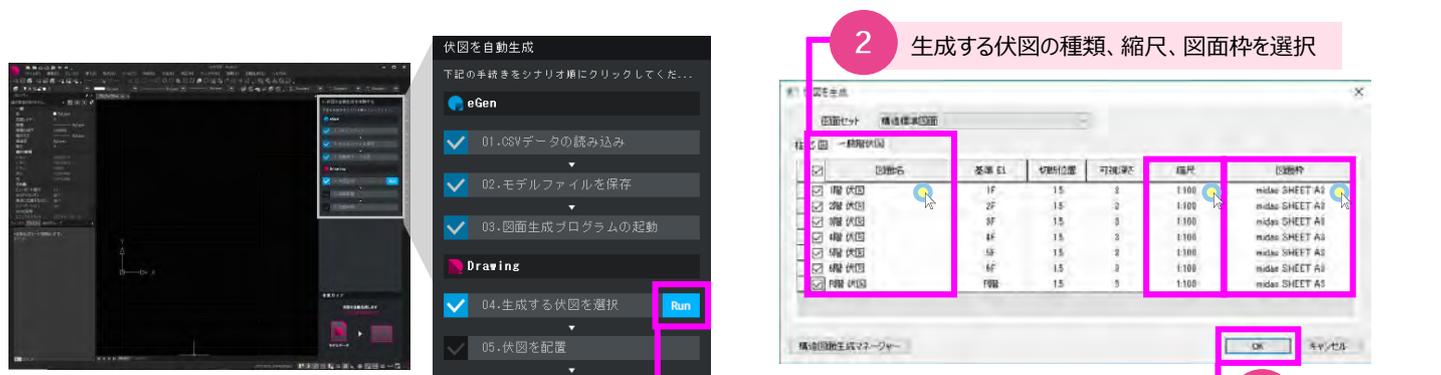
### STEP 4. 図面生成プログラム(midas Drawing)の起動



1 「Run」ボタンをクリック

図面自動生成プログラム(midas Drawing)は自動に立ち上がります。

### STEP 5. 生成する伏図を選択



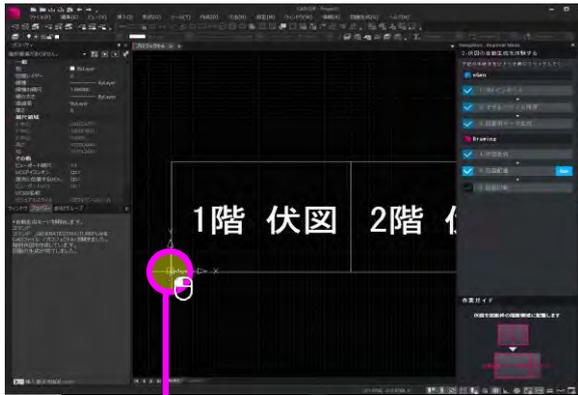
1 「Run」ボタンをクリック

2 生成する伏図の種類、縮尺、図面枠を選択

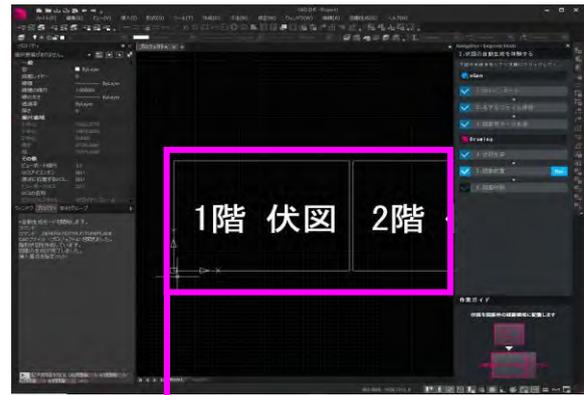
3 「OK」クリック

図面名	基準	尺	切替位置	可視深さ	縮尺	図面枠
1階 伏図	1F	1.5	0	1:100	midas SHEET A3	
2階 伏図	2F	1.5	0	1:100	midas SHEET A3	
3階 伏図	3F	1.5	0	1:100	midas SHEET A3	
4階 伏図	4F	1.5	0	1:100	midas SHEET A3	
5階 伏図	5F	1.5	0	1:100	midas SHEET A3	
6階 伏図	6F	1.5	0	1:100	midas SHEET A3	
7階 伏図	7階	1.5	0	1:100	midas SHEET A3	

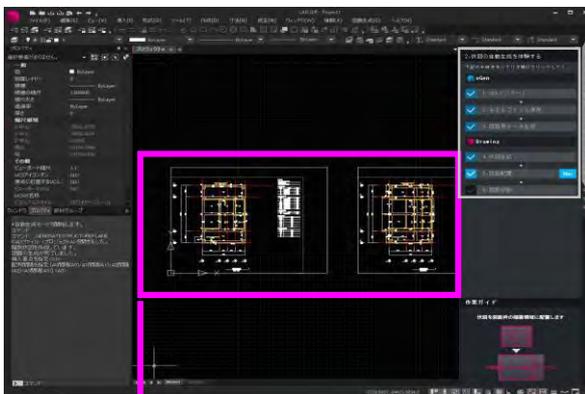
## STEP 6. 伏図を配置



1 生成図を任意の位置に配置  
(画面上でクリック)



2 図面間間隔指定

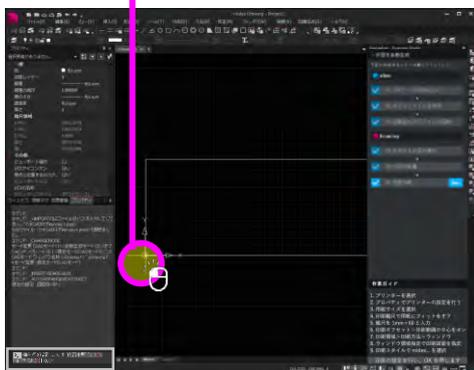


3 自動生成図面を確認



4 「Run」ボタンをクリック

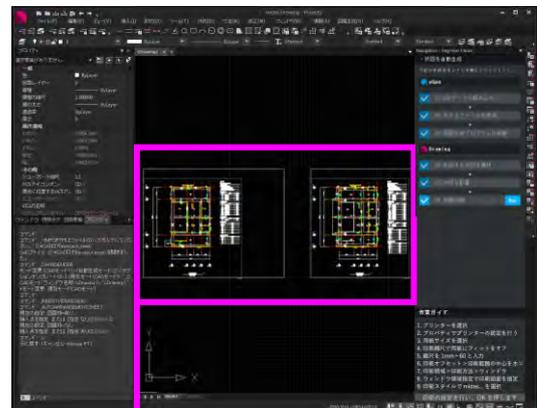
6 任意の位置に配置  
(画面上でクリック)



挿入点を指定 または [内部参照なし(R)]  
図面枠なし(S)<0,0>:

5 内部参照なし(R)の「R」入力後、「Enter」  
図面枠なし(S)の「S」入力後、「Enter」

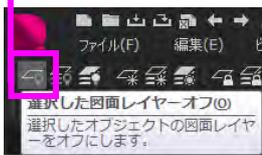
挿入点を指定 または [内部参照なし(R), 図面枠なし(S)]<0,0>:R  
現在の設定: 内部参照=なし, 図面枠=あり  
挿入点を指定 または [内部参照あり(R), 図面枠なし(S)]<0,0>:S  
現在の設定: 内部参照=なし, 図面枠=なし



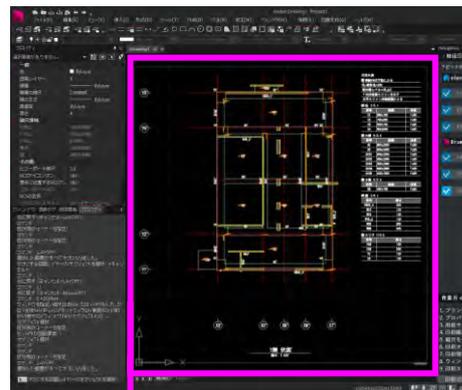
7 図面枠がない図面を確認

## STEP 7. CADデータに書き出し

2 「選択した図面レイヤーオフ」アイコンをクリック



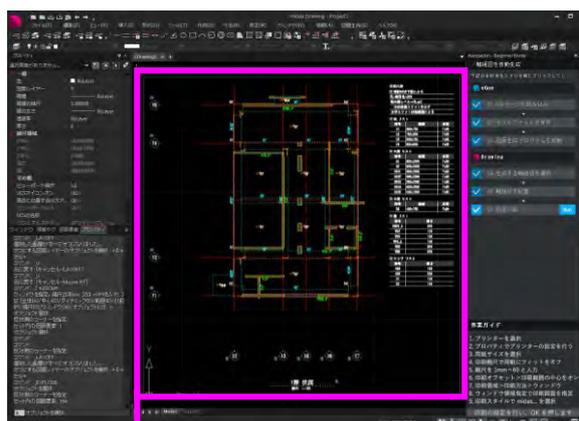
1 寸法、ハッチングをクリックして選択



3 図面を確認

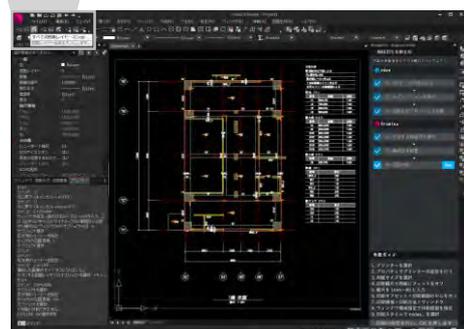
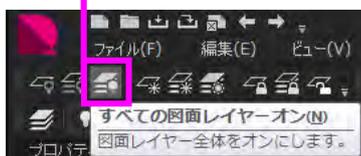


4 [修正]→「分解」選択



5 図面を選択後、「Enter」

6 「すべての図面レイヤーオン」アイコンをクリック

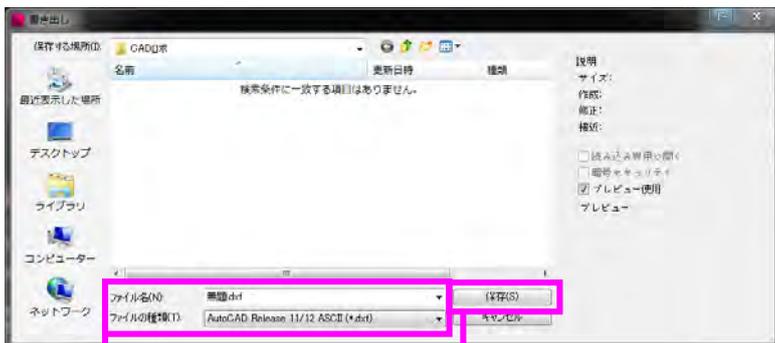




7

[ファイル]→「書き出し」→  
「現在ウィンドウをDWGファイルに書き出し」選択

\* 図面を生成した段階で図面の書き出しが可能です。  
印刷をする場合は続いて「Run」から進めてください。



8

ファイル名入力、  
ファイルの種類指定

9

「保存」クリック

\* dwg, dxfファイルに書き出し可能です。

書き出したデータをJw-cadに読み込む方法は  
「<http://cadrobo-online-help.midasit.co.jp/mdw-f0081/>」をご参考ください。

# ＜偏心/レベル移動＞

## 部材を偏心移動やレベル移動させてより正確な伏図を自動生成する方法

準備物：SS3のCSVデータ

部材の寄り寸法線を自動で作成しますし、  
レベルの異なる部材は自動でハッチングされ、凡例に表示されます。  
また偏心移動やレベル移動は部材ごとに個別に設定することができます。

※CADロボでは、  
midas eGenでSS3のCSVを読み込みや配筋情報を入力し、  
midas Drawingで構造図を生成します。

全 4 ステップ

STEP 1. CSVデータの読み込み

STEP 2. 部材の寄り（偏心移動）

STEP 3. 部材のレベル調整（レベル移動）

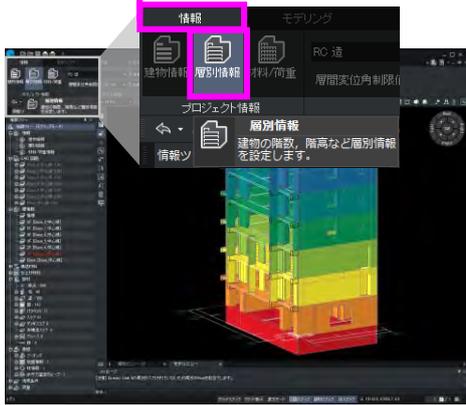
STEP 4. 伏図を自動生成して確認



### STEP 1. CSVデータの読み込み

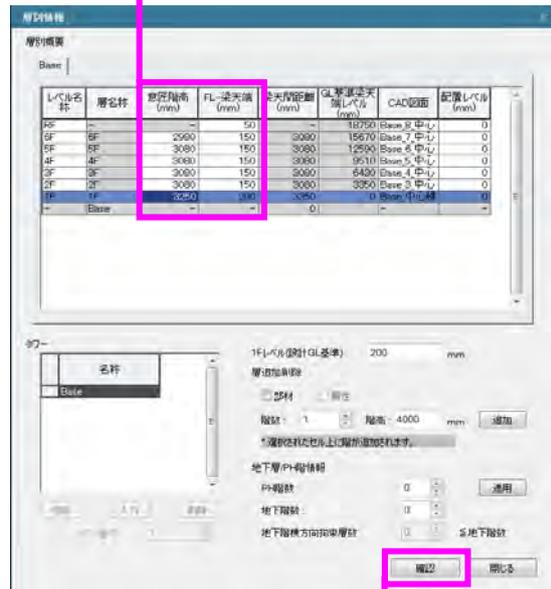


5 [情報]から「層別情報」ボタンをクリック



6 「意匠階高」、「FL-梁天端」修正

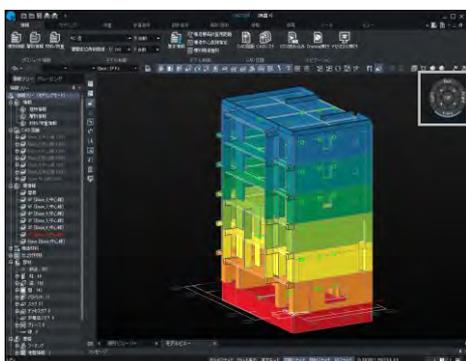
\* 層の高さを意匠階高基準に修正し、意匠階高を基準とした梁天端レベルを入力します。



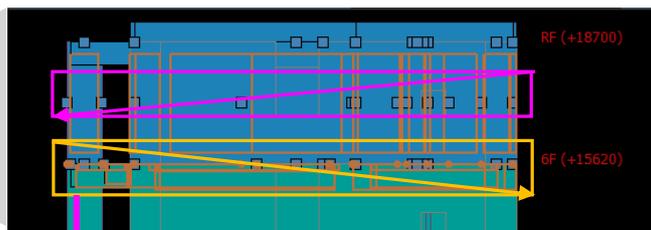
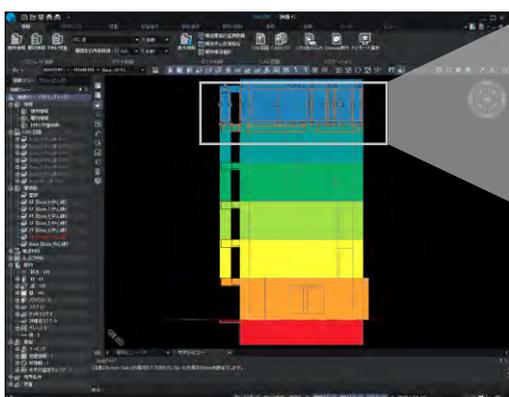
7 「確認」クリック

## STEP 2. 部材の寄り (偏心移動)

※ 6階の壁の一部を偏心移動させます。

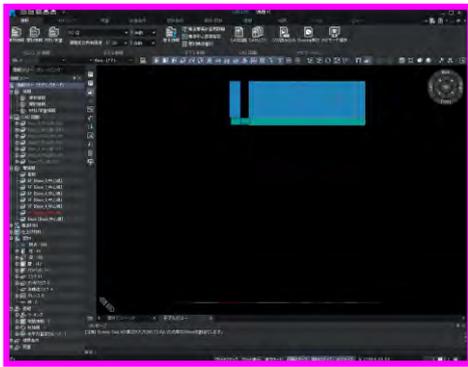


1 「Front」クリック

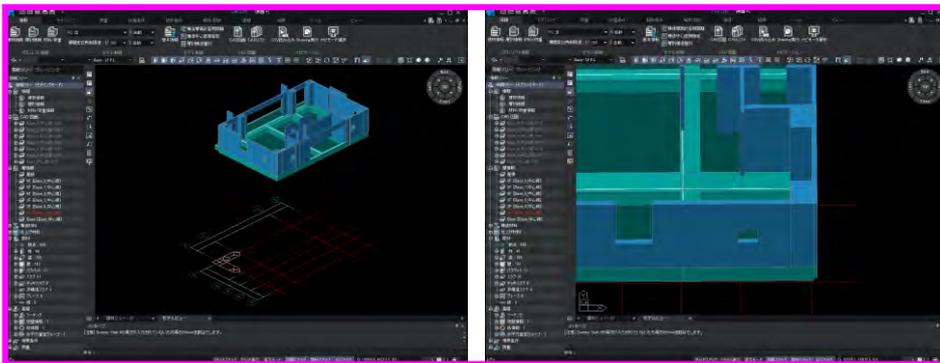


2 マウスをドラッグして部材を選択

\* 右→左：枠内にかかっている部材が選択  
左→右：枠内に納まっている部材が選択

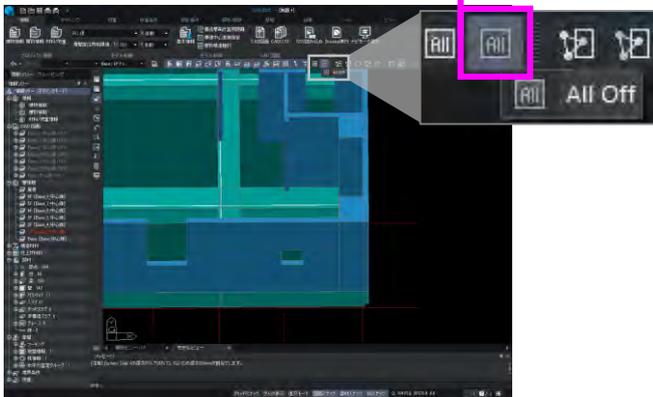


3 [F2]を押して選択した部材のみ表示

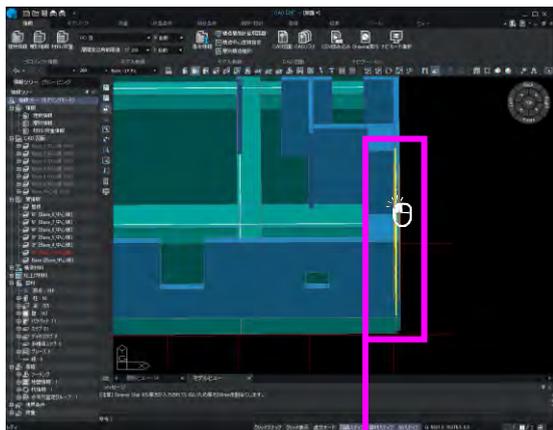
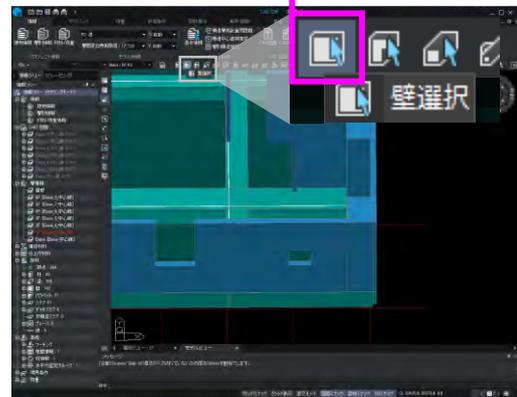


4 操作しやすいようにモデルの表示範囲、角度を調整

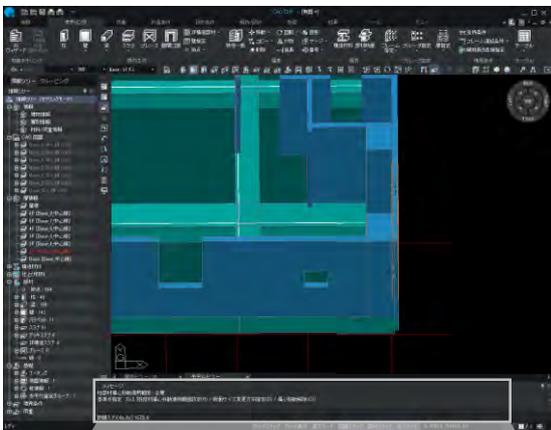
5 「All Off」ボタンクリック



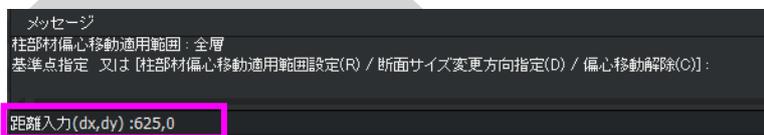
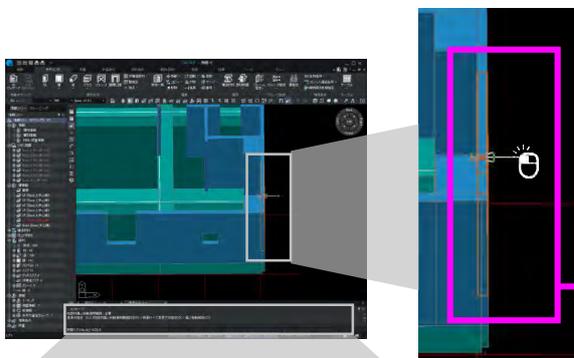
6 「壁選択」ボタンクリック



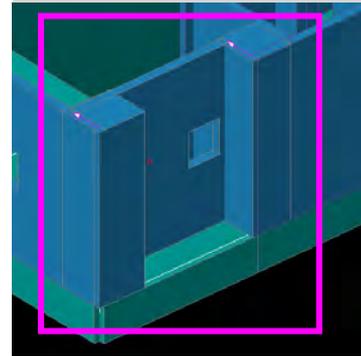
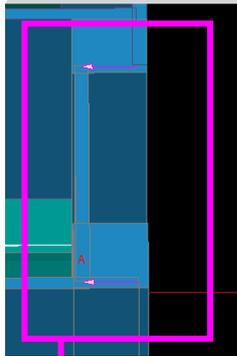
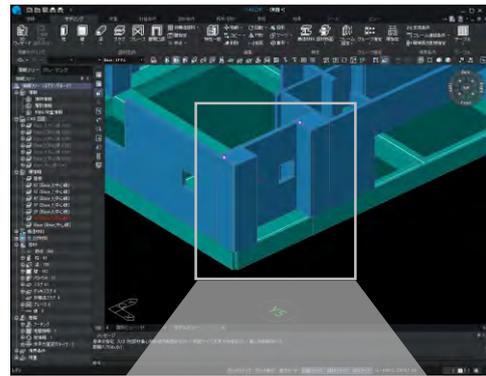
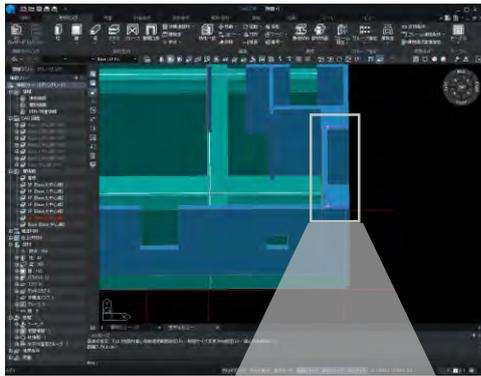
7 偏心させる壁を選択



9 メッセージ確認



11 距離を入力後、「Enter」



12 部材の移動を確認

\* 部材が移動されると→が表示されます。

《 部材ローカル軸の表示方法 》 柱を偏心する場合、部材ローカル軸を表示させると便利です。

1 [ビュー]→「ディスプレイ」選択

2 「部材」タブクリック

3 「部材ローカル軸」にチェック

4 「確認」クリック

5 x,y,zの方向確認

ディスプレイ

部材

部材タイプ

属性	部材タイプ
<input type="checkbox"/> 部材番号	<input type="checkbox"/> 梁
<input type="checkbox"/> 柱	<input type="checkbox"/> 大梁
<input type="checkbox"/> 梁	<input type="checkbox"/> 小梁
<input type="checkbox"/> 小梁	<input type="checkbox"/> 地中梁
<input type="checkbox"/> 壁	<input type="checkbox"/> 鉄骨階段梁
<input type="checkbox"/> 線	<input type="checkbox"/> 片持ち梁
<input type="checkbox"/> スラブ	<input type="checkbox"/> 壁
<input type="checkbox"/> プレース	<input type="checkbox"/> 耐力壁
<input type="checkbox"/> 独立基礎	<input type="checkbox"/> 雑壁
<input type="checkbox"/> 布基礎	<input type="checkbox"/> 荷重壁
<input type="checkbox"/> べた基礎	<input type="checkbox"/> スリット壁
<input type="checkbox"/> 独立柱基礎	<input type="checkbox"/> パラペット
<input checked="" type="checkbox"/> 部材ローカル軸	<input type="checkbox"/> 基礎
<input type="checkbox"/> 部材ローカル表示	<input type="checkbox"/> 柱基礎
<input type="checkbox"/> 壁開口部	<input type="checkbox"/> 布基礎
<input type="checkbox"/> スラブタイプ	<input type="checkbox"/> べた基礎
<input type="checkbox"/> 壁タイプ	<input type="checkbox"/> 杭基礎
<input type="checkbox"/> 基礎タイプ	<input type="checkbox"/> 杭基礎
	<input type="checkbox"/> 杭基礎

自動生成データを隠す

一括適用データを隠す

設定

確認

適用

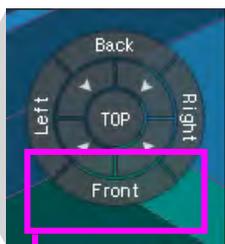
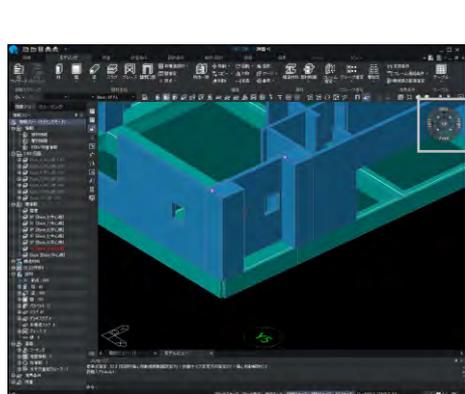
確認

閉じる

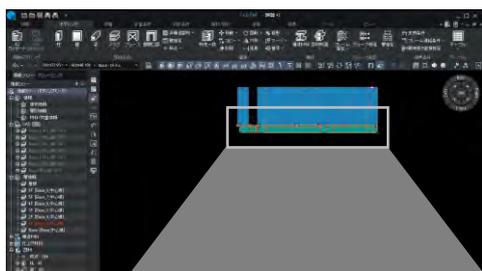
全体リセット

### STEP 3. 部材のレベル調整 (レベル移動)

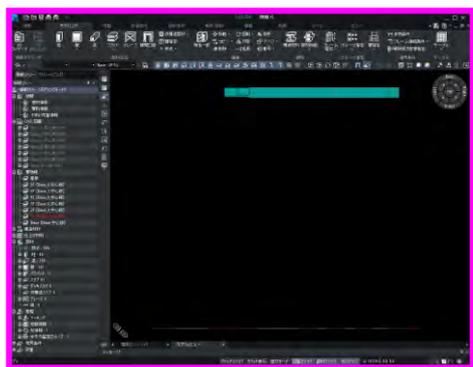
※ 6階のスラブの一部をレベル移動させます。



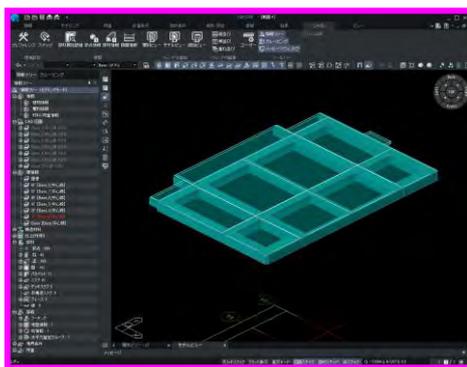
1 「Front」クリック



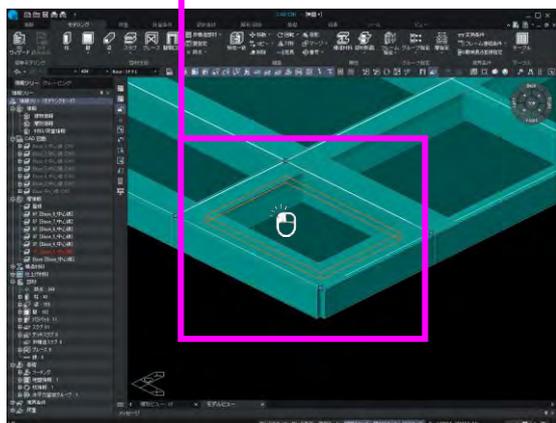
2 左から右へドラッグ



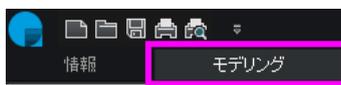
3 [F2]を押して選択した部材のみ表示



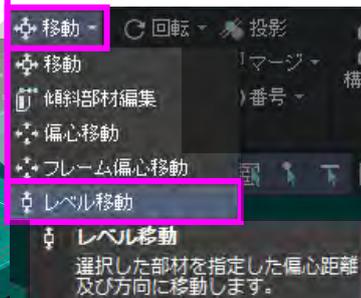
4 操作しやすいようにモデルの表示範囲、角度を調整

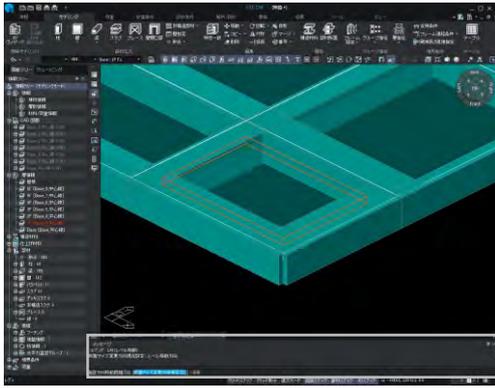


5 レベルを移動させるスラブを選択



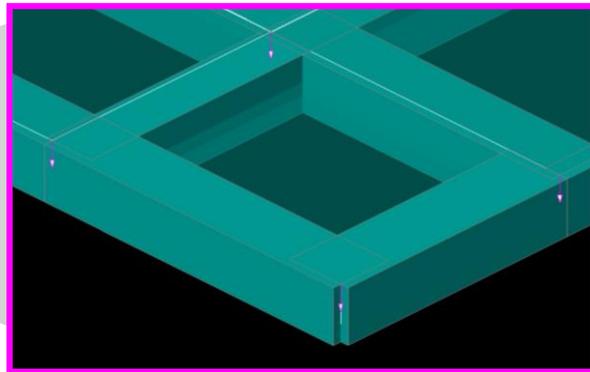
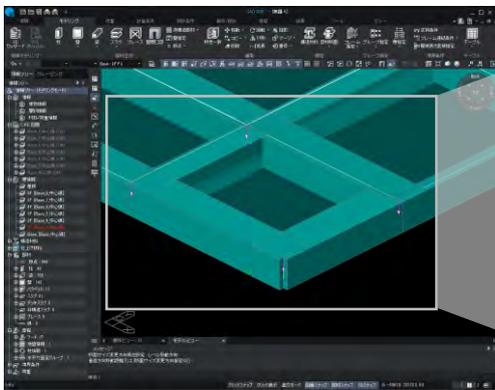
6 「モデリング」→「移動」→「レベル移動」をクリック



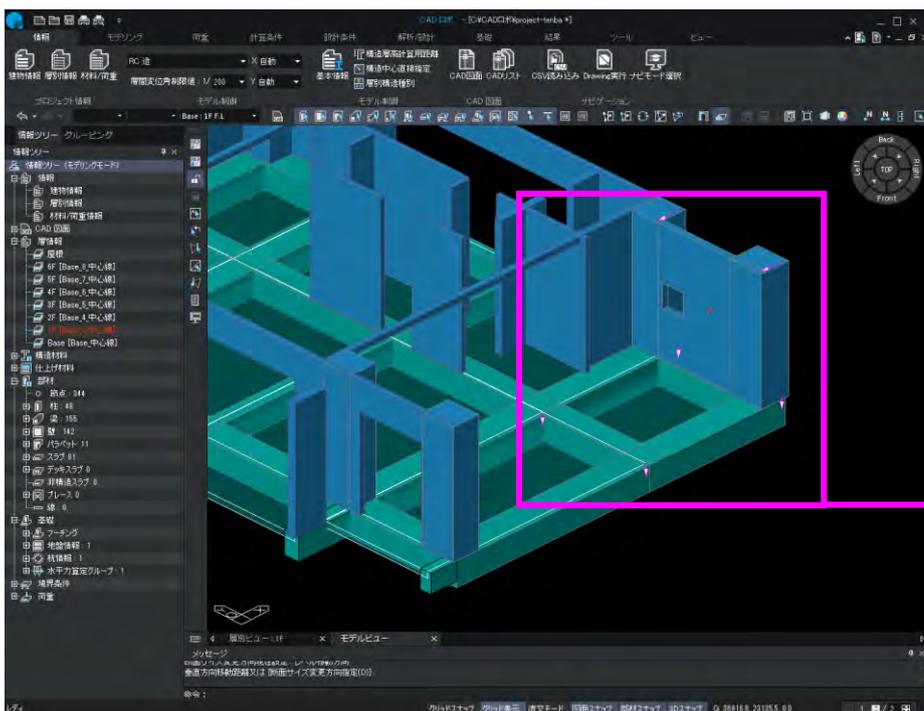


メッセージ  
 コマンド: LM (レベル移動)  
 断面サイズ変更方向現在設定: レベル移動方向  
 垂直方向移動距離又は [断面サイズ変更方向指定(D)]: -300

7 メッセージを確認し  
 「垂直方向移動距離」を入力後、「Enter」

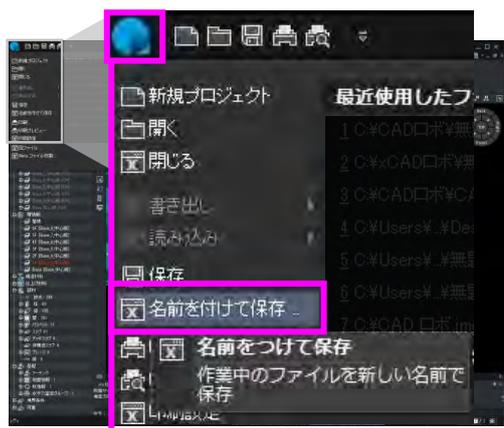


8 部材の移動を確認 \*部材が移動されると→が表示されます。

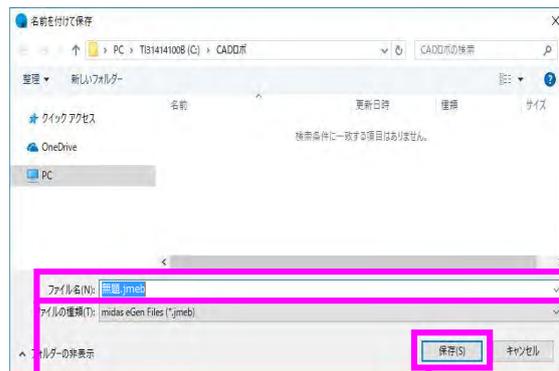


9 移動結果を確認  
 \* 壁は偏心移動、スラブはレベル移動しました。

### STEP 3. 伏図を自動生成して確認



1 [情報] から「名前を付けて保存」選択

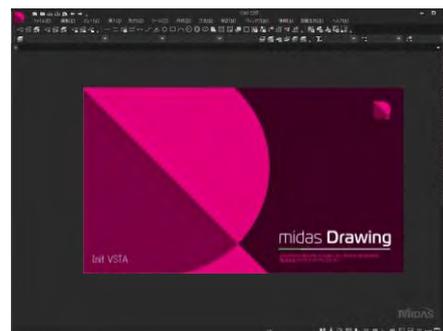
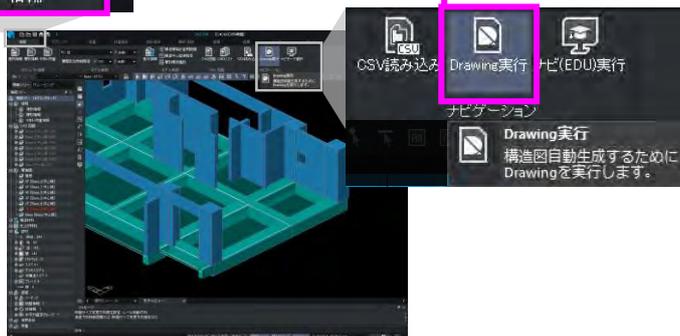


2 ファイル名入力

3 「保存」クリック

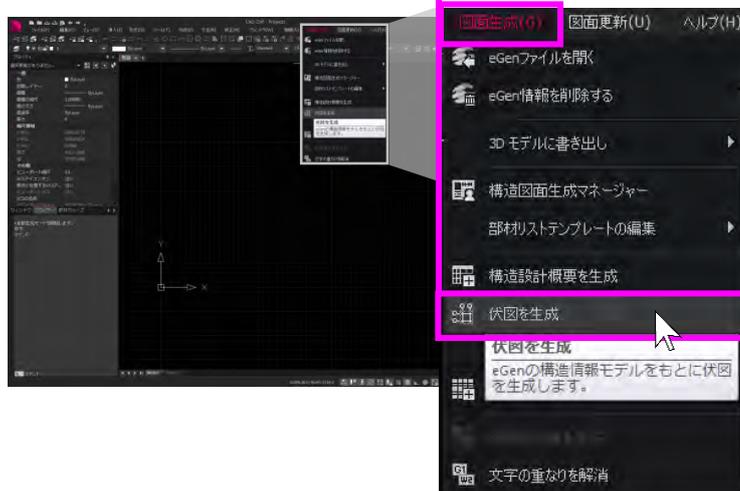


4 [情報] から「Drawing実行」ボタンをクリック



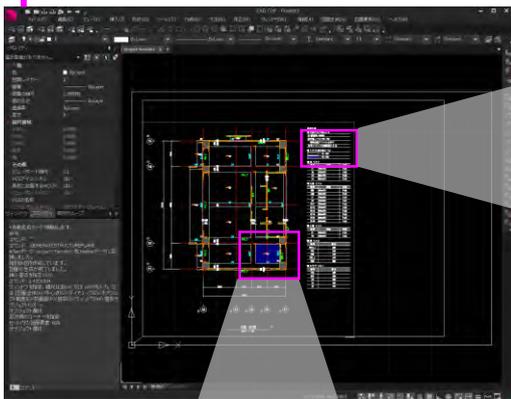
図面自動生成プログラム(midas Drawing)は自動に立ち上がります。

5 [図面生成]→「伏図を生成」選択



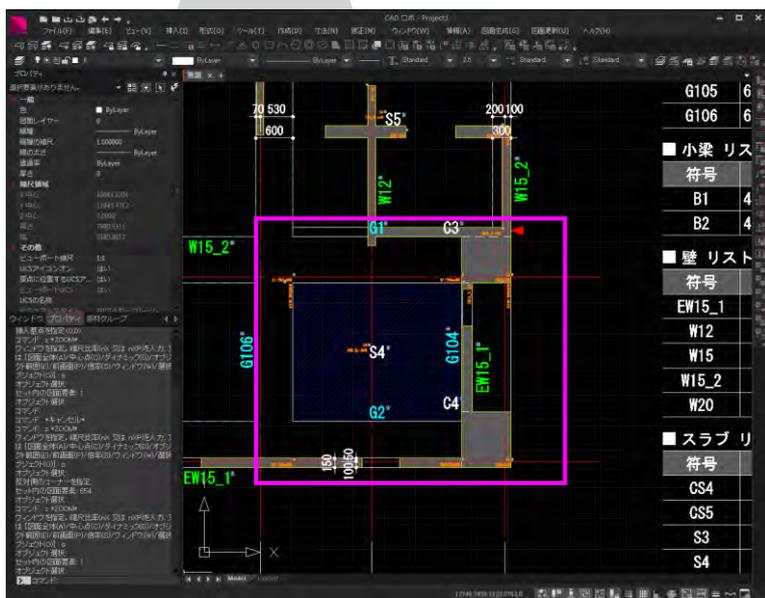
6

部材の移動結果が図面に反映されたことを確認

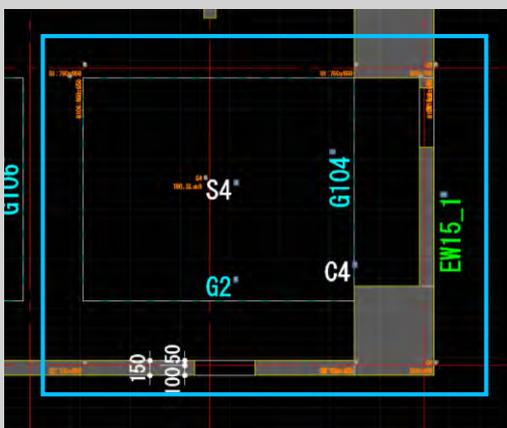


**伏図凡例**

- 特記外は下記による  
FL=設計GL+15970  
梁天端レベル=FL-150  
▼印は鉛直スリットを示す  
水平スリットは軸組図による
- スラブ/梁天端レベル  
[Pattern] : FL-150  
[Pattern] : FL-450
- 柱 リスト



部材移動前



**伏図凡例**

- 特記外は下記による  
FL=設計GL+15820  
梁天端レベル=FL±0  
▼印は鉛直スリットを示す  
水平スリットは軸組図による
- 柱 リスト

符号	断面	材質
G105	6	
G106	6	

**小梁 リス**

符号	数量
B1	4
B2	4

**壁 リスト**

符号	数量
EW15_1	
W12	
W15	
W15_2	
W20	

**スラブ リ**

符号	数量
CS4	
CS5	
S3	
S4	



# 軸組図を自動生成する

## I 軸組図、まだ手で描いていませんか？

### <自動生成>

- ・ CSVデータで簡単に軸組図を自動生成する方法 59

## II 自分の事務所のスタイルで図面を自動生成しませんか？

### <図面枠登録>

- ・ 図面を描くたびに図面枠情報を入力する手間を減らす方法 62

### <図面スタイル>

- ・ 線やハッチングなどを自分の事務所のスタイルで軸組図を自動生成する方法 69

### <連続印刷>

- ・ 数十枚、数百枚の図面を1階のクリックで一度に印刷する方法 77

### <書き出し>

- ・ 普段お使いのCADで編集する方法 81

### <レベル移動>

- ・ レベルの調整結果が自動で反映された軸組図を自動生成する方法 86



# <自動生成>

## CSVデータで簡単に 軸組図を自動生成する方法 -ナビ活用-

準備物：SS3のCSVデータ

※CADロボでは、midas eGenでSS3のCSVを読み込み、midas Drawingで構造図を生成します。



### 全6ステップ

STEP 1. ナビゲーション起動

STEP 2. CSVデータの読み込み

STEP 3. モデルファイルを保存

STEP 4. 図面生成プログラム(midas Drawing)の起動

STEP 5. 生成する軸組図を選択

STEP 6. 軸組図を配置

### STEP 1. ナビゲーション起動

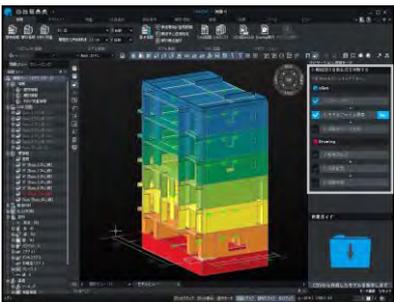


### STEP 2. CSVデータの読み込み



\* CSVのサンプルデータは「C:\Program Files\MIDAS\CAD Robo\midas eGen\FreeNavi\Scenario1」にあります。

### STEP 3. モデルファイルを保存



1 「Run」ボタンをクリック

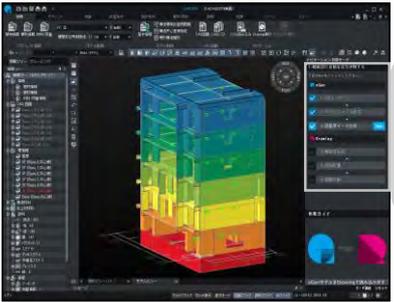


2 ファイル名入力

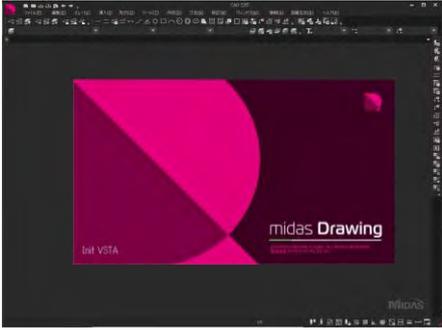
3 「保存」をクリック

\* 構造図を生成するためには、midas eGenの拡張子 (\*.jmec)にデータを保存する必要があります。

### STEP 4. 図面生成プログラム(midas Drawing)の起動

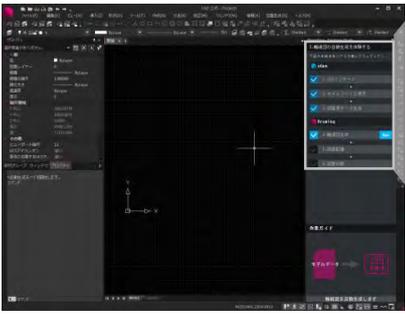


1 「Run」ボタンをクリック

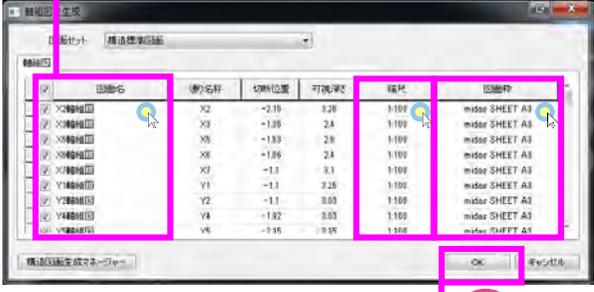


図面自動生成プログラム(midas Drawing)は自動に立ち上がります。

### STEP 5. 生成する軸組図を選択



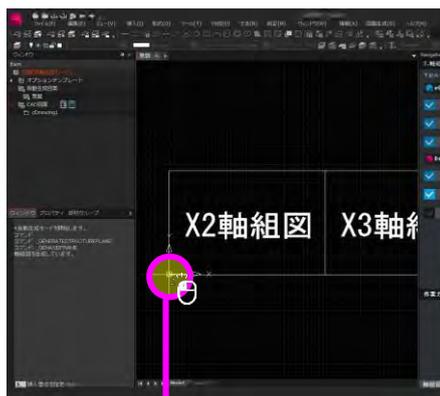
1 「Run」ボタンをクリック



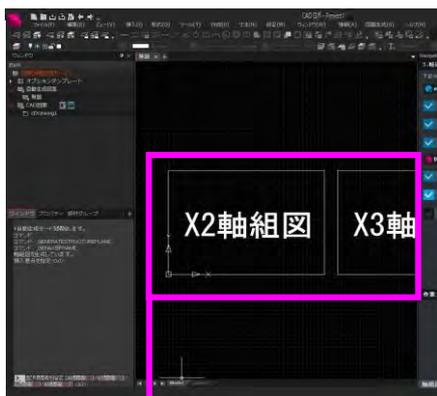
2 生成する軸組図の種類、縮尺、図面枠を選択

3 「OK」をクリック

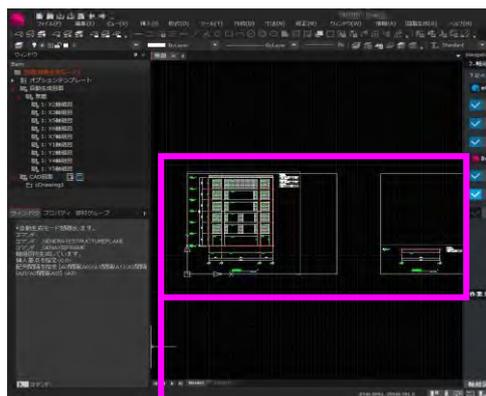
## STEP 6. 軸組図を配置



1 生成図を任意の位置に配置  
(画面上でクリック)



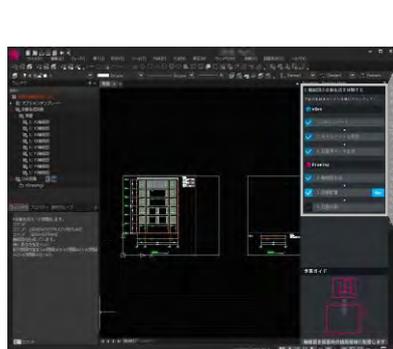
2 図面間間隔指定



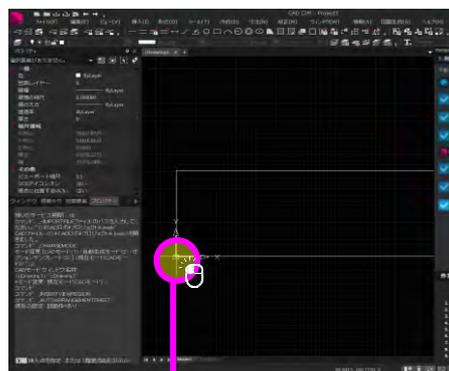
3 図面確認(図面枠なし)

+ ) 配列間隔調整方法: ① マウスを左右に動かす  
② メッセージウィンドウから図面枠の用紙サイズを選ぶ

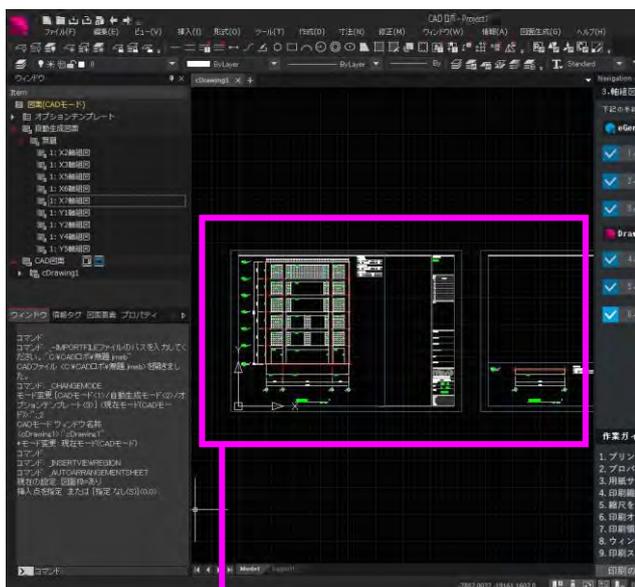
+ ) 外側の線: 指定した図面枠の用紙サイズ  
内側の線: 作図領域



4 「Run」ボタンをクリック



5 図面枠付きの図面を任意の位置に配置  
(画面上でクリック)



6 図面枠付きの図面確認

# ＜図面枠登録＞

## 図面を描くたびに図面枠情報を入力する手間を減らす方法 **-ナビ活用-**

準備物：登録する図面枠のCADデータ

事務所の図面枠を一度登録しておけば、1つ1つ入力していたプロジェクト名や図面名、縮尺なども自動で図面枠に反映されます。また、連続印刷や図面リスト作成が簡単・便利にできます。伏図や部材リストも登録した図面枠で自動生成できます。

※CADロボでは、midas eGenでSS3のCSVを読み込み、midas Drawingで構造図を生成します。



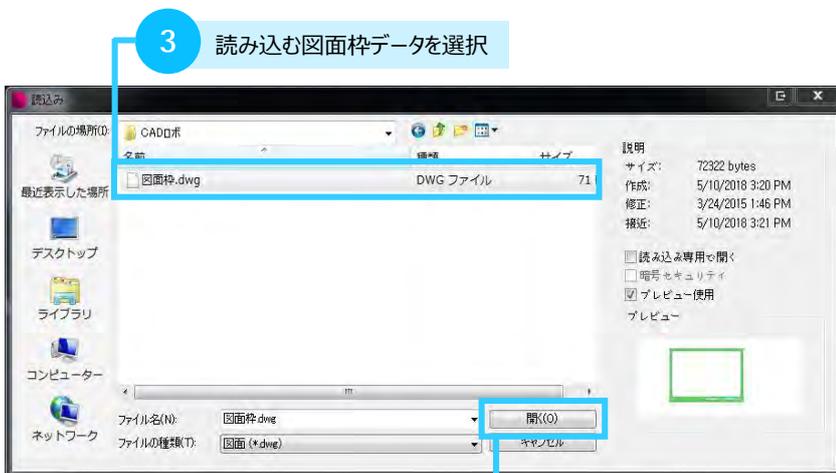
### 全 6 ステップ

- STEP 1. 図面枠データ(DWG・DXFファイル)の読み込み
- STEP 2. 図面枠データの確認、分解
- STEP 3. 情報タグの割り当て
- STEP 4. 図面枠形式の登録
- STEP 5. 図面枠をDrawingに登録
- STEP 6. 登録した図面枠で軸組図生成

## STEP 1. 図面枠データ(DWG・DXFファイル)の読み込み



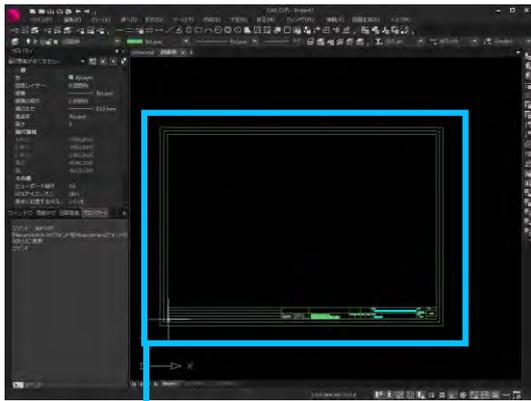
[ファイル]→「読み込み」選択



4 「開く」クリック

\* 図面枠のサンプルデータは「<http://cadrobo-online-help.midasit.co.jp/navigation-04>」からダウンロードできます。

## STEP 2. 図面枠データの確認、分解



1 読み込んだ図面枠を確認

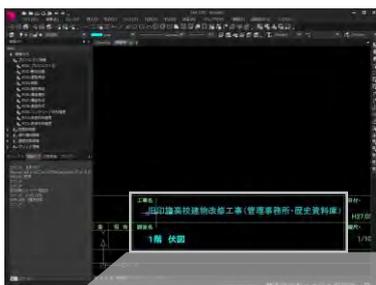


2 読み込んだ図面枠がブロックの場合、  
[修正]→「分解」選択

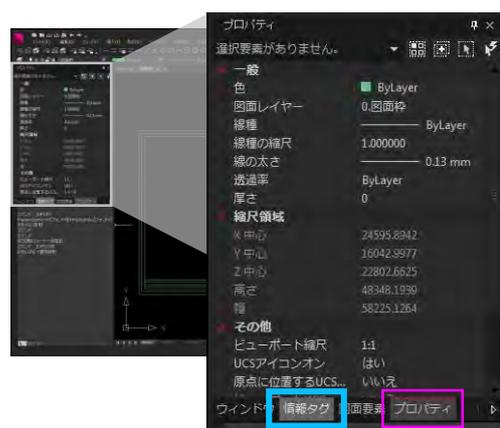
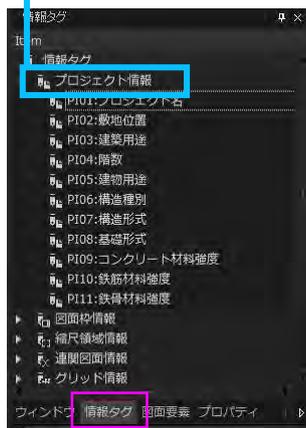
3 図面枠全体を選択後、  
「Enter」またはマウス右クリック

## STEP 3. 情報タグの割り当て

2 [情報タグ]を確認→「プロジェクト情報」展開

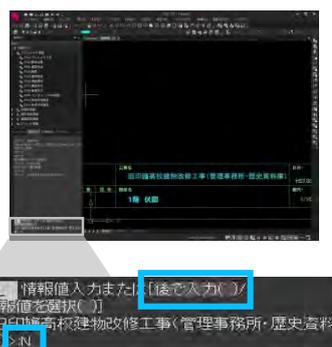


1 プロジェクト名をクリックして選択

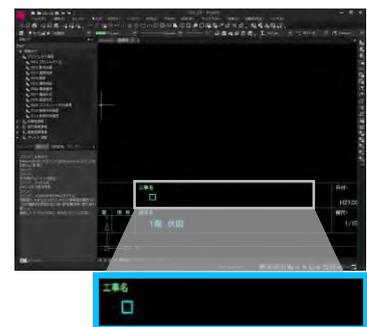


3 ツリーメニューを[プロパティ]から  
[情報タグ]表示に変更

4 「PI01:プロジェクト名」をドラッグ・アンド・ドロップ



5 [後で入力(N)]クリック  
または「N」を入力



6 割り当て(「□」表示)を確認

\* 情報タグが正常に割り当てされた場合、  
□表示になります。

8 「図面枠情報」→「SI01:図面枠 番号」をドラッグ・アンド・ドロップ

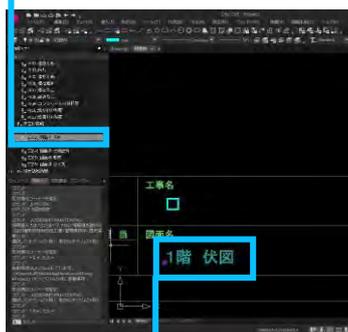


7 図面枠番号選択

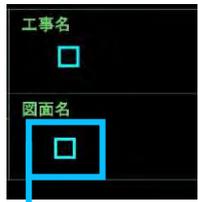


9 「□」表示を確認

11 「SI02:図面枠 名称」をドラッグ・アンド・ドロップ

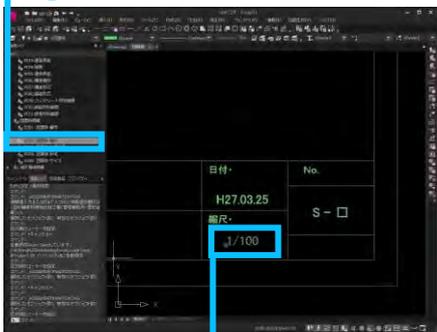


10 図面名選択



12 「□」表示を確認

14 「SI03:図面枠 縮尺」をドラッグ・アンド・ドロップ



13 縮尺選択



15 「□」表示を確認

### STEP 4. 図面枠形式の登録

1 [作成]→「図面枠形式定義」選択

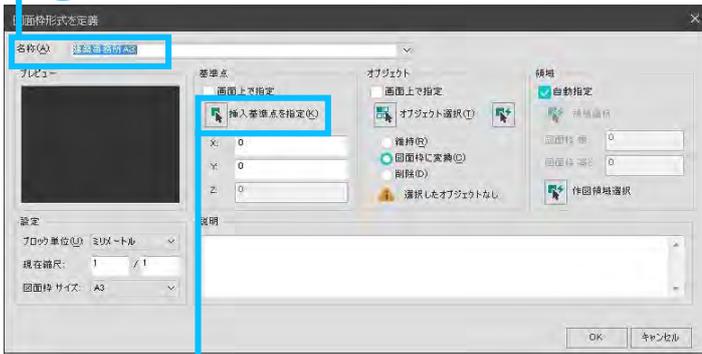


2 「図面枠形式を定義」ダイアログ確認

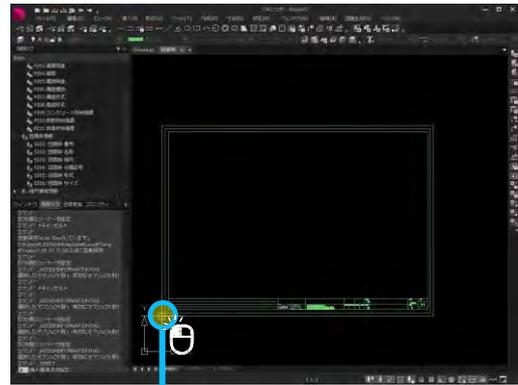


図面枠形式定義  
新しい図面枠ブロックを定義して保存します。

### 3 登録する図面枠の名前を入力

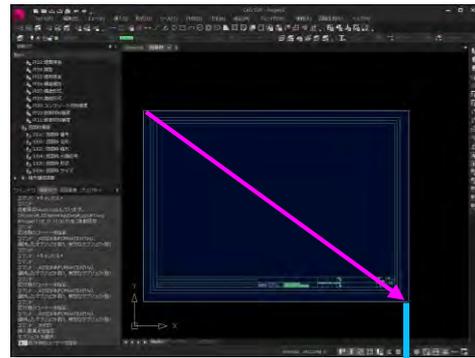


4 「挿入基準点を指定」をクリック

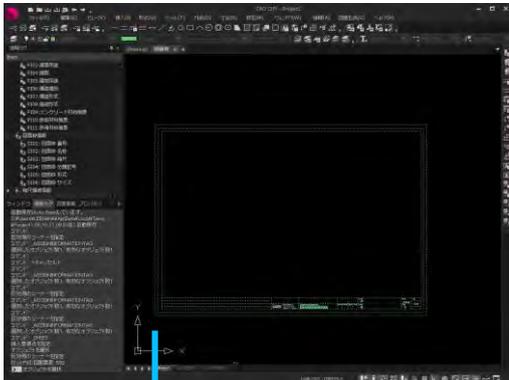


5 挿入基準点でマウスクリック

6 「オブジェクトを選択」をクリック



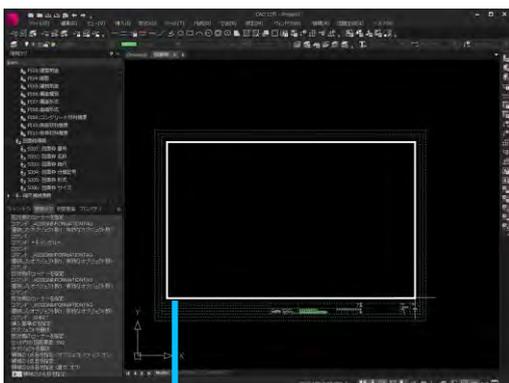
7 図面枠全体を選択



8 選択後、「Enter」またはマウス右クリック

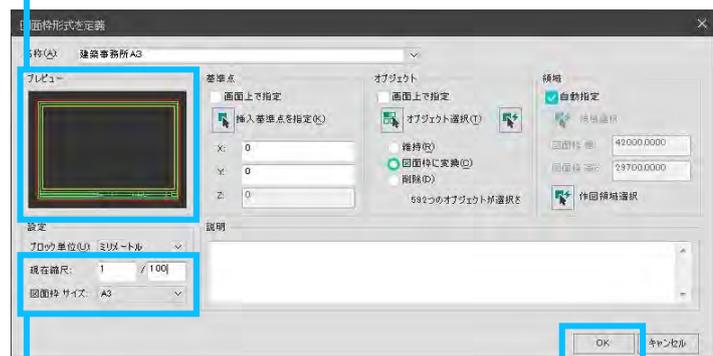


9 「作図領域を選択」をクリック



10 作図領域を選択して指定

12 プレビューで確認

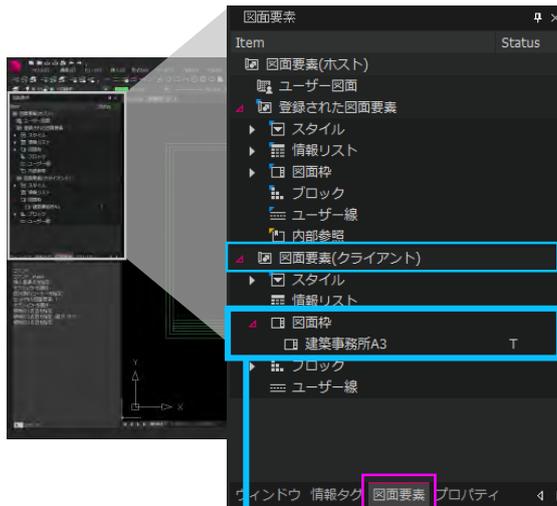


11 読み込んだ図面枠の縮尺と図面枠サイズを設定

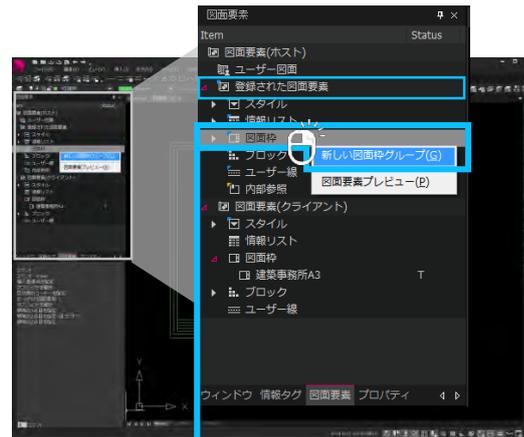
13 「OK」をクリック

\* サンプルの図面枠は1/1の縮尺です。

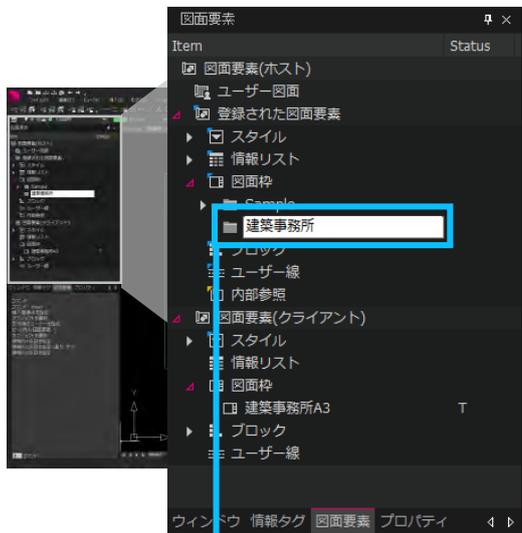
## STEP 4. 図面枠をDrawingに登録



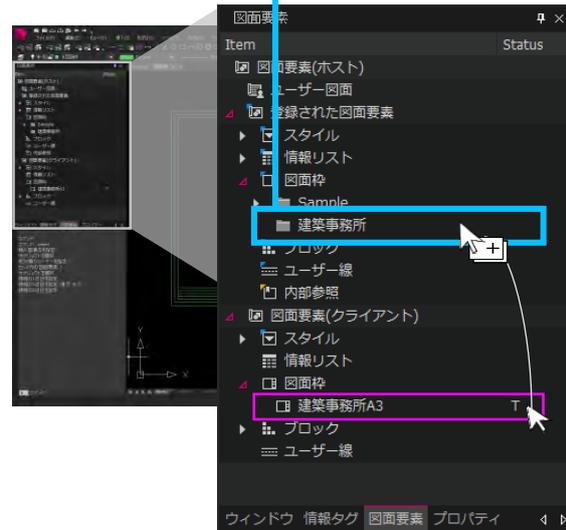
1 ツリーメニュー[図面要素]→[図面要素(クライアント)]  
→[図面枠]に登録されていることを確認



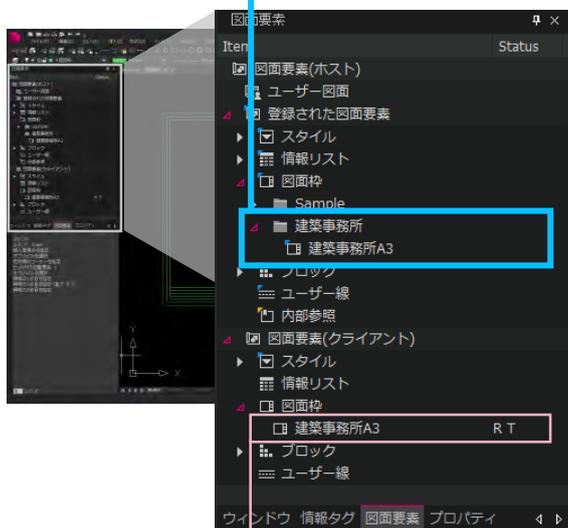
2 「登録された図面要素」→  
「図面枠」を右クリックして  
「新しい図面枠グループ」を選択



3 グループ名入力後、「Enter」



4 新規図面枠を新規図面枠グループに  
ドラッグ・アンド・ドロップ



5 図面枠が登録されたことを確認

5-1 図面枠が正常にCADロボに登録されると「T」→「RT」に変わります。

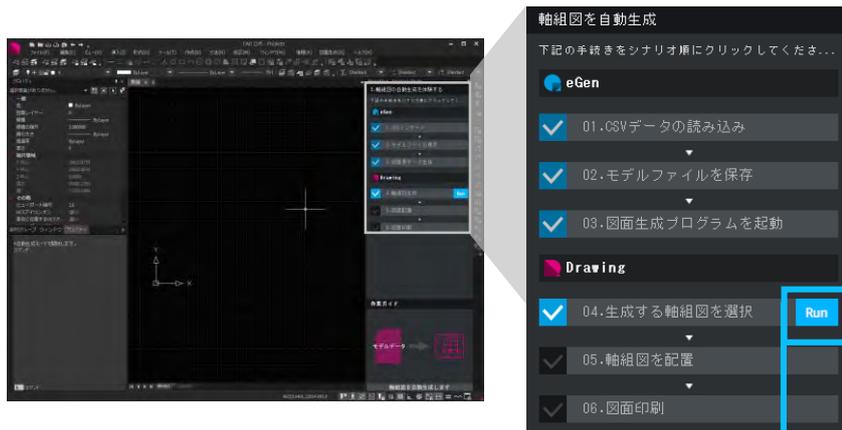
## STEP 5. 登録した図面枠で軸組図自動生成 – ナビ活用 –



1 CSV読み込み eGen を起動



2 「軸組図を自動生成」をクリック

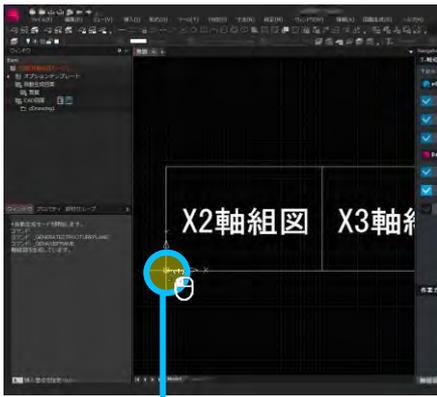


1 「Run」ボタンをクリック

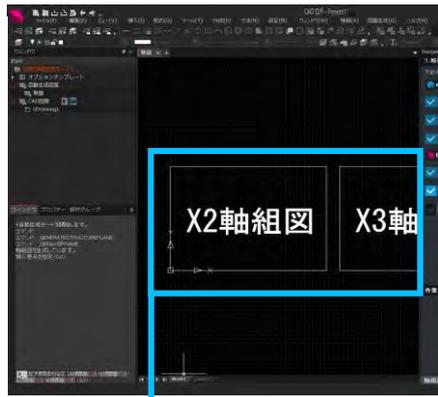
2 軸組図生成ダイアログ「図面枠」から登録した図面枠を選択



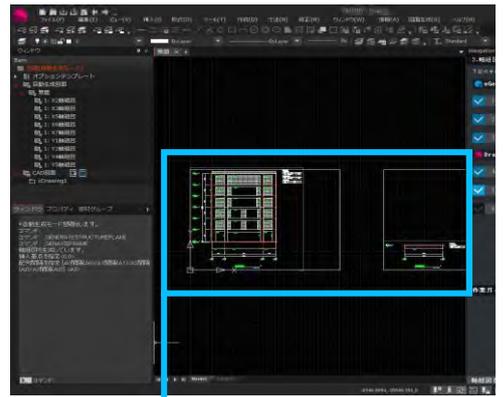
3 「OK」をクリック



1 生成図を任意の位置に配置  
(画面上でクリック)

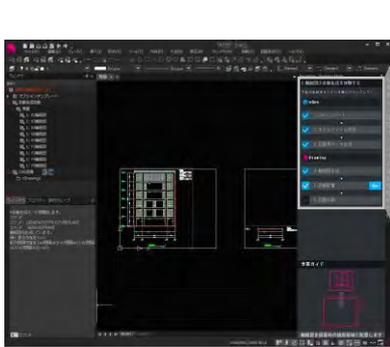


2 図面間間隔指定

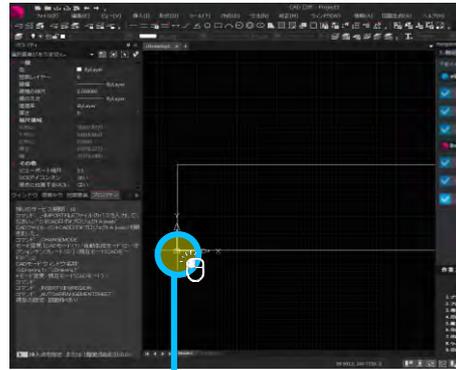


3 図面確認(図面枠なし)

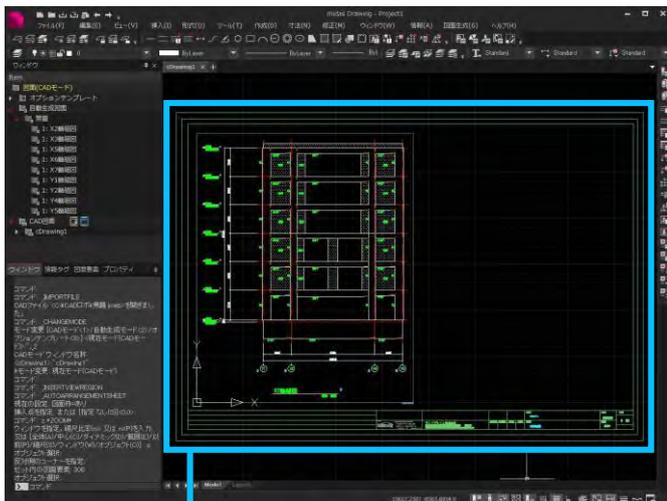
+ 配列間隔調整方法：① マウスを左右に動かす  
② メッセージウィンドウから図面枠の用紙サイズを選ぶ



4 「Run」ボタンをクリック



5 図面枠付きの図面を任意の位置に配置  
(画面上でクリック)



4 登録した図面枠で図面が  
自動生成されたことを確認

# <図面スタイル>

## 線やハッチングなどを自分の事務所のスタイルで軸組図を自動生成する方法

線種/ハッチング/寸法スタイルなどをオブジェクトごとに変更していた面倒くさがが一回のテンプレートの設定でなくなります。  
設計事務所のスタイルで軸組図を自動生成し、楽になってください。

※CADロボでは、midas eGenでSS3のCSVを読み込み、midas Drawingで構造図を生成します。



全 4 ステップ

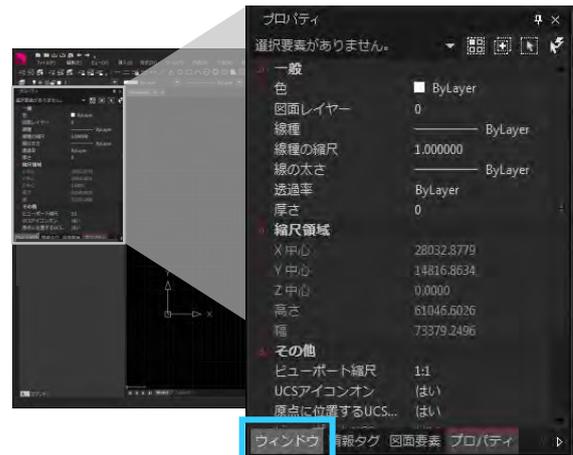
STEP 1. オプションテンプレートを開く

STEP 2. オプションテンプレート編集

STEP 3. オプションテンプレート保存

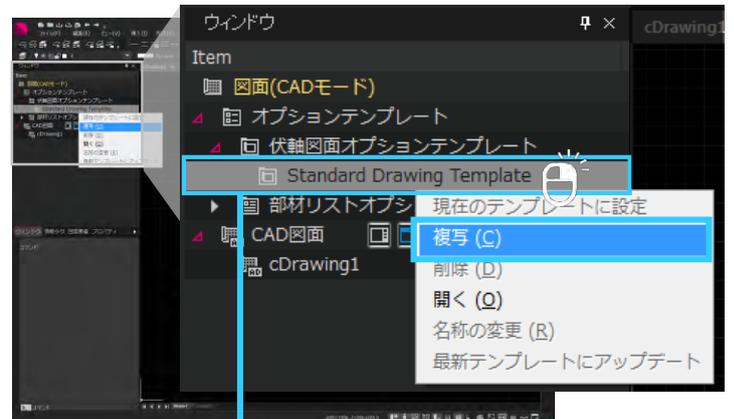
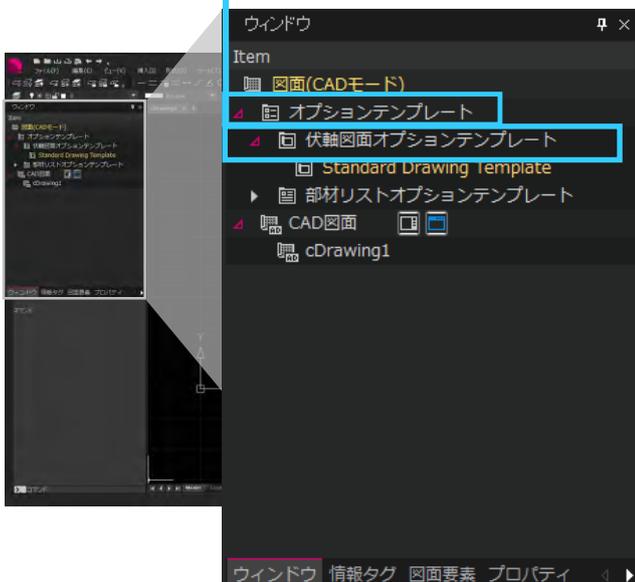
STEP 4. 軸組図を生成し、スタイルを確認

### STEP 1. オプションテンプレートを開く



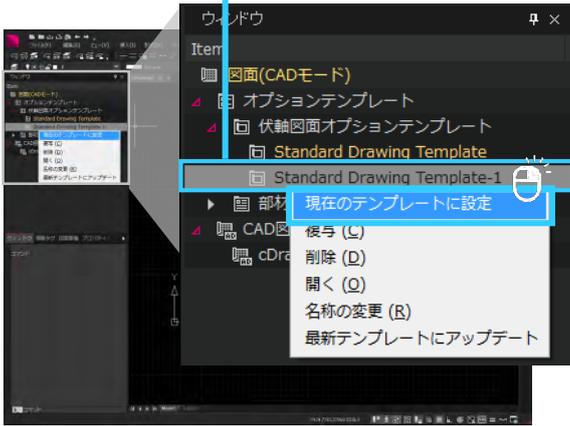
2 ツリーメニューから[ウィンドウ]選択

3 「オプションテンプレート」→「伏軸図面オプションテンプレート」の順で展開

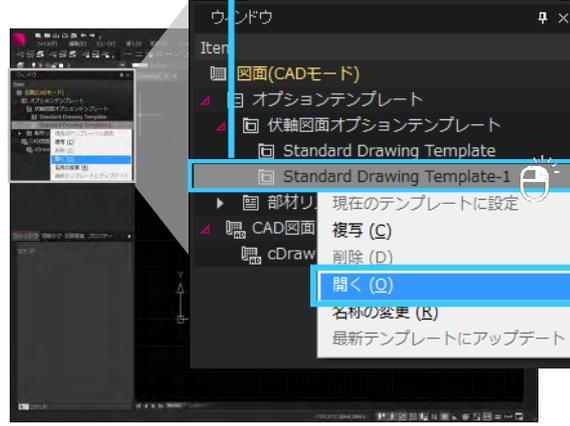


4 「Standard Drawing Template」で右クリック→「複製」クリック

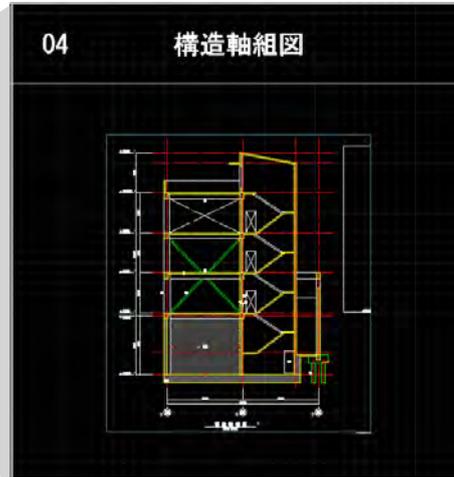
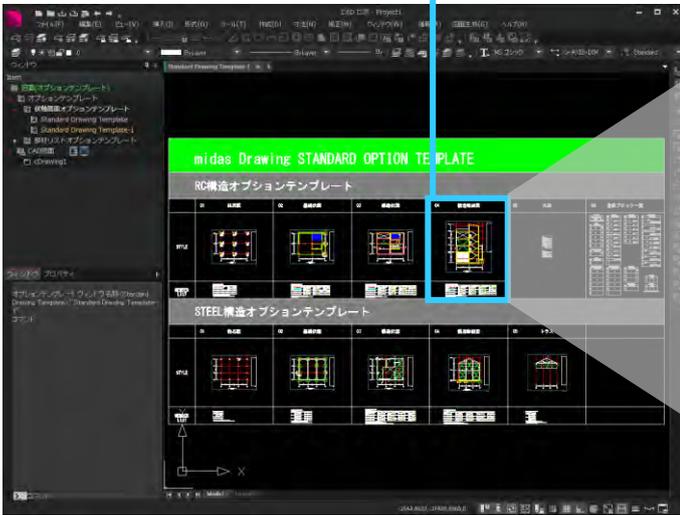
5 「Standard Drawing Template-1」右クリック  
→「現在のテンプレートに設定」クリック



6 「Standard Drawing Template-1」右クリック  
→「開く」クリック



7 「midas Drawing STANDARD OPTION TEMPLATE」  
→「04 構造軸組図」を確認

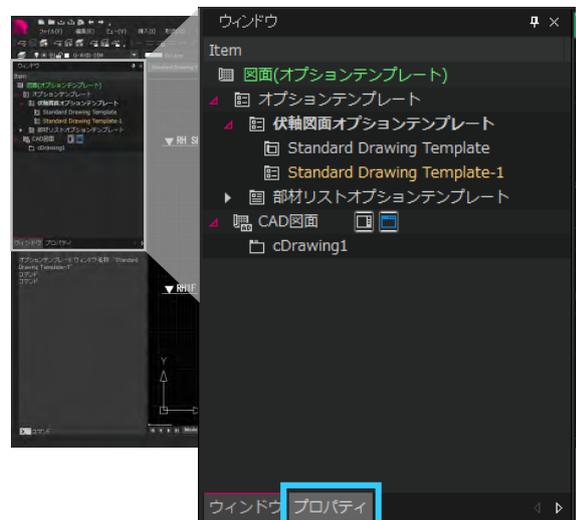
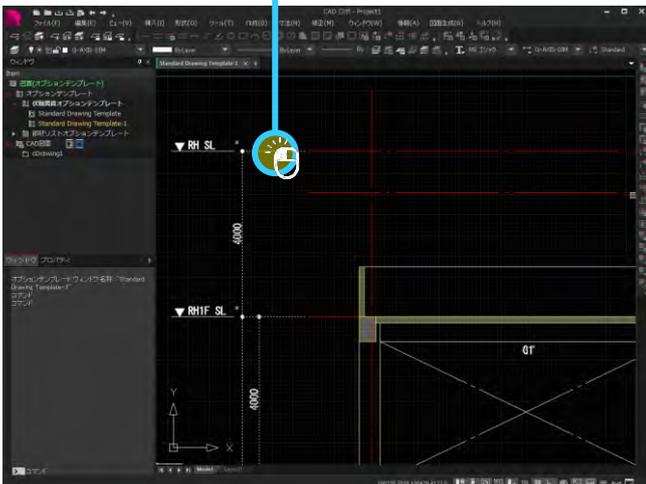


\* 図面構成要素やバブル、寸法、タイトル、階レベル表示などは鉄筋コンクリート、鉄骨、複合材料図面に共通で適用されます。

## STEP 2. オプションテンプレート編集

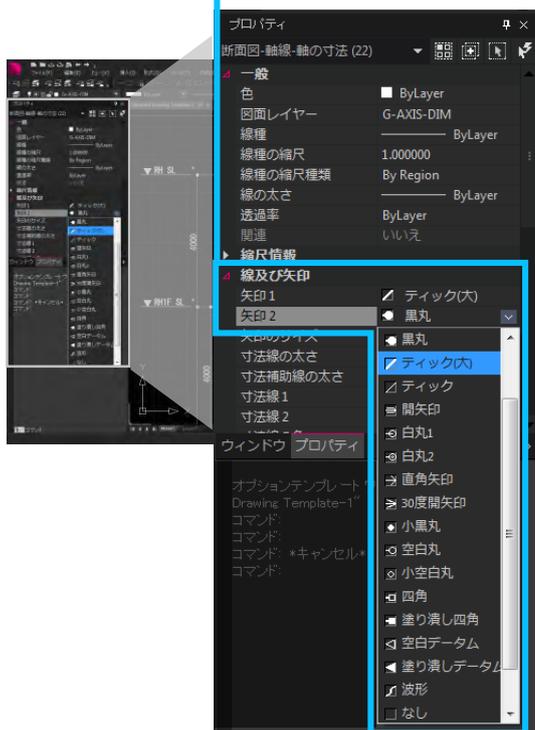
### 2-1. 寸法

1 寸法線をクリックして選択

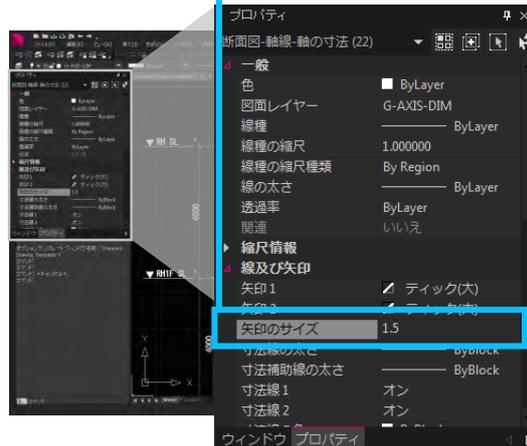


2 ツリーメニューから[プロパティ]選択

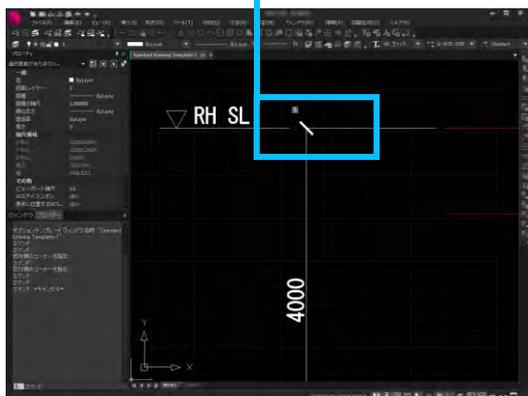
2 「線及び矢印」展開→「矢印1、矢印2」から形状を変更



3 「矢印のサイズ」を入力



4 反映されたことを確認

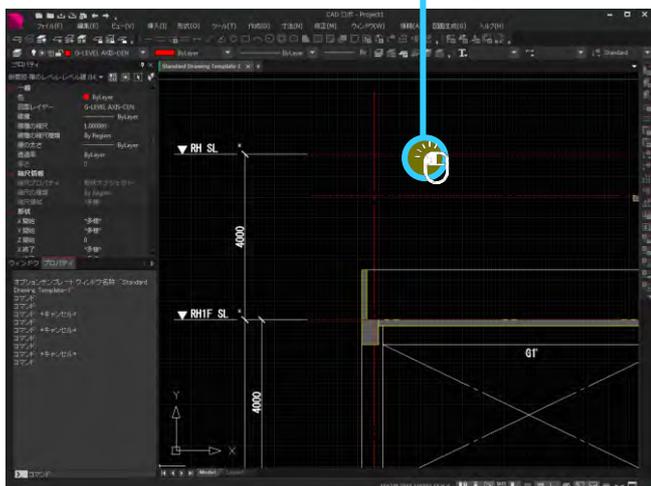


\* 編集内容はRC造、S造の図面に共通で適用されます。

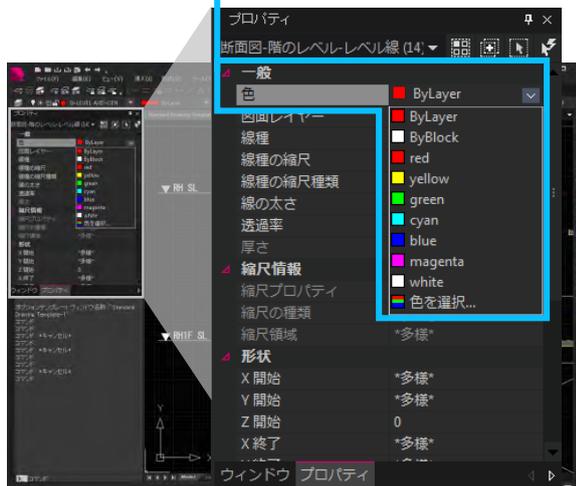
\* ESCキーを押すと選択を解除することができます。

2-2. 中心線

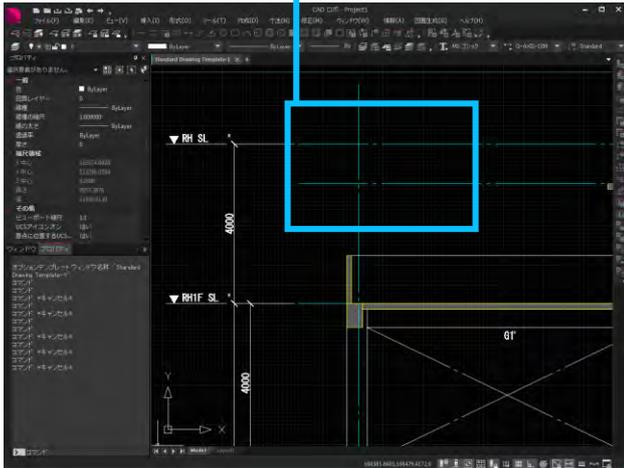
1 中心線をクリックして選択



2 「一般」→「色」から色を変更



3 反映されたことを確認

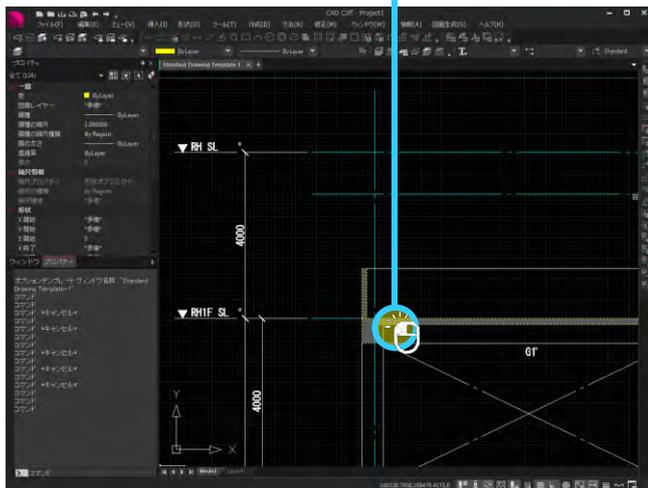


\* 編集内容はRC造、S造の図面に共通で適用されます。

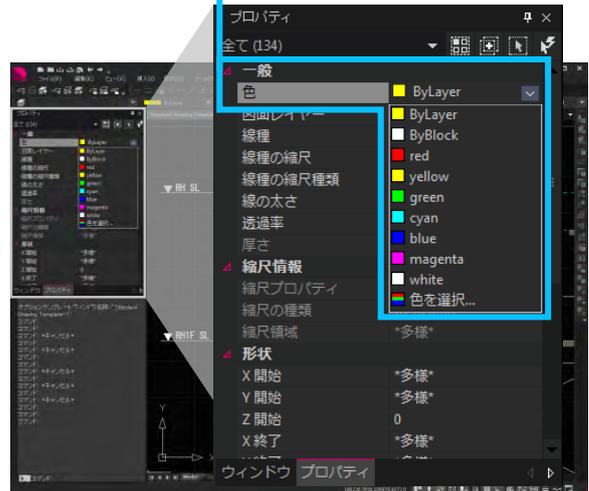
\* ESCキーを押すと選択を解除することができます。

2-3. 断面線

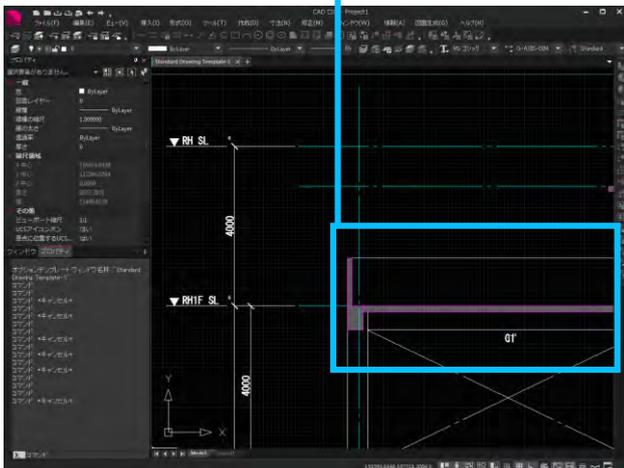
1 柱/壁/スラブの断面線をクリックして選択



2 「一般」→「色」から色を変更



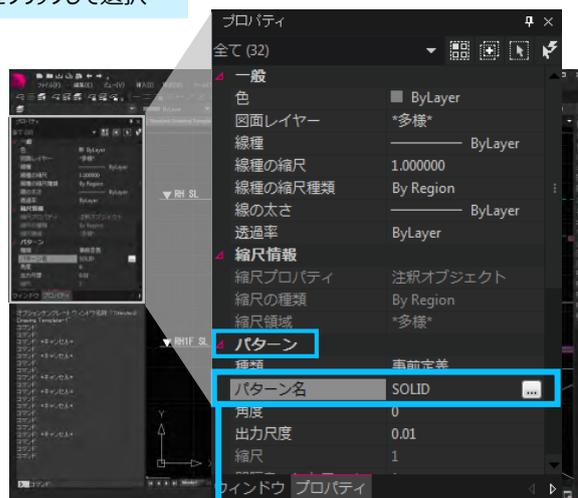
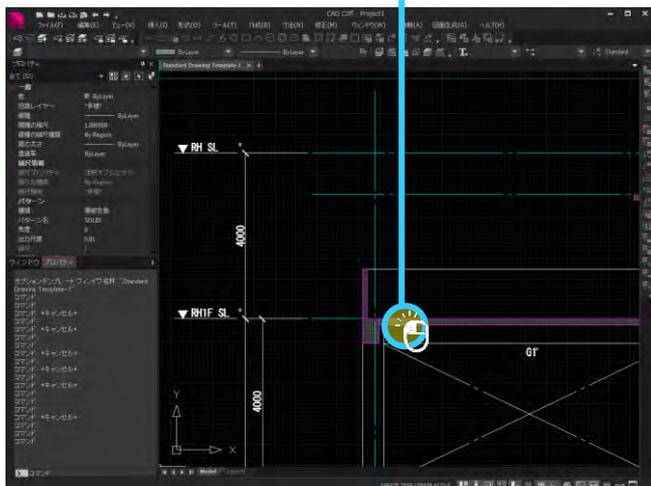
3 反映されたことを確認



\* ESCキーを押すと選択を解除することができます。

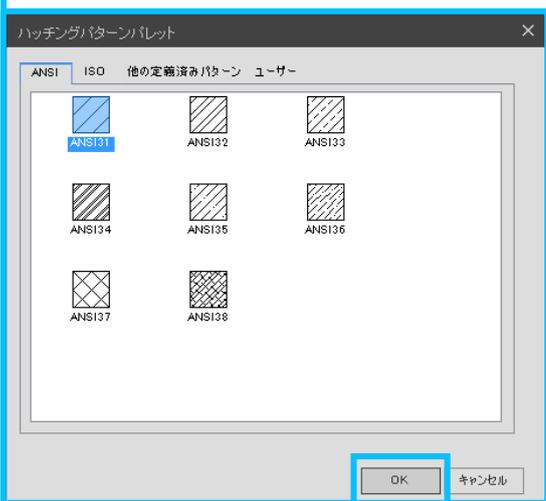
## 2-4. ハッチング

1 柱/壁/スラブのハッチングをクリックして選択

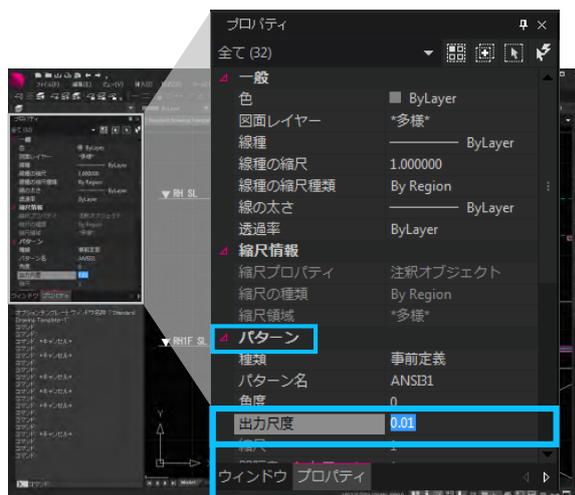


2 「パターン」→「パターン名」の  クリック

3 「ハッチングパターンパレット」からハッチング選択

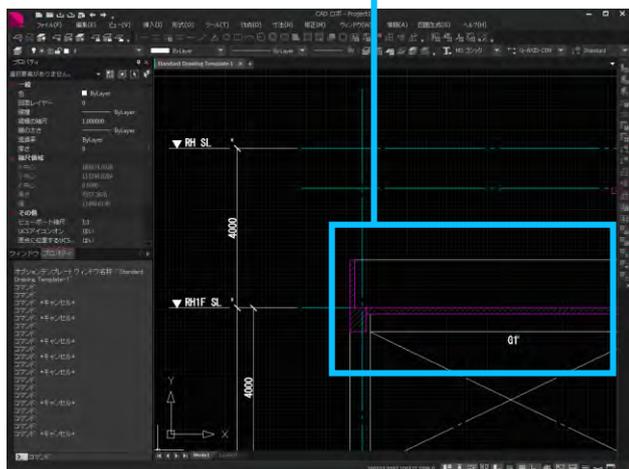


4 選択後、「OK」クリック



5 「パターン」→「出力尺度」を入力後、「Enter」

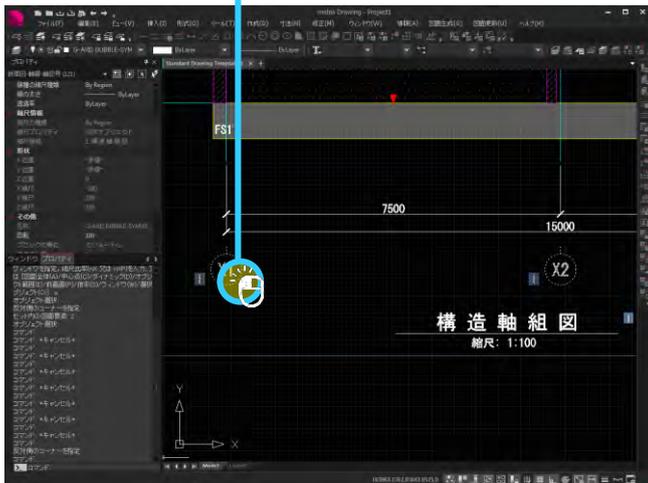
6 反映されたことを確認



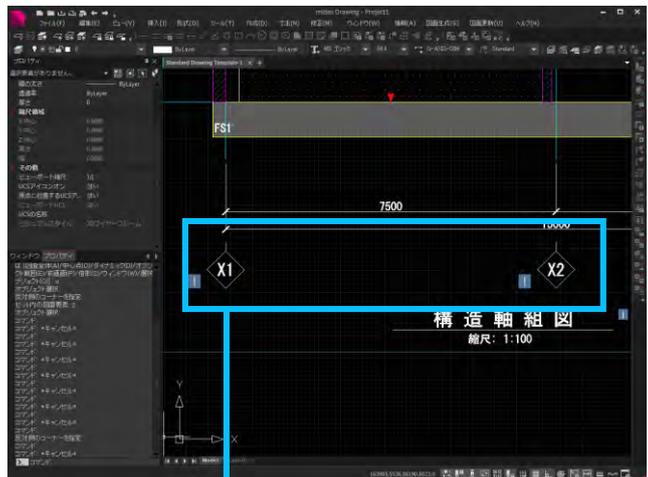
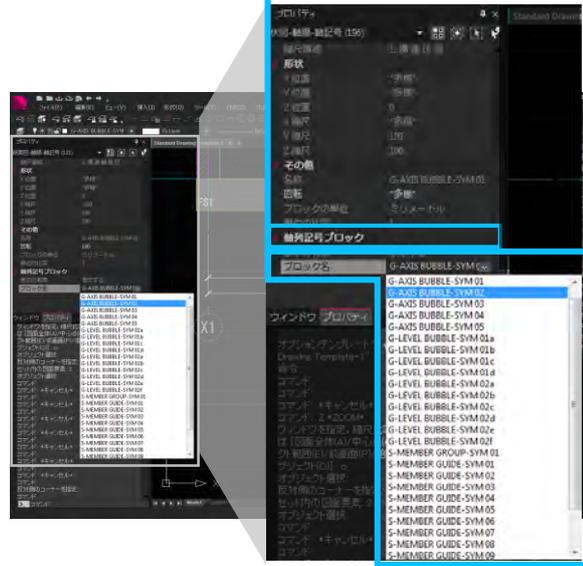
\* ESCキーを押すと選択を解除することができます。

## 2-5. バブル

1 バブルをクリックして選択



2 「軸列記号ブロック」→「ブロック名」から選択



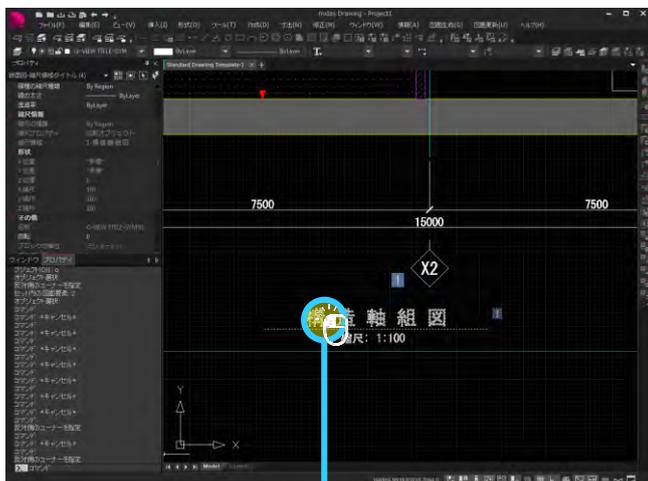
3 反映されたことを確認

\* 編集内容はRC造、S造の図面に共通で適用されます。

\* ESCキーを押すと選択を解除することができます。

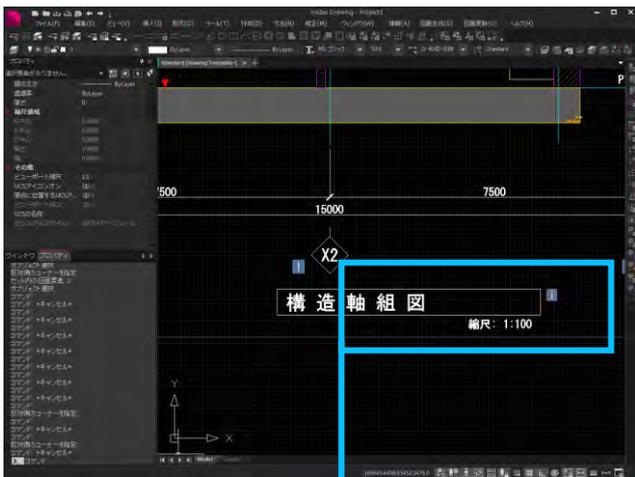
## 2-6. タイトル

2 「縮尺領域のタイトルのブロック」→「ブロック名」から選択



1 タイトルをクリックして選択





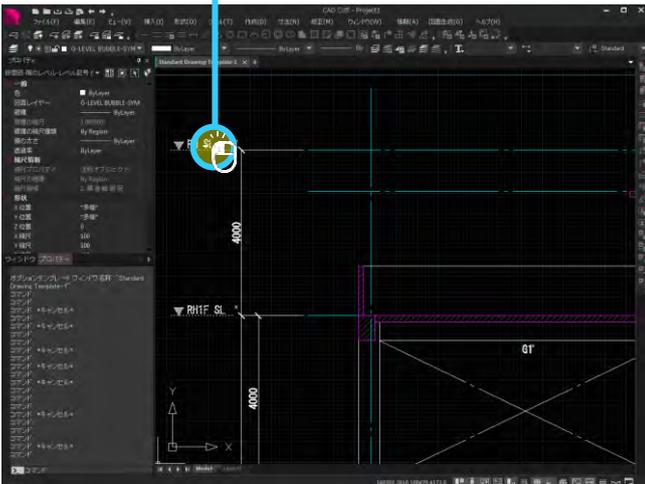
3 反映されたことを確認

\* 編集内容はRC造、S造の図面に共通で適用されます。

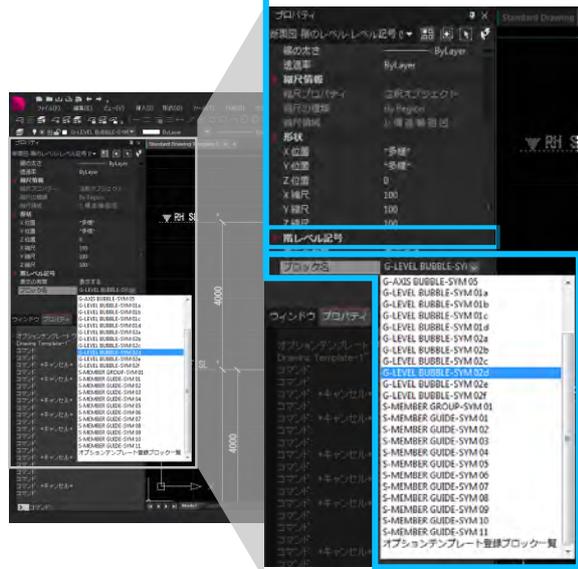
\* ESCキーを押すと選択を解除することができます。

## 2-7. レベル記号

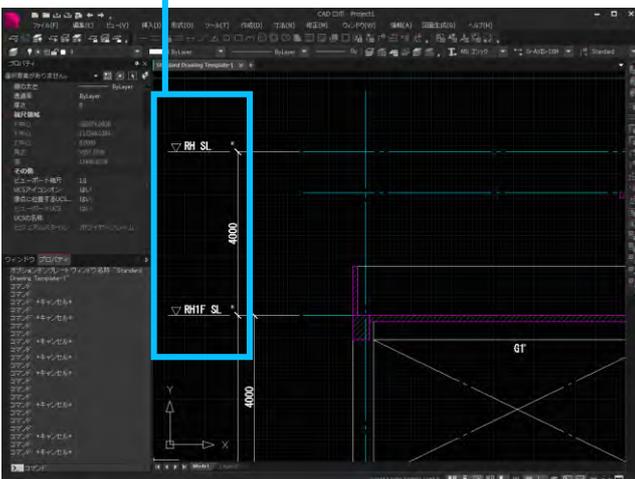
1 レベル記号をクリックして選択



2 「階レベル記号」→「ブロック名」から選択



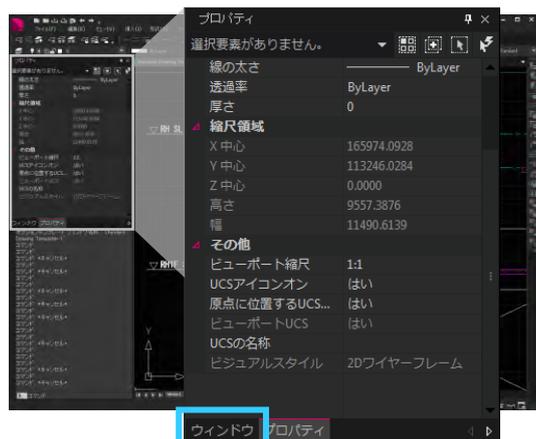
3 反映されたことを確認



\* 編集内容はRC造、S造の図面に共通で適用されます。

\* ESCキーを押すと選択を解除することができます。

### STEP 3. オプションテンプレート保存



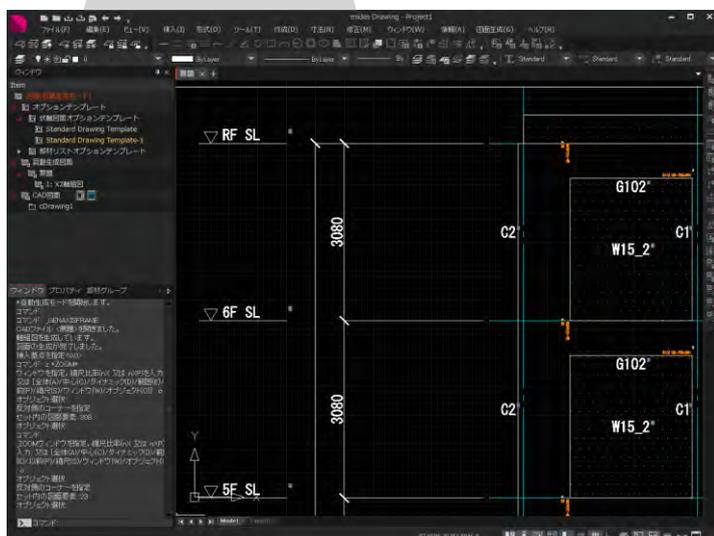
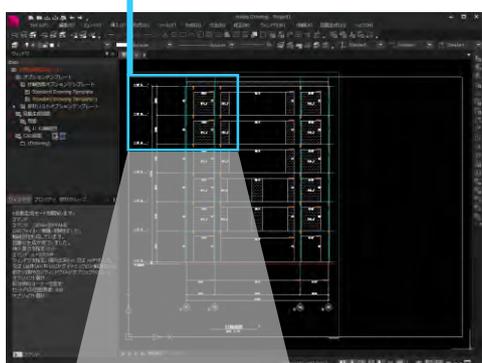
1 ツリーメニューから[ウィンドウ]選択



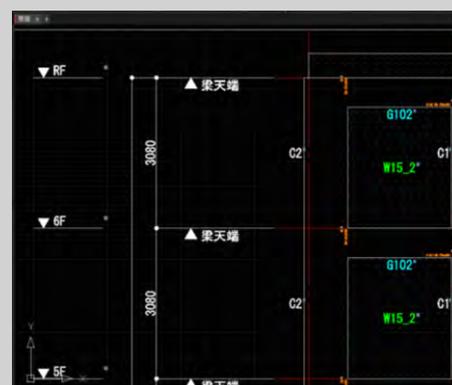
2 「Standard Drawing Template-1」右クリック  
→「保存」クリック

### STEP 4. 軸組図を生成し、スタイルを確認

1 保存したテンプレートで生成されたことを確認



図面スタイル変更前



# <連続印刷>

## 数十枚、数百枚の図面を1回のクリックで 一度に印刷する方法 -ナビ活用-

準備物：SS3のCSVデータ

図面を一枚ずつファイルに保存しなくても、ペーパー空間でレイアウト設定をしなくても、  
複数の図面を一度に印刷できます。縮尺が異なる図面を問題ありません。

※CADロボでは、midas eGenでSS3のCSVを読み込み、midas Drawingで構造図を生成します。



### 全7ステップ

STEP 1. ナビゲーション起動

STEP 2. CSVデータの読み込み

STEP 3. モデルファイルを保存

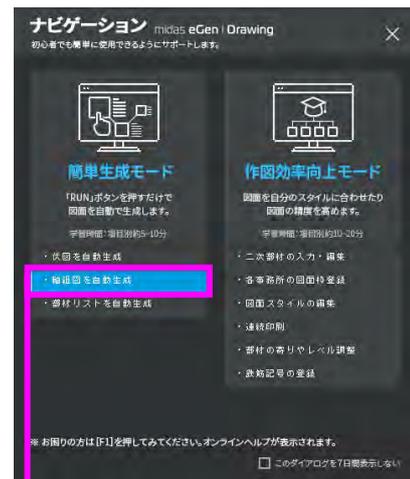
STEP 4. 図面生成プログラム(midas Drawing)の起動

STEP 5. 生成する軸組図を選択

STEP 6. 軸組図を配置

STEP 7. 軸組図を印刷

## STEP 1. ナビゲーション起動



## STEP 2. CSVデータの読み込み



\* CSVのサンプルデータは「C:\%Program Files%\MIDAS\CAD Robo\midas eGen\FreeNavi\Scenario1」にあります。

### STEP 3. モデルファイルを保存

1 「Run」ボタンをクリック

2 ファイル名入力

3 「保存」をクリック

\* 構造図を生成するためには、midas eGenの拡張子(\*.jmeb)にデータを保存する必要があります。

### STEP 4. 図面生成プログラム(midas Drawing)の起動

1 「Run」ボタンをクリック

図面自動生成プログラム(midas Drawing)は自動に立ち上がります。

### STEP 5. 生成する軸組図を選択

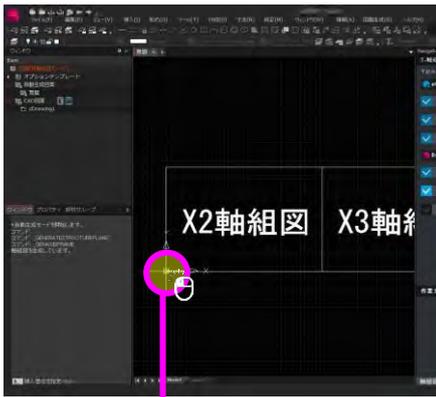
1 「Run」ボタンをクリック

2 生成する軸組図の種類、縮尺、図面枠を選択

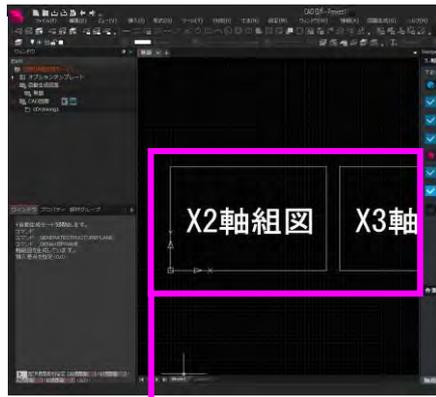
3 「OK」をクリック

図面名	図面番号	図面位置	可視深度	縮尺	図面枠
X1軸組図	X1	-1.10	3.00	1:100	midas SHEET A3
X2軸組図	X2	-1.00	2.4	1:100	midas SHEET A3
X3軸組図	X3	-1.00	2.4	1:100	midas SHEET A3
X4軸組図	X4	-1.00	2.4	1:100	midas SHEET A3
X5軸組図	X5	-1.00	2.4	1:100	midas SHEET A3
X6軸組図	X6	-1.00	2.4	1:100	midas SHEET A3
X7軸組図	X7	-1.1	3.1	1:100	midas SHEET A3
X8軸組図	X8	-1.1	3.25	1:100	midas SHEET A3
X9軸組図	X9	-1.1	3.00	1:100	midas SHEET A3
X10軸組図	X10	-1.02	3.00	1:100	midas SHEET A3
X11軸組図	X11	-0.95	3.00	1:100	midas SHEET A3

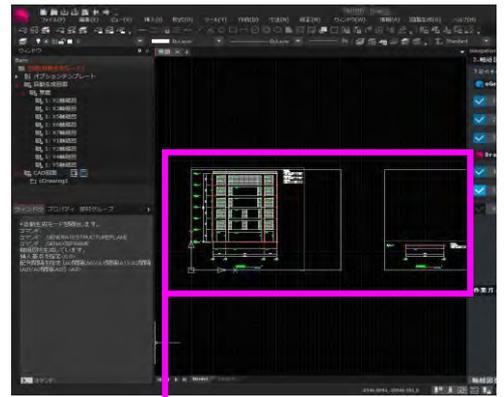
## STEP 6. 軸組図を配置



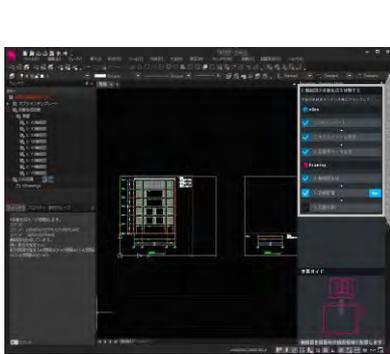
1 生成図を任意の位置に配置  
(画面上でクリック)



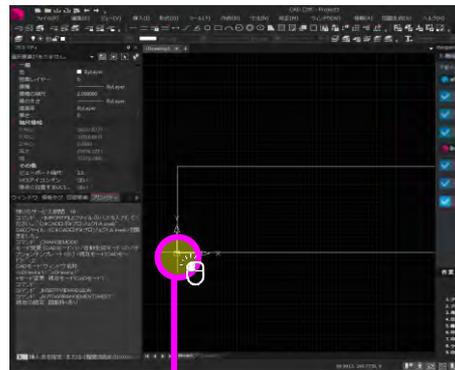
2 図面間間隔指定



3 図面確認(図面枠なし)

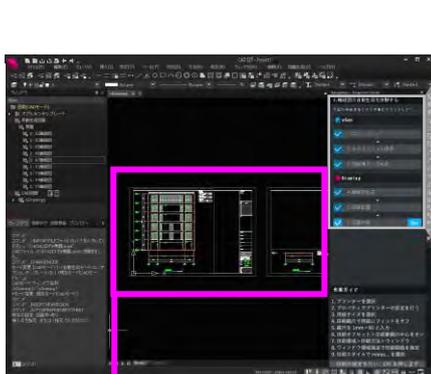


4 「Run」ボタンをクリック



5 図面枠付きの図面を任意の位置に配置  
(画面上でクリック)

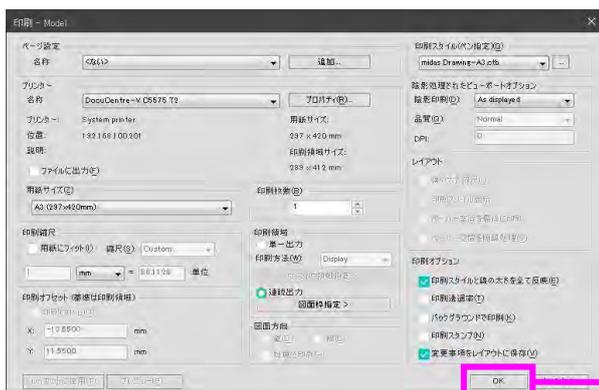
## STEP 7. 軸組図を印刷



1 図面枠付きの図面確認



2 「Run」ボタンをクリック



3 「OK」をクリック

印刷ダイアログ設定は次のページをご参考ください》

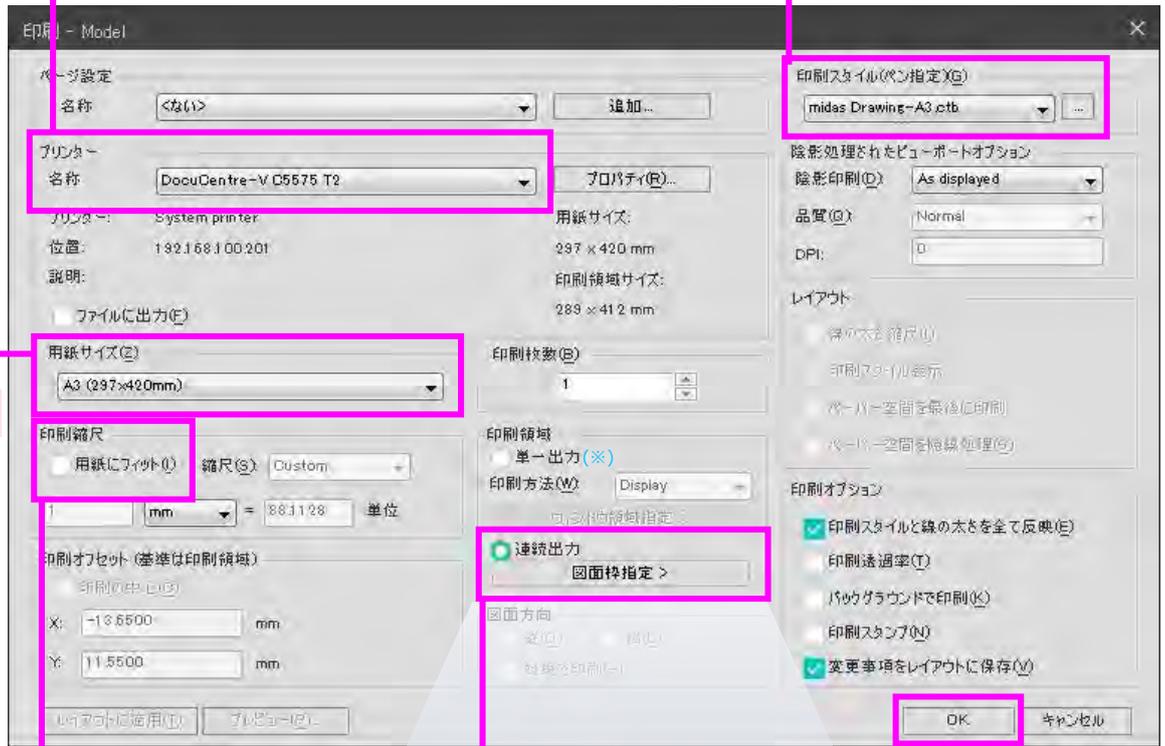
## 《 印刷設定方法 》

### 2 図面を出力するプリンター選択

\* ②複数の図面を1つのPDFファイルに保存する場合は、midas File Printerを選択してください。

### 1 印刷スタイル選択

\* ①AutoCADの印刷スタイルテーブルも使用できます。(色従属印刷スタイル テーブルCTB ファイルのみ)



### 3 用紙サイズ選択

### 4 チェックを外す

\* ④チェックを外さないと用紙の線が印刷され、図面が少し小さくなります。

### 5 [印刷領域]から 連続出力【図面枠指定>】選択

\* ⑤連続出力を選択すれば、複数の図面を一度に印刷できます。連続印刷では縮尺の異なる図面も一度に印刷できます。

### 8 すべての設定後、 「OK」クリック

このダイアログボックスは【図面枠指定>】クリックで開けます。

### 6 印刷する図面を選択

### 6-1 こちらのボタンからも 印刷図面選択可能



\* 作業空間にある図面枠が選択できます。

### 7 「OK」クリック

#### ※ 単一出力 印刷方法

- Display : Model空間やLayout空間の画面で表示されている範囲を出力します。
- Extents : 現在の空間内のすべてのオブジェクトが印刷されます。
- Limits : グリッドの限界で定義されるすべての作図領域を印刷します。
- Window : 指定した図面の任意の部分を選択して印刷します。

【ウィンドウ領域指定>】ボタンをクリックすると一時的にダイアログボックスが閉じられ、印刷領域を指定できます。

# <書き出し>

## 普段お使いのCADで編集する方法

準備物：SS3のCSVデータ

自動生成した軸組図をDXF, DWGデータに書き出し、使い慣れたCADで作業することが簡単にできます。

※CADロボでは、midas eGenでSS3のCSVを読み込み、midas Drawingで構造図を生成します。



### 全7ステップ

STEP 1. ナビゲーション起動

STEP 2. CSVデータの読み込み

STEP 3. モデルファイルを保存

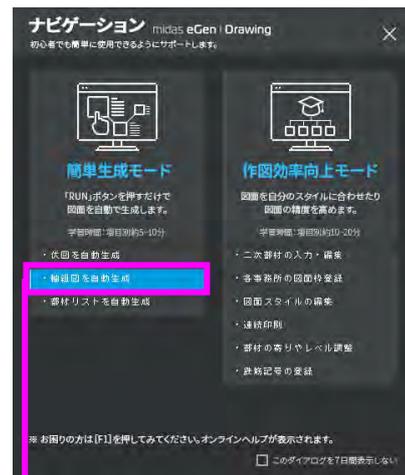
STEP 4. 図面生成プログラム(midas Drawing)の起動

STEP 5. 生成する軸組図を選択

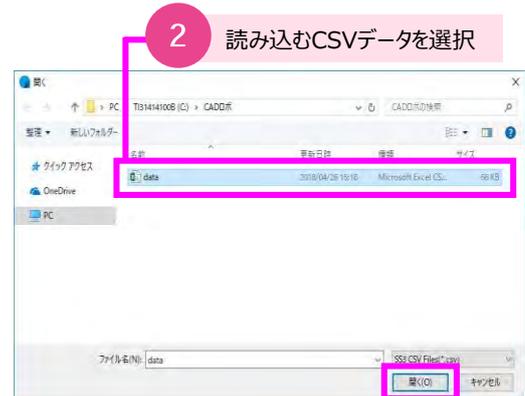
STEP 6. 軸組図を配置

STEP 7. CADデータに書き出し

### STEP 1. ナビゲーション起動



### STEP 2. CSVデータの読み込み



3 「開く」をクリック

\* CSVのサンプルデータは「C:\Program Files\MIDAS\CAD Robo\midas eGen\FreeNavi\Scenario1」にあります。

### STEP 3. モデルファイルを保存



1 「Run」ボタンをクリック

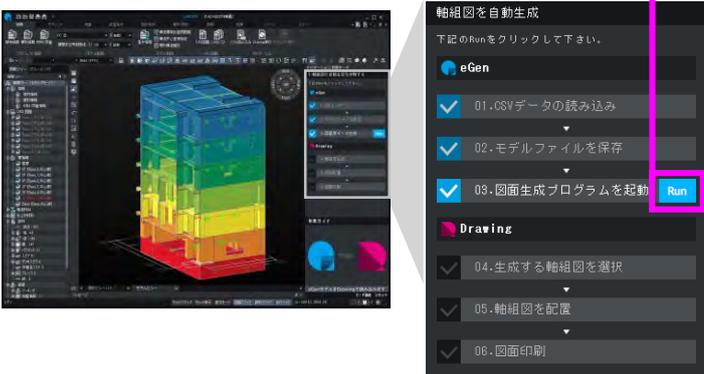


2 ファイル名入力

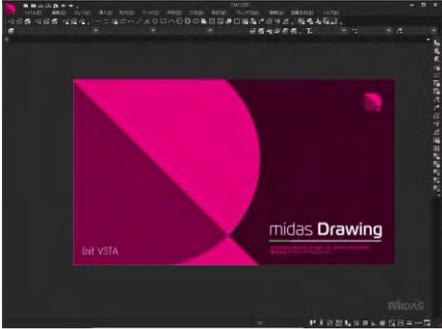
3 「保存」をクリック

\* 構造図を生成するためには、midas eGenの拡張子(\*.jmeb)にデータを保存する必要があります。

### STEP 4. 図面生成プログラム(midas Drawing)の起動

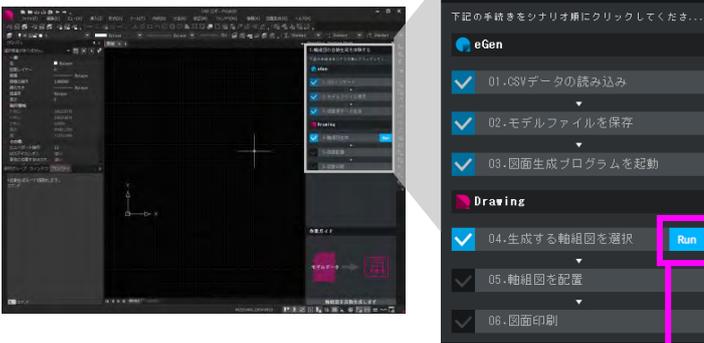


1 「Run」ボタンをクリック

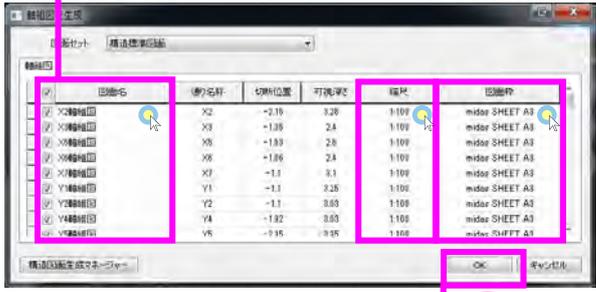


図面自動生成プログラム(midas Drawing)は自動に立ち上がります。

### STEP 5. 生成する軸組図を選択



1 「Run」ボタンをクリック

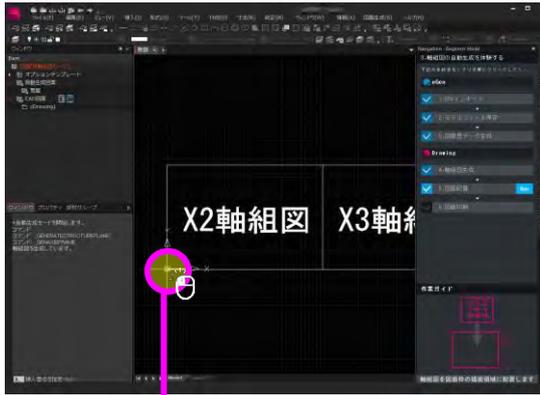


2 生成する軸組図の種類、縮尺、図面枠を選択

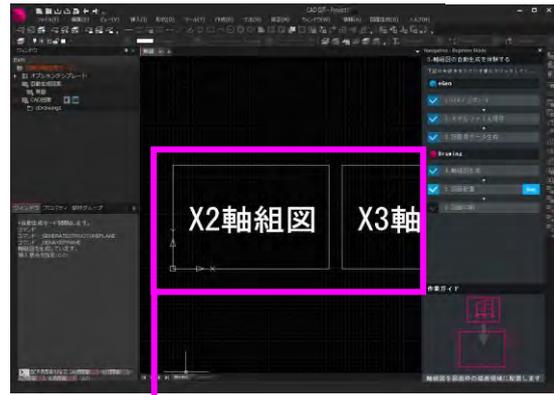
3 「OK」をクリック

図面名	縮尺	図面枠
X2	1:100	midas SHEET A3
X3	1:100	midas SHEET A3
X5	1:100	midas SHEET A3
X8	1:100	midas SHEET A3
X9	1:100	midas SHEET A3
X1	1:100	midas SHEET A3
Y1	1:100	midas SHEET A3
Y2	1:100	midas SHEET A3
Y4	1:100	midas SHEET A3
Y5	1:100	midas SHEET A3

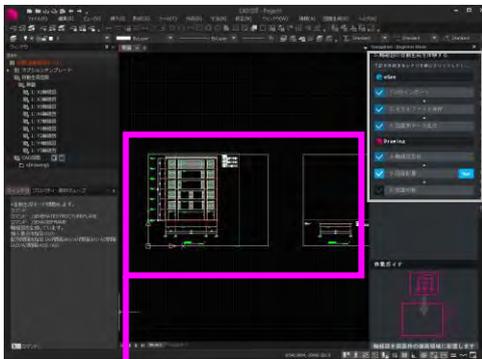
## STEP 6. 軸組図を配置



1 生成図を任意の位置に配置  
(画面上でクリック)



2 図面間間隔指定

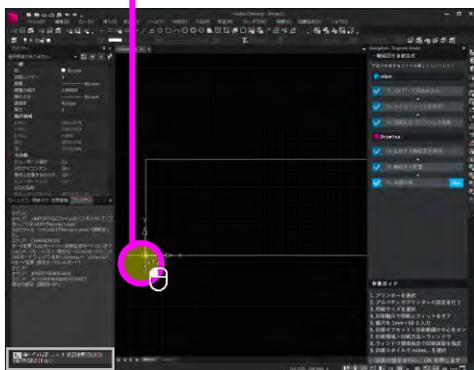


3 自動生成図面を確認



4 「Run」ボタンをクリック

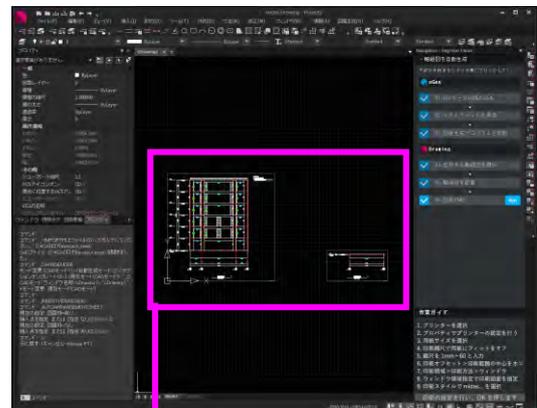
6 任意の位置に配置  
(画面上でクリック)



挿入点を指定 または [内部参照なし(R)]  
図面枠なし(S) <0,0>:

5 内部参照なし(R)の「R」入力後、「Enter」  
図面枠なし(S)の「S」入力後、「Enter」

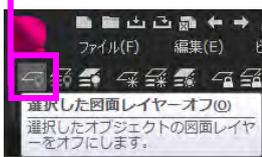
挿入点を指定 または [内部参照なし(R), 図面枠なし(S)] <0,0>:R  
現在の設定: 内部参照=なし, 図面枠=あり  
挿入点を指定 または [内部参照あり(R), 図面枠なし(S)] <0,0>:S  
現在の設定: 内部参照=なし, 図面枠=なし



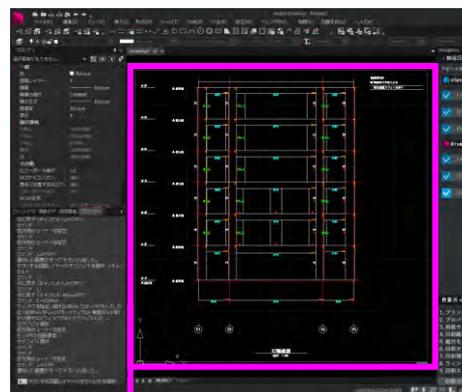
7 図面枠がない図面を確認

## STEP 7. CADデータに書き出し

2 「選択した図面レイヤーオフ」アイコンをクリック



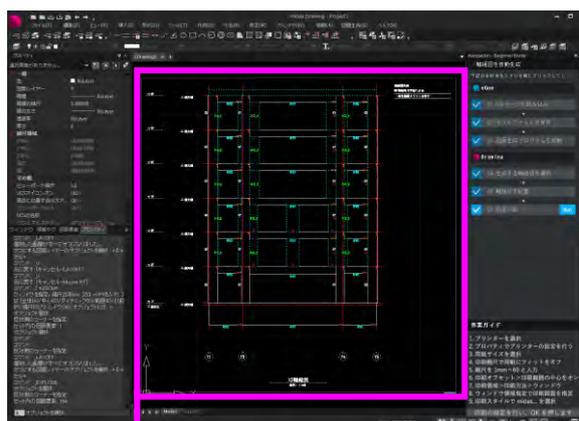
1 寸法、ハッチングをクリックして選択



3 図面を確認

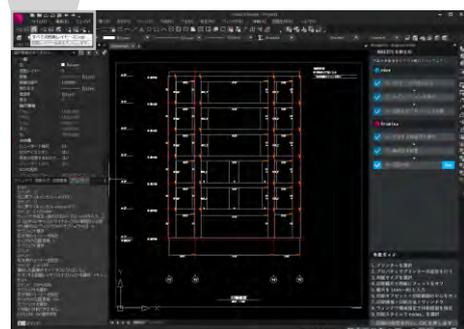
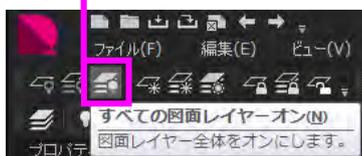


4 [修正]→「分解」選択



5 図面を選択後、「Enter」

6 「すべての図面レイヤーオン」アイコンをクリック





7 [ファイル]→「書き出し」→  
「現在ウィンドウをDWGファイルに書き出し」選択

\* 図面を生成した段階で図面の書き出しが可能です。  
印刷をする場合は続いて「Run」から進めてください。



8 ファイル名入力、  
ファイルの種類指定

9 「保存」クリック

\* dwg, dxfファイルに書き出し可能です。  
書き出したデータをJw-cadに読み込む方法は  
「<http://cadrobo-online-help.midasit.co.jp/mdw-f0081/>」をご参考ください。

# <レベル移動>

## レベルの調整結果が自動で反映された軸組図を自動生成する方法

準備物：SS3のCSVデータ

レベルの調整結果が図面にそのまま反映されますし、意匠階高を基準とした梁天端レベルもきちんと表示されます。また部材ごとに個別にレベル移動を設定することもできます。

※CADロボでは、midas eGenでSS3のCSVを読み込みや配筋情報を入力し、midas Drawingで構造図を生成します。

全 3 ステップ

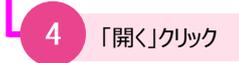
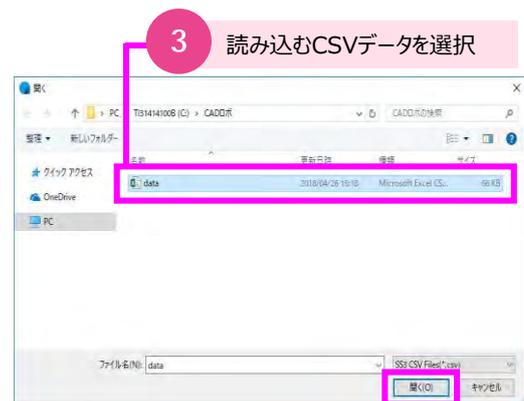
STEP 1. CSVデータの読み込み

STEP 2. 部材のレベル調整（レベル移動）

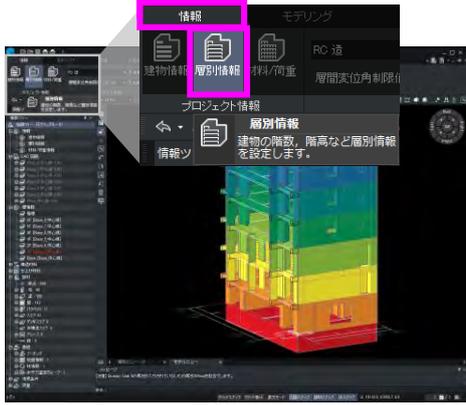
STEP 3. 軸組図を自動生成して確認



### STEP 1. CSVデータの読み込み

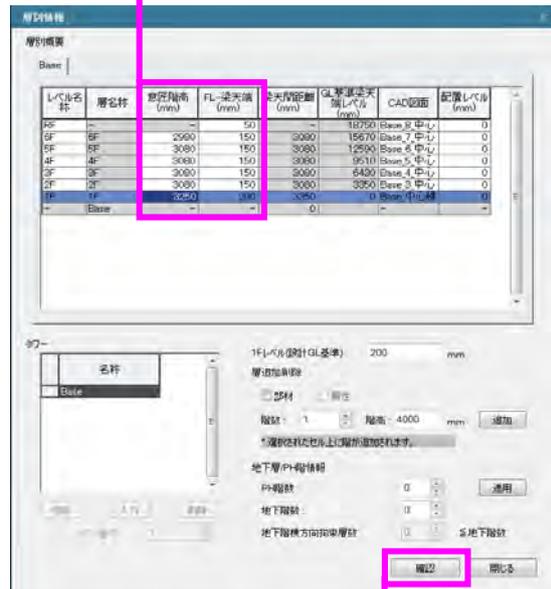


5 [情報]から「層別情報」ボタンをクリック



6 「意匠階高」、「FL-梁天端」修正

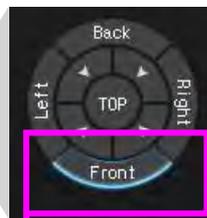
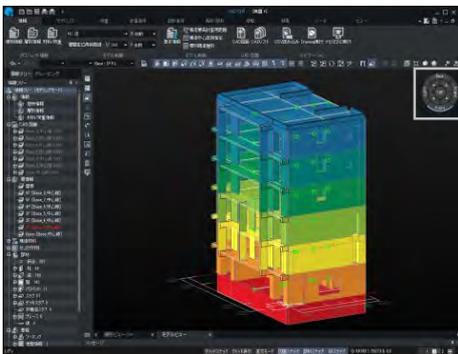
\* 層の高さを意匠階高基準に修正し、意匠階高を基準とした梁天端レベルを入力します。



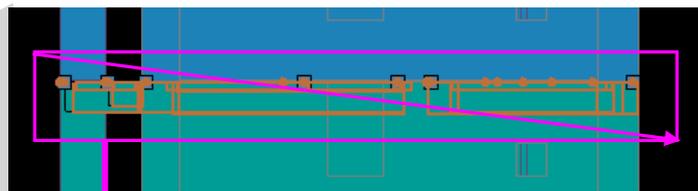
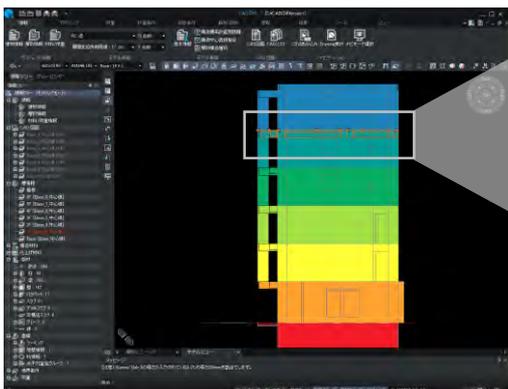
7 「確認」クリック

## STEP 2. 部材のレベル調整 (レベル移動)

※ 6階の大梁、小梁、スラブの一部をレベル移動させます。

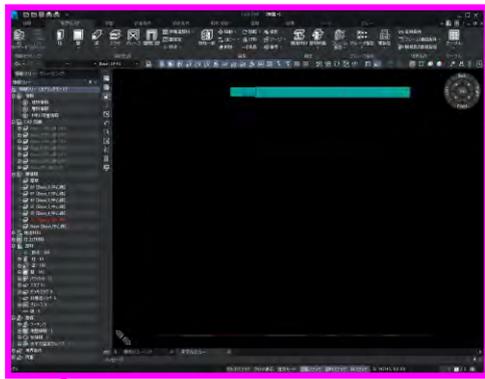


1 「Front」クリック

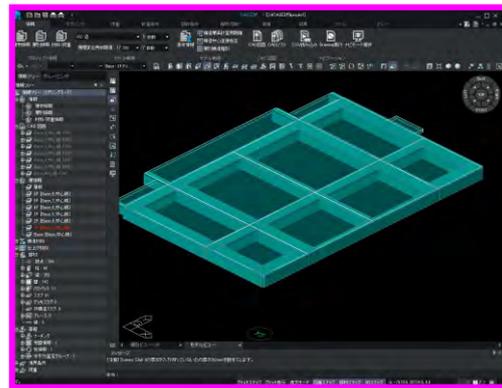


2 マウスをドラッグして部材を選択

\* 右→左：枠内にかかっている部材が選択  
左→右：枠内に納まっている部材が選択

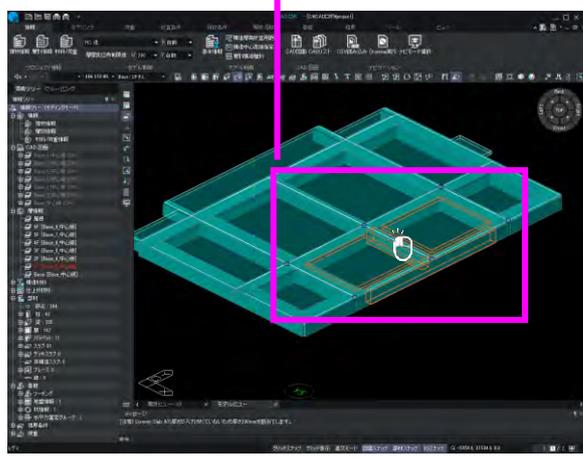


3 [F2]を押して選択した部材のみ表示

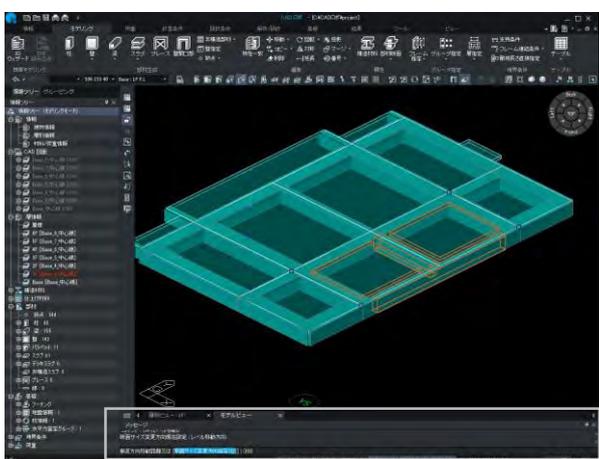


4 操作しやすいようにモデルの表示範囲、角度を調整

5 レベルを移動させる部材を選択

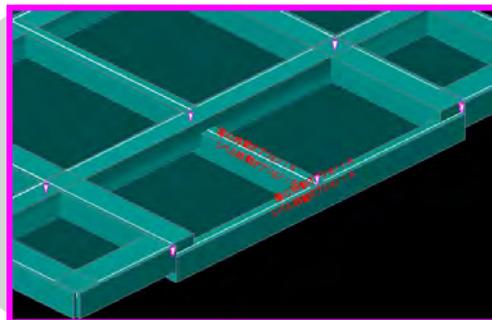
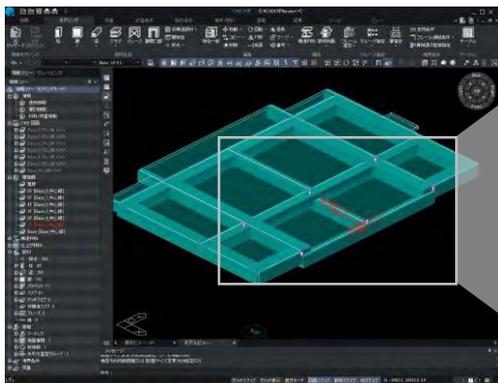


6 [モデリング]→「移動」→「レベル移動」をクリック



メッセージ  
 コマンド: LM (レベル移動)  
 断面サイズ変更方向現在設定: レベル移動方向  
 垂直方向移動距離又は [断面サイズ変更方向指定(D)]: -300

7 メッセージを確認し「垂直方向移動距離」を入力後、「Enter」

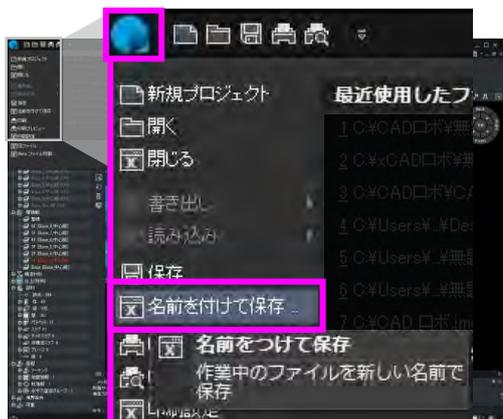


8

部材の移動を確認

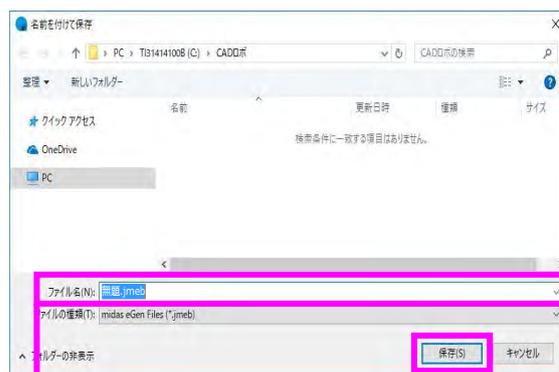
\* 部材が移動されると→が表示されます。

### STEP 3. 軸組図を自動生成して確認



1

から「名前を付けて保存」選択



2

ファイル名入力

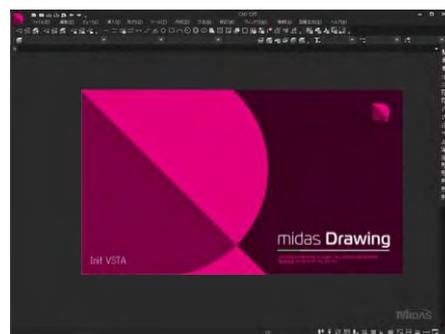
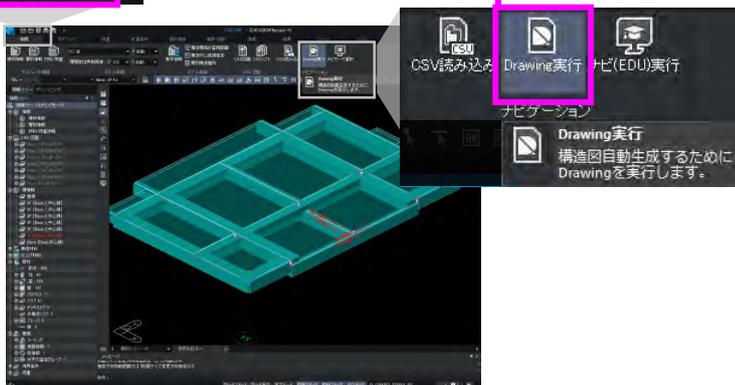
3

「保存」クリック



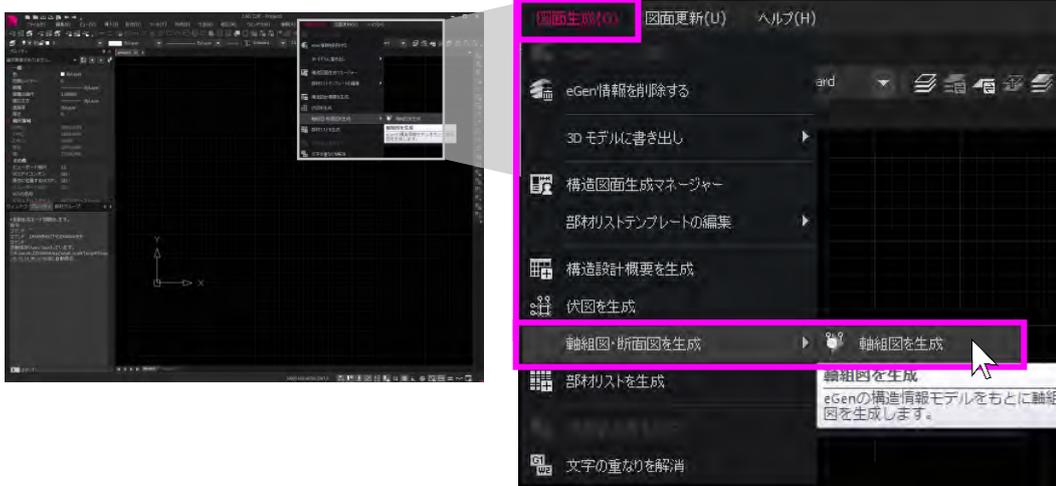
4

「情報」から「Drawing実行」ボタンをクリック

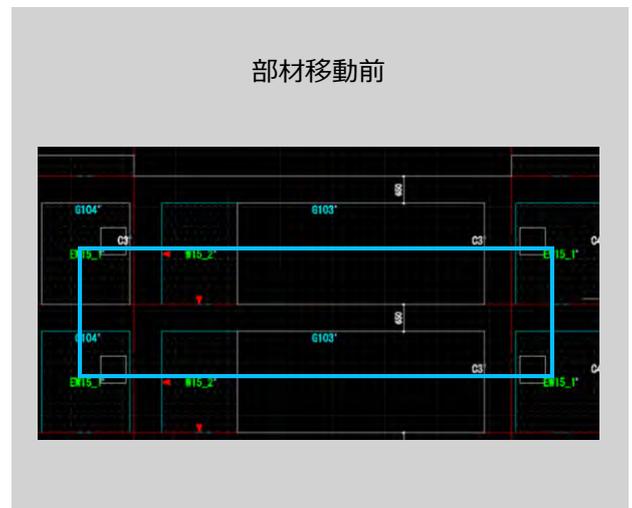
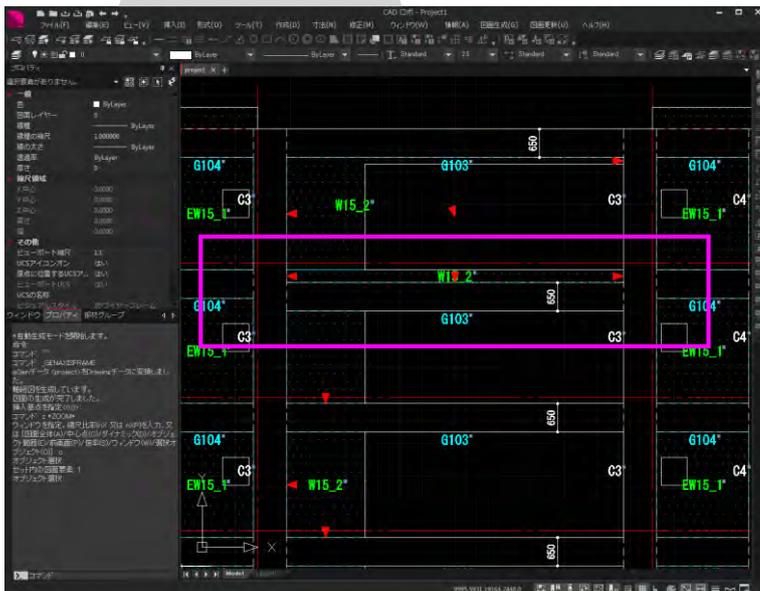
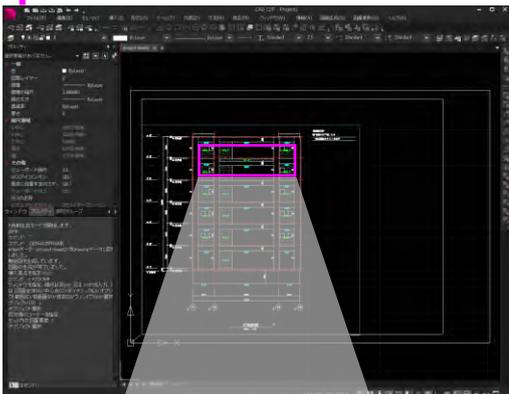


図面生成プログラム(midas Drawing)は自動に立ち上がります。

5 [図面生成]→「軸組図を生成」選択



6 部材の移動結果が図面に反映されたことを確認



# 部材リストを自動生成する

## I 部材リストのレイアウトの調整、手間ではありませんか？

- ＜自動生成 1＞
  - ・簡単に自動分割された部材リストを自動生成する方法 93
- ＜自動生成 2＞
  - ・地中梁、小梁などより多くの部材リストを生成する 96
- ＜連続印刷＞
  - ・数十枚、数百枚の図面を1階のクリックで一度に印刷する方法 101

## II 自分の事務所のスタイルで図面を自動生成しませんか？

- ＜図面枠登録＞
  - ・事務所の図面枠にぴたっとレイアウトされた部材リストを自動生成する方法 105
- ＜図面スタイル＞
  - ・事務所のスタイルに合わせた部材リストを自動生成する方法 113
- ＜鉄筋記号登録＞
  - ・あなたの鉄筋記号で部材リストを自動生成する 122
- ＜リスト枠設定ダイアログ＞
  - ・見栄えの良い部材リストを簡単に自動生成する方法 127
- ＜書き出し＞
  - ・普段お使いのCADで編集する方法 139



# <自動生成 1>

## 簡単に自動分割された部材リストを自動生成する方法 -ナビ活用-

準備物：SS3のCSVデータ

※CADロボでは、midas eGenでSS3のCSVを読み込み、midas Drawingで構造図を生成します。



### 全6ステップ

STEP 1. ナビゲーション起動

STEP 2. CSVデータの読み込み

STEP 3. モデルファイルを保存

STEP 4. 図面生成プログラム(midas Drawing)の起動

STEP 5. 生成する部材リストを選択

STEP 6. 部材リストを配置

### STEP 1. ナビゲーション起動

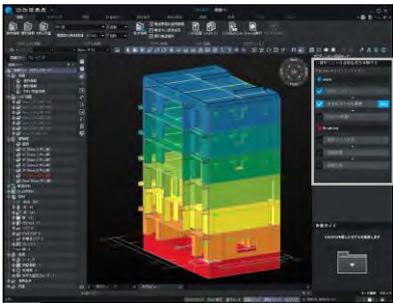


### STEP 2. CSVデータの読み込み



\* CSVのサンプルデータは「C:\Program Files\MIDAS\CAD Robo\midas eGen\FreeNavi\Scenario1」にあります。

### STEP 3. モデルファイルを保存



1 「Run」ボタンをクリック

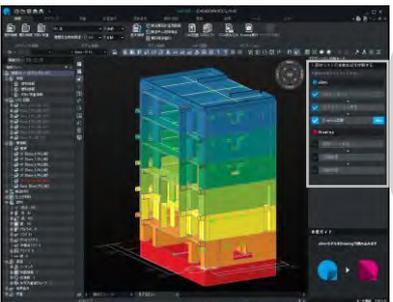


2 ファイル名入力

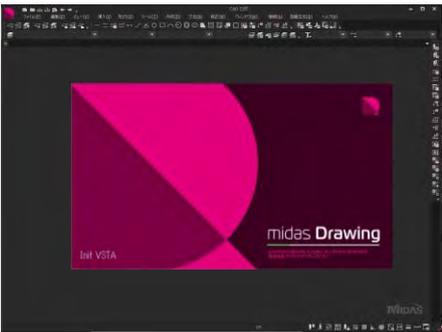
3 「保存」をクリック

\* 構造図を生成するためには、midas eGenの拡張子(\*.jmeb)にデータを保存する必要があります。

### STEP 4. 図面生成プログラム(midas Drawing)を起動

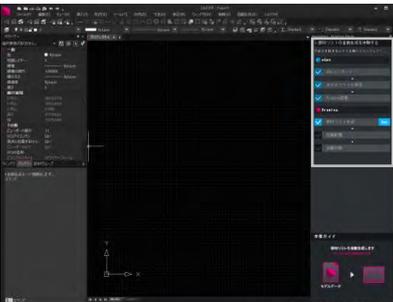


1 「Run」ボタンをクリック



図面自動生成プログラム(midas Drawing)は自動に立ち上がります。

### STEP 5. 生成する部材リストを選択



1 「Run」ボタンをクリック

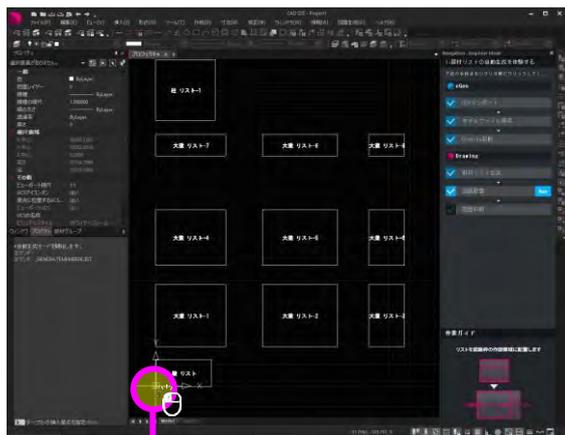


2 生成する部材リストの種類、縮尺、図面枠を選択

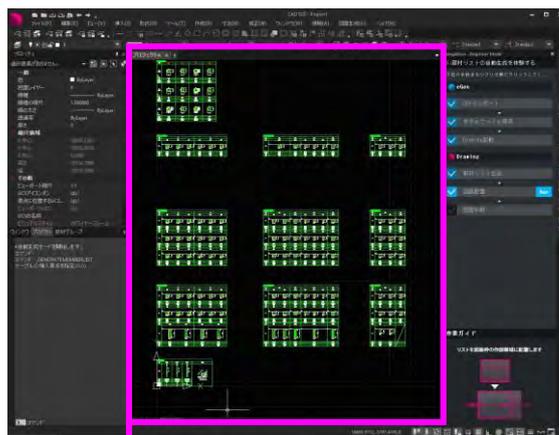
3 「OK」をクリック

\* 地中梁、小梁、スラブなどもっと多い部材リストを生成したい方は「地中梁、小梁などより多い部材リストを生成する」をご参考ください。

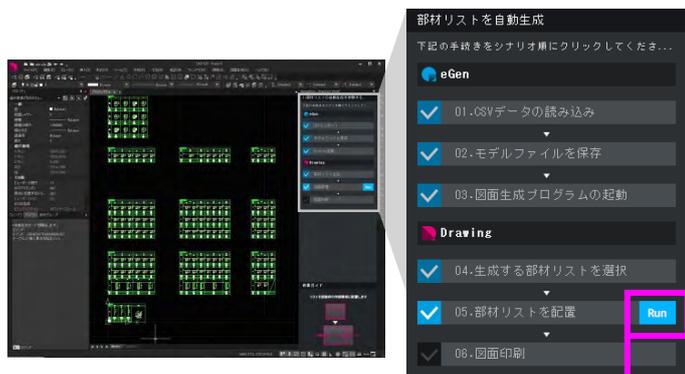
## STEP 6. 部材リストを配置



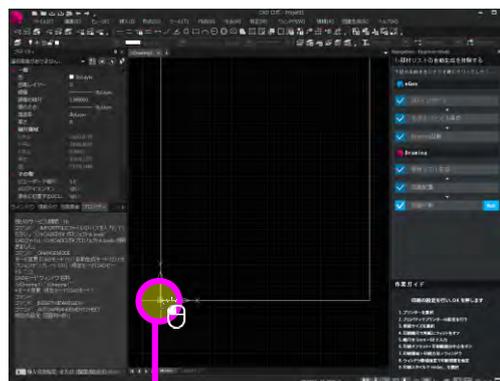
1 生成図を任意の位置に配置(画面上でクリック)



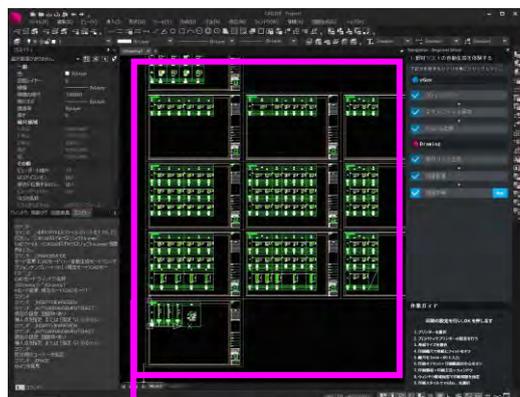
2 自動で分割された部材リストを確認



3 「Run」ボタンをクリック



4 図面枠付きの図面を任意の位置に配置(画面上でクリック)



5 図面枠付きの図面確認

# <自動生成 2>

## 地中梁、小梁など

### より多くの部材リストを自動生成する

準備物：SS3のCSVデータ

※CADロボでは、midas eGenでSS3のCSVを読み込み、midas Drawingで構造図を生成します。



全 6 ステップ

STEP 1. CSVファイルの読み込み

STEP 2. 地中梁として指定

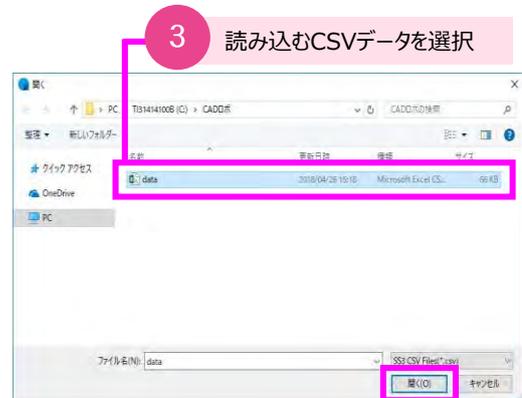
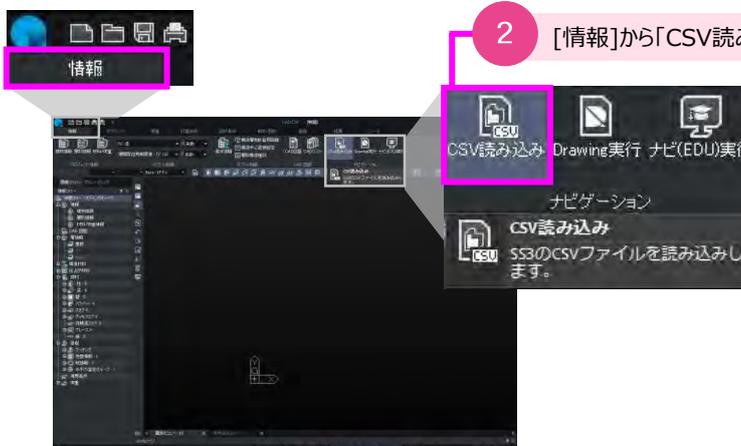
STEP 3. 配筋情報入力

STEP 4. モデルファイルを保存

STEP 5. 図面生成プログラム(midas Drawing)を起動

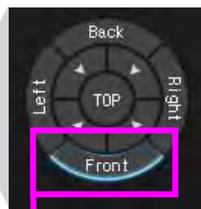
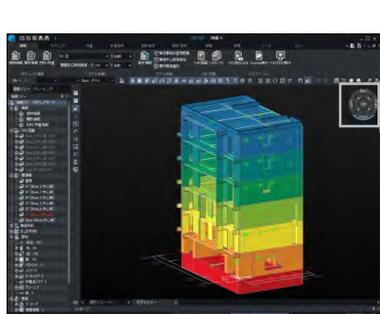
STEP 6. 部材リストを生成

## STEP 1. CSVファイルの読み込み

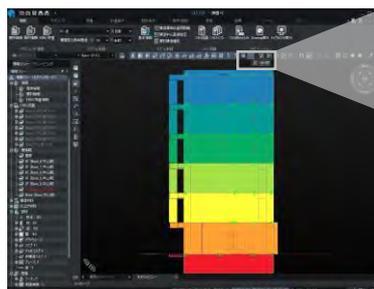


\* CSVのサンプルデータは  
「C:\Program Files\MIDAS\CAD Robo\midas eGen\FreeNavi\Scenario1」にあります。

## STEP 2. 地中梁として指定



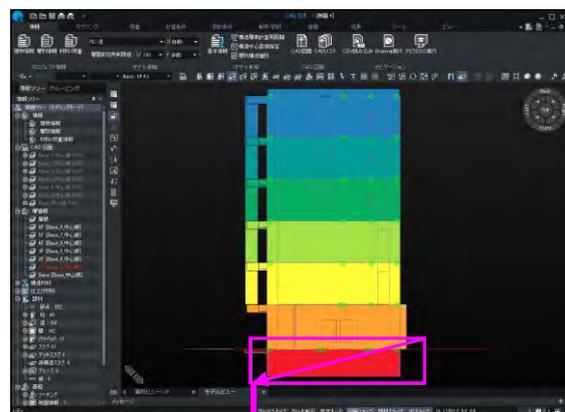
1 「Front」クリック



2 「All Off」ボタン  
クリック



3 「梁選択」ボタンをクリック

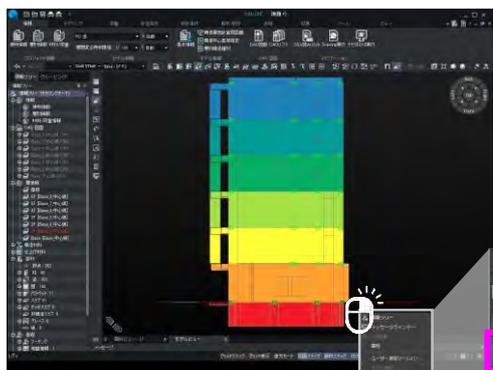


4 右から左へドラッグ

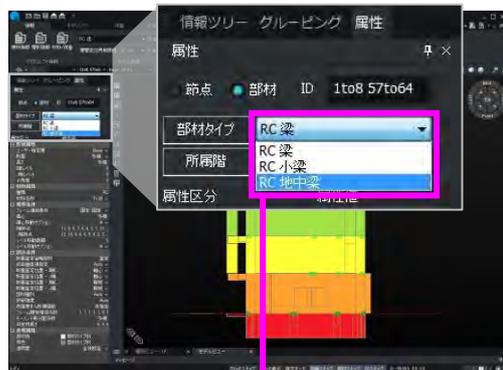
\* 右から左にドラッグして囲むと囲んだ範囲に一部でも  
含まれた部材が選択されます。



5 選択された梁を確認



6 マウス右クリック後、「属性」選択



7 ツリーメニュー「属性」→  
部材タイプ「RC 地中梁」選択

## STEP 3. 配筋情報入力

### 3-1. RC小梁

1 [設計条件]→「断面検定入力情報 RC」→「小梁入力情報」選択




左側		中央	
上端	下端	上端	下端
3	D18	3	D18
3	D19	3	D19
3	D19	3	D19

2 RC小梁の配筋情報入力

3 入力後、「確認」をクリック

※タブで入力項目を切り替える場合は、「適用」を押してから進めてください。

### 3-2. RC片持ち梁

1 [設計条件]→「断面検定入力情報 RC」→「片持ち梁入力情報」選択




基端	
上端	下端
3	D25
3	D25

2 RC片持ち梁の配筋情報入力

3 「確認」をクリック

### 3-3. 耐力壁開口補強筋

1 [設計条件]→「断面検定入力情報 RC」→「耐力壁入力情報」選択




側面補強筋		縦補強筋	
2	D13	2	D13
2	D13	2	D13

2 耐力壁の開口補強筋情報入力

3 「確認」をクリック

### 3-4. 雑壁

1 [設計条件]→「断面検定入力情報 RC」  
→「雑壁入力情報」選択



2 雑壁の配筋情報入力

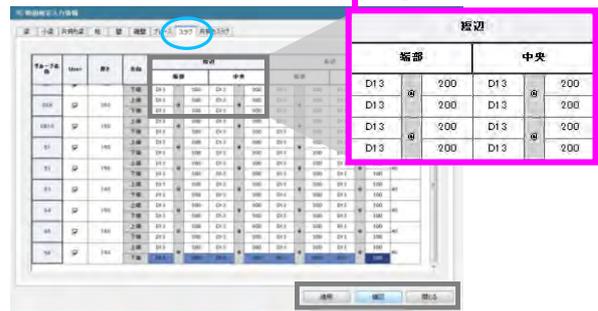
3 「確認」クリック

### 3-5. RCスラブ

1 [設計条件]→「断面検定入力情報 RC」  
→「スラブ入力情報」選択



2 RCスラブの配筋情報入力



3 「確認」クリック

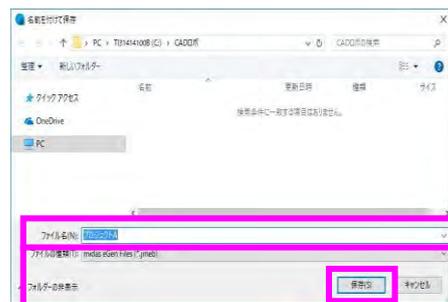
## STEP 4. モデルファイルを保存

1 から「名前を付けて保存」選択



2 ファイル名入力

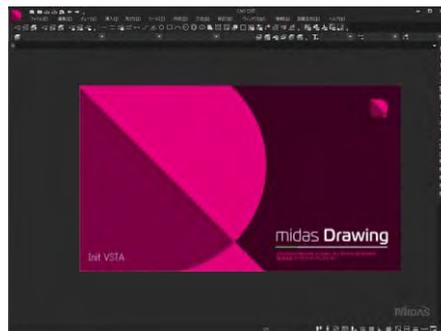
3 「保存」クリック



## STEP 5. 図面生成プログラム(midas Drawing)を起動

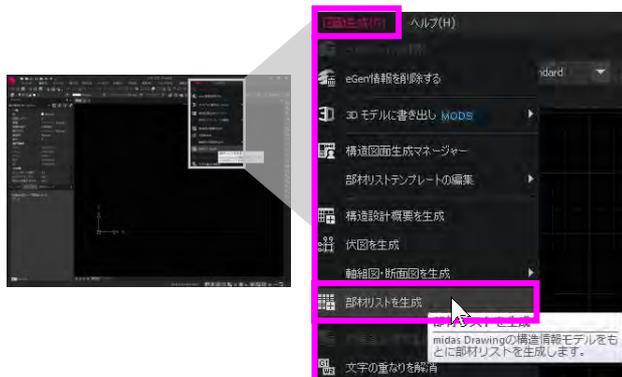


1 [情報]から「Drawing実行」ボタンをクリック



図面自動生成プログラム(midas Drawing)は自動に立ち上がります。

## STEP 6. 部材リストを生成

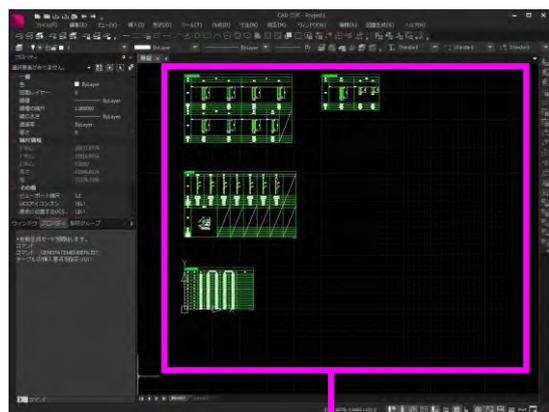


1 [図面生成]→「部材リストを生成」選択

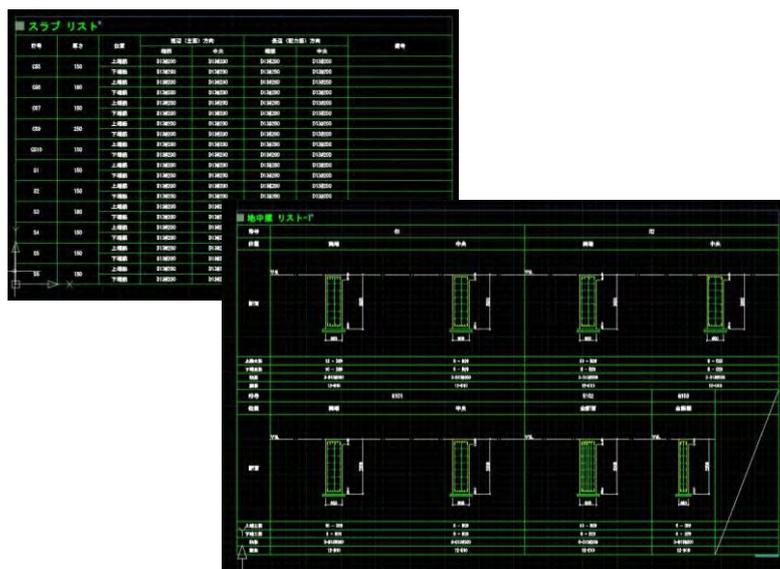


2 生成する部材リストの種類、縮尺、図面枠を選択

3 「OK」クリック



4 リスト確認



# ＜連続印刷＞

## 数十枚、数百枚の図面を1回のクリックで一度に印刷する方法 -ナビ活用-

準備物：SS3のCSVデータ

図面を一枚ずつファイルに保存しなくても、ペーパー空間でレイアウト設定をしなくても、複数の図面を一度に印刷できます。縮尺が異なる図面を問題ありません。

※CADロボでは、midas eGenでSS3のCSVを読み込み、midas Drawingで構造図を生成します。



### 全7ステップ

STEP 1. ナビゲーションを起動

STEP 2. CSVデータの読み込み

STEP 3. モデルファイルを保存

STEP 4. 図面生成プログラム(midas Drawing)を起動

STEP 5. 生成する部材リストを選択

STEP 6. 部材リストを配置

STEP 7. 部材リストを印刷

### STEP 1. ナビゲーションを起動

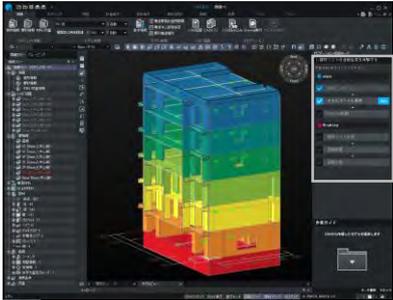


### STEP 2. CSVデータの読み込み



\* CSVのサンプルデータは「C:\Program Files\MIDAS\CAD Robo\midas eGen\FreeNavi\Scenario1」にあります。

### STEP 3. モデルファイルを保存



1 「Run」ボタンをクリック

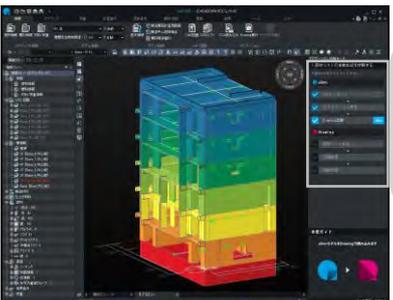


2 ファイル名入力

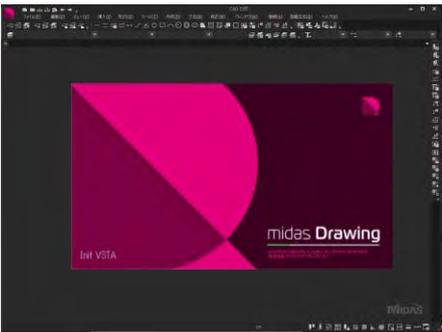
3 「保存」をクリック

\* 構造図を生成するためには、midas eGenの拡張子(\*.jmeb)にデータを保存する必要があります。

### STEP 4. 図面生成プログラム(midas Drawing)を起動

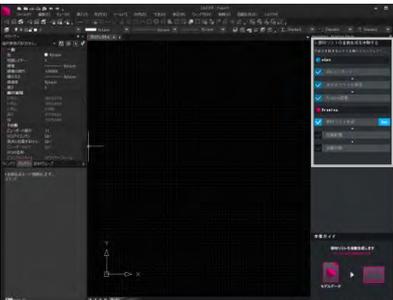


1 「Run」ボタンをクリック



図面自動生成プログラム(midas Drawing)は自動に立ち上がります。

### STEP 5. 生成する部材リストを選択



1 「Run」ボタンをクリック



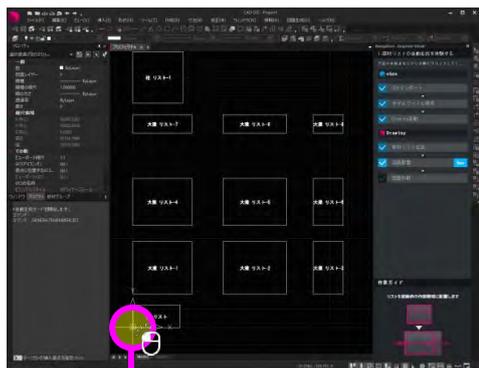
2 生成する部材リストの種類、縮尺、図面枠を選択

3 「OK」をクリック

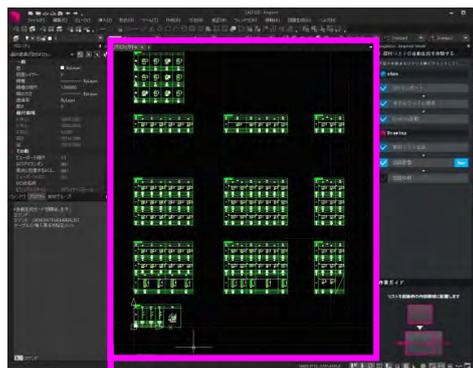
図面の種類	縮尺	部材リストのスタイル	図面枠
<input checked="" type="checkbox"/> 柱リスト	1:60	柱リスト STYLE 01	midas SHEET A3 List
<input checked="" type="checkbox"/> 大梁リスト	1:60	大梁リスト STYLE01	midas SHEET A3 List
<input type="checkbox"/> 小梁リスト	1:60	小梁リスト STYLE01	midas SHEET A3 List
<input type="checkbox"/> 地中梁リスト	1:60	地中梁リスト STYLE01	midas SHEET A3 List
<input checked="" type="checkbox"/> 壁リスト	1:60	壁リスト STYLE 01	midas SHEET A3 List
<input type="checkbox"/> スラブリスト	1:60	スラブリスト STYLE01	midas SHEET A3 List
<input type="checkbox"/> フレーズリスト	1:60	フレーズリスト STYLE01	midas SHEET A3 List
<input type="checkbox"/> 独立基礎リスト	1:60	独立基礎リスト STYLE01	midas SHEET A3 List
<input type="checkbox"/> 布基礎リスト	1:60	布基礎リスト STYLE01	midas SHEET A3 List
<input type="checkbox"/> ベタ基礎リスト	1:60	ベタ基礎リスト STYLE01	midas SHEET A3 List
<input type="checkbox"/> 杭基礎リスト	1:60	杭基礎リスト STYLE01	midas SHEET A3 List
<input type="checkbox"/> 現場打ち杭リスト	1:60	現場打ち杭リスト STYLE01	midas SHEET A3 List
<input type="checkbox"/> 既製杭リスト	1:60	既製杭リスト STYLE01	midas SHEET A3 List
<input type="checkbox"/> 鋼管杭リスト	1:60	鋼管杭リスト STYLE01	midas SHEET A3 List

\* 地中梁、小梁、スラブなどもっと多い部材リストを生成したい方は「地中梁、小梁などより多い部材リストを生成する」をご参考ください。

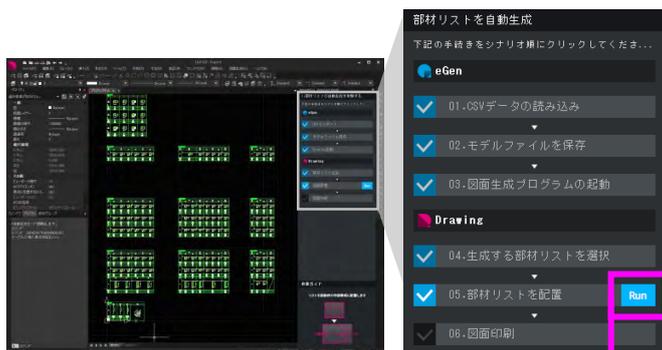
## STEP 6. 部材リストを配置



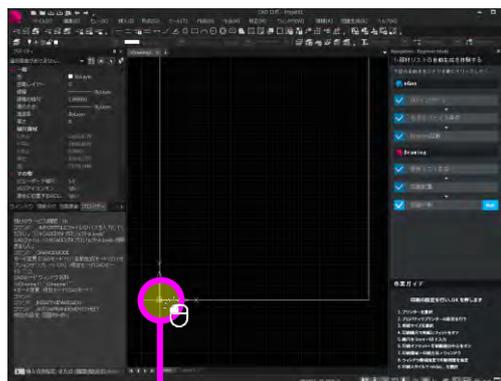
1 生成図を任意の位置に配置(画面上でクリック)



2 自動で分割された部材リストを確認

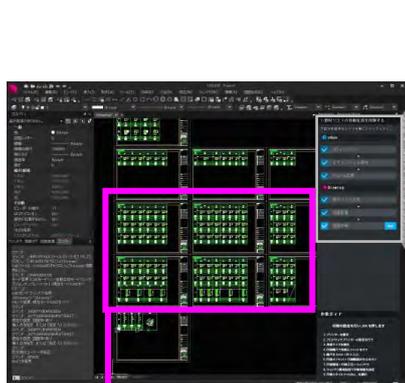


3 「Run」ボタンをクリック



4 図面枠付きの図面を任意の位置に配置(画面上でクリック)

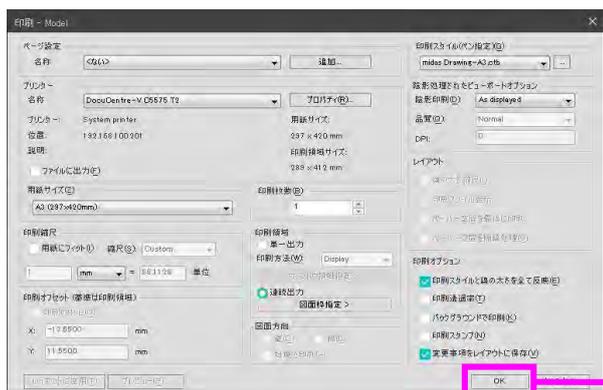
## STEP 7. 部材リストを印刷



1 図面枠付きの図面確認



2 「Run」ボタンをクリック



3 「OK」をクリック

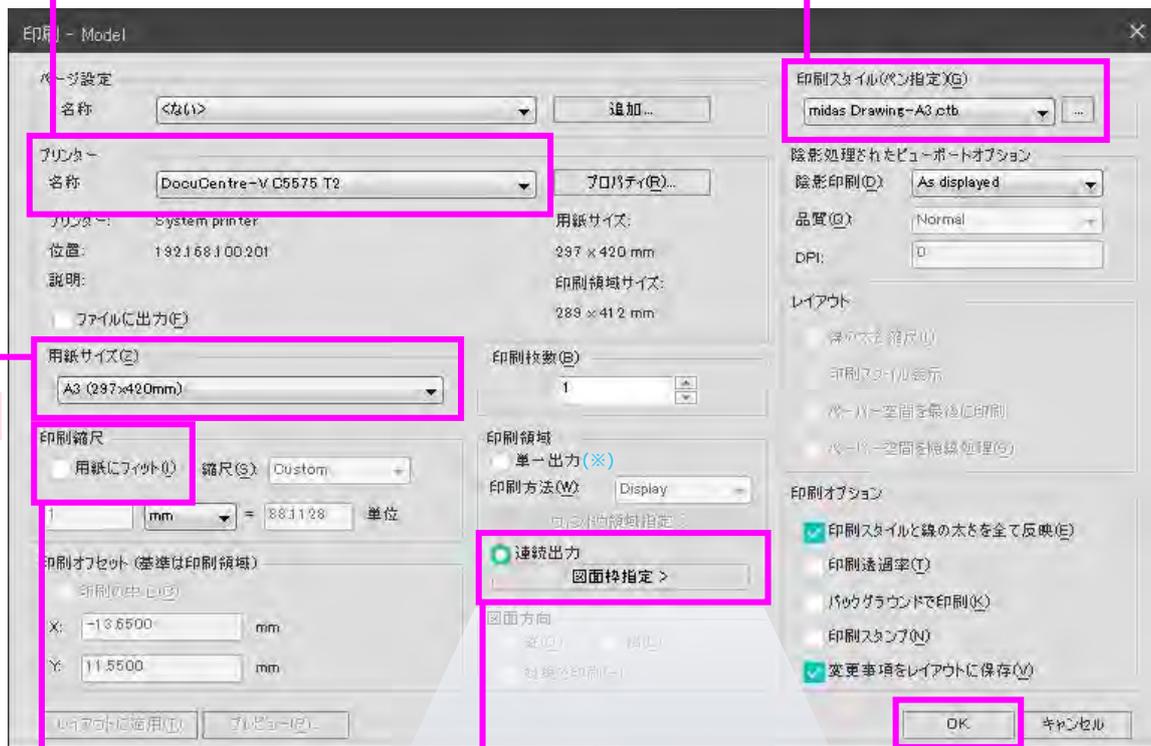
印刷ダイアログ設定は次のページをご参考ください》

## 《 印刷設定方法 》

### 2 図面を出力するプリンター選択

\* ②複数の図面を1つのPDFファイルに保存する場合は、midas File Printerを選択してください。

### 1 印刷スタイル選択



### 3 用紙サイズ選択

### 4 チェックを外す

### 5 [印刷領域]から 連続出力【図面枠指定>】選択

### 8 すべての設定後、 「OK」クリック

\* ⑤連続出力を選択すれば、複数の図面を一度に印刷できます。  
連続印刷では縮尺の異なる図面も一度に印刷できます。

このダイアログボックスは【図面枠指定>】クリックで開けます。

### 6 印刷する図面を選択

### 6-1 こちらのボタンからも 印刷図面選択可能



\* 作業空間にある図面枠が選択できます。

### 7 「OK」クリック

※ 単一出力 印刷方法

- Display : Model空間やLayout空間の画面で表示されている範囲を出力します。
- Extents : 現在の空間内のすべてのオブジェクトが印刷されます。
- Limits : グリッドの限界で定義されるすべての作図領域を印刷します。
- Window : 指定した図面の任意の部分を印刷します。  
【ウインドウ領域指定>】ボタンをクリックすると一時的にダイアログボックスが閉じられ、印刷領域を指定できます。

# <図面枠登録>

## 事務所の図面枠にぴたっとレイアウトされた部材リストを自動生成する方法 -ナビ活用-

準備物：登録する図面枠のCADデータ

図面枠を登録すると、事務所の図面枠にぴたっとレイアウトされた状態で部材リストが自動生成されます。

1つ1つ入力していたプロジェクト名や図面名、縮尺なども自動で図面枠に反映されます。

また、連続印刷や図面リスト作成が簡単・便利にできます。

登録した図面枠は伏図や軸組図の自動生成時にも活用できます。

※CADロボでは、midas eGenでSS3のCSVを読み込み、midas Drawingで構造図を生成します。



全5ステップ

STEP 1. 図面枠データ(DWG・DXFファイル)の読み込み

STEP 2. 情報タグの割り当て

STEP 3. 図面枠形式の登録

STEP 4. 図面枠をDrawingに登録

STEP 5. 登録した図面枠で部材リスト自動生成

### STEP 1. 図面枠データ(DWG・DXFファイル)の読み込み

1 Drawing を起動

2 [ファイル]→「読み込み」選択

3 読み込む図面枠データを選択

4 「開く」クリック

\* 図面枠のサンプルデータは「<http://cadrobo-online-help.midasit.co.jp/navigation-04>」からダウンロードできます。

\* 読み込んだ図面枠がブロックの場合、分解をします。

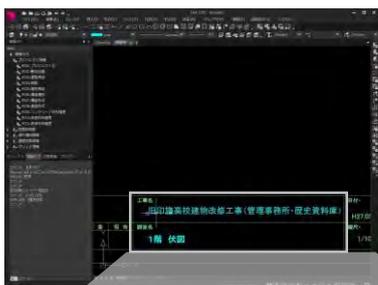


1 [修正]→「分解」選択

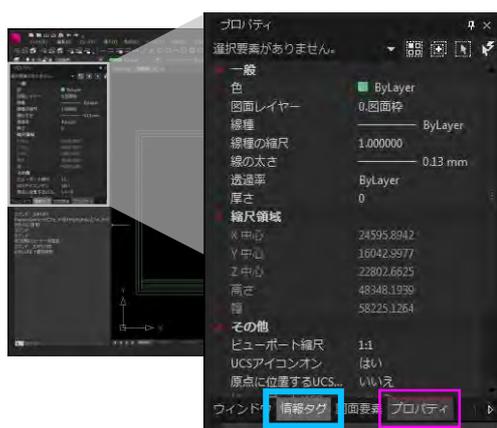
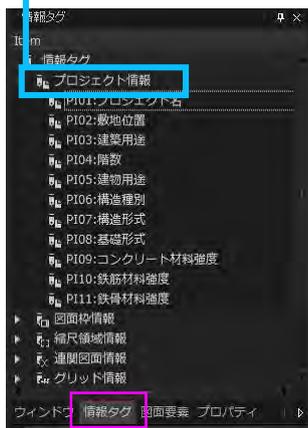
2 図面枠全体を選択後、「Enter」またはマウス右クリック

## STEP 2. 情報タグの割り当て

2 [情報タグ]を確認→「プロジェクト情報」展開

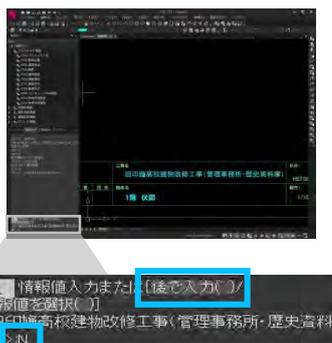
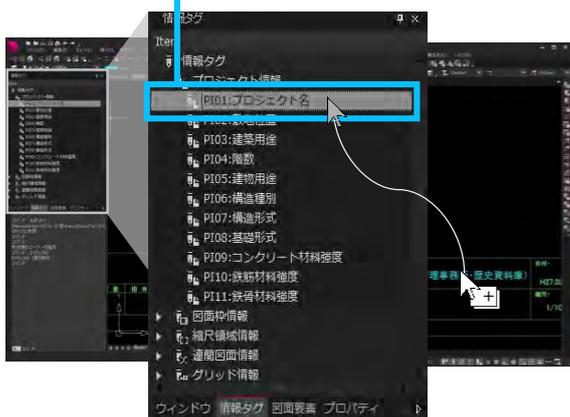


1 プロジェクト名をクリックして選択

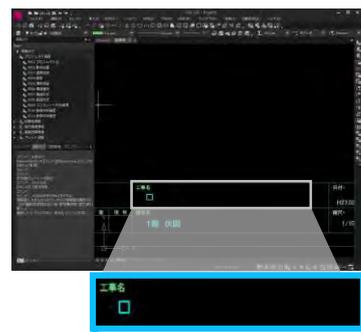


3 ツリーメニューを[プロパティ]から[情報タグ]表示に変更

4 「PI01:プロジェクト名」をドラッグ・アンド・ドロップ



5 [後で入力(N)]をクリックまたは「N」を入力



6 割り当て(「□」表示)を確認

\* 情報タグが正常に割り当てされた場合、□表示になります。

8 「図面枠情報」→「SI01:図面枠 番号」をドラッグ・アンド・ドロップ

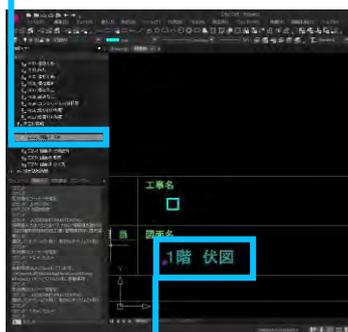


7 図面枠番号選択



9 「□」表示を確認

11 「SI02:図面枠 名称」をドラッグ・アンド・ドロップ

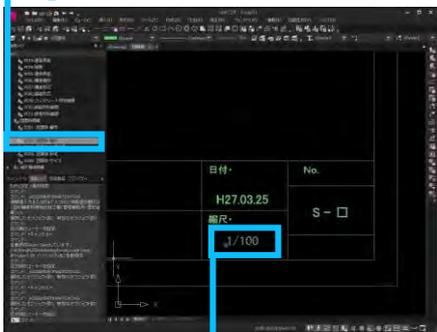


10 図面名選択



12 「□」表示を確認

14 「SI03:図面枠 縮尺」をドラッグ・アンド・ドロップ



13 縮尺選択



15 「□」表示を確認

### STEP 3. 図面枠形式の登録

1 [作成]→「図面枠形式定義」選択

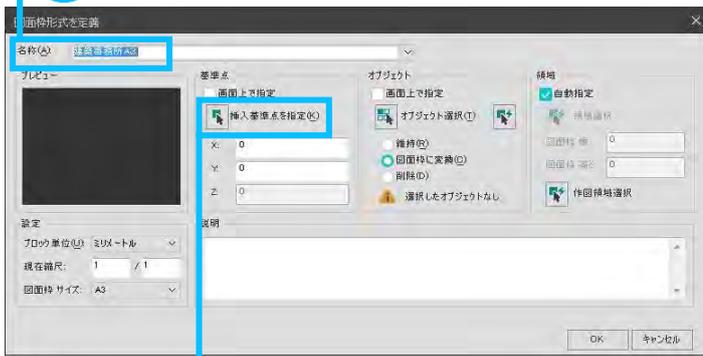


2 「図面枠形式を定義」ダイアログ確認

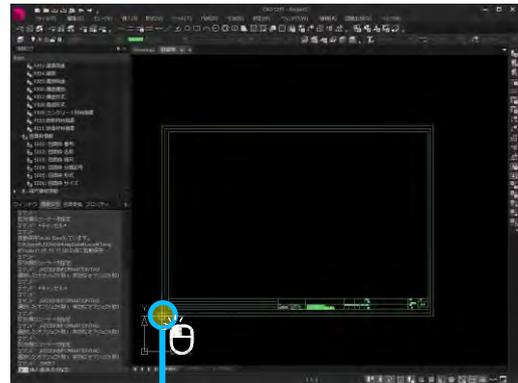


図面枠形式定義  
新しい図面枠ブロックを定義して保存します。

### 3 登録する図面枠の名前を入力



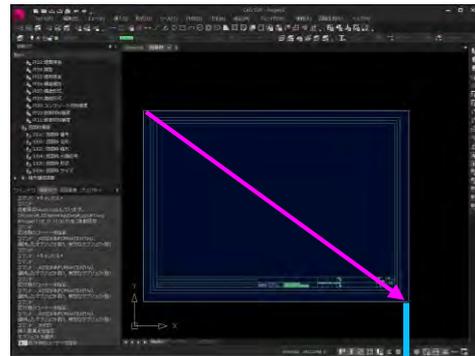
### 4 「挿入基準点を指定」をクリック



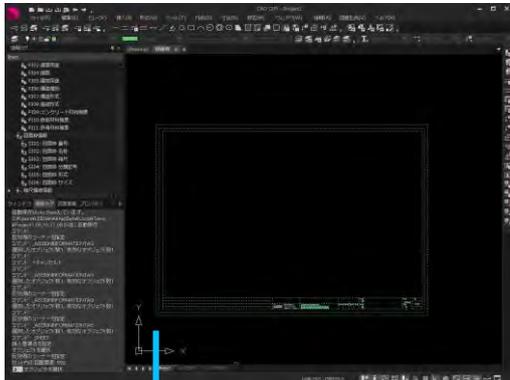
### 5 挿入基準点でマウスクリック



### 6 「オブジェクト選択」をクリック



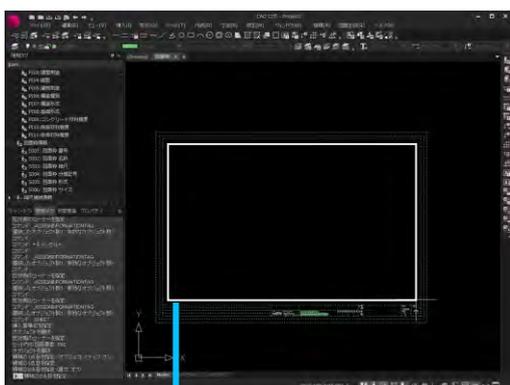
### 7 図面枠全体を選択



### 8 選択後、「Enter」またはマウス右クリック



### 9 「作図領域選択」をクリック



### 10 作図領域を選択して指定

### 12 プレビューで確認

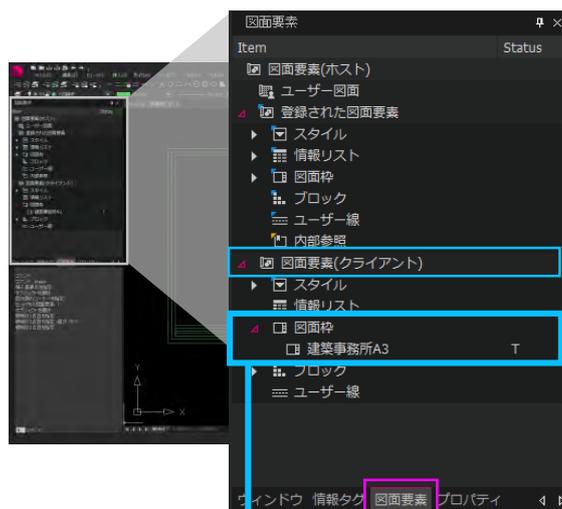


### 11 読み込んだ図面枠の縮尺と図面枠サイズを設定

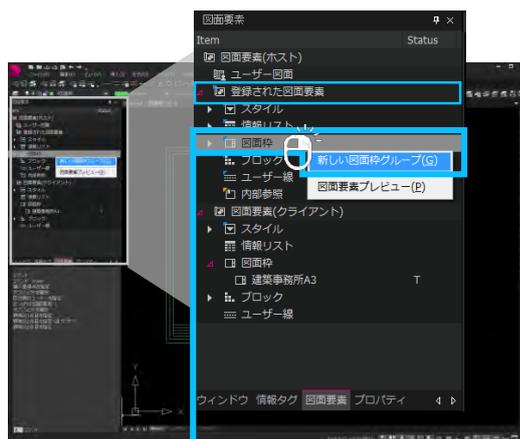
### 13 「OK」をクリック

\* サンプルの図面枠は1/1の縮尺です。

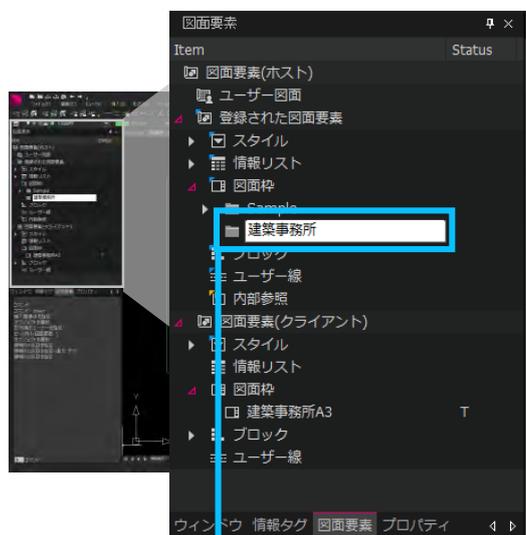
## STEP 4. 図面枠をDrawingに登録



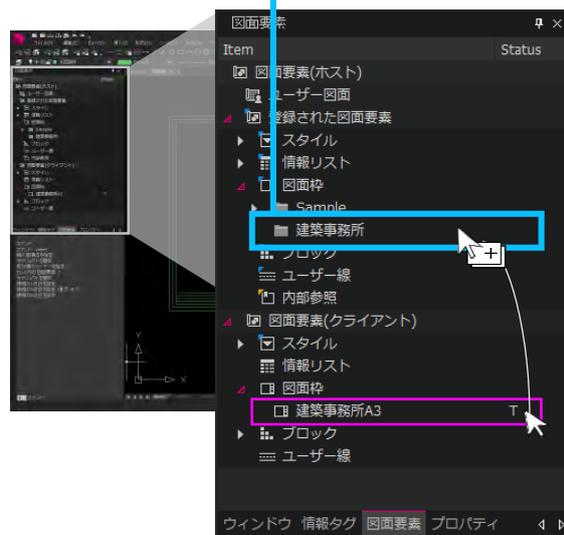
1 ツリーメニュー[図面要素]→[図面要素(クライアント)]  
→[図面枠]に登録されていることを確認



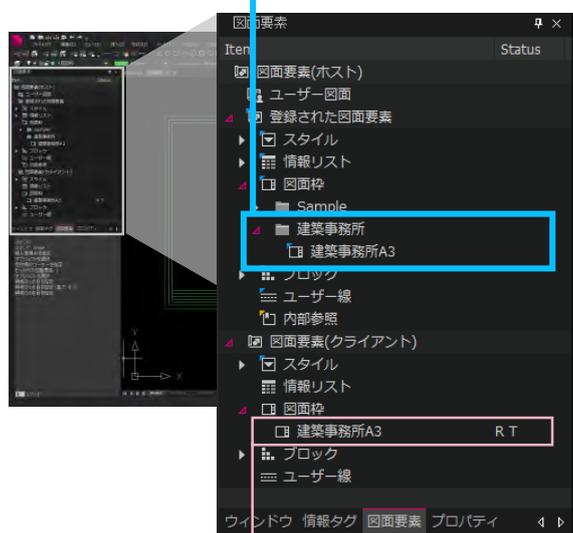
2 「登録された図面要素」→  
「図面枠」を右クリックして  
「新しい図面枠グループ」を選択



3 グループ名入力後、「Enter」



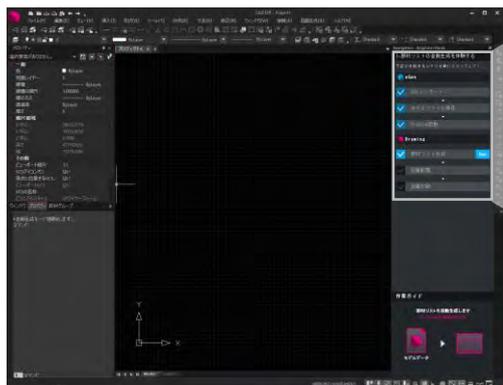
4 新規図面枠を新規図面枠グループに  
ドラッグ・アンド・ドロップ



5 図面枠が登録されたことを確認

5-1 図面枠が正常にCADロボに登録されると「T」→「RT」に変わります。

## STEP 5. 登録した図面枠で部材リスト生成



部材リストを自動生成

下記の手続きをシナリオ順にクリックしてください...

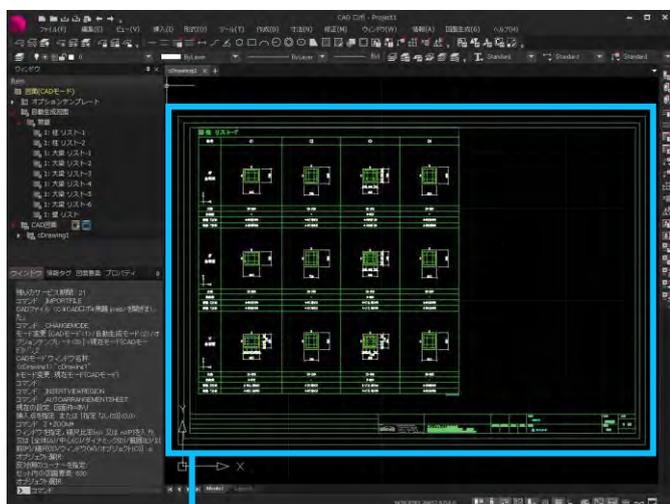
- 01.OSVデータの読み込み
- 02.モデルファイルを保存
- 03.図面生成プログラムの起動
- Drawing**
  - 04.生成する部材リストを選択 **Run**
  - 05.部材リストを配置
  - 06.図面印刷

1 ナビゲーションに従い、部材リスト生成

2 部材リスト生成ダイアログ「図面枠」から登録した図面枠を選択

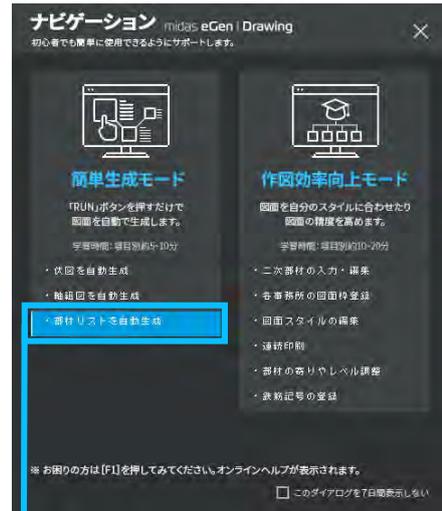


3 「OK」クリック

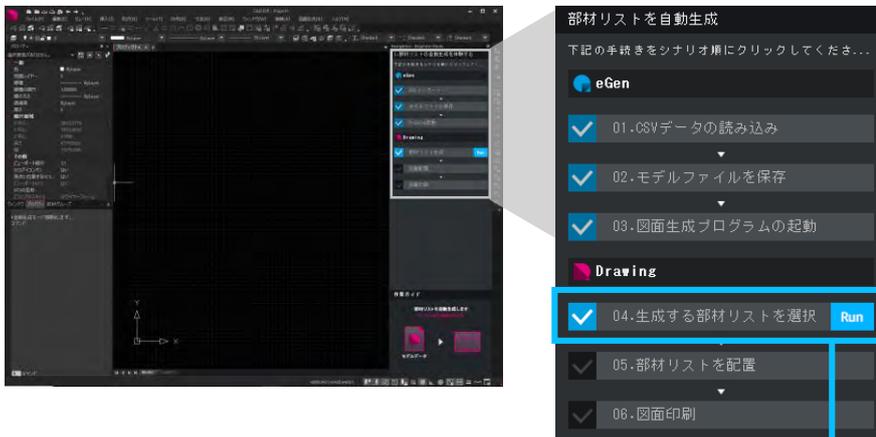


4 自動生成された図面を確認

## STEP 5. 登録した図面枠で部材リスト生成 – ナビ活用 –



2 「部材リストを自動生成」をクリック

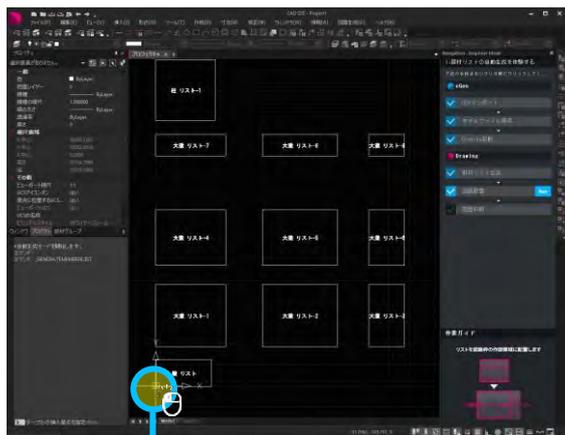


3 ナビゲーションに従い、部材リスト生成

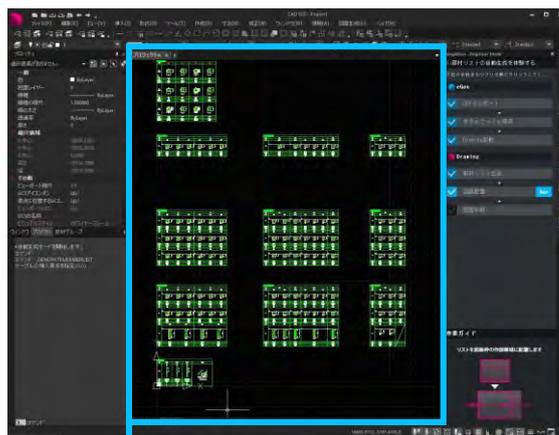
4 部材リスト生成ダイアログ「図面枠」から登録した図面枠を選択



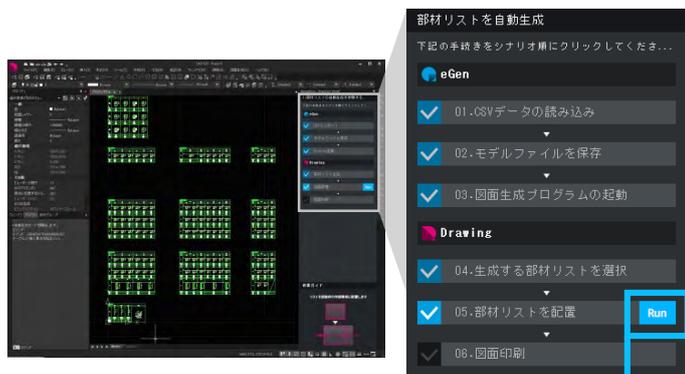
5 「OK」をクリック



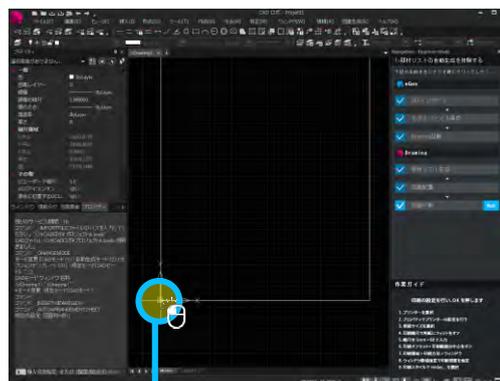
6 生成図を任意の位置に配置(画面上でクリック)



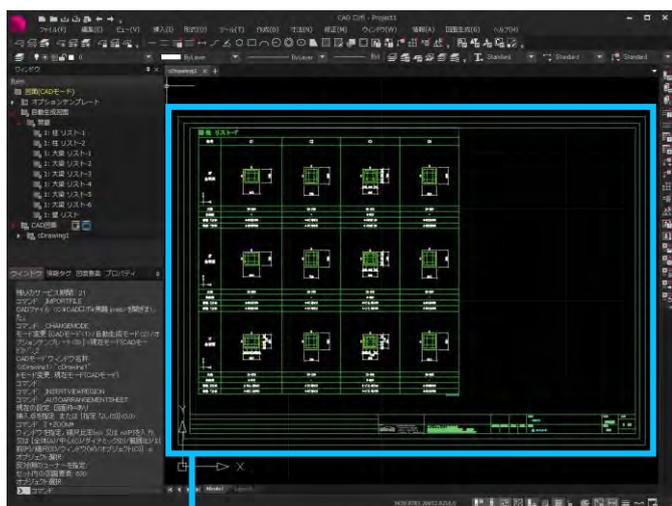
7 自動で分割された部材リストを確認



8 「Run」ボタンをクリック



9 図面枠付きの図面を任意の位置に配置(画面上でクリック)



10 自動生成された図面を確認

# <図面スタイル>

## 事務所のスタイルに合わせた部材リストを自動生成する方法

一度設定するだけで、事務所のスタイルに設定できます。

設定したスタイルで部材リストを生成するため、部材符号のフォントや文字の高さ、寸法スタイルなど一つ一つ変更してきた手間がなくなります。

※CADロボでは、midas eGenでSS3のCSVを読み込み、midas Drawingで構造図を生成します。



全 4 ステップ

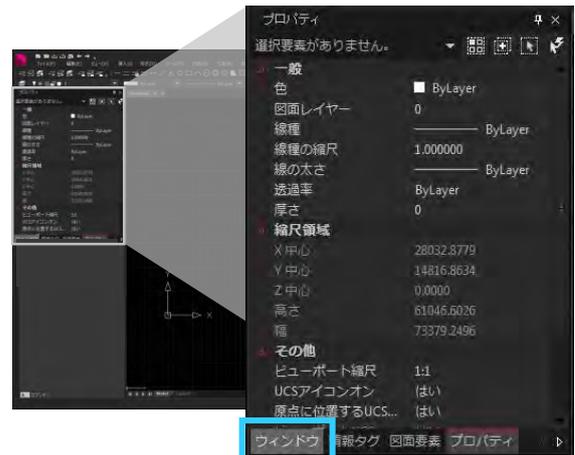
STEP 1. オプションテンプレートを開く

STEP 2. オプションテンプレートを編集する

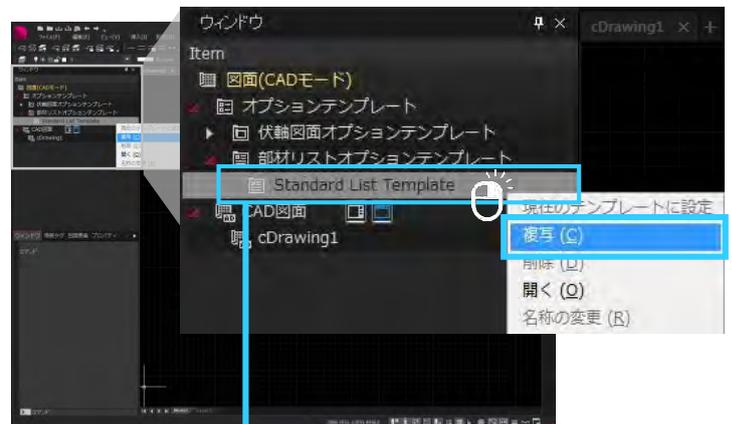
STEP 3. 編集内容を保存する

STEP 4. 部材リストを生成し、スタイルを確認する

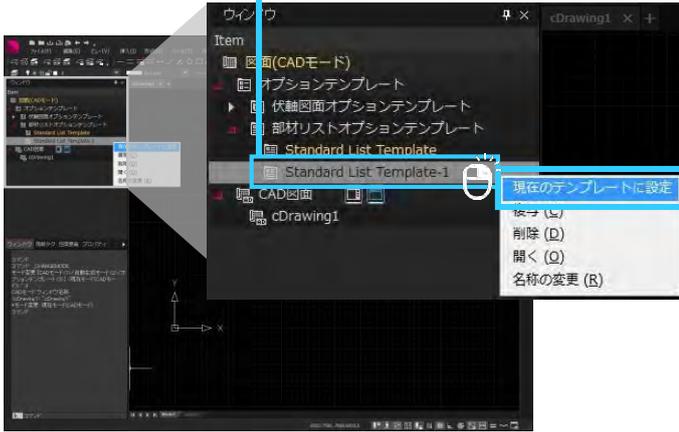
### STEP 1. オプションテンプレートを開く



3 「オプションテンプレート」→「部材リストオプションテンプレート」の順で展開

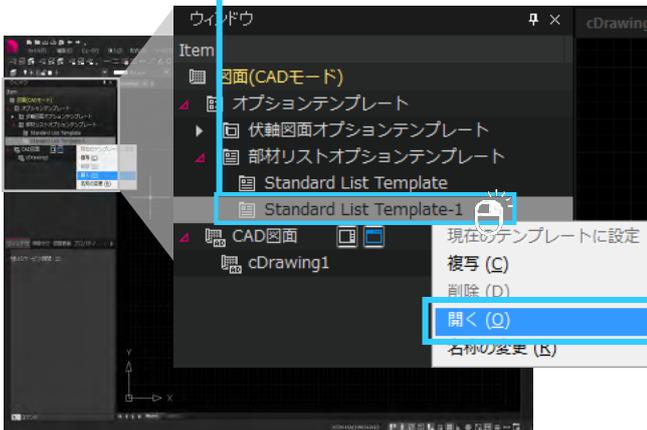


5 「Standard List Template-1」右クリック  
→「現在のテンプレートに設定」の選択

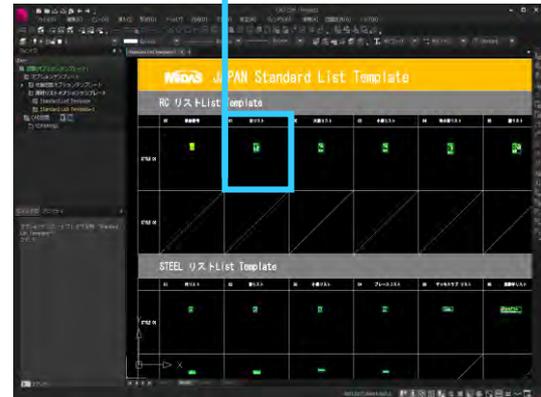


6 「Standard List Template-1」が  
デフォルトになったことを確認  
(色: 白→オレンジ)

7 「Standard List Template-1」右クリック  
→「開く」をクリック



8 「RC リストList Template」の  
「01 柱リスト」を確認



## STEP 2. オプションテンプレートを編集する

### 2-1. 符号

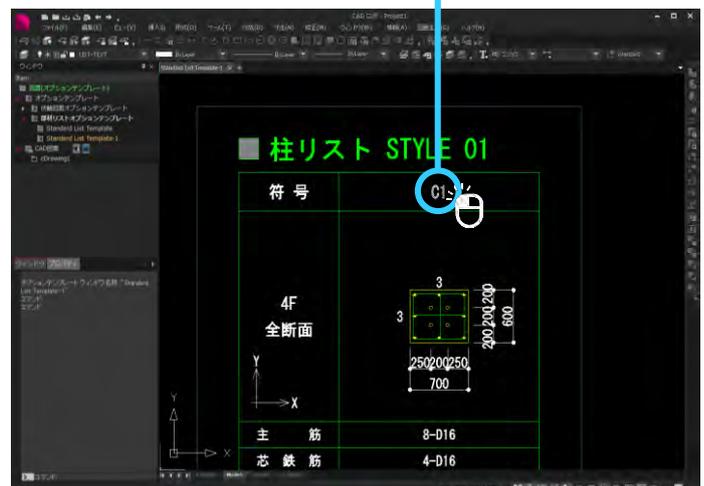
\* スタイルを編集する前に知っておきましょう。

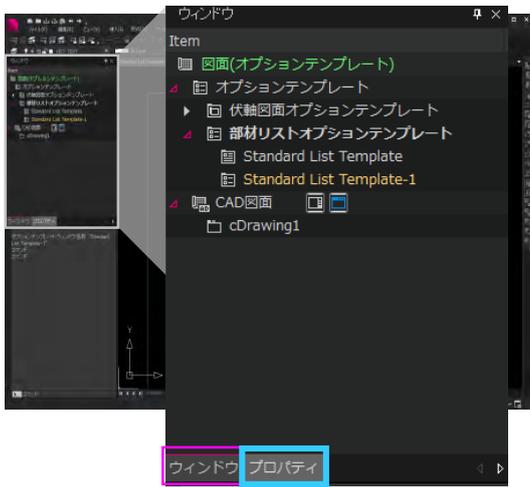


個々に変更可能です。

タイトル列の文字の大きさ・フォントの変更はできません。  
(符号、4F 全断面の文字の大きさ: 2.5mm  
その他の文字の大きさ: 2.0mm)

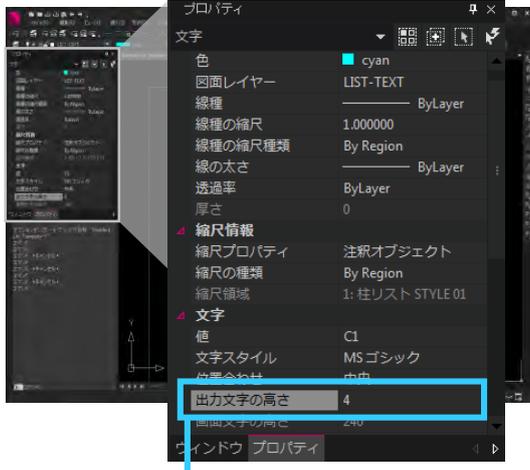
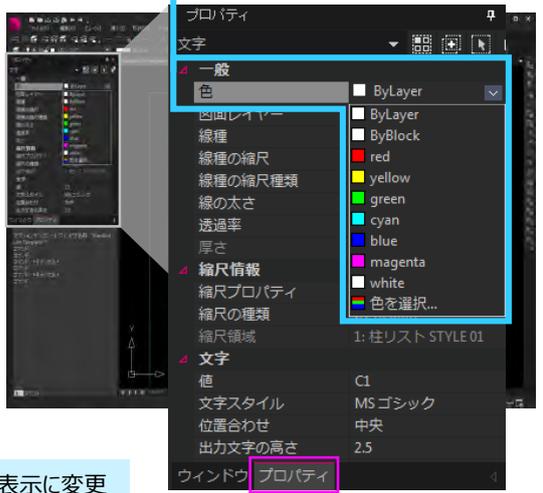
1 「C1(符号)」を選択  
(オブジェクトをクリック)





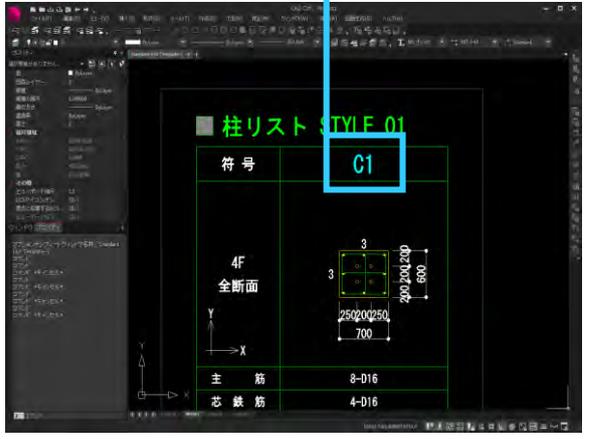
2 ツリーメニューを[ウインドウ]から[プロパティ]表示に変更

3 「一般」→「色」から色を変更



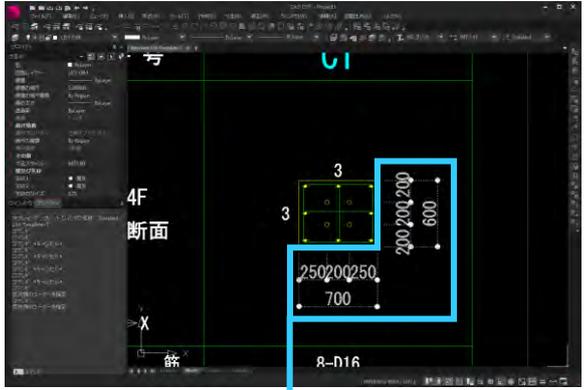
4 「文字」→「出力文字の高さ」の数値を変更

5 反映されたことを確認



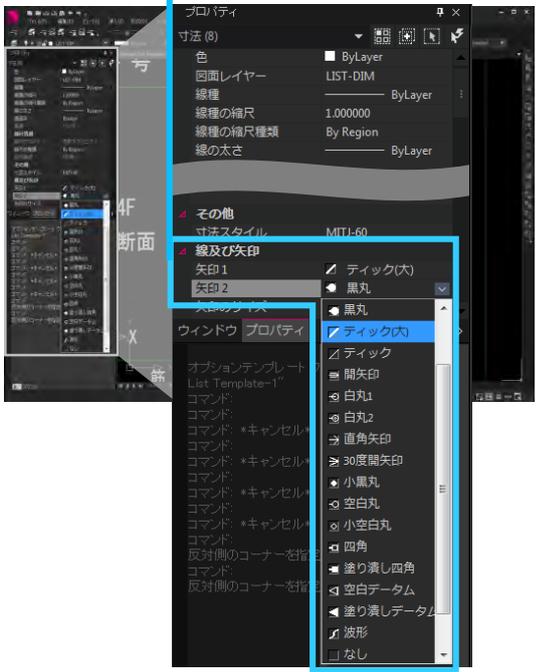
\* ESCキーを押すと選択を解除することができます。

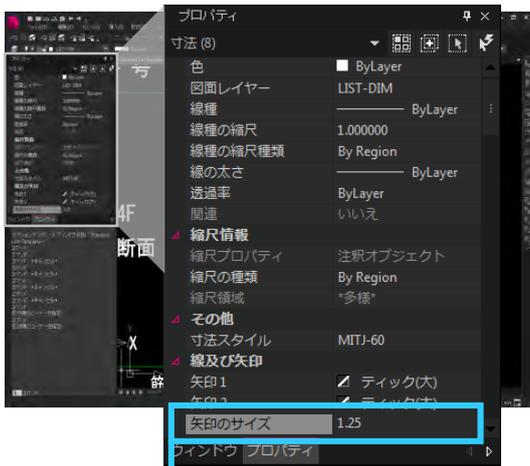
## 2-2. 寸法線



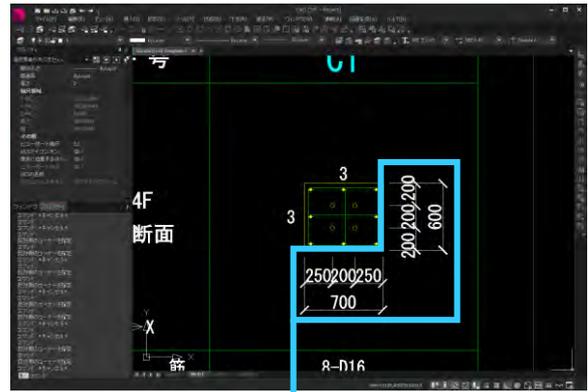
1 「寸法線」選択

2 「線及び矢印」→「矢印1、矢印2」から形状を変更





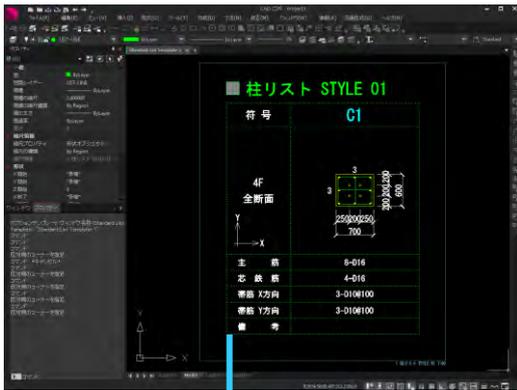
3 「線及び矢印」→「矢印のサイズ」を変更



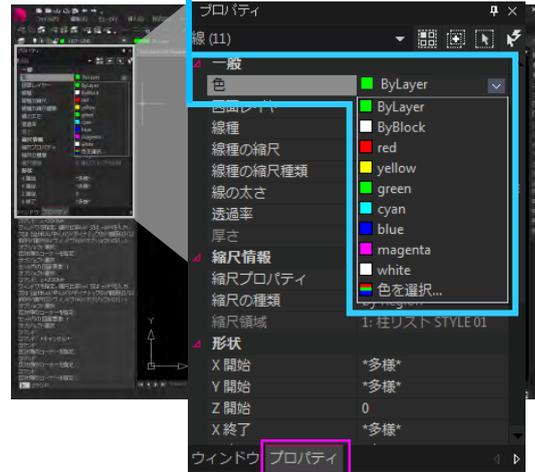
4 反映されたことを確認

\* ESCキーを押すと選択を解除することができます。

### 2-3. 枠線



1 「枠線」選択



2 「一般」→「色」から色を変更

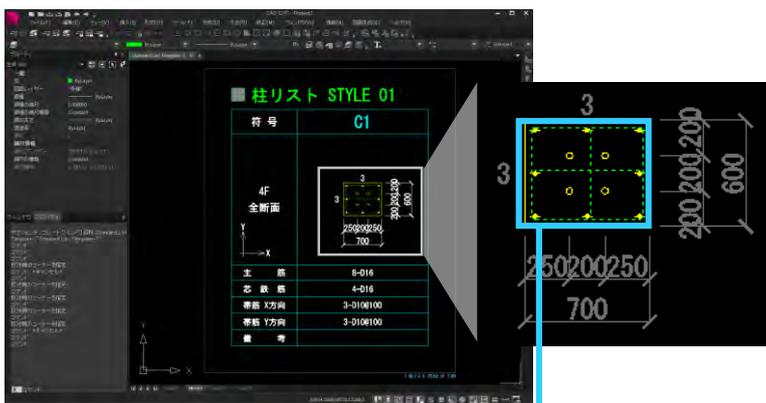


4 反映されたことを確認

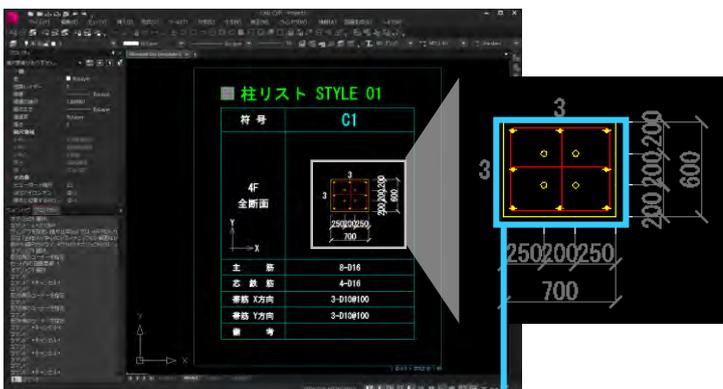
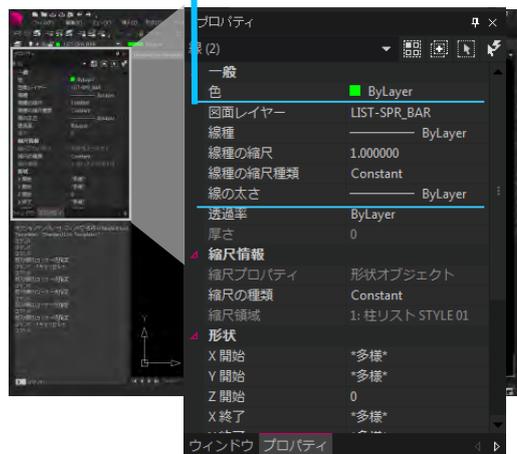
\* ESCキーを押すと選択を解除することができます。

## 2-4. フープ

2 プロパティで線の色、太さなどを変更



1 線を選択

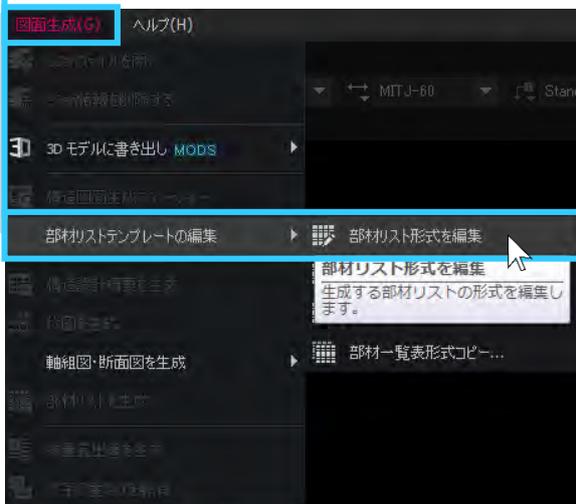


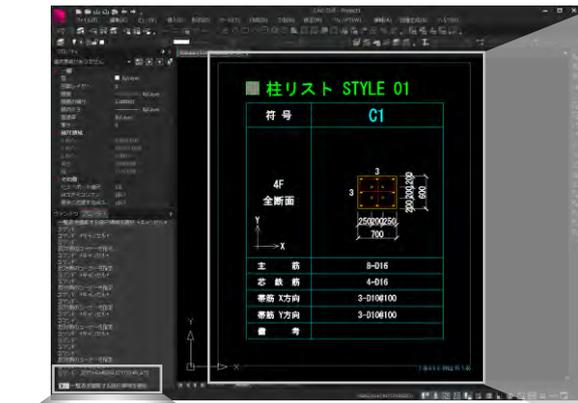
3 変更内容を確認

\* ESCキーを押すと選択を解除することができます。

## STEP 3. 編集内容を保存する

1 [図面生成]→「部材リストテンプレートの編集」  
→「部材リスト形式を編集」選択





コマンド: \_EDITMEMBERLISTTEMPLATE  
 > 一覧表を編集する縮尺領域を選択:

2 メッセージを確認

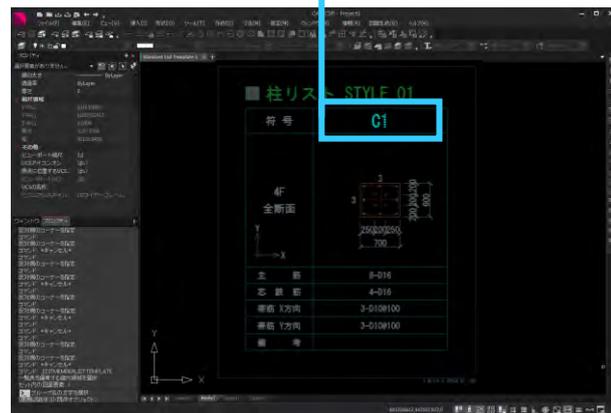


3 メッセージ確認後、縮尺領域の線(青い線)をクリック

4 「テーブルの情報を登録」のダイアログ画面確認後、「グループ名の文字」をクリック



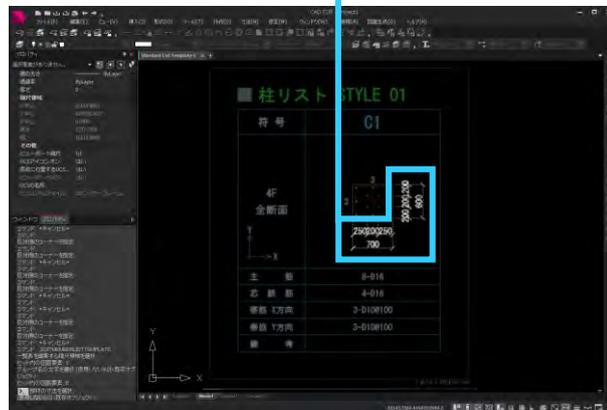
5 グループ名の文字(C1)が選択されていることを確認後、「Enter」



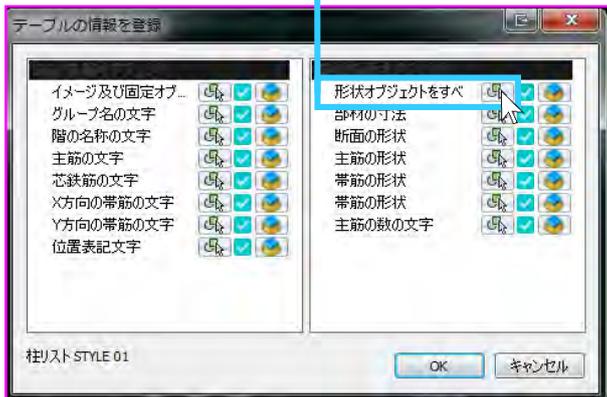
6 「部材の寸法」をクリック



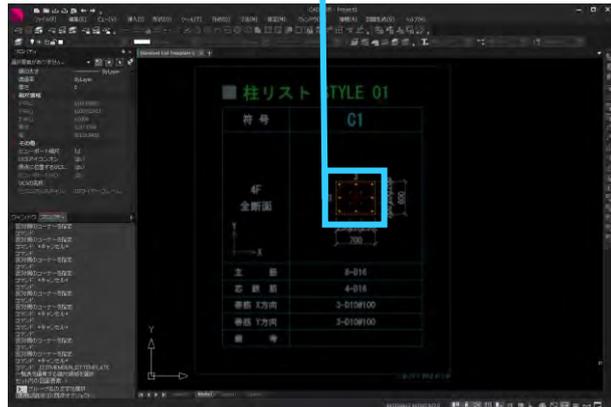
7 部材の寸法が選択されていることを確認後、「Enter」



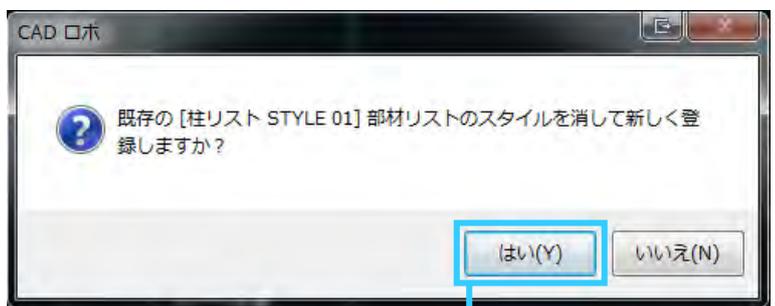
8 「形状オブジェクトをすべて選択」クリック



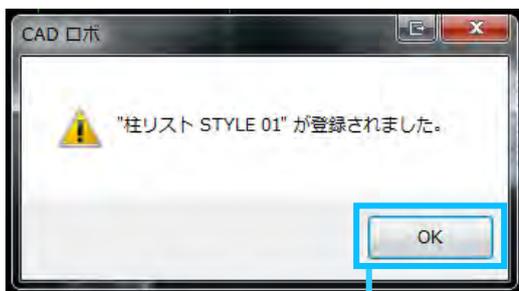
9 形状が  
選択されていることを確認後、「Enter」



10 変更した項目の確認がすべて終わったら  
「OK」クリック

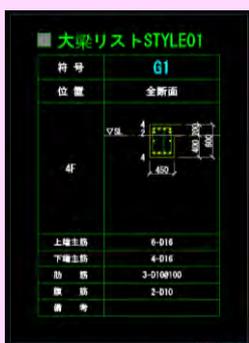


11 「はい」クリック



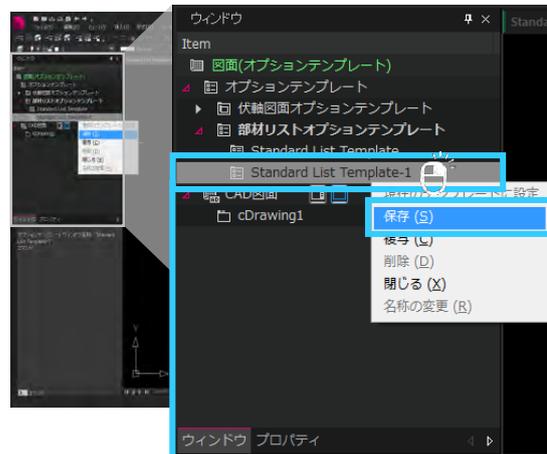
12 「OK」クリック

※その他のリストも同様な操作方法で変更/登録します。



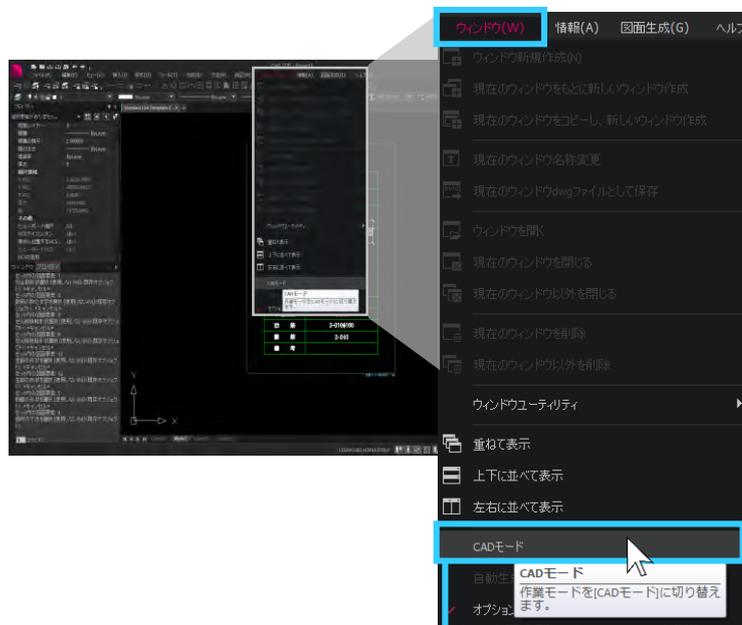


13 全リストの「テーブルの情報を登録」作業が終わったら ツリーメニューを[プロパティ]から[ウィンドウ]表示に変更



14 「Standard List Template-1」で 右クリック→「保存」クリック

## STEP 4. 部材リストを生成し、スタイルを確認する

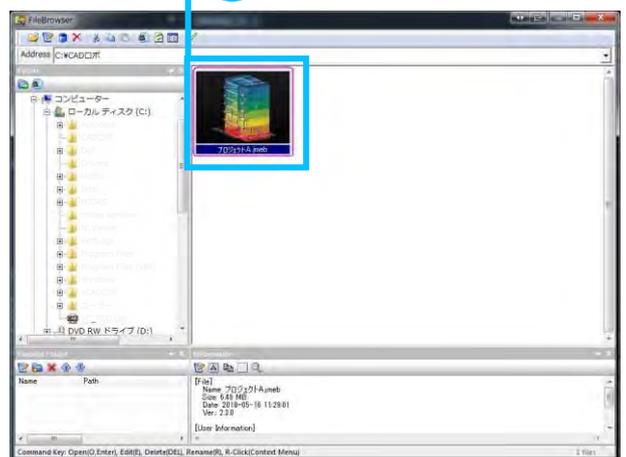


1 [ウィンドウ]→「CADモード」選択

2 [図面生成 (G)]→「eGenファイルを開く」選択

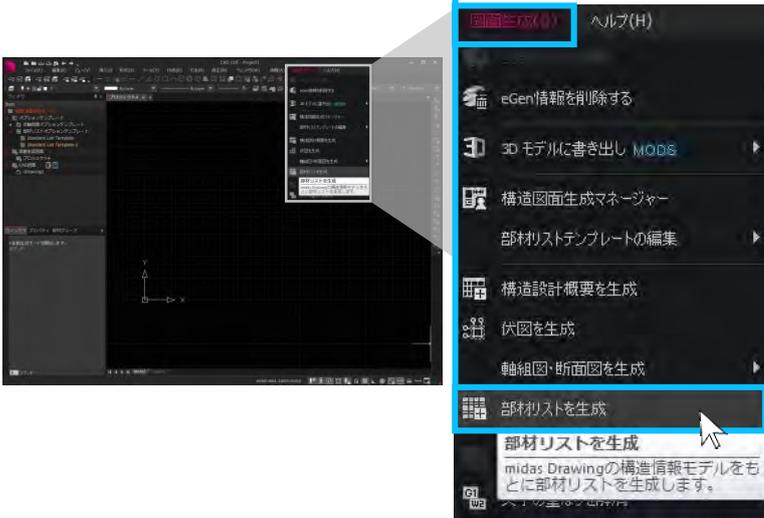


3 リストを生成するモデルファイル選択



\* eGen でCSVを読み込んだ後、保存したデータのみ開けます。

4 [図面生成]→「部材リストを生成」選択

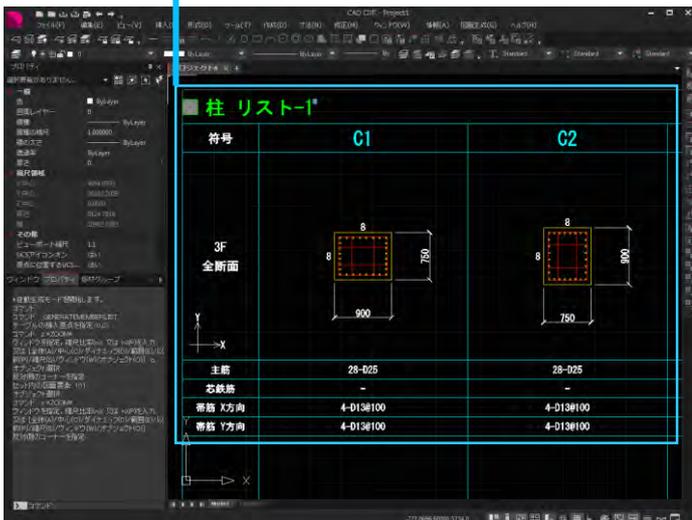


5 生成する部材リストの種類、縮尺、図面枠を選択

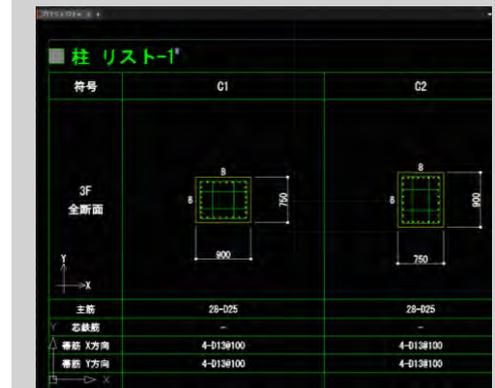


6 「OK」クリック

7 ユーザーのスタイルが適用されていることを確認



スタイル変更前



# <鉄筋記号登録>

## あなたの鉄筋記号で部材リストを自動生成する方法

これからは以前に作成した図面やブロックを読み込んで部材リストを作成/修正する必要はありません。

登録だけしておけば、いつでもその記号でリストが生成されます。

複数パターンの鉄筋記号を設定できるため、プロジェクトごとの仕様に簡単に合わせられます。

※CADロボでは、midas eGenでSS3のCSVを読み込み、midas Drawingで構造図を生成します。



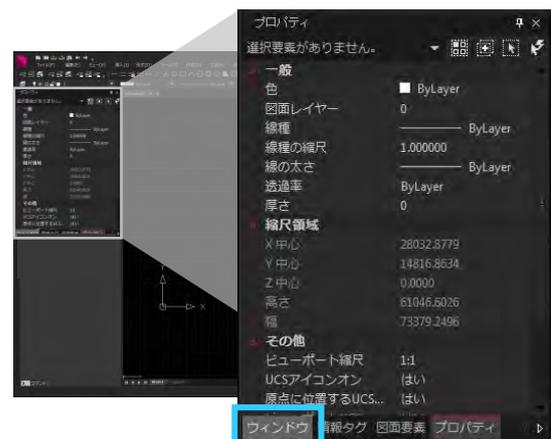
全 3 ステップ

STEP 1. オプションテンプレートを開く

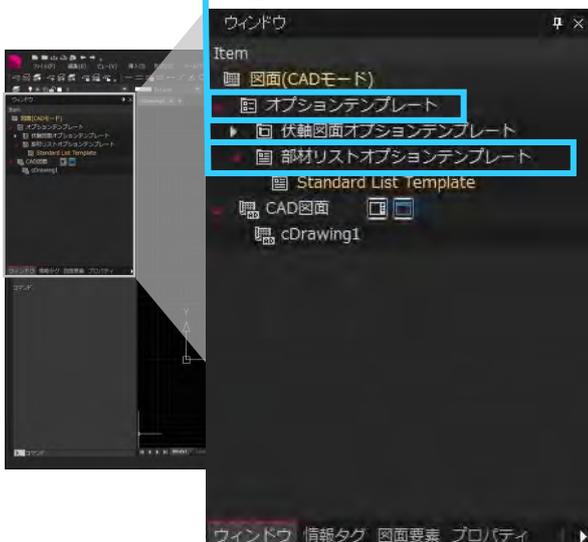
STEP 2. 鉄筋記号グループを登録する

STEP 3. 部材リストを生成し、鉄筋記号を確認する

### STEP 1. オプションテンプレートを開く



### 3 「オプションテンプレート」→「部材リストオプションテンプレート」の順で展開





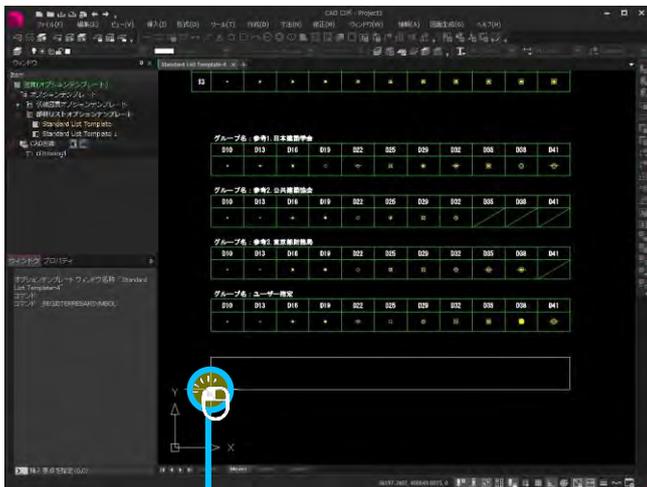
3 グループ名入力



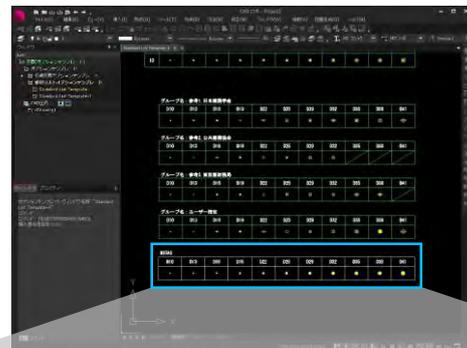
4 鉄筋の記号選択



5 選択した鉄筋の記号を確認後、「OK」をクリック

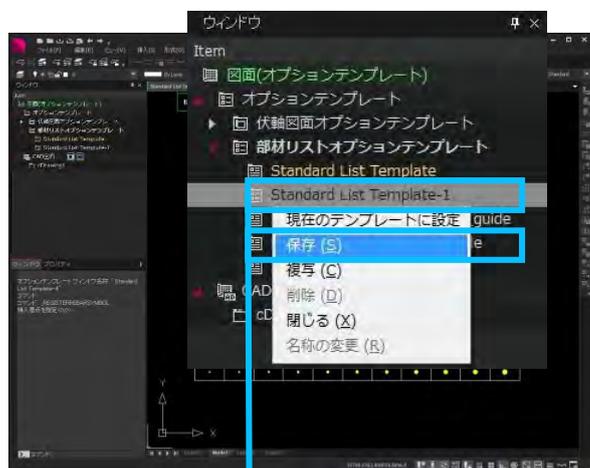


6 新規鉄筋グループを任意の位置に配置 (画面上でクリック)

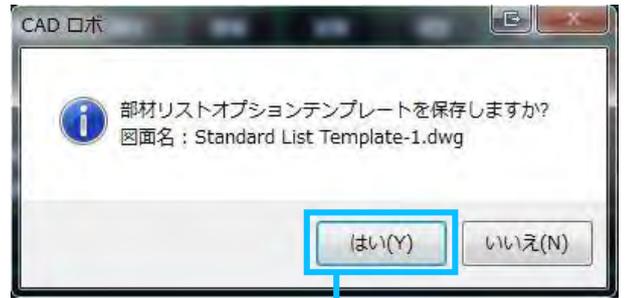


7 挿入されたことを確認

MIDAS										
D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*

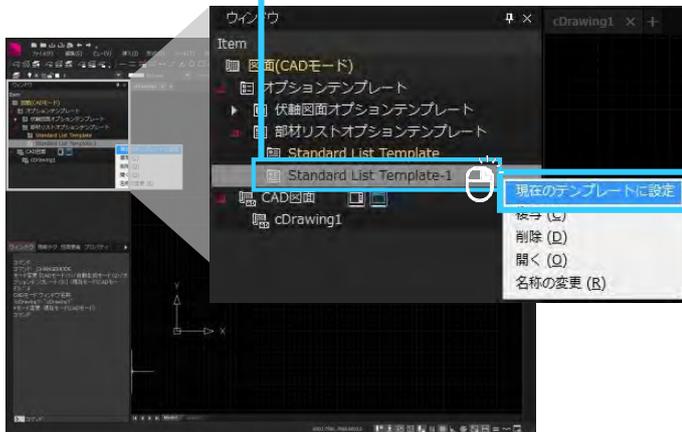


8 「Standard List Template-1」で右クリック→「保存」クリック



\* 上書き保存をしない場合、新規鉄筋グループは反映できません。

11 「Standard List Template-1」右クリック  
→「現在のテンプレートに設定」を選択



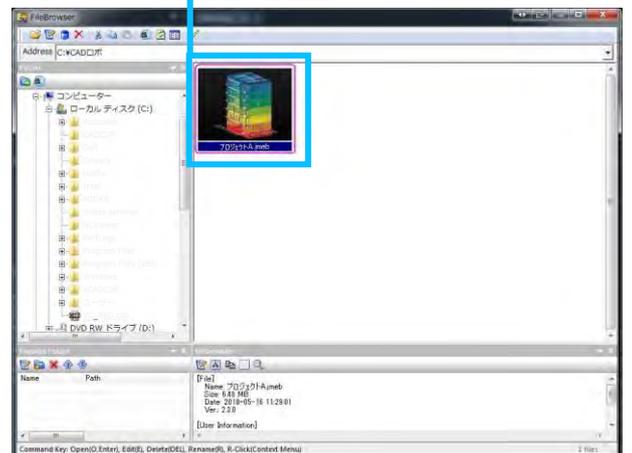
12 「Standard List Template-1」が  
デフォルトになったことを確認  
(色：白→オレンジ)

### STEP 3. 部材リストを生成し、鉄筋記号を確認する

1 [図面生成]⇒「eGenファイルを開く」選択



2 リストを生成するモデルファイル選択



\* eGen でCSVを読み込んだ後、保存したデータのみ開けます。

3 「鉄筋グループ」→「作成した新規鉄筋グループ名」選択

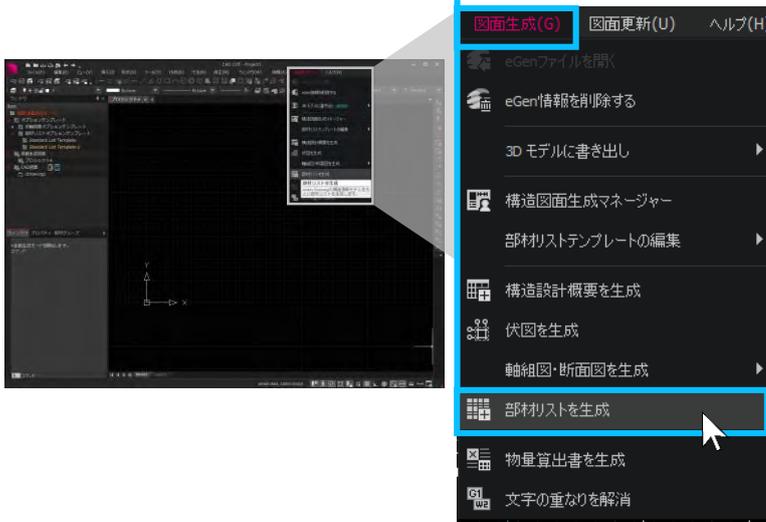


ここで入力したグループ名を選択



4 鉄筋グループ選択後、「OK」をクリック

5 [図面生成]→「部材リストを生成」選択

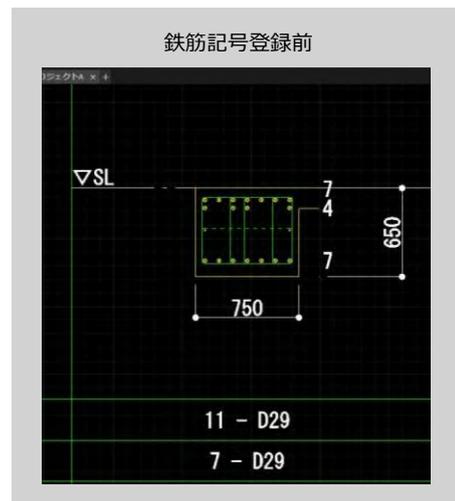
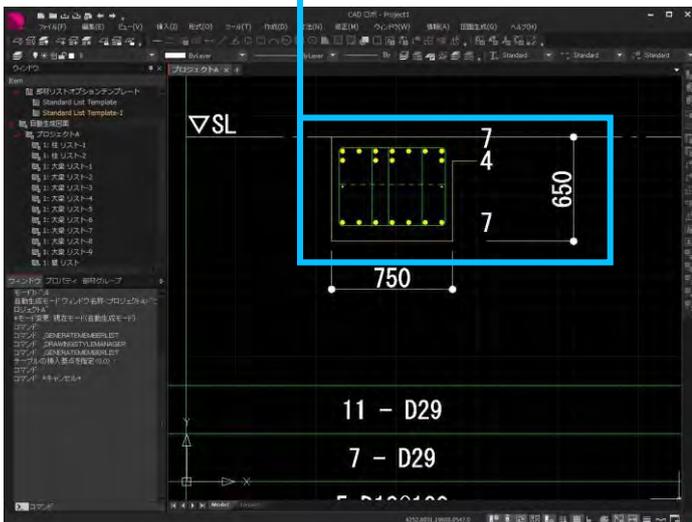


6 生成する部材リストの種類、縮尺、図面枠を選択



7 「OK」をクリック

8 鉄筋記号が反映されリストが生成されることを確認



# <リスト枠設定ダイアログ> 見栄えの良い部材リストを 自動生成する方法

もうリストの余白や段数を考えながら描く必要がありません。

数値を入力するだけで余白が調整でき、設定した余白でリストが図面枠にきれいに収まります。

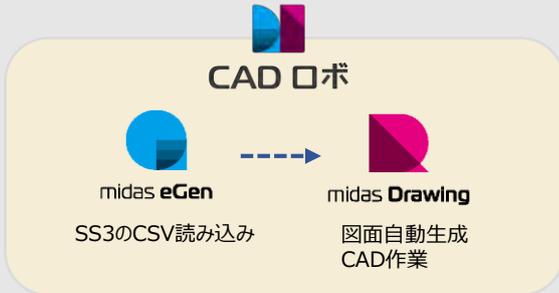
※CADロボでは、midas eGenでSS3のCSVを読み込み、midas Drawingで構造図を生成します。

全 3 ステップ

STEP 1. 「部材リスト自動レイアウト設定」ダイアログを開く

STEP 2. 鉄筋記号グループを登録する

STEP 3. 部材リストを生成し、鉄筋記号を確認する



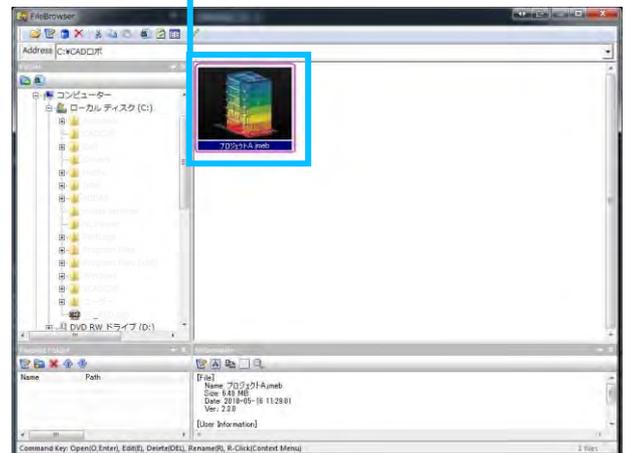
## STEP 1. 「部材リスト自動レイアウト設定」ダイアログを開く



## 2 [図面生成]→「eGenファイルを開く」選択



## 3 リストを生成するモデルファイル選択



\* 「部材リスト自動レイアウト設定」ダイアログは、自動生成モードで開けます。

 のデータを読み込むと自動生成モードに切り替わります。

4 [図面生成]→  
「構造図面生成マネージャー」選択



4-1 [図面生成]→「部材リストを生成」→  
「構造図面生成マネージャー」からも  
ダイアログを開けます。

5 「構造図面生成マネージャー」ダイアログから  
「部材リスト」タブ選択



6 「レイアウト設定」をクリック

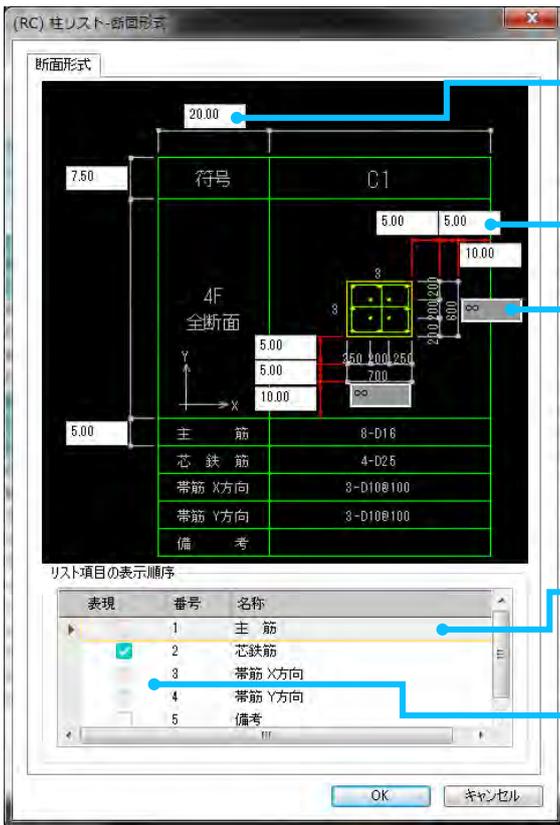


7 各部材リストの「リスト枠設定」をクリック



## STEP 2. RC造部材のリスト枠設定

### 2-1. (RC) 柱リスト - 断面形式



1 “リスト枠サイズ（白色枠）”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

2 “リスト枠線や寸法線のあき寸法（白色枠）”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

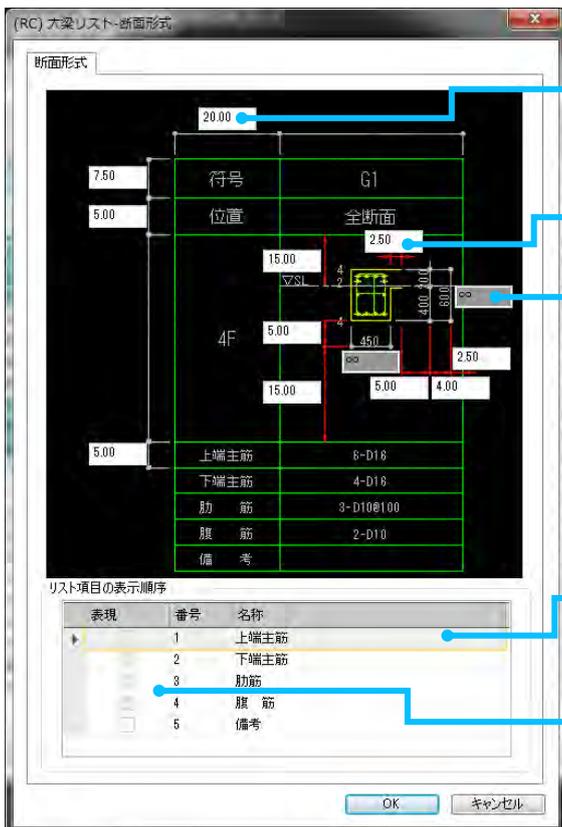
3 “断面サイズ指定”  
断面省略オプションのための基準となる断面寸法値を指定  
(2017/09/26 未対応)

4 “リスト名称”  
リスト項目の名称を編集

5 “リスト項目”  
リストの出力項目を指定

\* 非活性項目は（グレー色）必須出力項目です。  
出力項目の順序は変更できません。

### 2-2. (RC) 大梁リスト - 断面形式



1 “リスト枠サイズ（白色枠）”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

2 “リスト枠線や寸法線のあき寸法（白色枠）”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

3 “断面サイズ指定”  
断面省略オプションのための基準となる断面寸法値を指定  
(2017/09/26 未対応)

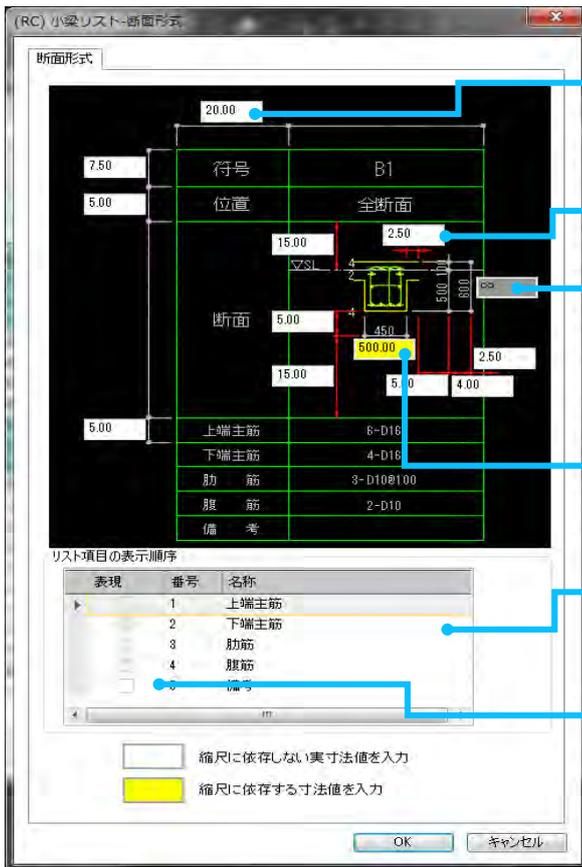
4 “リスト名称”  
リスト項目の名称を編集

5 “リスト項目”  
リストの出力項目を指定

\* 非活性項目は（グレー色）必須出力項目です。  
出力項目の順序は変更できません。

## STEP 2. RC造部材のリスト枠設定

### 2-3. (RC) 小梁リスト - 断面形式



1 “リスト枠サイズ（白色枠）”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

2 “リスト枠線や寸法線のあき寸法（白色枠）”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

3 “断面サイズ指定”  
断面省略オプションのための基準となる断面寸法値を指定  
(2017/09/26 未対応)

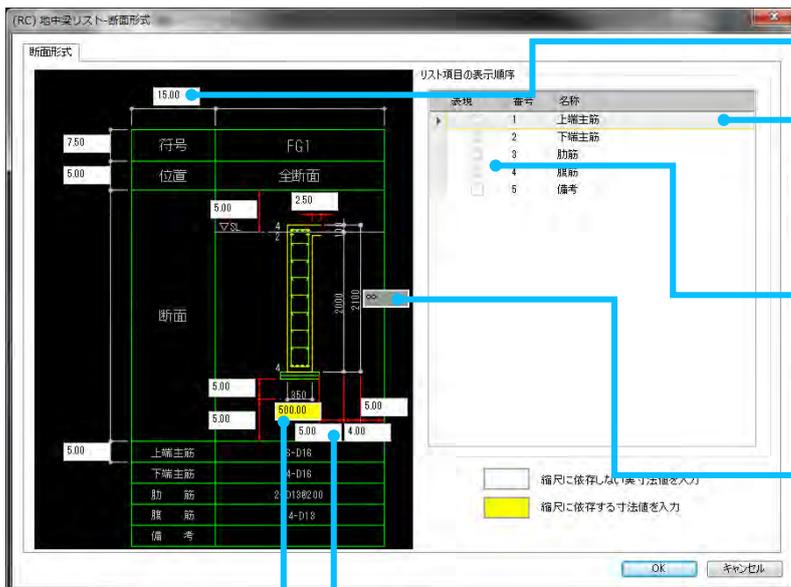
4 “断面サイズ指定（黄色枠）”  
リスト枠サイズ決定のための基準となる断面寸法値を指定

5 “リスト名称”  
リスト項目の名称を編集

6 “リスト項目”  
リストの出力項目を指定

\* 非活性項目は（グレー色）必須出力項目です。  
出力項目の順序は変更できません。

### 2-4. (RC) 地中梁リスト - 断面形式



1 “リスト枠サイズ（白色枠）”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

2 “リスト名称”  
リスト項目の名称を編集

3 “リスト項目”  
リストの出力項目を指定

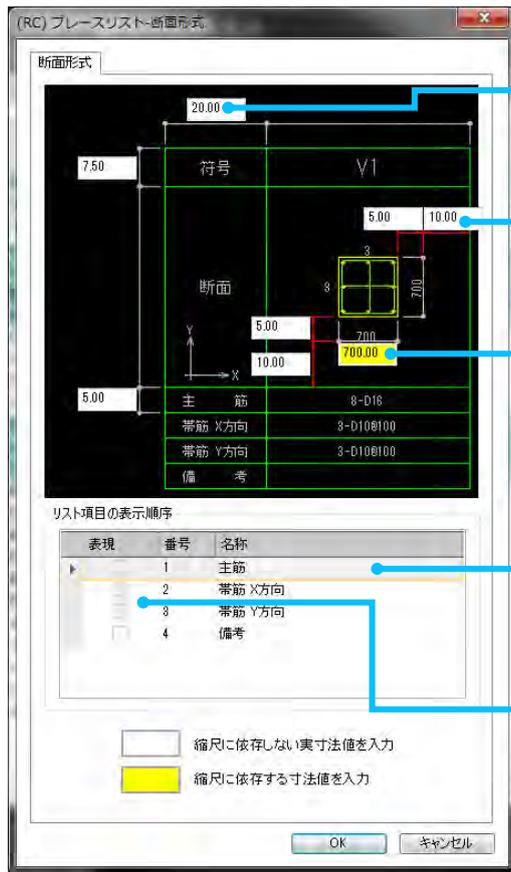
\* 非活性項目は（グレー色）必須出力項目です。  
出力項目の順序は変更できません。

4 “断面サイズ指定”  
断面省略オプションのための基準となる断面寸法値を指定  
(2017/09/26 未対応)

5 “リスト枠線や寸法線のあき寸法（白色枠）”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

6 “断面サイズ指定（黄色枠）”  
リスト枠サイズ決定のための基準となる断面寸法値を指定

## 2-5. (RC) ブレースリスト - 断面形式



1 “リスト枠サイズ (白色枠)”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

2 “リスト枠線や寸法線のあき寸法 (白色枠)”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

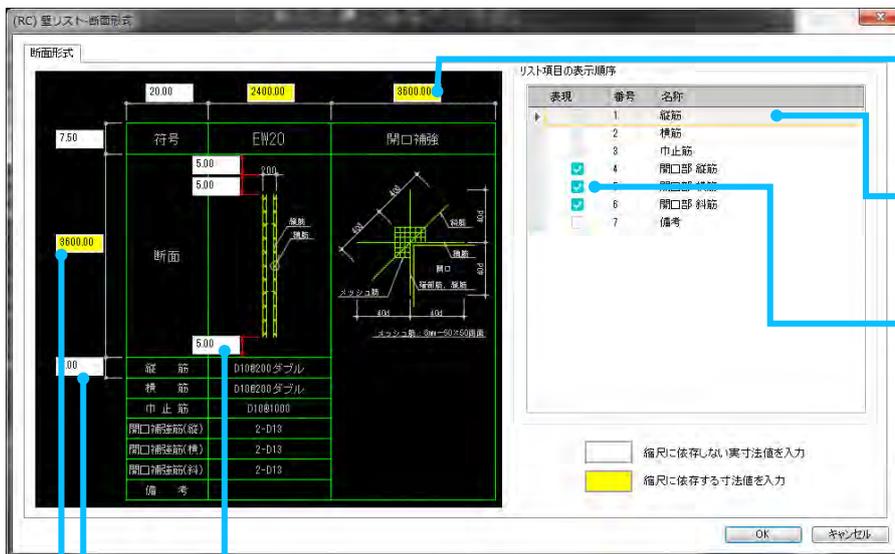
3 “断面サイズ指定 (黄色枠)”  
リスト枠サイズ決定のための基準となる断面寸法値を指定

4 “リスト名称”  
リスト項目の名称を編集

5 “リスト項目”  
リストの出力項目を指定

\* 非活性項目は (グレー色) 必須出力項目です。  
出力項目の順序は変更できません。

## 2-6. (RC) 壁リスト - 断面形式



1 “凡例欄サイズ指定 (黄色枠)”  
凡例欄の幅サイズを指定

\* 入力数値は部材リスト生成時の縮尺に依存します。

2 “リスト名称”  
リスト項目の名称を編集

3 “リスト項目”  
リストの出力項目を指定

\* 非活性項目は (グレー色) 必須出力項目です。  
出力項目の順序は変更できません。

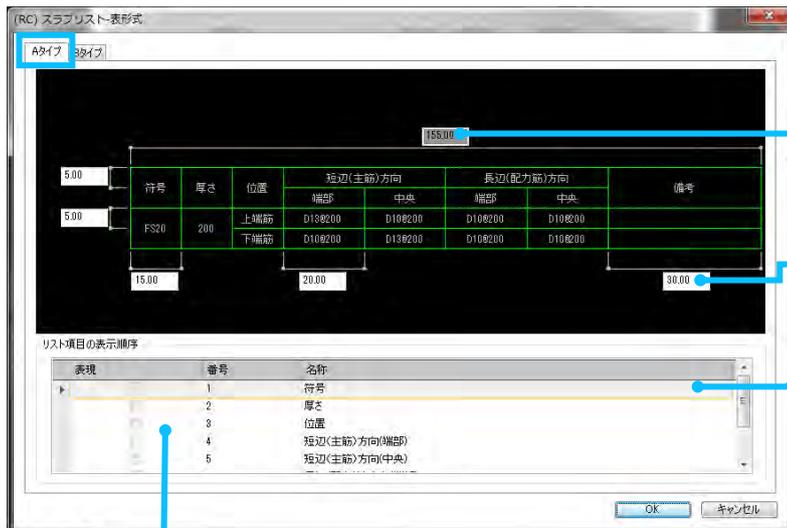
4 “リスト枠線や寸法線のあき寸法 (白色枠)”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

5 “リスト枠サイズ (白色枠)”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

6 “リスト枠サイズ指定 (黄色枠)”  
リスト枠サイズを指定

\* 入力数値は部材リスト生成時の縮尺に依存します。

## 2-7. (RC) スラブリスト - 表形式\_Aタイプ (STYLE 01)



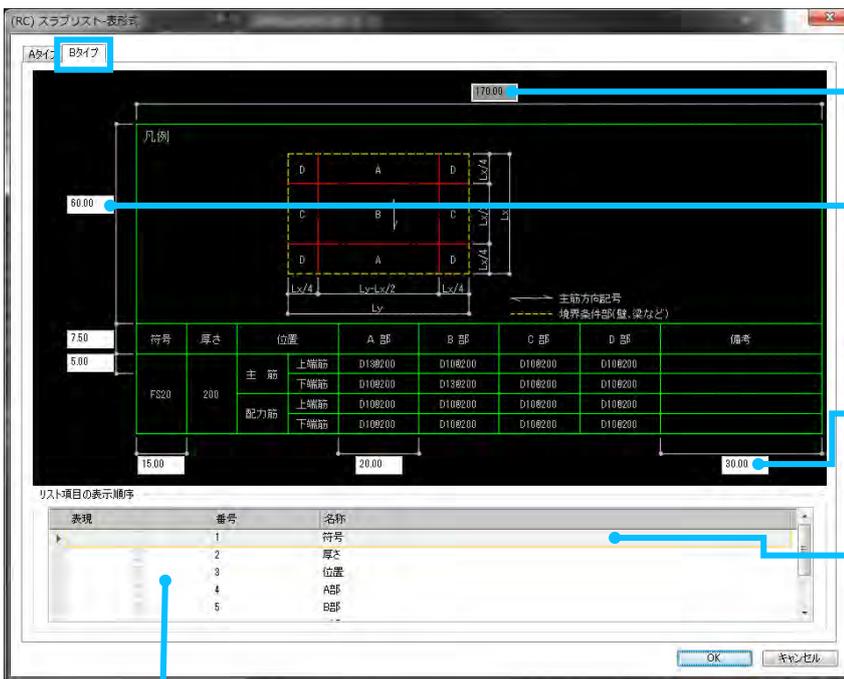
1 “リスト枠の全体幅サイズ”  
各項目の指定値により自動計算されます。

2 “リスト枠サイズ (白色枠)”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

3 “リスト名称”  
リスト項目の名称を編集

4 “リスト項目”  
リストの出力項目を指定

## 2-8. (RC) スラブリスト - 表形式\_Bタイプ (STYLE 02)



1 “リスト枠の全体幅サイズ”  
各項目の指定値により自動計算されます。

2 “凡例欄サイズ指定 (白色枠)”  
凡例欄の高さを指定。  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定。

3 “リスト枠サイズ (白色枠)”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

4 “リスト名称”  
リスト項目の名称を編集

5 “リスト項目”  
リストの出力項目を指定

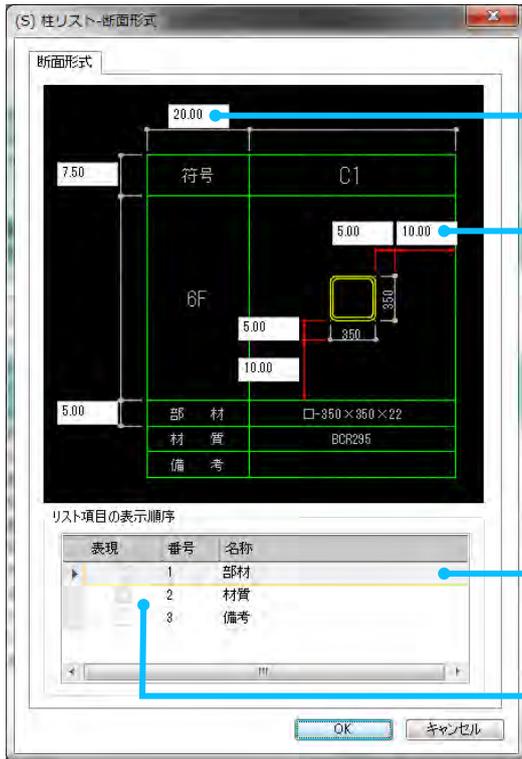
※ 図面タイプは部材リスト生成時にスタイルの選択で指定します。



6 “図面タイプの選択”  
STYLE 01 … Aタイプ  
STYLE 02 … Bタイプ

## STEP 3. 鉄骨造部材のリスト枠設定

### 3-1. (S) 柱リスト - 断面形式 (STYLE 01)



1 “リスト枠サイズ (白色枠)”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

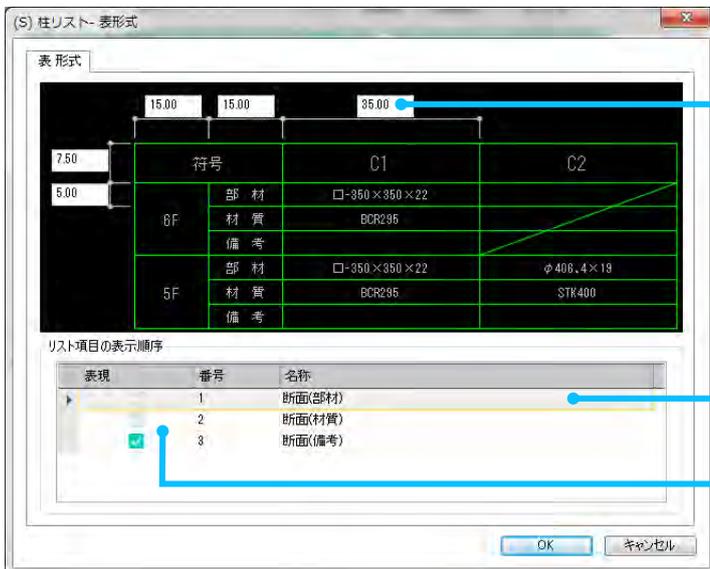
2 “リスト枠線や寸法線のあき寸法 (白色枠)”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

3 “リスト名称”  
リスト項目の名称を編集

4 “リスト項目”  
リストの出力項目を指定

\* 非活性項目は (グレー色) 必須出力項目です。  
出力項目の順序は変更できません。

### 3-2. (S) 柱リスト - 表形式 (STYLE 02)



1 “リスト枠サイズ (白色枠)”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

2 “リスト名称”  
リスト項目の名称を編集

3 “リスト項目”  
リストの出力項目を指定

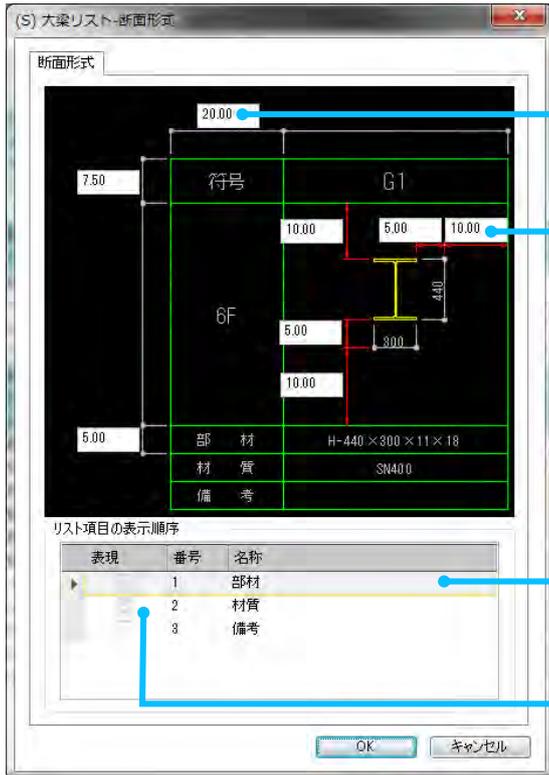
\* 非活性項目は (グレー色) 必須出力項目です。  
出力項目の順序は変更できません。

※ 図面形式は部材リスト生成時にスタイルの選択で指定します。



4 “図面タイプの選択”  
STYLE 01 ... Aタイプ  
STYLE 02 ... Bタイプ

### 3-3. (S) 大梁リスト – 断面形式 (STYLE 01)



1 “リスト枠サイズ (白色枠)”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

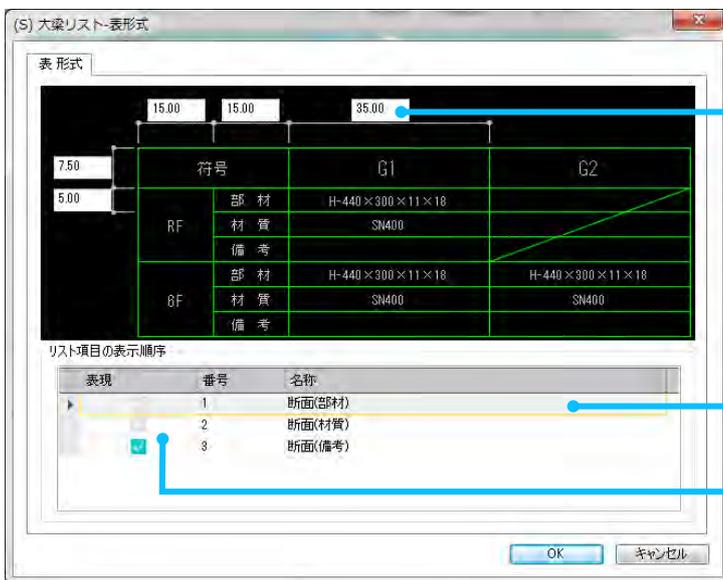
2 “リスト枠線や寸法線のおき寸法 (白色枠)”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

3 “リスト名称”  
リスト項目の名称を編集

4 “リスト項目”  
リストの出力項目を指定

\* 非活性項目は (グレー色) 必須出力項目です。  
出力項目の順序は変更できません。

### 3-4. (S) 大梁リスト – 表形式 (STYLE 02)



1 “リスト枠サイズ (白色枠)”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

2 “リスト名称”  
リスト項目の名称を編集

3 “リスト項目”  
リストの出力項目を指定

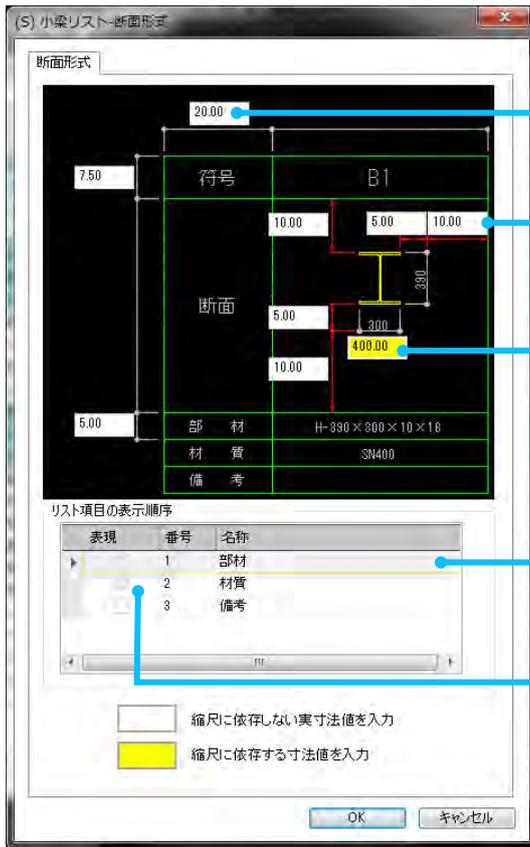
\* 非活性項目は (グレー色) 必須出力項目です。  
出力項目の順序は変更できません。

※ 図面形式は部材リスト生成時にスタイルの選択で指定します。



4 “図面タイプの選択”  
STYLE 01 … Aタイプ  
STYLE 02 … Bタイプ

### 3-5. (S) 小梁リスト – 断面形式 (STYLE 01)



1 “リスト枠サイズ (白色枠)”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

2 “リスト枠線や寸法線のあき寸法 (白色枠)”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

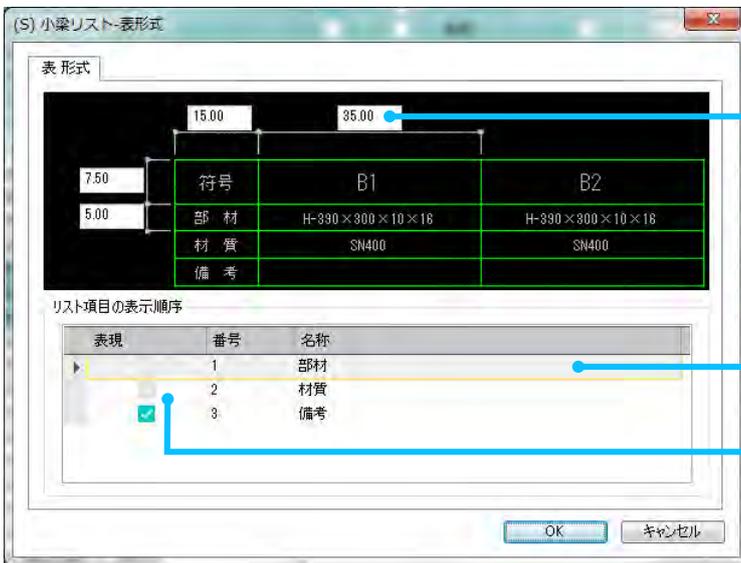
3 “断面サイズ指定 (黄色枠)”  
リスト枠サイズ決定のための基準となる断面寸法値を指定

4 “リスト名称”  
リスト項目の名称を編集

5 “リスト項目”  
リストの出力項目を指定

\* 非活性項目は (グレー色) 必須出力項目です。  
出力項目の順序は変更できません。

### 3-6. (S) 小梁リスト – 表形式 (STYLE 02)



1 “リスト枠サイズ (白色枠)”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

2 “リスト名称”  
リスト項目の名称を編集

3 “リスト項目”  
リストの出力項目を指定

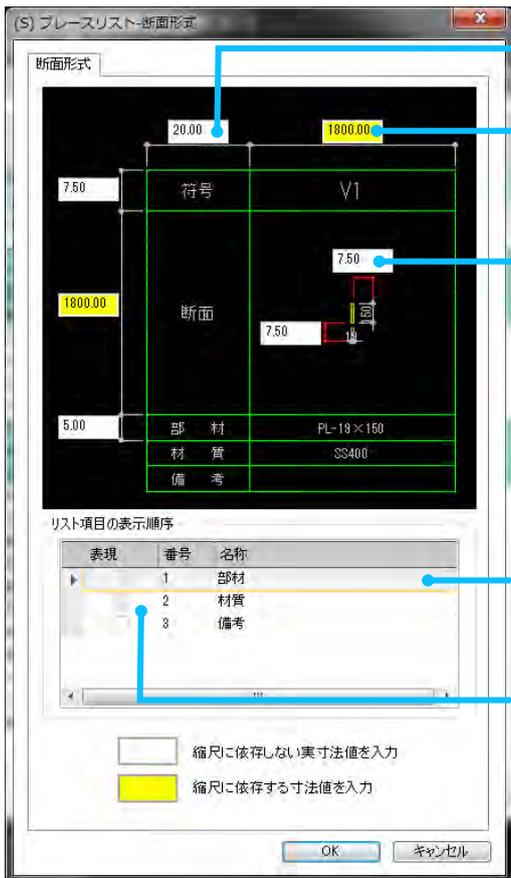
\* 非活性項目は (グレー色) 必須出力項目です。  
出力項目の順序は変更できません。

※ 図面形式は部材リスト生成時にスタイルの選択で指定します。



4 “図面タイプの選択”  
STYLE 01 ... Aタイプ  
STYLE 02 ... Bタイプ

### 3-7. (S) ブレースリスト – 断面形式 (STYLE 01)



1 “リスト枠サイズ (白色枠)”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

2 “リスト枠サイズ指定 (黄色枠)”  
\*入力数値は部材リスト生成時の縮尺に依存します。

3 “断面と寸法線のあき寸法 (白色枠)”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

4 “リスト名称”  
リスト項目の名称を編集

5 “リスト項目”  
リストの出力項目を指定

\*非活性項目は (グレー色) 必須出力項目です。  
出力項目の順序は変更できません。

### 3-8. (S) ブレースリスト – 表形式 (STYLE 02)



1 “リスト枠サイズ (白色枠)”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

2 “リスト名称”  
リスト項目の名称を編集

3 “リスト項目”  
リストの出力項目を指定

\*非活性項目は (グレー色) 必須出力項目です。  
出力項目の順序は変更できません。

※ 図面形式は部材リスト生成時にスタイルの選択で指定します。



4 “図面タイプの選択”  
STYLE 01 … Aタイプ  
STYLE 02 … Bタイプ

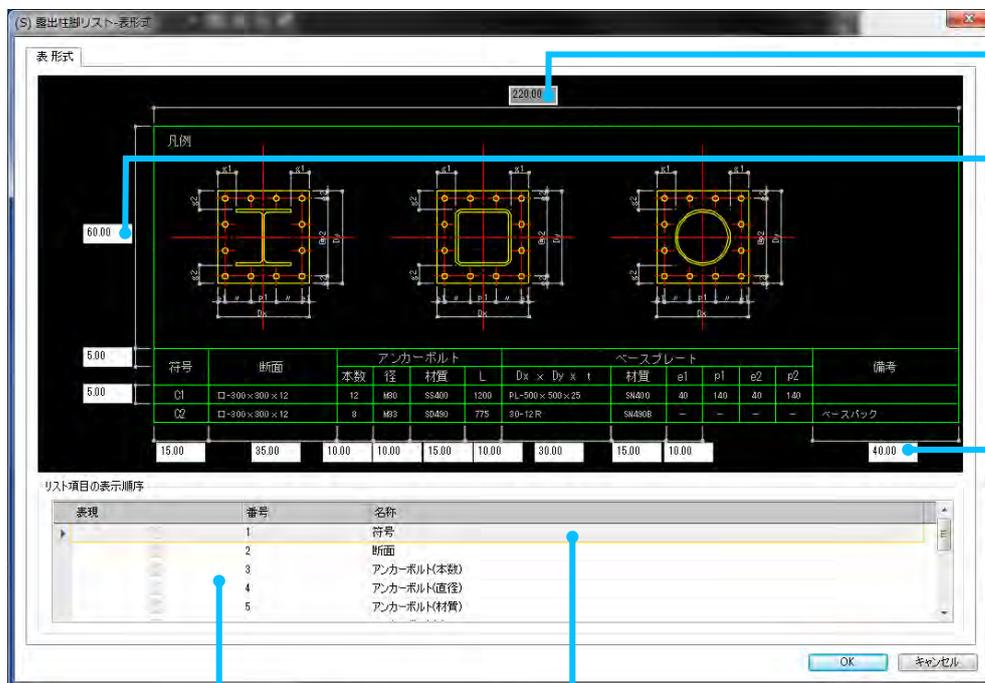
### 3-9. (S) デッキスラブリスト - 表形式



- 1 “リスト枠の全体幅サイズ”  
各項目の指定値により自動計算されます。
- 2 “凡例欄サイズ指定 (白色枠)”  
凡例欄の高さを指定。  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定。
- 3 “リスト枠サイズ (白色枠)”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定
- 4 “リスト名称”  
リスト項目の名称を編集
- 5 “リスト項目”  
リストの出力項目を指定

\* 非活性項目は (グレー色) 必須出力項目です。  
出力項目の順序は変更できません。

### 3-10. (S) 露出柱脚リスト - 表形式



- 1 “リスト枠の全体幅サイズ”  
各項目の指定値により自動計算されます。
- 2 “凡例欄サイズ指定 (白色枠)”  
凡例欄の高さを指定。  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定。
- 3 “リスト枠サイズ (白色枠)”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定
- 4 “リスト名称”  
リスト項目の名称を編集
- 5 “リスト項目”  
リストの出力項目を指定

\* 非活性項目は (グレー色) 必須出力項目です。  
出力項目の順序は変更できません。

### 3-11. (S) 梁継手リスト - 表形式

1 “凡例欄サイズ指定（白色枠）”  
凡例欄の高さを指定。  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定。

2 “リスト枠の全体幅サイズ”  
各項目の指定値により自動計算されます。

断面		フランジ継手					備考						
		タイプ	H.T.B	SPLICE PLATE(1)	SPLICE PLATE(2)	P	e	e1	e2	e1			
H-390×300×10	×16	II	12-M22	PL-12×300×350	2PL-12×110×350	45	40	150	40	35	RF_02_05_G102_G103		

表現	番号	名称
<input type="checkbox"/>	1	断面
<input type="checkbox"/>	2	フランジ
<input type="checkbox"/>	3	ウェブ
<input type="checkbox"/>	4	符号

表現	番号	名称
<input checked="" type="checkbox"/>	1	凡例
<input type="checkbox"/>	2	断面

3 “リスト枠サイズ（白色枠）”  
縮尺に依存しない、実寸法値を指定

4 “リスト名称”  
リスト項目の名称を編集

5 “リスト項目”  
リストの出力項目を指定

\* 非活性項目は（グレー色）必須出力項目です。  
出力項目の順序は変更できません。

自動生成した伏図をDXF、DWGデータに書き出し、使い慣れたCADで作業することが簡単にできます。

※CADロボでは、midas eGenでSS3のCSVを読み込み、midas Drawingで構造図を生成します。



### 全7ステップ

STEP 1. ナビゲーション起動

STEP 2. CSVデータの読み込み

STEP 3. モデルファイルを保存

STEP 4. 図面生成プログラム(midas Drawing)の起動

STEP 5. 生成する部材リストを選択

STEP 6. 部材リストを配置

STEP 7. CADデータに書き出し

## STEP 1. ナビゲーション起動

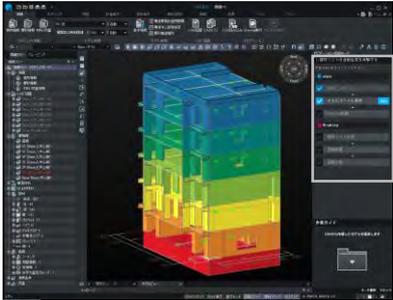


## STEP 2. CSVデータの読み込み

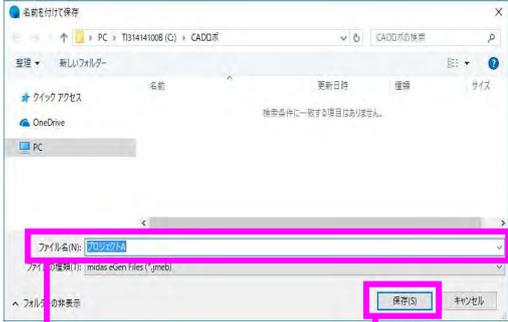


\* CSVのサンプルデータは「C:\Program Files\MIDAS\CAD Robo\midas eGen\FreeNavi\Scenario1」にあります。

### STEP 3. モデルファイルを保存



1 「Run」ボタンをクリック

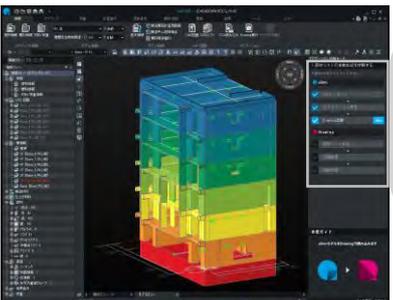


2 ファイル名入力

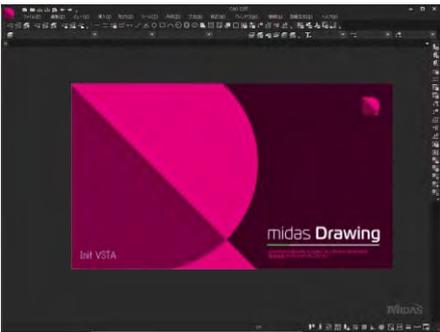
3 「保存」をクリック

\* 構造図を生成するためには、midas eGenの拡張子(\*.jmeb)にデータを保存する必要があります。

### STEP 4. 図面生成プログラム(midas Drawing)を起動

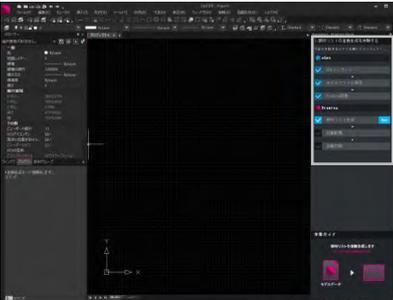


1 「Run」ボタンをクリック

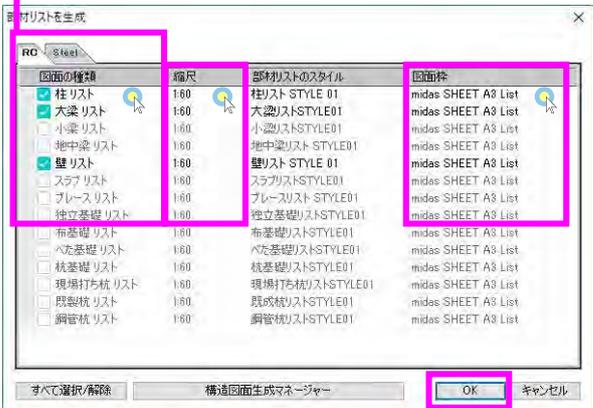


図面自動生成プログラム(midas Drawing)は自動に立ち上がります。

### STEP 5. 生成する部材リストを選択



1 「Run」ボタンをクリック

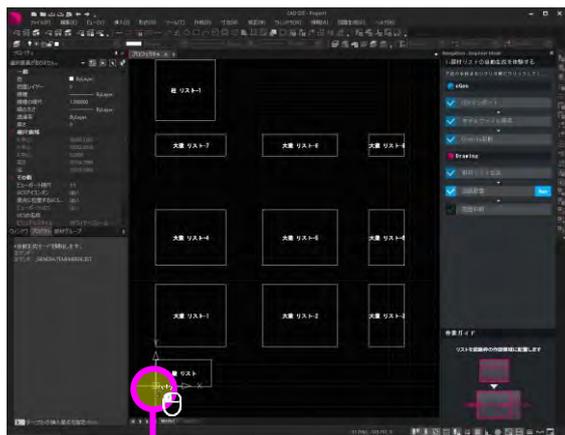


2 生成する部材リストの種類、縮尺、図面枠を選択

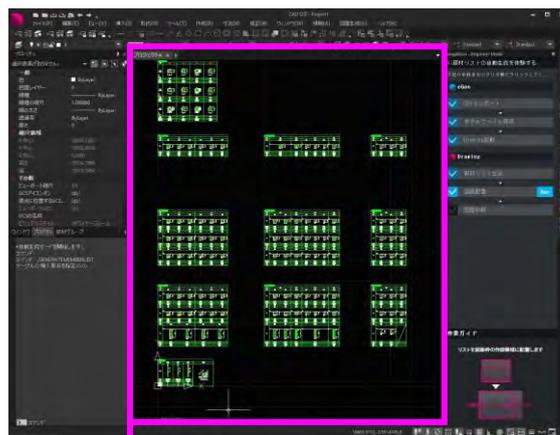
3 「OK」をクリック

\* 地中梁、小梁、スラブなどもっと多い部材リストを生成したい方は「地中梁、小梁などより多い部材リストを生成する」をご参考ください。

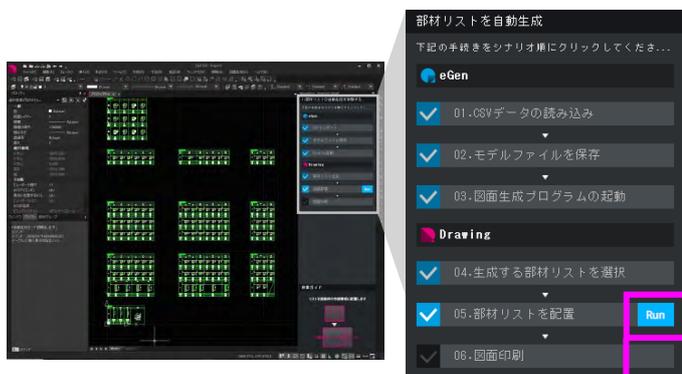
## STEP 6. 部材リストを配置



1 生成図を任意の位置に配置(画面上でクリック)

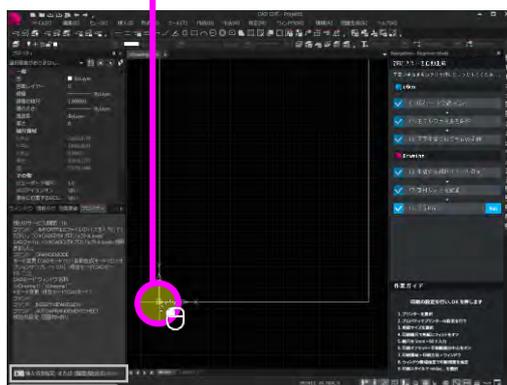


2 自動で分割された部材リストを確認

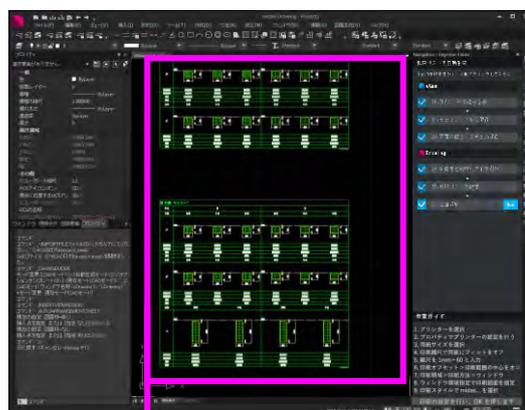


3 「Run」ボタンをクリック

6 任意の位置に配置  
(画面上でクリック)



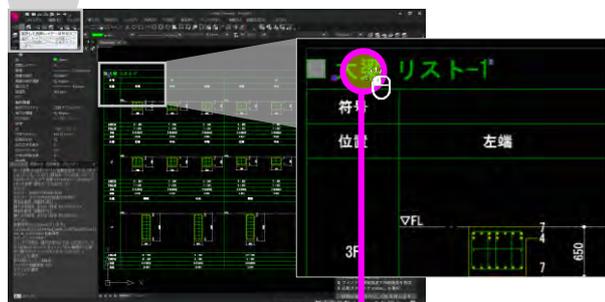
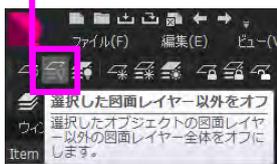
4 図面枠なし(S)の「S」入力後、「Enter」



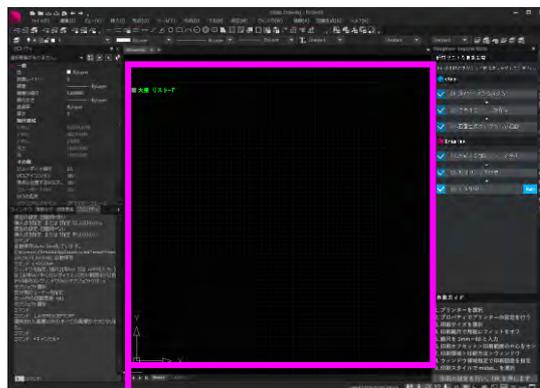
7 図面枠がない図面を確認

## STEP 7. CADデータに書き出し

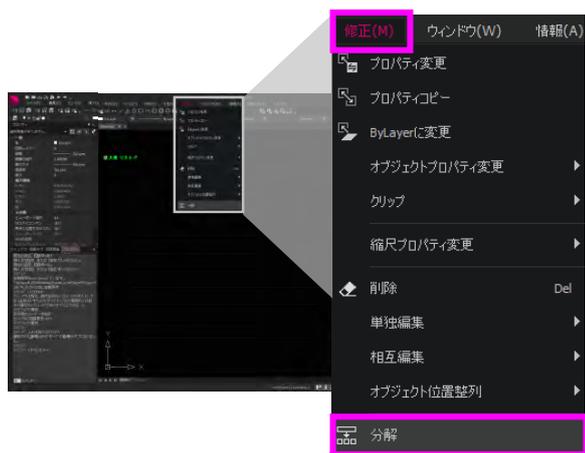
2 「選択した図面レイヤー以外をオフ」アイコンをクリック



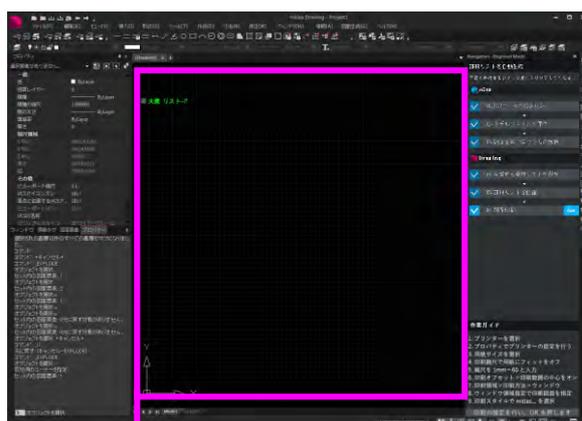
1 タイトルをクリックして選択



3 図面を確認

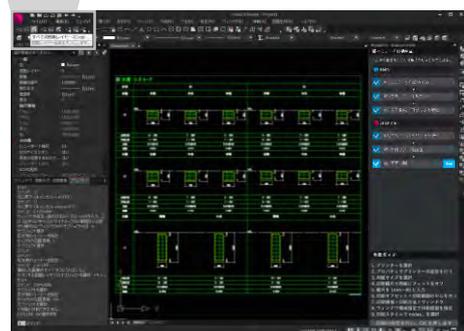
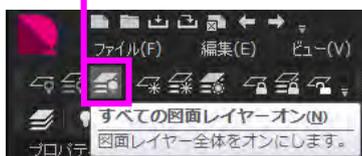


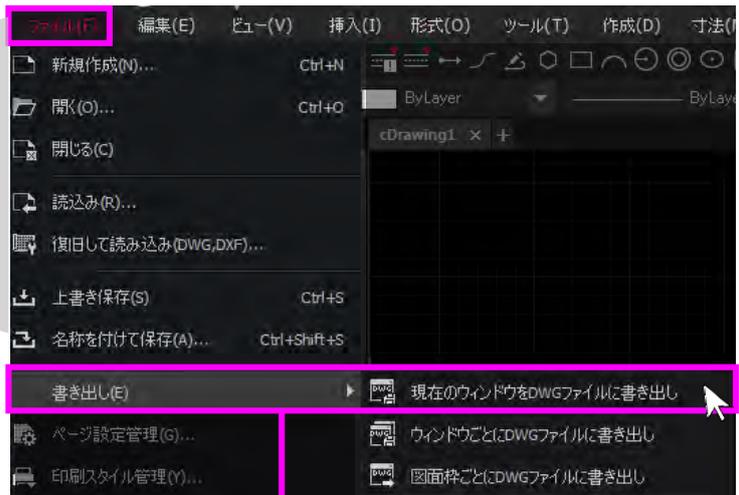
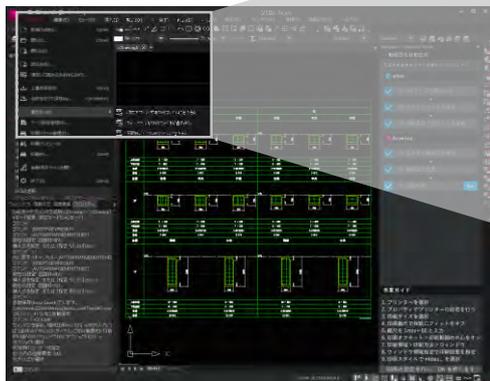
4 [修正]→「分解」選択



5 表示されているオブジェクトを選択後、「Enter」

6 「すべての図面レイヤーオン」アイコンをクリック





7 [ファイル]→「書き出し」→  
「現在ウィンドウをDWGファイルに書き出し」選択

\* 図面を生成した段階で図面の書き出しが可能です。  
印刷をする場合は続いて「Run」から進めてください。



8 ファイル名入力、  
ファイルの種類指定

9 「保存」クリック

\* dwg, dxfファイルに書き出し可能です。  
書き出したデータをJw-cadに読み込む方法は  
「<http://cadrobo-online-help.midasiit.co.jp/mdw-f0081/>」をご参考ください。



## 図面リストを自動作成する

---

手入力なく自動で図面リストを作成してみませんか？

- ・ 図面リスト(一覧表)を手入力無しで自動で作成する方法

147



# <図面リスト>

## 図面リスト(一覧表)を手入力無しで自動で作成する方法

図面名や図面番号、縮尺を一枚一枚確認しながら作成していた図面リストが、  
図面枠情報を認識して自動で作成されます。  
図面リストの管理が簡単に、より便利に行えます。

※CADロボでは、midas eGenでSS3のCSVを読み込み、midas Drawingで構造図を生成します。

全 3 ステップ

STEP 1. 図面自動生成

STEP 2. 図面リスト配置

STEP 3. 図面リストの編集と確認

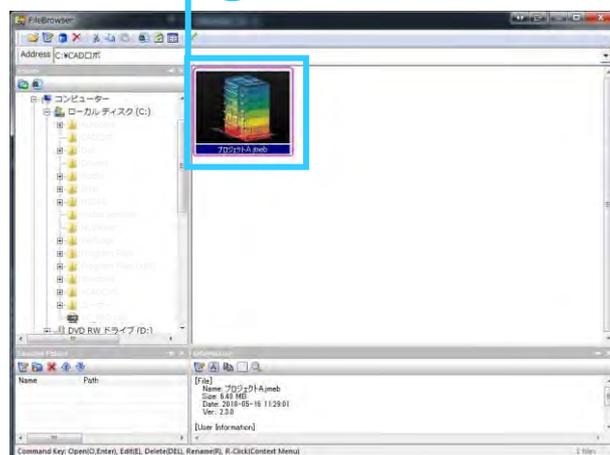
### STEP 1. 図面自動生成



2 [図面生成]→「eGenファイルを開く」選択

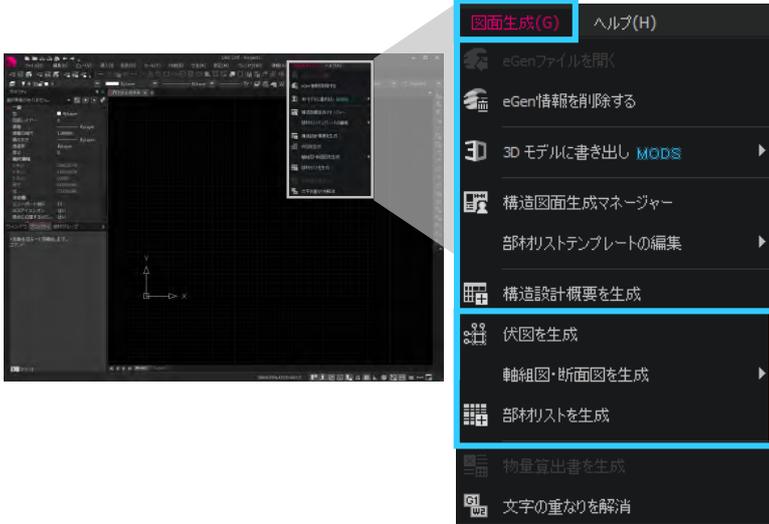


3 リストを生成するモデルファイル選択

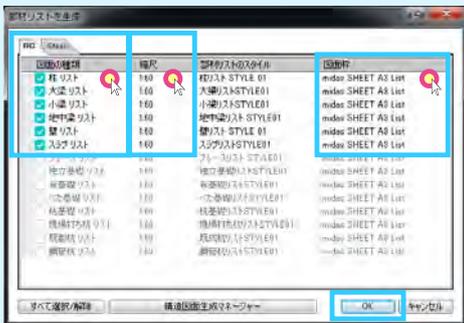


\* eGen でCSVを読み込んだ後、保存したデータのみ開けます。

4 [図面生成]から生成する図面を選択



5 生成する図面の種類、縮尺、図面枠を選択後、「OK」をクリック



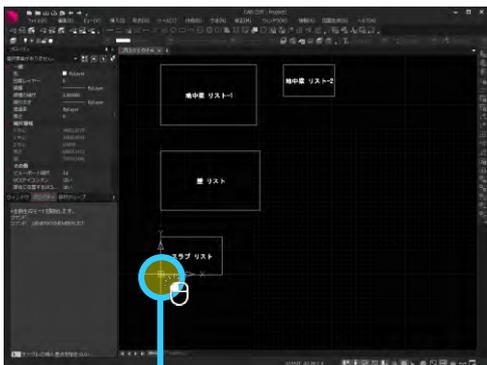
部材リスト



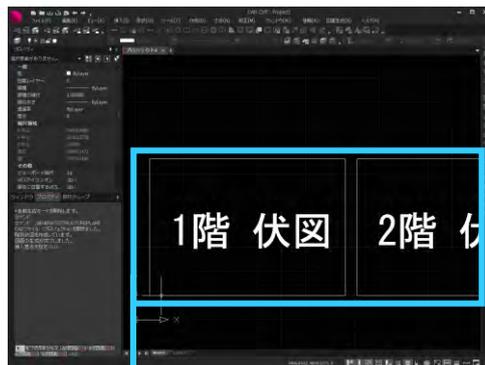
伏図



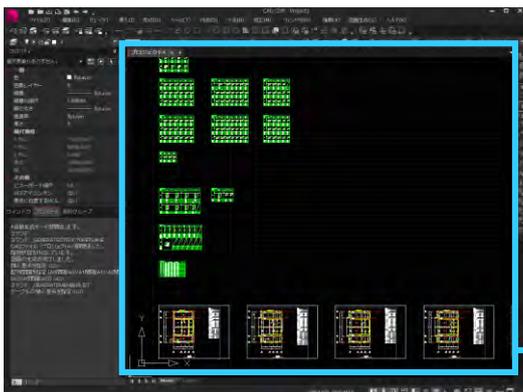
軸組図



6 生成図を任意の位置に配置 (画面上でクリック)



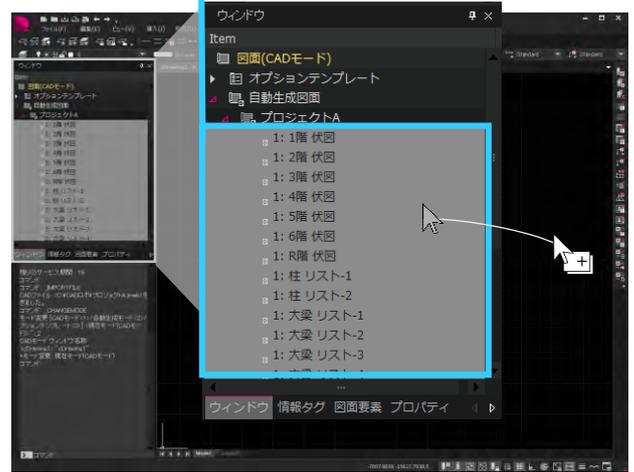
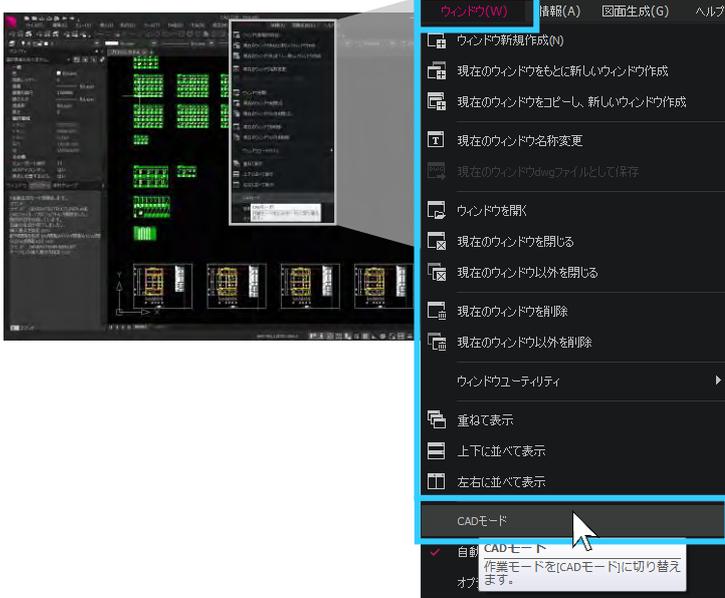
7 伏図・軸組図生成の場合 図面間間隔指定



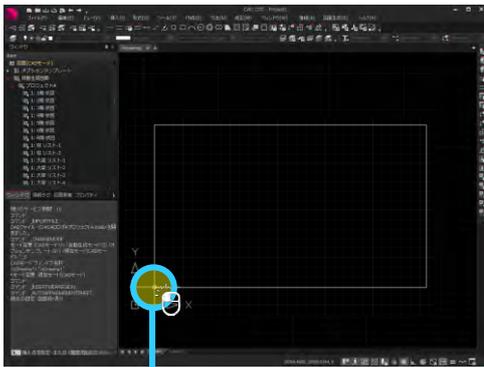
8 図面確認

9 [ウィンドウ]→「CADモード」選択

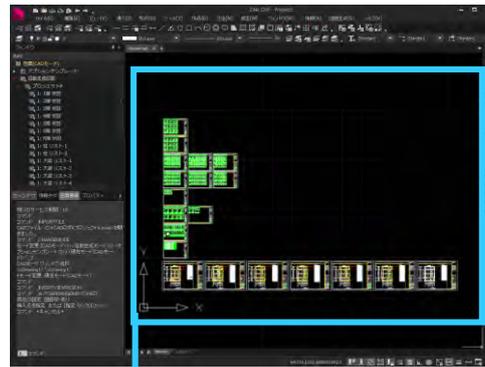
10 図面をドラッグ・アンド・ドロップ



\* CADモードに切り替える理由  
図面リストは図面枠と連動しています。CADモードで図面枠付きの図面を配置します。



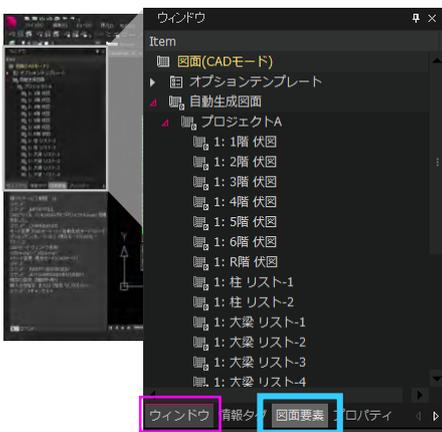
11 図面枠付き図面を任意の位置に配置 (画面上でクリック)



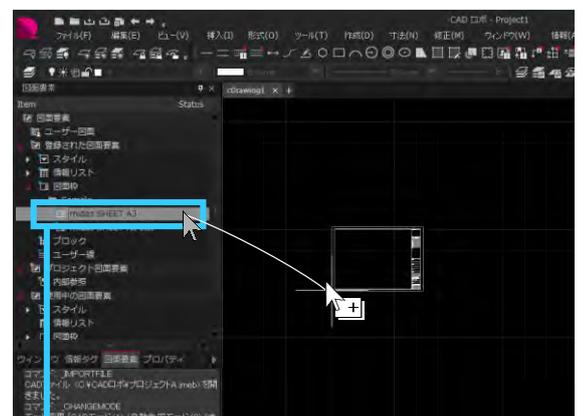
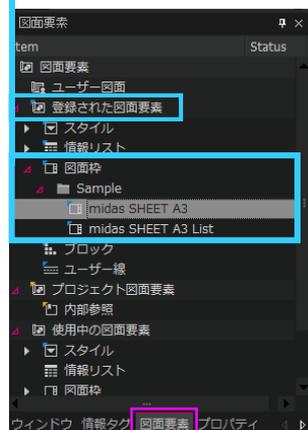
12 図面枠付きの図面確認

STEP 2. 図面リスト配置

2 登録された図面要素の「図面枠」→「Sample」順で展開



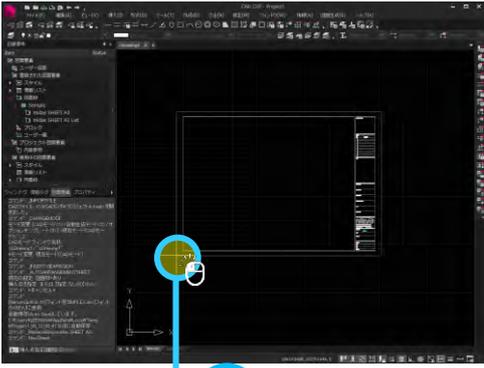
1 ツリーメニューを[ウィンドウ]から [図面要素]表示に変更



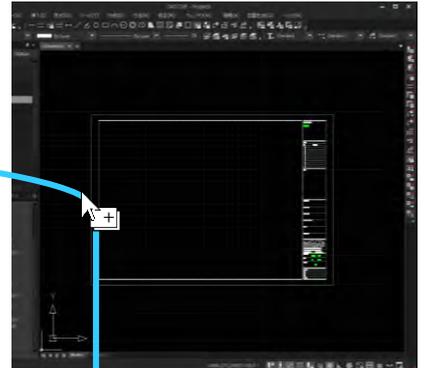
3 「midas SHEET A3」をドラッグ・アンド・ドロップ

\* ご自身の図面枠を登録した場合、その図面枠をドラッグ・アンド・ドロップしてください。図面枠登録方法は資料〜〜をご参考ください。

5 「登録された図面要素」→「情報リスト」を展開



4 図面枠を任意の位置に配置 (画面上でクリック)

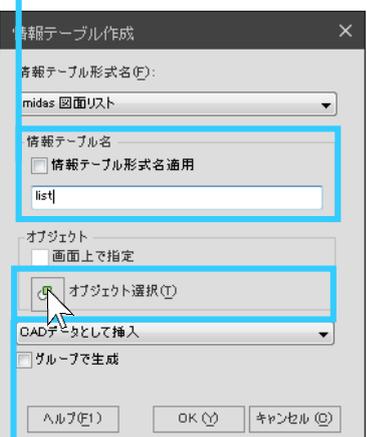


6 「midas 図面リスト」をドラッグ・アンド・ドロップ

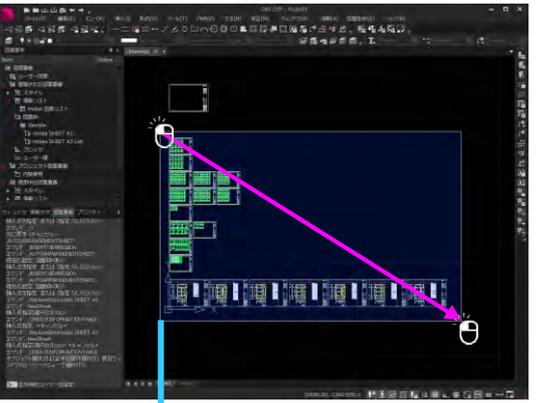
7 「情報テーブル作成」ダイアログボックスを確認



8 「情報テーブル名(図面リスト名)」を入力



9 「オブジェクト選択」クリック

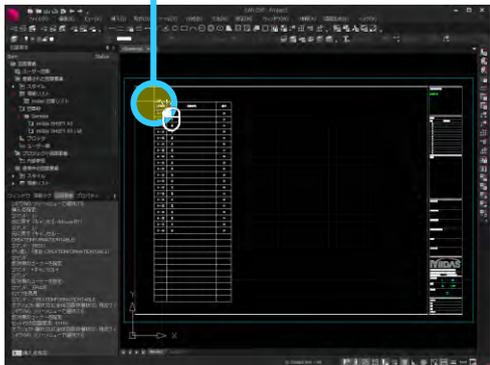


10 リストに入れたい図面を選択後、「Enter」

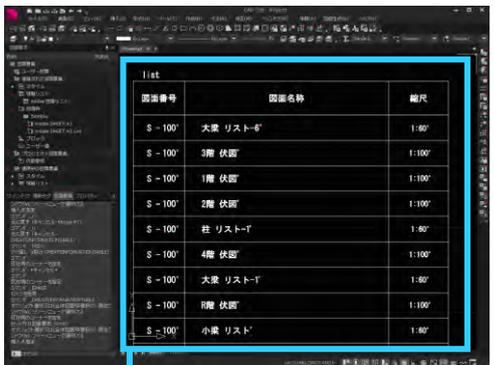
12 図面リストを図面枠内の位置に配置 (画面上でクリック)



11 「OK」クリック



\* 図面リストを配置できる位置では青い線が表示されます。

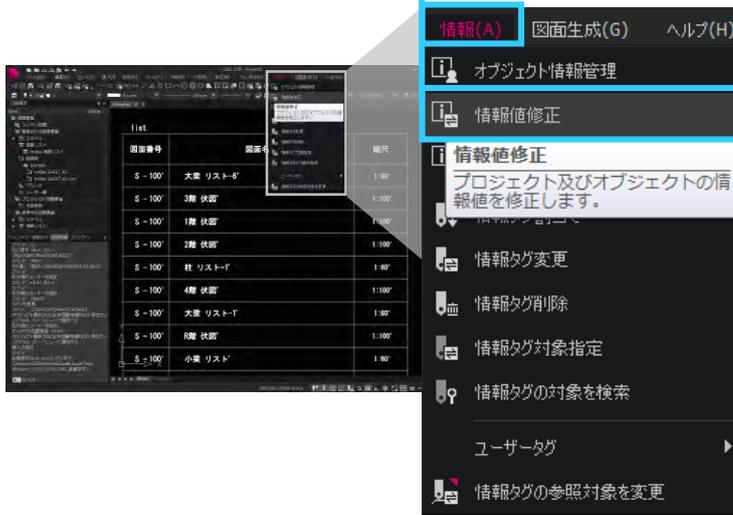


13 図面リストを確認

順番が整っていない場合、次のステップに従って図面番号を編集してください。 》

## STEP 3. 図面リストの編集と確認

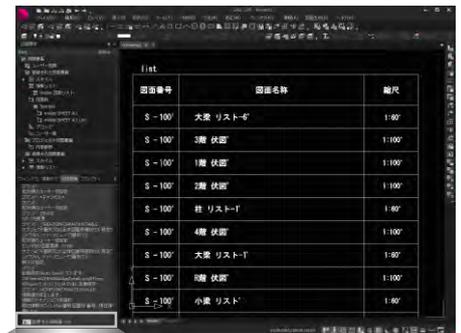
1 [情報]→「情報値修正」選択  
またはコマンド「MIV」を入力



2 メッセージを確認

図面番号	図面名称	縮尺
S-100'	大梁 リスト-G'	1:60'
S-100'	3階 伏図	1:100'
S-100'	1階 伏図	1:100'
S-100'	2階 伏図	1:100'
S-100'	柱 リスト-F'	1:60'
S-100'	4階 伏図	1:100'
S-100'	大梁 リスト-F'	1:60'
S-100'	R階 伏図	1:100'
S-100'	小梁 リスト	1:60'

3 変更する図面番号を選択

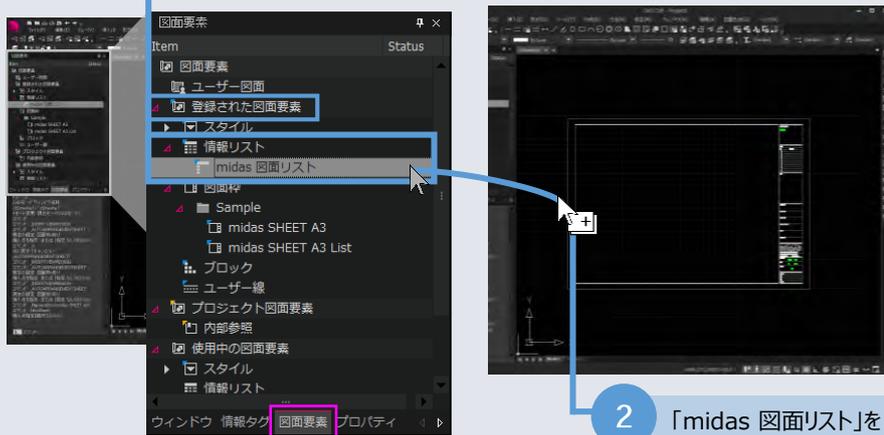


4 変更する図面番号を入力後、「Enter」

5 ①～④を繰り返して、リストのすべての図面番号を編集 ※図面リストで編集した図面番号は図面枠の図面番号に反映されます。

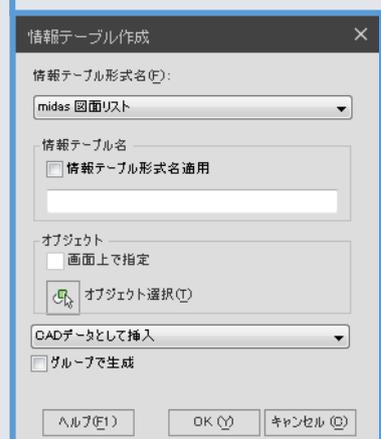
6 編集した図面番号で図面リストを再度作成する

1 「登録された図面要素」→「情報リスト」を展開

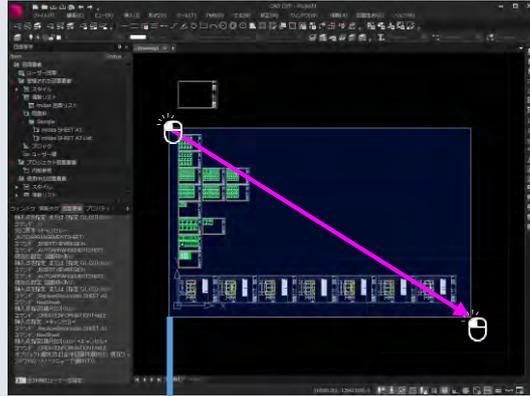
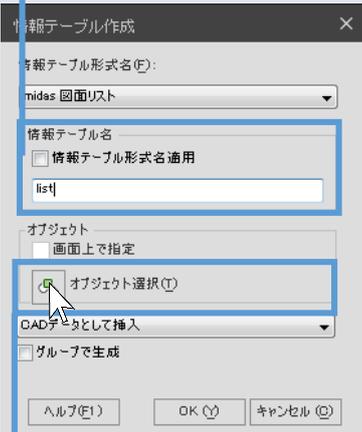


2 「midas 図面リスト」をドラッグ・アンド・ドロップ

3 「情報テーブル作成」ダイアログボックスを確認



4 「情報テーブル名(図面リスト名)」を入力

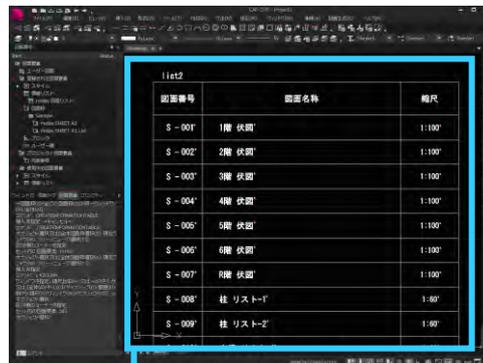
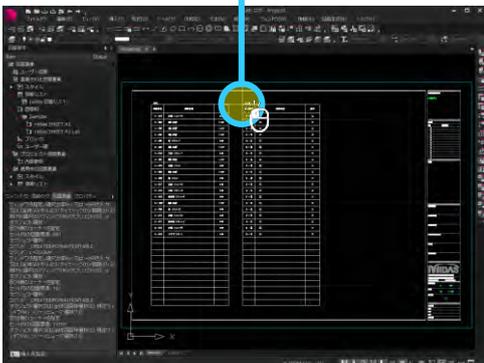


5 「オブジェクト選択」クリック

6 リストに入れたい図面を選択後、「Enter」

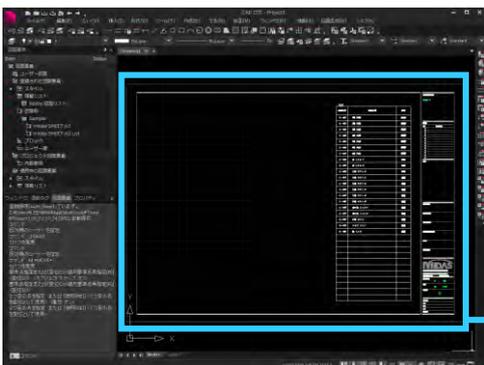
7 「OK」クリック

7 図面リストを図面枠内の位置に配置(画面上でクリック)



\* 図面リストを配置できる位置では青い線が表示されます。

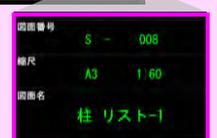
8 図面リストを確認



9 図面番号修正用に作成したリストを削除し、位置を調整する

※図面リストで編集した図面番号は図面枠の図面番号に反映されます。

図面番号	図面名称	縮尺
S-015	大梁 リスト-6	1:60
S-003	3階 伏図	1:100
S-001	1階 伏図	1:100
S-002	2階 伏図	1:100
S-008	柱 リスト-I	1:60
S-004	4階 伏図	1:100
S-010	大梁 リスト-I	1:60
S-007	8階 伏図	1:100
S-018	小梁 リスト	1:60





<http://jp.midasuser.com/cadrobo/>



株式会社マイダスイティジャパン

〒101-0021 東京都千代田区外神田5-3-1 秋葉原OSビル6F

TEL: 03-5817-0783 | FAX: 03-5817-0780 | e-mail: [cadrobo@midasit.co.jp](mailto:cadrobo@midasit.co.jp) | URL: <http://www.midasit.co.jp>

Copyright© Since 1989 MIDAS Information Technology Co., Ltd. All rights reserved.